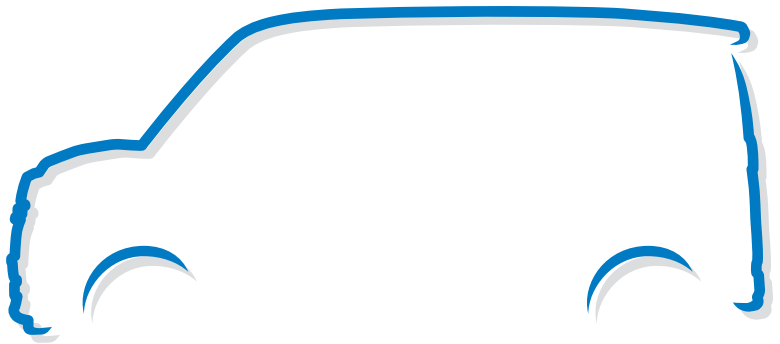


取扱説明書

ご使用になる前に必ずお読みください。

JUSTY



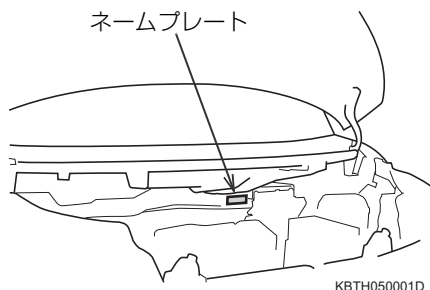
SUBARU

ご愛車に関するメモ

記入される記号・番号は、車検証、ネームプレートをご覧ください。

ご愛車のメモ	
車名および型式	車名:
	型式:
車台番号	
エンジン型式	1KR型エンジン
総排気量	996cc
車体色(番号)	
トランスミッション	CVT

ネームプレートはエンジンルームに貼り付けしてあります。



イラスト目次		イラストから検索
1	安全・安心のために	お客様に必ずお読みいただきたいこと
2	メーターの見方	メーター・警告灯／表示灯の種類・見方など
3	各部の操作	ドア・ドアガラスの開閉や、運転操作前の調整など
4	運転	運転に必要な操作やアドバイス
5	オーディオ	オーディオの使い方など
6	室内装備・機能	室内装備の使い方など
7	手入れのしかた	お車の手入れ・メンテナンスの方法
8	万一の場合には	故障したときや、緊急時などの対処
9	車両情報	お車の仕様やお好みに合わせて選べる機能の情報など
さくいん		症状から検索
		音から検索
		アルファベットで検索
		五十音で検索

知っておいていただきたいこと	6
本書の見方	10
検索のしかた	11
イラスト目次	12

1 安全・安心のために

1-1. 安全にお使いいただくために

運転する前に	24
安全なドライブのために	26
シートベルト	28
SRS エアバッグ	35
お子さまの安全のために	42
チャイルドシート	43
チャイルドシートの 選びかた	46
チャイルドシートの 取り付け	53
排気ガスに対する注意	62

1-2. 盗難防止装置

イモビライザー (盗難防止用エンジン始動 ロックシステム)	63
---	----

2 メーターの見方

2. 計器の見方

警告灯／表示灯	66
計器類	72
マルチインフォメーション ディスプレイ	76
TFT カラーマルチ インフォメーション ディスプレイ	83

3 各部の操作

3-1. キー

キー	108
----------	-----

3-2. ドアの開閉、ロックのしかた

キーレスアクセス	112
フロントドア	121
スライドドア	125
リヤゲート	140

3-3. シートの調整

フロントシート	146
リヤシート	147
ヘッドレスト	150
シートアレンジ	152

3-4. ハンドル位置・ミラー

ハンドル	159
ルームミラー	161
ドアミラー	162
サイドアンダーミラー	165

3-5. ドアガラスの開閉

パワーウィンドウ	166
----------------	-----

4 運転

4-1. 運転にあたって

運転にあたって	170
荷物を積むときの注意	181

4-2. 運転のしかた

エンジン（イグニッション） スイッチ	183
CVT 車の運転	188
方向指示レバー	191
パーキングブレーキ	192

4-3. ランプのつけ方・ ワイパーの使い方

ライティングスイッチ	193
ハイビームアシスト	196
フォグランプスイッチ	199
ワイパー & ウォッシャー （フロント）	200
ワイパー & ウォッシャー （リヤ）	202

4-4. 給油のしかた

フューエルリッド （燃料給油口）の開け方	204
-------------------------------	-----

4-5. 運転支援装置について

スマートアシストⅢ	208
衝突警報機能（対車両・ 対歩行者）、衝突回避支援 ブレーキ機能（対車両・ 対歩行者）	220
誤発進抑制制御機能 （前方・後方）	230
車線逸脱警報機能	239
先行車発進お知らせ機能	242
アイドリングストップ システム	244
クルーズコントロール システム	253
コーナースエンサー	258
パノラミックビュー モニター	264
運転を補助する装置	286

4-6. 運転のアドバイス

寒冷時の運転	292
--------------	-----

5 オーディオ

5. オーディオの使い方

ステアリングスイッチ	298
アンテナ	300

6 室内装備・機能

6-1. エアコン・デフォグガーの使い方

マニュアルエアコン	302
オートエアコン	307
シートヒーター	314

6-2. 室内灯のつけ方

室内灯一覧	316
・フロントマップランプ	317
・ルームランプ	317
・デッキサイドランプ右側 (スイッチ付)	318
・カーゴルームランプ	318
・トレイ イルミネーション	319

6-3. 収納装備

収納装備一覧	320
・グローブボックス	321
・センターダスト ボックス	321
・助手席アンダートレイ	322
・カップホルダー／ ボトルホルダー	322
・オープントレイ	325
カーゴルーム内装備	326
・カーゴボード	326
・停止表示板 収納スペース	328

6-4. その他の室内装備の使い方

その他の室内装備	329
・サンバイザー	329
・バニティミラー	329
・運転席アームレスト	329
・アシストグリップ	330
・シートバックテーブル	331
・格納式サンシェード	332
・アクセサリースOCKET	333
・ショッピングフック	334

7 手入れのしかた

7-1. 手入れのしかた

外装の手入れ	336
内装の手入れ	339

7-2. 簡単な点検・部品交換

ボンネット	342
ガレージジャッキ	345
エンジンオイルについて	346
ウォッシュ液の補充	347
タイヤについて	348
タイヤの交換	352
タイヤ空気圧について	360
エアコンフィルターの 交換	362
ワイパーゴムの交換	364
キーの電池交換	368
ヒューズの点検・交換	371
電球（バルブ）の交換	374

8 万一の場合には

8-1. まず初めに

故障したときは	390
非常点滅表示灯 (ハザードランプ)	391
発炎筒	392
車両を緊急停止するには	394
水没したときは	395

8-2. 緊急時の対処法

けん引について	396
フューエルポンプシャット オフシステム	404
警告灯がついたときは	405
警告メッセージが 表示されたときは	411
“スマアシ停止”が表示された ときは	424
パンクしたときは	427
エンジンが かからないときは	439
アクセスキーが 正常に働かないときは	440
バッテリーが あがったときは	442
オーバーヒート したときは	445
スタックしたときは	448

9 車両情報

9-1. 仕様一覧

メンテナンスデータ (指定燃料・ オイル量など)	450
--------------------------------------	-----

9-2. カスタマイズ機能

カスタマイズ機能一覧	455
------------------	-----

9-3. 初期設定

初期設定が必要な項目	458
------------------	-----

さくいん

こんなときは (症状別さくいん)	460
お車から音が鳴ったときは (音さくいん)	464
アルファベット順さくいん	465
五十音順さくいん	466

知っておいていただきたいこと

本書の内容について

本書はオプションを含むすべての装備の説明をしています。

そのため、お客様の車にはない装備の説明が記載されている場合があります。また、車の仕様変更により、内容がお車と一致しない場合がありますのでご了承ください。

スバル販売店で取り付けられた装備（販売店オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取扱説明書をお読みください。

イラストは、記載している仕様などの違いにより、お客様のお車の装備と一致しない場合があります。

不正改造について

- 国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、不正改造になることがあります。
- 車高を下げたり、ワイドタイヤを装着するなど、車の性能や機能に適さない部品を装着すると、故障の原因となったり、事故を起こし、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ハンドルの改造は絶対にしないでください。ハンドルには SRS エアバッグが内蔵されているため、不適切に扱うと、正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみ、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 次の場合はスバル販売店にご相談ください。
 - ・ タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットの交換
異なった種類や指定以外のものを使用すると、走行に悪影響をおよぼしたり、不正改造になることがあります。
 - ・ 電装品・無線機の取り付け・取りはずし
電子機器部品に悪影響をおよぼしたり、故障や車両火災など事故につながるおそれがあり危険です。
RF 送信機の取り付けについては、P. 9 も参照してください。
- フロントウィンドウガラス、および運転席・助手席のドアガラスに着色フィルム（含む透明フィルム）などを貼り付けしないでください。視界をさまたげるばかりでなく、不正改造につながるおそれがあります。

故障診断コネクタに機器を取り付けないで

お車の故障診断コネクタには、点検整備用の故障診断装置のみが接続できます。故障診断装置以外の機器を接続すると、車両システムに悪影響をおよぼしたり、バッテリーがあがるなど、思わぬトラブルをまねくおそれがあります。特定機器以外の接続に起因する不具合については、メーカー保証の対象にはなりません。

車両データの記録について

お車には、車両を制御するためのコンピューターが複数装備されており、車両の制御や操作に関するデータなどを記録しています。

グレード・オプション装備により記録されるデータ項目は異なります。なお、コンピューターは会話などの音声や映像は記録しません。

● データの取り扱いについて

スバルはコンピューターに記録されたデータを車両の故障診断・研究開発・品質の向上を目的に取得・利用することがあります。

なお、次の場合を除き、スバルは取得したデータを第三者へ開示または提供することはありません。

- ・ お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合
- ・ 警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- ・ 統計的な処理を行う目的で、使用者や車両が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

【ここでいうスバルは、株式会社 SUBARU を意味しています。】

イベントデータレコーダー

お車には、イベントデータレコーダー（EDR）が装備されています。EDR は、一定の衝突や衝突に近い状態（SRS エアバッグの作動および路上障害物との接触など）が発生したときに車両システムの作動状況に関するデータを記録します。EDR は車両の動きや安全システムに関するデータを短時間記録するように作られています。ただし、衝突の程度と形態によっては、データが記録されない場合があります。

EDR は次のようなデータを記録します。

- ・ 車両の各システムの作動状況
- ・ アクセルペダルおよびブレーキペダルの操作状況
- ・ 車速

これらのデータは、衝突や傷害が発生した状況を把握するのに役立ちます。

注意：EDR は衝突が発生したときにデータを記録します。通常走行時にはデータは記録されません。また、個人情報（例：氏名・性別・年齢・衝突場所）は記録されません。ただし、事故調査の際に法執行機関などの第三者が、通常の手続きとして収集した個人を特定できる種類のデータと EDR データを組み合わせ使用することがあります。EDR で記録されたデータを読み出すには、特別な装置を車両または EDR へ接続する必要があります。スバルにくわえ、法執行機関などの特別な装置を所有する第三者が車両または EDR に接続した場合でも情報を読み出すことができます。

● EDR データの情報開示

次の場合を除き、スバルは EDR で記録されたデータを第三者へ開示することはありません。

- ・ お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合
- ・ 警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- ・ スバルが訴訟で使用する場合

ただし、スバルは

- ・ データを車両安全性能の研究に使用することがあります。
- ・ 使用者・車両が特定されないデータを調査目的で第三者に開示することがあります。

【ここでいうスバルは、株式会社 SUBARU を意味しています。】

RF 送信機の取り付けについて

RF 送信機は、次のような電子システムに影響を与える可能性がありますので、取り付けないでください。

- 燃料噴射システム
- クルーズコントロールシステム★
- ABS（アンチロックブレーキシステム）
- SRS エアバッグシステム
- プリテンショナー付シートベルト
- キーレスアクセス&プッシュスタート

保証および点検について

保証および点検整備については、別冊「メンテナンスノート」に記載していますので、併せてお読みください。

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施してください。（法律で義務付けられています）

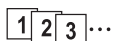
本書の見方



お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。



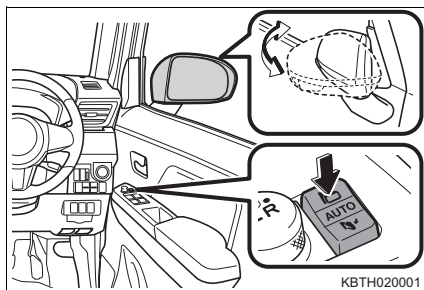
お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。



操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。

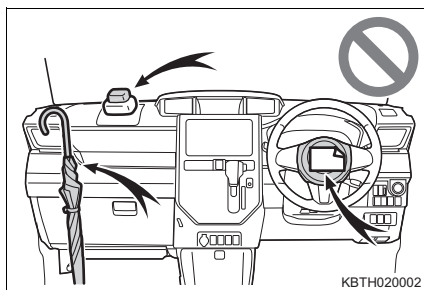
➡ 押す・まわすなど、していただきたい操作を示しています。

➡ フタが開くなど、操作後の作動を示しています。



➡ 説明の対象となるもの・場所を示しています。

⊘ “してはいけません” “このようにしないでください” “このようなことを起こさないでください” という意味です。

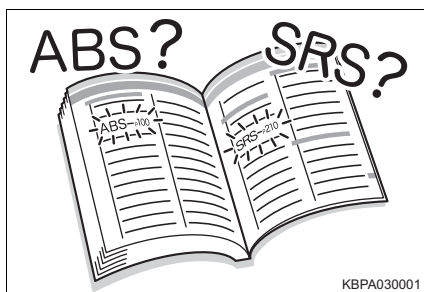


機能や操作方法の説明以外で知っていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

検索のしかた

■ 名称から探す

- ・ 五十音順さくいん466
- ・ アルファベット順
さくいん465



KBPA030001

■ 取り付け位置から探す

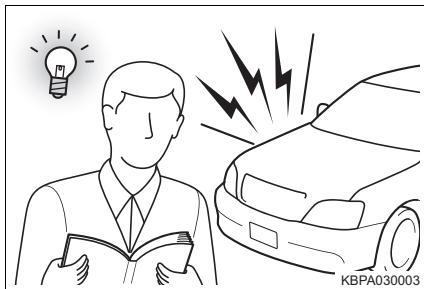
- ・ イラスト目次12



KBPA030002

■ 症状や音から探す

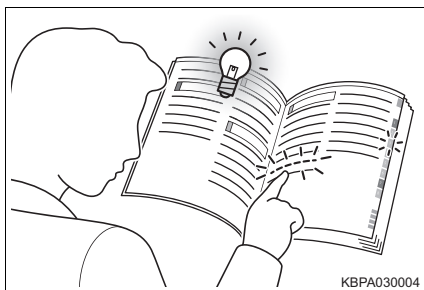
- ・ こんなときは
(症状別さくいん)460
- ・ お車から音が鳴ったときは
(音さくいん)464



KBPA030003

■ タイトルから探す

- ・ 目次2

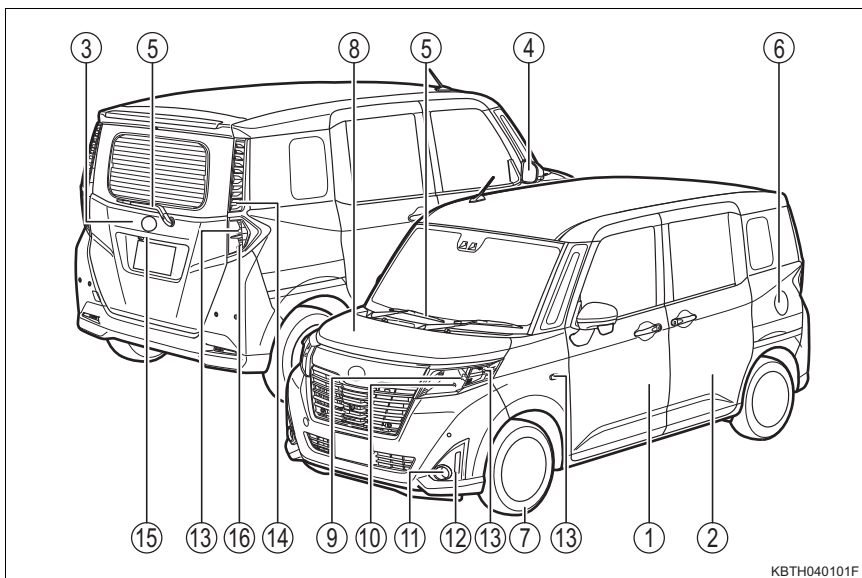


KBPA030004

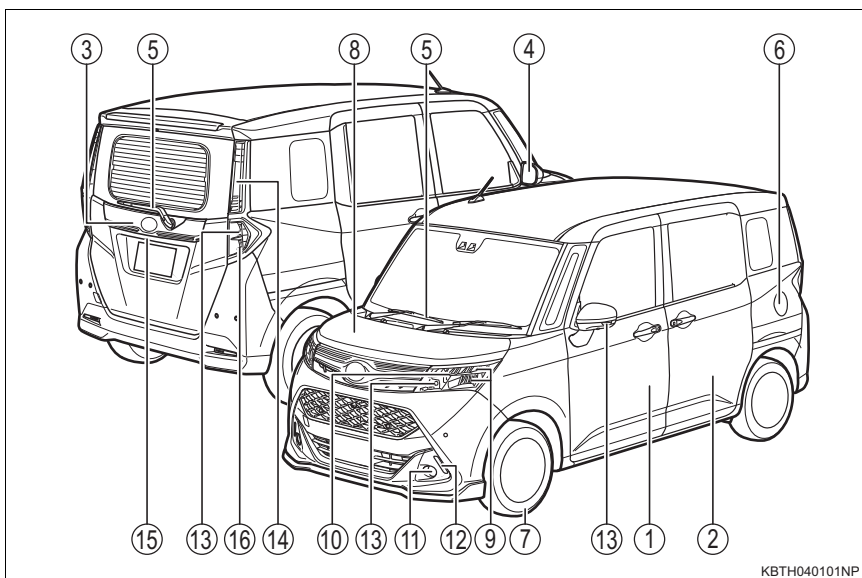
イラスト目次

■ 外観

▶ 標準車



▶ カスタム仕様車



① ドア	P. 121
施錠／解錠	P. 112, 121, 122
ドアガラスの開閉	P. 166
メカニカルキーでの施錠／解錠	P. 122, 440
警告灯★・警告メッセージ★	P. 407, 416
② スライドドア	P. 125
施錠／解錠	P. 125
ドアガラスの開閉	P. 166
車内から開ける	P. 126
車外から開ける	P. 125
警告灯★・警告メッセージ★	P. 407, 416
③ リヤゲート	P. 140
施錠／解錠	P. 112, 140
警告灯★・警告メッセージ★	P. 407, 416

- ④ **ドアミラー**P. 162
 - 鏡面の角度調整.....P. 162
 - ミラーの格納P. 163
 - 曇りを取る（ヒートッドアミラー）★.....P. 164
- ⑤ **ワイパー**.....P. 200, 202
 - 冬期の注意P. 292
 - ワイパーゴムの交換P. 364
 - 凍結防止（ワイパーデアイサー）★P. 304, 309
- ⑥ **フューエルリッド**P. 204
 - 給油方法.....P. 204
 - 燃料の種類・燃料タンク容量.....P. 450
- ⑦ **タイヤ**.....P. 348
 - サイズ・空気圧.....P. 453
 - 冬用タイヤ（スタッドレスタイヤ）・タイヤチェーン.....P. 292
 - 点検・ローテーション.....P. 348
 - パンク時の対処.....P. 427
- ⑧ **ボンネット**P. 342
 - 開け方.....P. 342
 - エンジンオイル.....P. 450
 - オーバーヒート時の対処.....P. 445

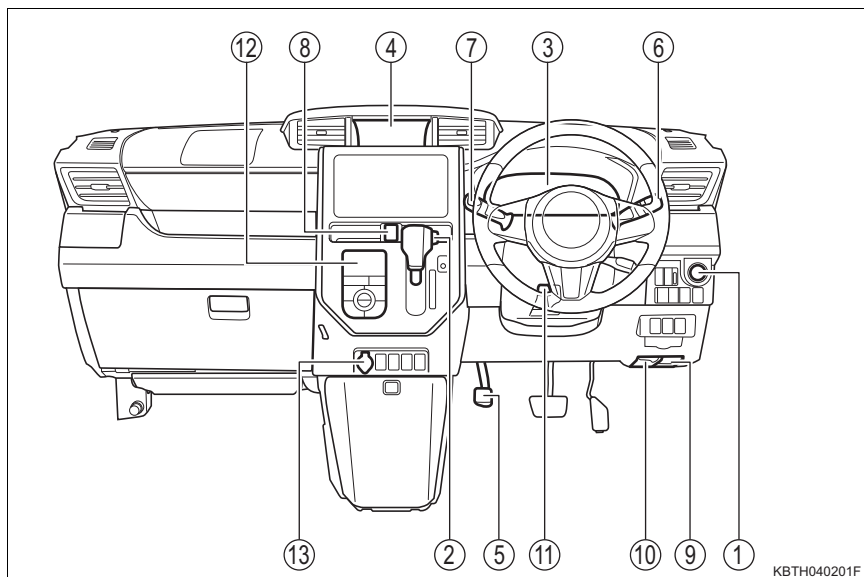
走行に関わる外装のランプバルブ

(交換要領：P. 374, ワット数：P. 454)

- ⑨ ヘッドランプP. 193
- ⑩ 車幅灯.....P. 193
- ⑪ フロントフォグランプ★P. 199
- ⑫ LED ライナー★.....P. 193
- ⑬ 方向指示灯P. 191
- ⑭ 尾灯P. 193
- ⑮ 番号灯.....P. 193
- ⑯ 後退灯
シフトポジションを R にするP. 188

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ インストルメントパネル

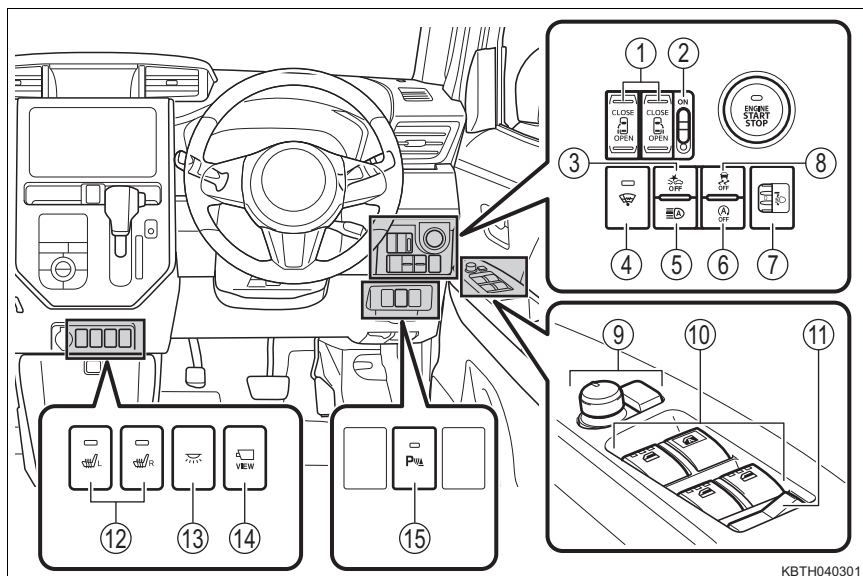


KBTH040201F

- ① **プッシュエンジンスイッチ**P. 183
 - エンジンの始動・モード切りかえP. 184
 - エンジンの緊急停止P. 394
 - エンジンが始動できないときの対処.....P. 439
 - 警告灯・警告メッセージ★.....P. 409, 420
- ② **セレクトレバー**.....P. 188
 - シフトポジションの切りかえ.....P. 188
 - けん引時の注意.....P. 396
 - セレクトレバーが動かないときの対処.....P. 190
- ③ **メーター**.....P. 72
 - 見方・明るさの調整 P. 79, 93
 - 警告灯／表示灯.....P. 66
 - 警告灯点灯時の対処P. 405

- ④ マルチインフォメーションディスプレイ★.....P. 76
TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイ★.....P. 83
表示内容..... P. 76, 83
警告メッセージ表示時の対処★.....P. 411
パノラミックビューモニター★.....P. 264
- ⑤ パーキングブレーキ.....P. 192
かける・解除する.....P. 192
冬期の注意.....P. 293
警告ブザー.....P. 408, 416
- ⑥ 方向指示レバー.....P. 191
ライティングスイッチ.....P. 193
ヘッドランプ・車幅灯・尾灯.....P. 193
フロントフォグランプ★.....P. 199
- ⑦ ワイパー&ウォッシャースイッチ.....P. 200, 202
使い方.....P. 200, 202
ウォッシャー液の補充.....P. 347
- ⑧ 非常点滅表示灯スイッチ.....P. 391
- ⑨ フューエルリッドオープナーレバー.....P. 204
- ⑩ ボンネット解除レバー.....P. 342
- ⑪ ハンドル位置調整レバー.....P. 159
- ⑫ エアコン.....P. 302, 307
操作方法.....P. 302, 307
リヤウインドウの曇り取り
(リヤウインドウデフォグガー).....P. 303, 309
ワイパーデアイサー★.....P. 304, 309
- ⑬ アクセサリーソケット.....P. 333

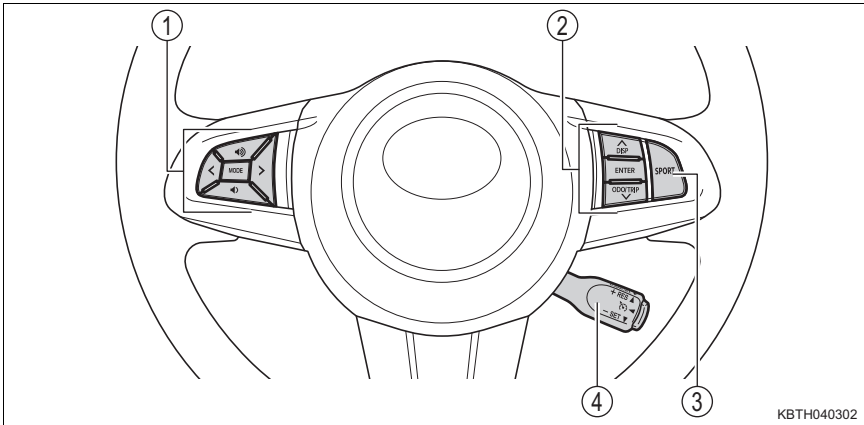
■ スイッチ類



KBTH040301

- ① パワースライドドアスイッチ.....P. 127
- ② パワースライドドアメインスイッチ.....P. 127
- ③ スマートアシスト OFF スイッチ.....P. 212
- ④ ワイパーデアイサースイッチ★.....P. 304, 309
- ⑤ ハイビームアシストスイッチ.....P. 196
- ⑥ アイドリングストップキャンセルスイッチ.....P. 245
- ⑦ 光軸調整ダイヤル★.....P. 194
- ⑧ VSC (VDC) OFF スイッチ.....P. 287, 288
- ⑨ ドアミラースイッチ.....P. 162
- ⑩ パワーウインドゥスイッチ.....P. 166
- ⑪ ウィンドウロックスイッチ.....P. 166
- ⑫ シートヒータースイッチ★.....P. 314
- ⑬ トレイルミネーションスイッチ★.....P. 319
- ⑭ パノラミックビューモニターメインスイッチ★.....P. 264
- ⑮ コーナーセンサースイッチ.....P. 258

■ ステアリングスイッチ

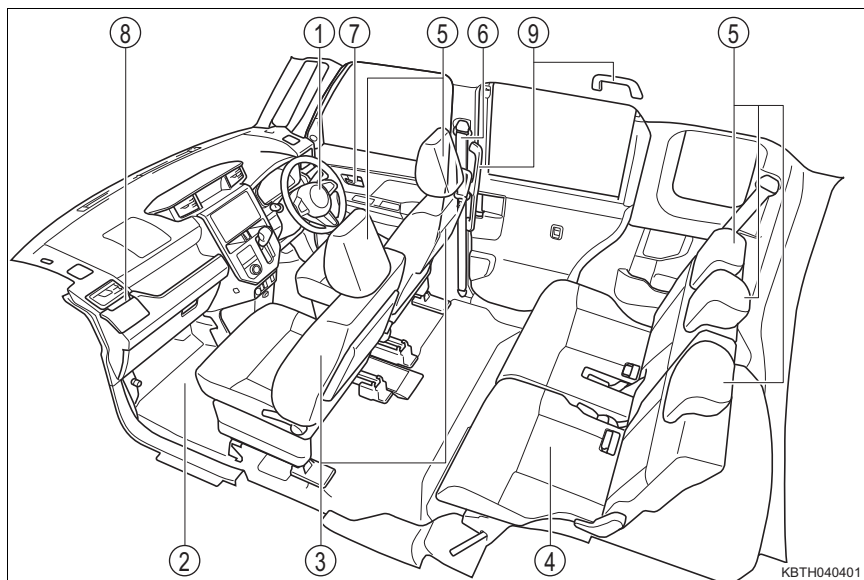


KBTH040302

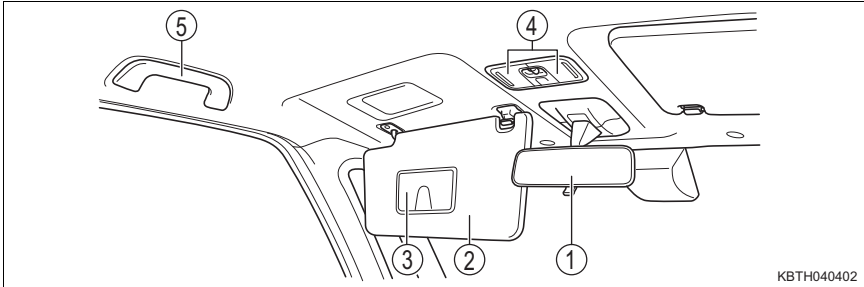
- ① オーディオ操作スイッチ★.....P. 298
- ② メーター操作スイッチ★P. 84
- ③ SPORT モードスイッチ★.....P. 189
- ④ クルーズコントロールシステムスイッチ★.....P. 253

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ 室内



- ① SRS エアバッグP. 35
- ② フロアマットP. 24
- ③ フロントシート.....P. 146
- ④ リヤシートP. 147
- ⑤ ヘッドレストP. 150
- ⑥ シートベルトP. 28
- ⑦ ロックレバーP. 122
- ⑧ カップホルダー.....P. 322
- ⑨ アシストグリップP. 330



KBTH040402

- ① ルームミラーP. 161
- ② サンバイザー※P. 329
- ③ バニティミラー.....P. 329
- ④ フロントマップランプ.....P. 317
- ⑤ アシストグリップP. 330



KBPA040403

助手席サンバイザーに図のようなラベルが貼られています。

助手席には、うしろ向きにチャイルドシートを絶対に取り付けしないでください。

事故などで助手席 SRS エアバッグが膨らんだとき、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。(→ P. 60)

安全・安心のために

～必ずお読みください～

1

1-1. 安全にお使いいただくために

運転する前に.....	24
安全なドライブのために	26
シートベルト.....	28
SRS エアバッグ.....	35
お子さまの安全のために	42
チャイルドシート.....	43
チャイルドシートの 選びかた.....	46
チャイルドシートの 取り付け.....	53
排気ガスに対する注意	62

1-2. 盗難防止装置

イモビライザー (盗難防止用エンジン始動 ロックシステム)	63
---	----

運転する前に

点検整備

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。適切な時期に点検整備を実施し、お車に異常がないことを確認してください。

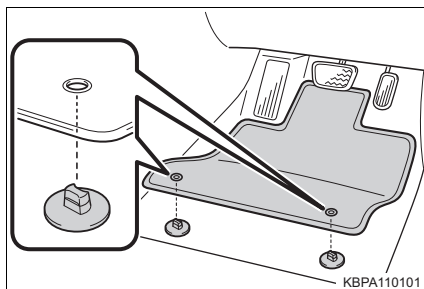
日常点検整備や点検項目などの詳細については、別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

異常が見つかった場合は、スバル販売店で必ず点検整備を受けてください。

フロアマット

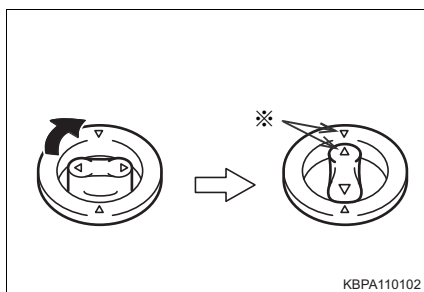
専用のフロアマットを、フロアカーペットの上にしっかりと固定してお使いください。

- 1 固定フック（クリップ）にフロアマット取り付け穴をはめ込む



- 2 固定フック（クリップ）上部のレバーをまわして、フロアマットを固定する

※ △マークを必ず合わせてください。



固定フック（クリップ）の形状はイラストと異なる場合があります。

⚠ 警告

次のことを必ずお守りください。

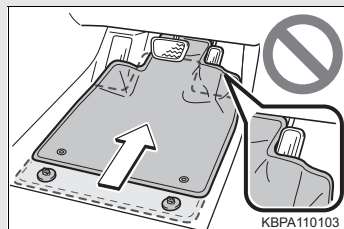
お守りいただかないと、フロアマットがずれて運転中に各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たりお車を停止しにくくなるなど、事故の原因になり重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■運転席にフロアマットを敷くとき

- スバル純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアマットは使用しない
- 運転席専用のフロアマットを使用する
- 固定フック（クリップ）を使って、常にしっかりと固定する
- 他のフロアマット類と重ねて使用しない
- フロアマットを前後逆さまにしたり、裏返して使用しない

■運転する前に

- フロアマットがすべての固定フック（クリップ）で正しい位置にしっかりと固定されていることを定期的に確認し、特に洗車後は必ず確認を行う
- エンジン停止およびセレクトレバーがPの状態、各ペダルを奥まで踏み込み、フロアマットと干渉しないことを確認する

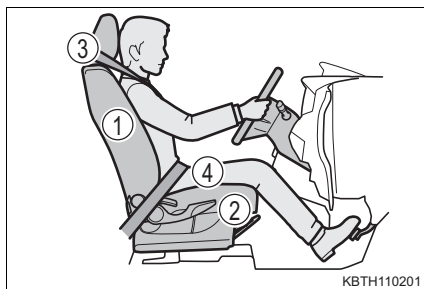


安全なドライブのために

安全に運転するために、走行前にシートやミラーなどを適切に調整してください。

正しい運転姿勢について

- ① まっすぐ座り、運転操作時に体が背もたれから離れないよう、背もたれの角度を調整する
(→ P. 146)
- ② ペダルがしっかりと踏み込め、ハンドルを握ったときにひじが少し曲がるようなシート位置にする
(→ P. 146)
- ③ ヘッドレストの中央が耳のいちばん上のあたりになるようにする
(→ P. 150)
- ④ シートベルトを正しく着用する (→ P. 28)



シートベルトを正しく着用する

すべての乗員は、走行前に必ずシートベルトを正しく着用してください。
(→ P. 28)

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、適切なチャイルドシートをご用意ください。(→ P. 43)

ミラーを調整する

後方が確実に確認できるように、ルームミラー・ドアミラーを正しく調整してください。(→ P. 161, 162)

 警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

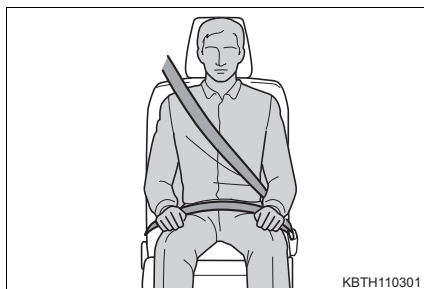
- 走行中は運転席の調整をしないでください。
運転を誤るおそれがあります。
- 背もたれと背のあいだにクッションなどを入れないでください。
正しい運転姿勢がとれないばかりか、衝突したとき、シートベルトやヘッドレストなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- フロントシート（アンダートレイ付きの助手席を除く）の下にものを置かないでください。
ものが挟まるとシートが固定されず、思わぬ事故や調整機構の故障の原因になります。
- 公道を走行するときは、法定速度や制限速度を遵守してください。
- 他の車や歩行者など、周囲の状況に常に注意を払い、安全運転を心がけてください。
- 飲酒運転は絶対にしないでください。お酒を飲むと注意力と判断力がにぶり、思いがけない事故を引き起こすおそれがあります。また、眠気をもよおす薬を飲んだときも運転を控えてください。
- 運転中に携帯電話を使用したり、装置の調節などをしないでください。周囲の状況などへの注意が不十分になり、大変危険です。ハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を運転中に使用することは法律で禁止されています。
- 長距離ドライブの際は、疲れを感じる前に定期的に休憩してください。
また、運転中に疲労感や眠気を感じたときは、無理に運転せず、すみやかに休憩してください。

シートベルト

走行前にすべての乗員は必ずシートベルトを正しく着用してください。

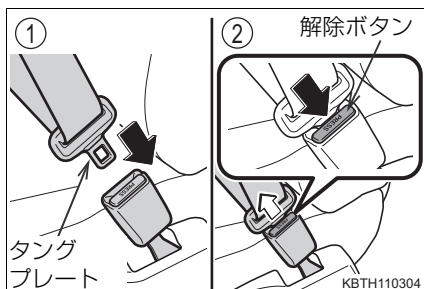
正しく着用する

- 肩部ベルトを肩に十分かける
首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。
- 腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる
- 背もたれを調整し、上体を起こし、深く腰かけて座る
- ねじれがないようにする



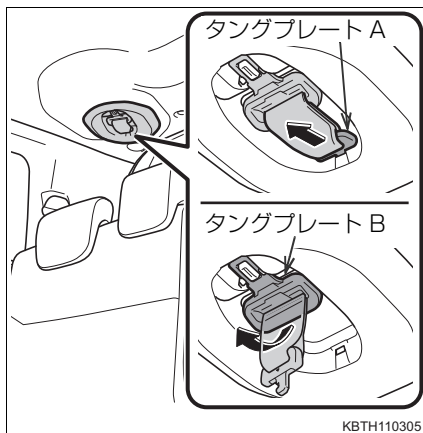
着け方・はずし方（リヤ中央席以外）

- ① ベルトを固定するには、“カチッ”と音がするまでタングプレートをバックルに挿し込む
- ② ベルトを解除するには、解除ボタンを押す

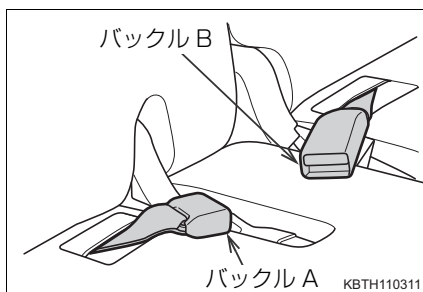


着け方（リヤ中央席）

- 1 タングプレート A を取り出す
- 2 タングプレート B を取り出す
タングプレートの端を矢印の方向に引いて取りはずします。

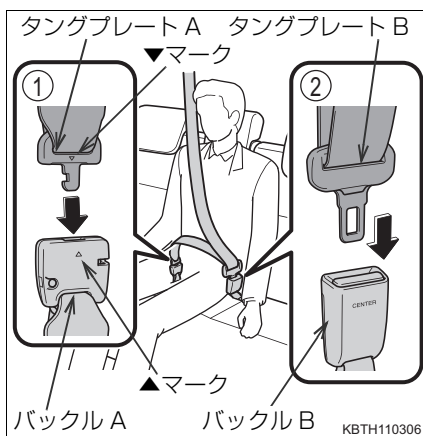


- 3 バックル A とバックル B を取り出す



- 4 ベルトを固定するには、タングプレート A、タングプレート B の順に“カチッ”と音がするまでタングプレートをバックルに挿し込む

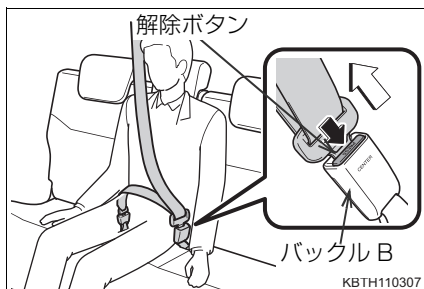
- ① タングプレート A、バックル A
タングプレート A の▼マークとバックル A の▲マークを合わせます。
- ② タングプレート B、バックル B



はずし方・格納の仕方（リヤ中央席）

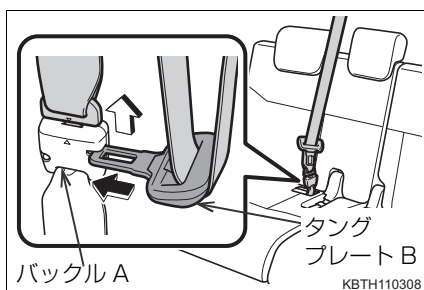
リヤ中央席シートベルトは、リヤシートを折りたたむ場合など必要ときに分離・格納することができます。安全のため、ベルトを分離したときは必ずタングプレートを所定の場所に格納してください。

- 1** バックル B の解除ボタンを押して、ベルトを解除する

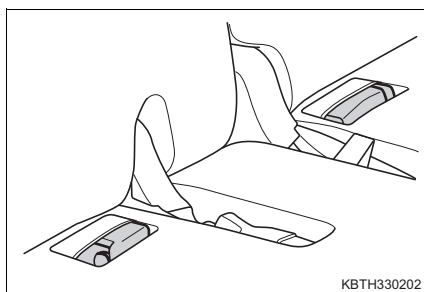


- 2** タングプレート B をバックル A の切り欠きに挿し込み、ベルトを分離する

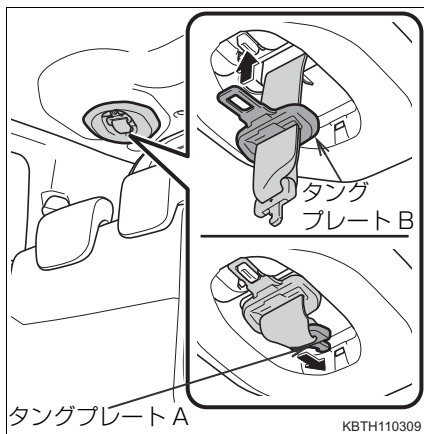
シートベルトを格納するときは、ベルトを持ちながらゆっくり巻きもどします。



- 3** バックルを格納する



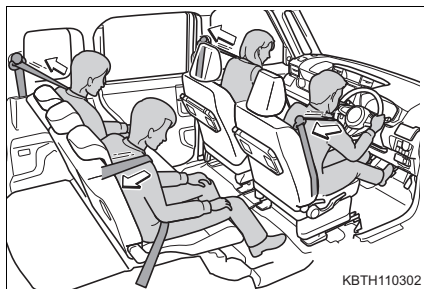
- 4 タングプレート B が確実に固定されるように、ホルダーの突起部に押し込む
- 5 タングプレート A が確実に固定されるまで、しっかりと奥まで押し込む



シートベルトプリテンショナー（フロント席、リヤ左右席★）

前方から強い衝撃を受けたとき、シートベルトを引き込むことで適切な乗員拘束効果を確保します。

前方からの衝撃が弱いときや、横やうしろからの衝撃のときは通常は作動しません。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識**■シートベルトロックの解除方法**

急停止や衝撃があったときベルトがロックされます。急に体を前に倒したり、シートベルトをすばやく引き出してもロックする場合があります。シートベルトがロックしたまま引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、ゆっくり動かせば、ベルトを引き出すことができます。

■お子さまのシートベルトの使い方

このお車のシートベルトは、シートベルトを装着するのに十分な、大人の体格を持った人用に設計されています。

- シートベルトが正しい位置で着用できない小さなお子さまの場合は、お子さまの体に合ったチャイルドシートを使用してください。(→ P. 43)
- シートベルトが正しい位置で着用できるお子さまの場合は、シートベルトの着用のしかたに従ってください。(→ P. 28)

■シートベルトプリテンショナーについて（フロント席、リヤ左右席★）

シートベルトプリテンショナーは一度しか作動しません。玉突き衝突などで連続して衝撃を受けた場合でも、一度作動したあとは、その後の衝突では作動しません。

⚠ 警告

急ブレーキや事故の際のけがを避けるため、次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■シートベルトの着用について

- 全員がシートベルトを着用する
- シートベルトを正しく着用する
- シートベルトは一組につき一人で使用する
お子さまでも一組のベルトを複数の人で使用しない
- お子さまはリヤシートに座らせてシートベルトを着用させる
- 背もたれは必要以上に倒さず、上体を起こし、シートに深く座る
- 肩部ベルトを腕の下に通して着用しない
- 腰部ベルトはできるだけ低い位置に密着させ着用する

警告**■ 妊娠中の女性の場合**

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。(→ P. 28)

通常の着用のしかたと同じように、腰部ベルトが腰骨のできるだけ低い位置にかかるとしてお腹のふくらみの下に、肩部ベルトは確実に肩を通し、お腹のふくらみを避けて胸部にかかるとして着用してください。

ベルトを正しく着用していないと、衝突したときなどに、母体だけでなく胎児までが重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■ 疾患のあるかたの場合**

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。

■ お子さまを乗せるとき

お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。

万一ベルトが首に巻き付いた場合、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

誤ってそのような状態になってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。

■ プリテンショナー付きシートベルトについて

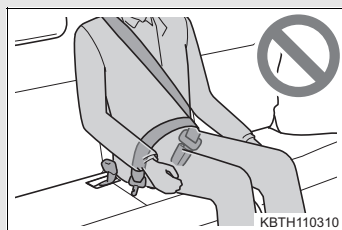
シートベルトプリテンショナーが作動すると、SRS エアバッグ／プリテンショナー警告灯が点滅します。その場合は、シートベルトを再使用することができないため、必ずスバル販売店で交換してください。

警告**■シートベルトの損傷・故障について**

- ベルトやタングプレート・バックルなどは、シートやドアに挟むなどして損傷しないようにしてください。
- シートベルトが損傷したときはシートベルトを修理するまでシートは使用しないでください。
- タングプレートがバックルに確実に挿し込まれているか、シートベルトがねじれていないかを確認してください。うまく挿し込めない場合はただちにスバル販売店に連絡してください。
- もし重大な事故にあったときは、明らかな損傷が見られない場合でも、シート、シートベルトを交換してください。
- プリテンショナー付きシートベルトの取り付けや取りはずし・分解・廃棄などは、スバル販売店以外でしないでください。
不適切に扱うと、正常に作動しなくなるおそれがあります。

■分離格納式シートベルトについて

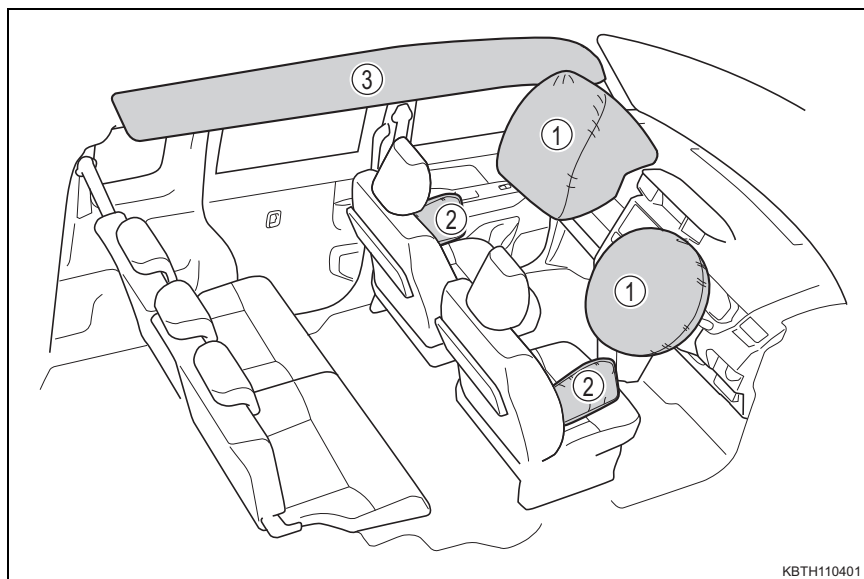
- 分離格納式シートベルトを使用するときは、必ずタングプレート A とバックルを結合してください。結合しない状態で使用すると、シートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- 助手席側のリヤシートを前に倒した状態で、リヤ中央席に座らないでください。倒したシートにリヤ中央席のシートベルトバックルが挟まれるため、正しく装着することができません。事故などの場合にシートベルトが十分な効果を発揮できず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 分離格納式シートベルトを格納するときは、タングプレートを確実に挿し込み、固定してください。正しく格納していないと、走行中にタングプレートが飛び出し、乗員にあたるなどしてけがをするおそれがあります。

SRS エアバッグ

SRS エアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときにふくらみ、シートベルトが体を拘束する働きと併せて乗員への衝撃を緩和させます。



◆ フロント SRS エアバッグ

- ① 運転席 SRS エアバッグ／助手席 SRS エアバッグ
(運転者と助手席乗員の頭や胸などへの衝撃を緩和)

◆ SRS サイド&カーテンエアバッグ★

- ② SRS サイドエアバッグ
(フロント席乗員の胸などへの衝撃を緩和)
- ③ SRS カーテンエアバッグ
(フロント席とリヤ左右席乗員の主に頭部への衝撃を緩和)

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

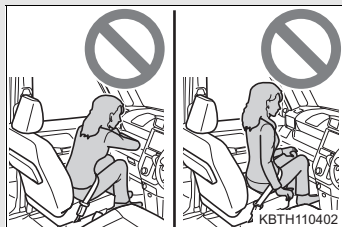
警告

■SRSエアバッグについて

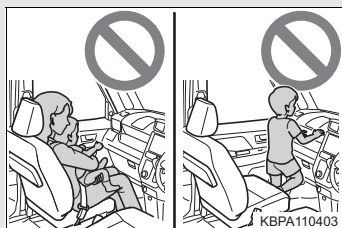
次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

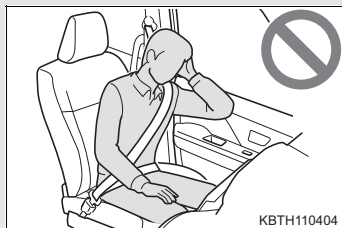
- 運転者と乗員すべてがシートベルトを正しく着用してください。
SRS エアバッグはシートベルトを補助するためのものです。
- 助手席 SRS エアバッグは強い力でふくらむため、シートの背もたれを調整して、シートをできるだけ SRS エアバッグから離し、まっすぐに座ってください。
- 助手席には、うしろ向きにチャイルドシートを絶対に取り付けしないでください。SRS エアバッグが膨らんだときの衝撃で重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまが小さくてシートベルトを使用できないときは、チャイルドシートでしっかり固定してください。お子さまはリヤシートに乗せ、チャイルドシートまたはシートベルトを着用させてください。(→ P. 43)
- シートの縁に座ったり、ダッシュボードにもたれかかったりしない



- お子さまを助手席 SRS エアバッグの前に立たせたり、ひざの上に抱いたりしない
- 運転者および助手席乗員は、ひざの上に何も持たない



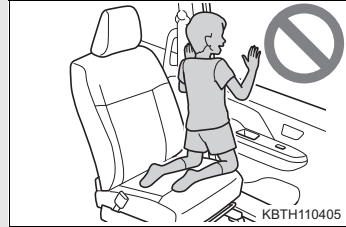
- SRSサイド&カーテンエアバッグ装着車：
ドアやフロントピラー・センターピラー・
リヤピラー・ルーフサイドレールへ寄りか
からない



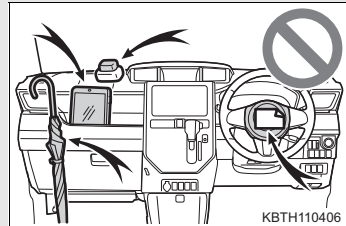
警告

■SRS エアバッグについて

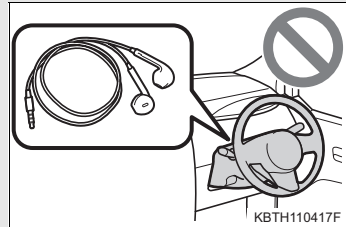
- SRSサイド&カーテンエアバッグ装着車：
助手席やリヤシートでは、ドアに向かって
ひざをついたり、窓から顔や手を出したり
しない



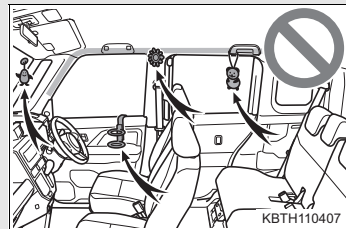
- ダッシュボード・ハンドルのパッド部分や
その周辺には何も取り付けたり、置いたり
しない



- ハンドルやその周辺に物を置いたり、ケー
ブルなどをひっかけたりしないでくださ
い。
スイッチの誤操作を引き起こす原因にな
るおそれがあるだけでなく、SRS エア
バッグシステムが正常に作動しなくなる
おそれがあります。



- SRSサイド&カーテンエアバッグ装着車：
ドア・フロントガラス・ドアガラス・フロ
ントピラーおよびリヤピラー・ルーフサイ
ドレール・アシストグリップなどには何も
取り付けない
(速度制限シールを除く：→ P. 435)



- SRS サイド&カーテンエアバッグ装着車：SRS サイドエアバッグがふくらむ
場所を覆うようなシートアクセサリーを使用しないでください。エアバッグが
作動する際、アクセサリーが干渉するおそれがあります。そのようなアクセサ
リーがエアバッグが正常に作動するのをさまたげ、システムを不能にしたり、
またはエアバッグが誤って作動したりするおそれがあります。

 警告**■ SRS エアバッグについて**

- SRS エアバッグシステム構成部品の周辺は、強くたたかなど過度の力を加えないでください。
SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- SRS エアバッグがふくらんだ直後は、構成部品が熱くなっているため、ふれないでください。
- SRS エアバッグがふくらんだあとに、もし呼吸が苦しく感じたら、ドアやドアガラスを開けて空気を入れるか、安全を確認して車外に出てください。皮膚の炎症を防ぐため、残留物はできるだけ早く洗い流してください。
- SRS サイド&カーテンエアバッグ装着車以外：SRS エアバッグが収納されているパッド部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、そのまま使用せずスバル販売店で交換してください。
- SRS サイド&カーテンエアバッグ装着車以外：SRS エアバッグが収納されているパッド部およびフロントピラー・ガーニッシュ部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、そのまま使用せずスバル販売店で交換してください。

■ 改造・廃棄について

スバル販売店への相談なしに、次の改造・廃棄をしないでください。
SRS エアバッグが正常に作動しなくなったり、誤ってふくらむなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- SRS エアバッグの取りはずし・取り付け・分解・修理
- ハンドル・インストルメントパネル・ダッシュボード・シート・シート表皮・フロントピラー・センターピラー・リヤピラー・ルーフサイドレール周辺の修理・取りはずし・改造
- フロントフェンダー・フロントバンパー・車内側面部の修理・改造
- グリルガード（ブルバー・カンガルーバーなど）・除雪装置・ウインチなどの取り付け
- サスペンションの改造
- CD プレーヤー・無線機などの電化製品の取り付け

知識

■ SRS エアバッグが作動するとき

- SRS エアバッグは高温のガスにより非常に速い速度でふくらむため、すり傷・やけど・打撲などを受けることがあります。
- 作動音と共に白いガスが発生します。
- SRS カーテンエアバッグ装着車以外：フロント席などだけでなく、エアバッグ構成部品（ハンドルのハブ・エアバッグカバー・インフレーター）も数分間熱くなることがあります。エアバッグそのものも熱くなります。
- SRS サイド&カーテンエアバッグ装着車：フロント席・フロントピラー・センターピラー・リヤピラー・ルーフサイドレールの一部などだけでなくエアバッグ構成部品（ハンドルのハブ・エアバッグカバー・インフレーター）も数分間熱くなることがあります。エアバッグそのものも熱くなります。
- フロントウインドウガラスが破損することがあります。

■ SRS エアバッグが作動するとき（フロント SRS エアバッグ）

- フロント SRS エアバッグは、衝撃の強さが設定値（移動も変形もしない固定された壁に、車速約 20 ～ 30km/h で正面衝突した場合の衝撃の強さに相当する値）以上の場合に作動します。
ただし、次のような場合はエアバッグが作動する車速は設定値より高くなります。
 - ・ 駐車している車や標識のような衝撃によって移動や変形するものに衝突した場合
 - ・ もぐり込むような衝突の場合（例えば、車両前部がもぐり込む、下に入り込む、トラックの下敷きになるなど）
- 衝突条件によってはシートベルトプリテンショナーのみ作動する場合があります。

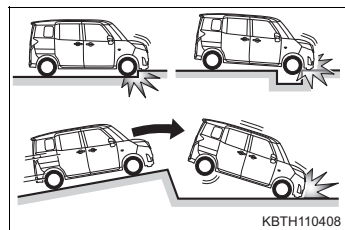
■ SRS エアバッグが作動するとき（SRS サイド&カーテンエアバッグ★）

SRS サイド&カーテンエアバッグは、衝撃の強さが設定値（約 1.5 t の車両が約 50km/h の速度で客室へ直角に衝突した場合の衝撃の強さに相当する値）以上の場合に作動します。

■ 衝突以外で作動するとき（フロント SRS エアバッグ）

次のような状況で車両下部に強い衝撃を受けたときも、フロント SRS エアバッグが作動する場合があります。

- 縁石や歩道の端など、固いものにぶつかったとき
- 深い穴や溝に落ちたり、乗り越えたとき
- ジャンプして地面にぶつかったり、道路から落下したとき

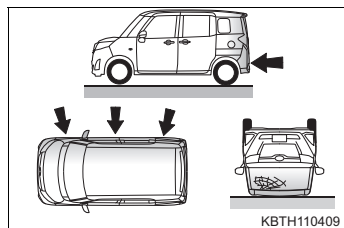


★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ SRS エアバッグが作動しないとき（フロント SRS エアバッグ）

フロント SRS エアバッグは、側面や後方からの衝撃・横転・または低速での前方からの衝撃では、通常は作動しません。ただし、それらの衝撃が前方への減速を十分に引き起こす場合には、フロント SRS エアバッグが作動することがあります。

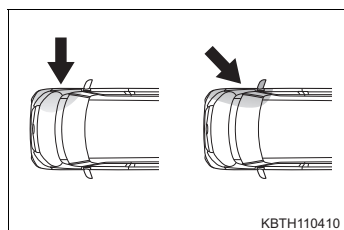
- 側面からの衝突
- 後方からの衝突
- 横転



■ SRS エアバッグが作動しないとき（SRS サイド&カーテンエアバッグ★）

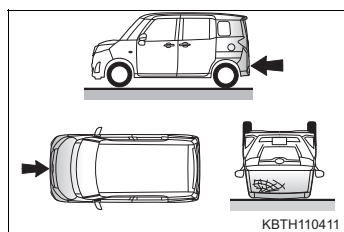
斜めから衝撃を受けた場合や、客室部分以外の側面に衝撃を受けたときには、SRS サイド&カーテンエアバッグが作動しない場合があります。

- 客室部分以外の側面への衝撃
- 斜めからの衝撃



SRS サイド&カーテンエアバッグは、前方や後方からの衝撃・横転・または低速での側面からの衝撃では、通常は作動しません。

- 前方からの衝突
- 後方からの衝突
- 横転

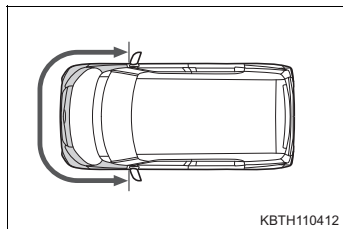


★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

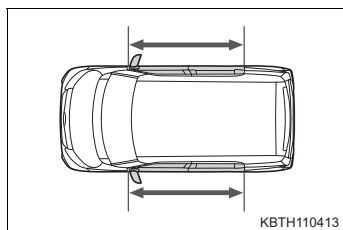
■スバル販売店に連絡が必要な場合

次のような場合には、修理・点検が必要になります。できるだけ早くスバル販売店へご連絡ください。

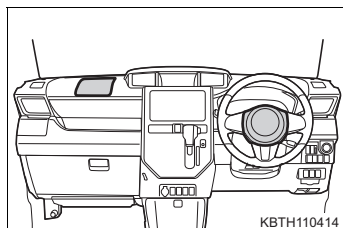
- いずれかの SRS エアバッグがふくらんだとき
- フロントSRSエアバッグはふくらまなかったが、事故で車両の前部を衝突したとき、または破損・変形などがあるとき



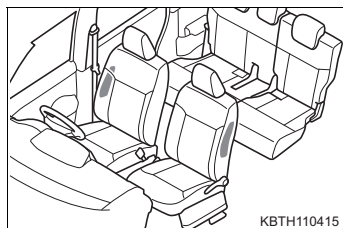
- SRSサイド&カーテンエアバッグはふくらまなかったが、事故でドア部分を衝突したとき、または破損・変形などがあるとき



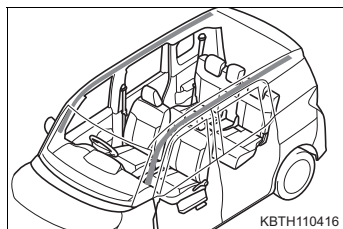
- ハンドルのパッド部分・ダッシュボードの助手席SRSエアバッグ付近が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



- SRS サイドエアバッグが内蔵されているシート表面が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



- SRSカーテンエアバッグが内蔵されているフロントピラー部・リヤピラー部・ルーフサイド部が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



お子さまの安全のために

お子さまを乗せるときは、次のことをお守りください。

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、適切なチャイルドシートをご用意ください。(→ P. 43)
- 運転装置にふれるのを防ぐため、お子さまはリヤシートに乗せてください。
- 走行中にドアを開けたり、パワーウィンドウを誤操作したりしないように、チャイルドブローフ (→ P. 127) ・ ウィンドウロックスイッチ (→ P. 166) をご使用ください。
- 小さなお子さまには、パワーウィンドウ ・ ボンネット ・ スライドドア ・ リヤゲートやシートなど、体を挟まれるおそれがある装備類を操作させないでください。

警告

- お子さまをお車の中に残したままにしないでください。車内が高温になって熱射病や脱水症状になり、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
また、お子さまが車内の装置を操作し、ドアガラスなどに挟まれたり、発炎筒などでやけどしたり、運転装置を動かして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お車にお子さまを乗せる場合は、お子さまの安全を確保するための注意事項やチャイルドシートの取り付け方などをまとめた「チャイルドシートの取り付け」を参照してください。(→ P. 53)

チャイルドシート

チャイルドシートの固定機構を使用して、チャイルドシートを固定することができます。

知っておいていただきたいこと

- お車の仕様やお子さまの年齢・体格に合わせて、適切なチャイルドシートをお選びください。
- チャイルドシートの取り付け方法および取りはずし方は、それぞれのチャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みください。
- このお車は2006年10月1日施行の保安基準に適合したロアアンカレッジを標準装備しています。

チャイルドシートの適合性一覧表について

■ 質量グループについて

ECE R44 ※の基準に適合するチャイルドシートはお子さまの体重により次の5種類に分類されます。

グループ0: 10kg まで

グループ0⁺: 13kg まで

グループI: 9 ~ 18kg

グループII: 15 ~ 25kg

グループIII: 22 ~ 36kg

この本では代表的な次の3種類のチャイルドシートをシートベルトで固定する方法を紹介します。

※ ECE R44 は、チャイルドシートに関する国際法規です。

■ サイズ等級、固定具について

チャイルドシートに表示される分類記号と、それにとまなう取り付け器具の記号になります。

チャイルドシートの種類

スバル純正チャイルドシートは、次のカテゴリーの商品をご用意しています。詳しくはスバル販売店にご相談ください。

▶ チャイルドシート

体重の目安：～ 18kg

新保安基準のグループ 0、0⁺および I に適しています。



KBTH110602F

▶ ジュニアシート(ベルト固定専用)

体重の目安：15 ～ 36kg

年齢の目安：3 ～ 12 歳

新保安基準のグループ II、III に適しています。



KBTH110603F

■ チャイルドシートの固定装置

⚠ 警告

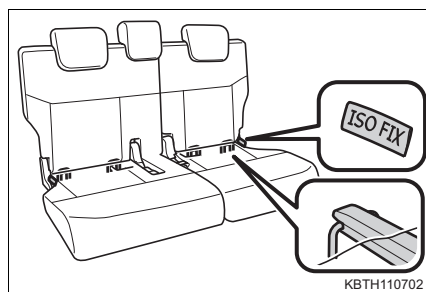
■ チャイルドシートの固定装置について

- 必ずロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジまたはサポートレッグをセットで使用してください。セットで使用しない場合は、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ISOFIX チャイルドシートを取り付ける際は、次の部分に異物やシートベルトの噛み込みがないことを確認してください。
シートベルトや異物が噛み込んだ場合、確実にロックされず、衝撃を受けたときに重大な傷害につながるおそれがあります。
 - ・ ロアアンカレッジ
 - ・ ベースシートのロック部
 - ・ テザーベルトのフック
- 詳しくは、チャイルドシート（別売）に付属の取扱説明書をお読みください。

▶ ロアアンカレッジ

ロアアンカレッジ (→ P. 53)

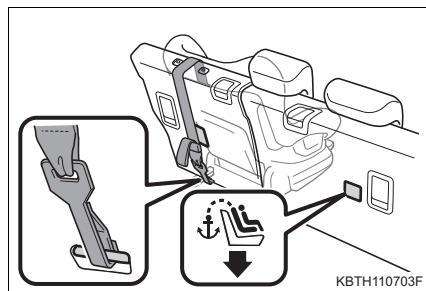
リヤ外側シートに装備されています。
(固定専用バーが装備されていること
を示すタグがシートに付いています)



▶ トップテザーアンカレッジ

トップテザーアンカレッジ
(→ P. 53)

テザーベルトを固定するときに使いま
す。
トップテザーアンカレッジはリヤシー
トの外側の座席に装備されています。



▶ サポートレッグ

ロアアンカレッジ&サポートレッグによる固定 (→ P. 56)

チャイルドシートの選びかた

次の適合性一覧表から、各シート位置で「どのチャイルドシート」が使用できるかを選択してください。

- ロアアンカレッジ方式で固定するチャイルドシートについて

適合性一覧表：ISOFIX 方式での取り付け（→ P. 53）

- シートベルトで固定するチャイルドシートについて

適合性一覧表：シートベルトを使用して取り付け（→ P. 57）

知識

お子さまに適切なチャイルドシートについては、スバル販売店、チャイルドシート製造業者、または販売店にご相談ください。

ロアアンカレッジ方式で固定するチャイルドシートについて

リヤシートの左右席には、幼児用（チャイルド）のスバル純正 ISOFIX チャイルドシートを固定するための専用のロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジが装備されています。

■ 適合性一覧表（ISOFIX 方式での取り付け）

お子さまの体格に合わせ、チャイルドシートを適切にご使用ください。

質量グループ	サイズ等級	固定具	車両 ISOFIX 位置
			リヤ左右席
キャリコット	F	ISO/L1	×
	G	ISO/L2	×
O（10kg まで）	E	ISO/R1	IL1 ※ 1,2
O+（13kg まで）	E	ISO/R1	IL1 ※ 1,2
	D	ISO/R2	IL1 ※ 1,2
	C	ISO/R3	IL1 ※ 1,2
I（9～18kg）	D	ISO/R2	×
	C	ISO/R3	×
	B	ISO/F2	IL2 ※ 1,2 または IUF ※ 1,2
	B1	ISO/F2X	IL2 ※ 1,2 または IUF ※ 1,2
	A	ISO/F3	IL2 ※ 1,2 または IUF ※ 1,2
II（15～25kg）		(1)	×
III（22～36kg）		(1)	×

● 表に記入する文字の説明

(1) : サイズ等級表示 (A から G) のないチャイルドシートの各シート位置での ISOFIX 対応チャイルドシート固定機構の取り扱いについては、チャイルドシート製造業者または販売業者にご相談ください。

IUF : この質量グループでの使用を許可された汎用 (ユニバーサル) カテゴリーの ISOFIX 対応の前向きチャイルドシートに適しています。

IL1 : スバル純正 ISOFIX チャイルドシート (うしろ向き)

IL2 : スバル純正 ISOFIX チャイルドシート (前向き)

× : ISOFIX チャイルドシートを取り付けることはできません。

※¹ : リヤシートの背もたれを直立状態にして、スライドをいちばんうしろから前方へ 5 段目の固定位置に調整してください。

※² : ヘッドレストを取りはずして使用してください。

● 取り付け可能なチャイルドシート

質量グループ	サイズ 等級	固定具	ISOFIX チャイル ルドシート	使用の 向き	カテゴリー
0 (10kg まで)	E	ISO/R1	スバル純正 ISOFIX チャイルド シート	うしろ 向き	準汎用
0 ⁺ (13kg まで)	E	ISO/R1			
	D	ISO/R2			
	C	ISO/R3			
I (9 ～ 18kg)	B	ISO/F2		前向き	
	B1	ISO/F2X			
	A	ISO/F3			

 知識

■ ロアアンカレッジについて

このお車に標準装備されているロアアンカレッジは、ECE R44 に適合しているチャイルドシート取り付け専用です。それ以外のものを使用することはできません。

■ チャイルドシートの選択、使用について

- お子さまに最適なチャイルドシートについては、チャイルドシート製造業者、または販売業者にご相談ください。
- お子さまが成長し、適切にシートベルトが着用できるようになるまでは、お子さまに合ったチャイルドシートを使用してください。
- 体が十分大きく、チャイルドシートが不必要なお子さまも、リヤシートに乗せてお車のシートベルトを使用してください。

■ シートベルトで取り付けるタイプのチャイルドシートの選択について

「シートベルトで固定するチャイルドシートについて」(→ P. 51)を参照し、チャイルドシートを取り付け可能な位置と、対応するチャイルドシートの種類(記号)をご確認の上、適したものを選択してください。

■ ECE R44 適合の ISOFIX 対応チャイルドシートの選択について

「ロアアンカレッジ方式で固定するチャイルドシートについて」(→ P. 46)を確認して、適切なシートを選択してください。

① お子さまの体重から、該当する「質量グループ」を確認する

(例 1) : 体重が 12kg の場合、質量グループは「0⁺」になります。

(例 2) : 体重が 15kg の場合、質量グループは「I」になります。

② サイズ等級を選択する

手順①で確認した「質量グループ」から該当するサイズ等級を確認します。※

(例 1) : 質量グループが「0⁺」の場合、サイズ等級は「C」・「D」・「E」が該当します。

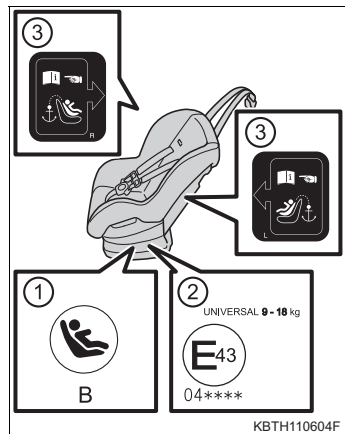
(例 2) : 質量グループが「I」の場合、サイズ等級は「A」・「B」・「B1」・「C」・「D」が該当します。

※ ただし、該当のサイズ等級でも適合性一覧表の「車両 ISOFIX 位置」に「×」と記載されているものは選択できません。また、「IL」と記載されている場合は、「ロアアンカレッジ方式で固定する取り付け可能なチャイルドシート」(→ P. 47)で指定されている製品を使用してください。

- ③ チャイルドシートに表示されているマーク／ラベルを確認して、基準に適合したシートであることを確認する

汎用（ユニバーサル）チャイルドシートには、次に示すマーク・ラベル類が表示されています。※

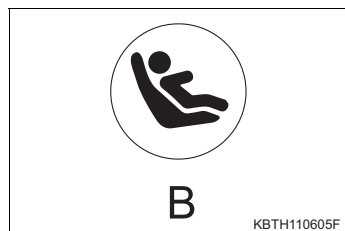
※ 表示されている位置・記号などは、商品により異なります。



- ① ISOFIX 対応チャイルドシートであることを示す表示

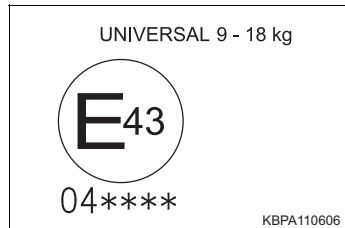
サイズ等級が示されています。（表示される文字は、製品により異なります）

手順②で確認したサイズ等級に適合しているものを選択してください。



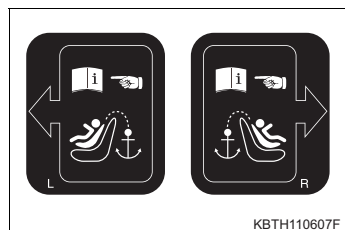
- ② 汎用（ユニバーサル）チャイルドシートの認可マーク

UNIVERSAL は汎用品の認可であることを表し、併せて、対象となるお子さまの体重の範囲が記載されています。



- ③ テザー（→ P. 45）を示すマーク

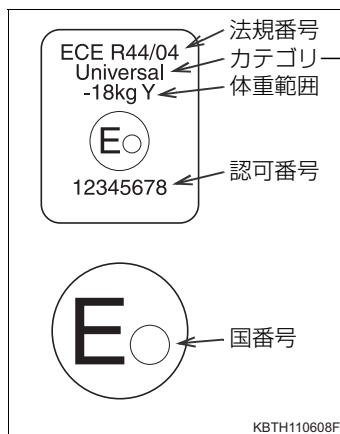
商品の取り付け装置の位置により、意匠は異なります。



■ ISOFIX 対応チャイルドシートの種類（サイズ等級別）

A-ISO/F3	全高前向き幼児用チャイルドシート
B-ISO/F2	低型前向き幼児用チャイルドシート
B1-ISO/F2X	低型前向き幼児用チャイルドシート (B-ISO/F2 と別形状のもの)
C-ISO/R3	大型後向き幼児用チャイルドシート
D-ISO/R2	小型後向き幼児用チャイルドシート
E-ISO/R1	後向き乳児用チャイルドシート
F-ISO/L1	左向き位置用チャイルドシート（キャリコット）
G-ISO/L2	右向き位置用チャイルドシート（キャリコット）

- 「IU」のチャイルドシートには、ECE R44 認可表示と取扱説明書に「UNIVERSAL ISOFIX」と案内があります。
- スバル純正のチャイルドシートをご用意しています。ご購入およびご使用に際してはスバル販売店にご相談ください。



■ キャリコットについて

キャリコットは横向きに取り付けることのできるベビーシートのことです。詳しくはチャイルドシート製造業者または販売業者にお尋ねください。

⚠ 警告

■ チャイルドシートを使用しない場合

- チャイルドシートを使用しないときであっても、シートに適切にしっかりと取り付けた状態にしてください。ゆるめた状態で客室内に置くことは避けてください。
- チャイルドシートの取りはずしが必要な場合は、車両からはずして保管するか、カーゴルーム内に容易に動かないように収納してください。

シートベルトで固定するチャイルドシートについて

■ 適合性一覧表（シートベルトを使用して取り付け）

お子さまの体格に合わせ、チャイルドシートを適切にご使用ください。

質量グループ	着席位置（または他の場所）		
	フロントシート	リヤシート	
	助手席	左右席	中央席
0（10kg まで）	×	U※ ¹	×
0 ⁺ （13kg まで）	×	U※ ¹	×
I（9～18kg）	×	U※ ^{1,2}	×
II（15～25kg）	×	U※ ^{1,2}	×
III（22～36kg）	×	U※ ^{1,2}	×

● 表に記入する文字の説明

U： この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリのチャイルドシートに適しています。

×： チャイルドシートを取り付けることはできません。

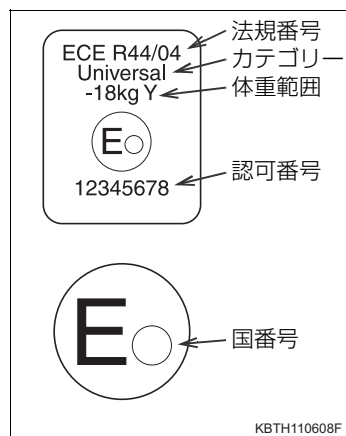
※¹： リヤシートの背もたれを直立状態にしてください。

※²： ヘッドレストを取りはずして使用してください。

● 取り付け可能なチャイルドシート

質量グループ	チャイルドシート	使用の向き	カテゴリー
0（10kg まで）	スバル純正チャイルドシート	うしろ向き	汎用
0 ⁺ （13kg まで）		前向き	
I（9～18kg）			
II（15～25kg）	スバル純正ジュニアシート	前向き	汎用
III（22～36kg）			

- チャイルドシートに関する国際的な安全基準である ECE R44 に適合しているチャイルドシートには、シートベルトで固定する機構が付いています。詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みください。
- チャイルドシートを購入する際は、質量グループに一致した商品をお選びください。
- 「U」、「UF」のチャイルドシートには、ECE R44 認可表示と取扱説明書に「UNIVERSAL」（汎用）と案内されているものもあります。



- スバル純正のチャイルドシートをご用意しています。ご購入およびご使用に際してはスバル販売店にご相談ください。

チャイルドシートの取り付け

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、チャイルドシートをお使いください。お子さまの安全のために、チャイルドシートはリヤシートに取り付けてください。

6歳未満のお子さまはチャイルドシートの着用が法律で義務付けられています。

詳しくは、チャイルドシート（別売）に付属の取扱説明書に必ず従ってください。

ロアアンカレッジ&トップテザーアンカレッジによる固定

■ スバル純正 ISOFIX チャイルドシート（テザー式）を前向き（幼児用）として使用する場合

詳しい取り付け、取りはずし方法については、別売のスバル純正 ISOFIX チャイルドシート（テザー式）に付属の取扱説明書をお読みください。

⚠ 警告

- 必ずロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジをセットで使用してください。セットで使用しない場合は、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 詳しくは、チャイルドシート（別売）に付属の取扱説明書をお読みください。
- ISOFIX チャイルドシートを取り付ける際は、ロアアンカレッジおよびベースシートのロック部にシートベルトや異物の噛み込みがないことを確認してください。
シートベルトや異物が噛み込んだ場合、確実にロックされず、衝撃を受けたときに重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

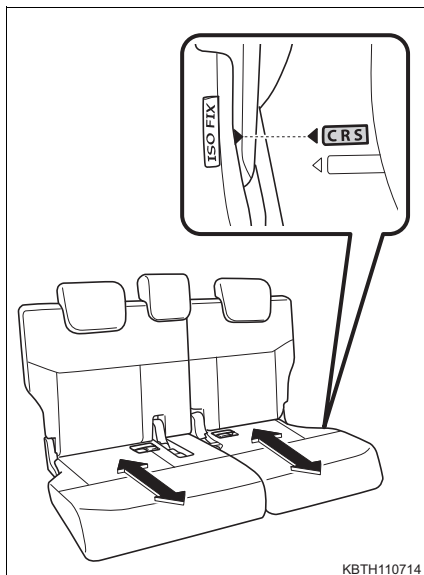
チャイルドシートを取り付ける際に、可動部などに手を挟まないよう、気を付けてください。

ロアアンカレッジ&トップテザーアンカレッジで固定する

1 背もたれを一度前に倒し、一段目の固定位置まで起こす

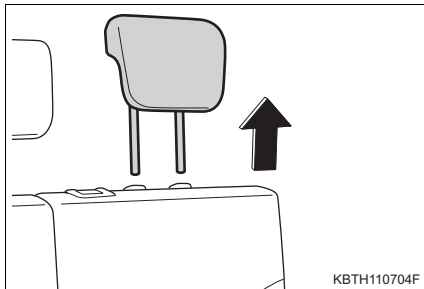
2 指定の位置までスライドを調整する

シートをいちばんうしろにさげてから、▶マークを前方へ5段目固定位置の◀(CRS)マークに合わせてください。



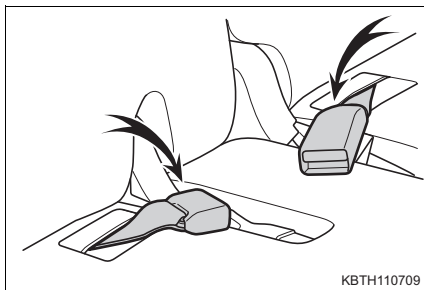
KBTH110714

3 ヘッドレストを取りはずす
(→ P. 150)



KBTH110704F

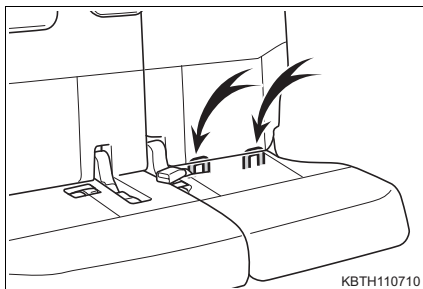
4 チャイルドシートを取り付ける側のリヤ中央席シートベルトのバックルを車両中央側に向けて取り出す



KBTH110709

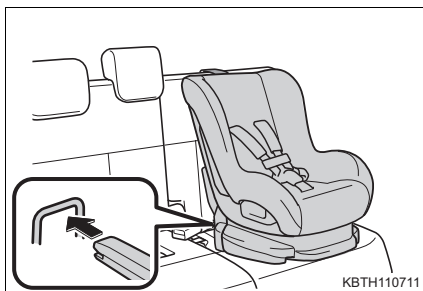
5 ロアアンカレッジの位置を確認する

ロアアンカレッジは、シートクッションの奥にあります。

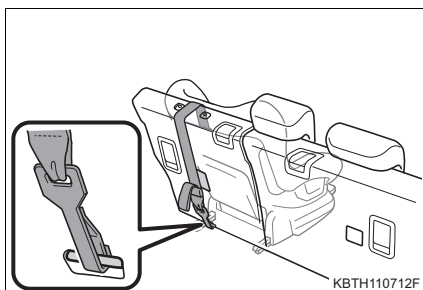
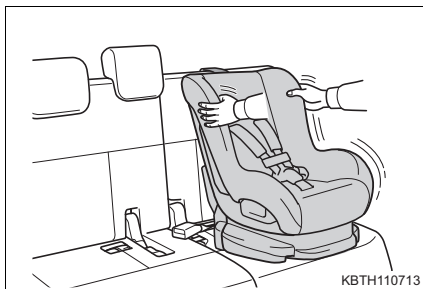
**6** チャイルドシートをシートに取り付ける

チャイルドシートの取り付け金具をチャイルドシートロアアンカレッジに取り付けます。

取り付け方法は、それぞれのチャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。

**7** トップテザーアンカレッジにフックを固定し、テザーベルトを締める

テザーベルトをピンと張り、フックがしっかり固定されていることを確認します。

**8** 取り付けしたチャイルドシートを前後左右にゆさぶり、固定されていることを確認する

ロアアンカレッジ&サポートレッグによる固定

■ ISOFIX チャイルドシート（サポートレッグ式）を使用する場合

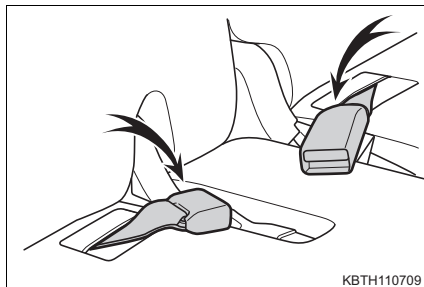
詳しい取り付け、取りはずし方法については、別売の ISOFIX チャイルドシート（サポートレッグ式）に付属の取扱説明書をお読みください。

警告

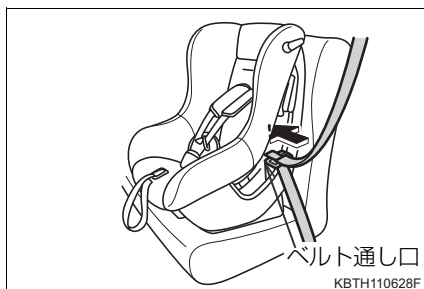
- 必ずロアアンカレッジとサポートレッグをセットで使用してください。セットで使わない場合は、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 詳しくは、チャイルドシート（別売）に付属の取扱説明書をお読みください。
- ISOFIX チャイルドシートを取り付ける際は、ロアアンカレッジおよびベースシートのロック部にシートベルトや異物の噛み込みがないことを確認してください。
シートベルトや異物が噛み込んだ場合、確実にロックされず、衝撃を受けたときに重大な傷害につながるおそれがあります。
- チャイルドシートを取り付ける際に、可動部などに手を挟まないよう、気をつけてください。

シートベルトによる固定

- 1 背もたれを一度前に倒し、一段目の固定位置まで起こす
- 2 シートをいちばんうしろにさげる
- 3 チャイルドシートを取り付けるシートのヘッドレストを取りはずす
- 4 チャイルドシートを取り付ける側のリヤ中央席シートベルトのバックルを車両中央に向けて取り出す



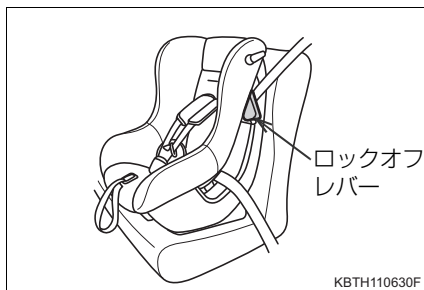
- 5 チャイルドシートを、リヤシートの外側席にまっすぐに置く
- 6 チャイルドシート背面のベルト通し口に、シートベルトをねじれないように通す



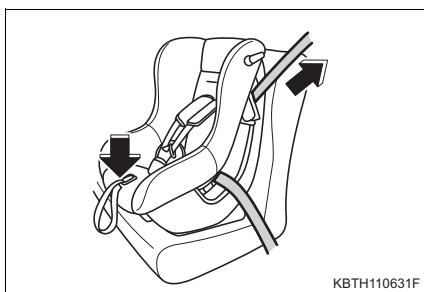
- 7 シートベルトのタングプレート（舌板）をバックルの中へ、「カチッ」と音がするまで差し込む



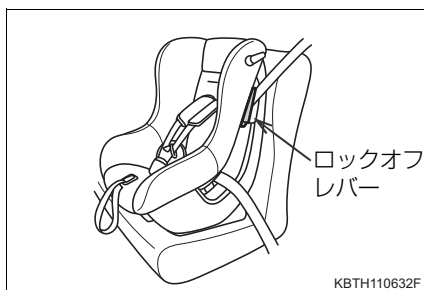
- 8 チャイルドシートのロックオフレバーを開き、肩ベルトをロックオフレバーの下に通す



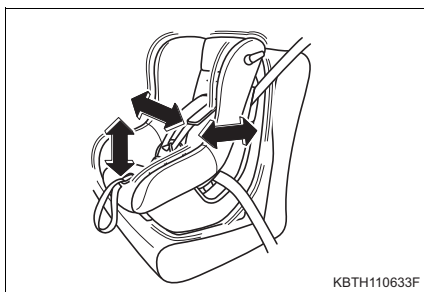
- 9 チャイルドシートに体重をかけてリヤシートに押しつけながら、肩ベルトをたるみがなくなるまで巻き取らせる



- 10 チャイルドシートのロックオフレバーを閉じ、肩ベルトを固定する

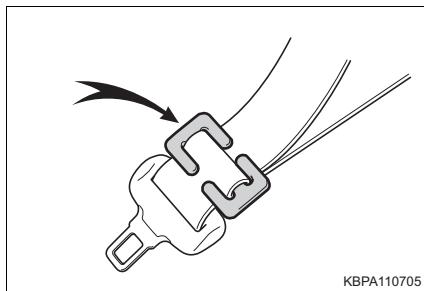


- 11 チャイルドシートやシートベルトが確実に固定されていることを前後左右にゆさぶり確認する
ぐらつきがある場合は手順 5 からやりなおしてください。



チャイルドシートにシートベルトの固定装置が備わっていない場合は、ロッキングクリップを使用して固定する

取り付けあとはチャイルドシートを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認します。



■ 解除のしかた

バックルの「PRESS」ボタンを押して、シートベルトをはずす

□ 知識

● 詳しい取り付け、取りはずし方法については、それぞれのチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

● ロッキングクリップについて、詳しくはスバル販売店にご相談ください。

【固定のしかたは代表例です。また、イラストは説明のための物であり、実際のチャイルドシートの形状とは異なります。】

⚠ 警告

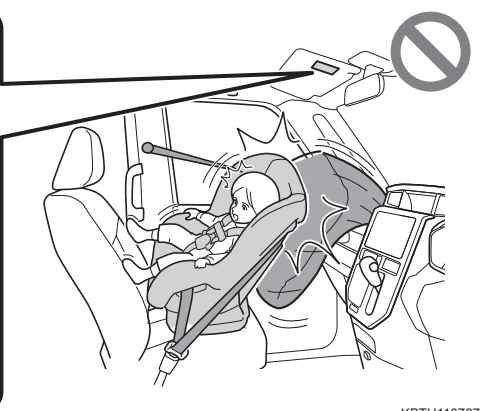
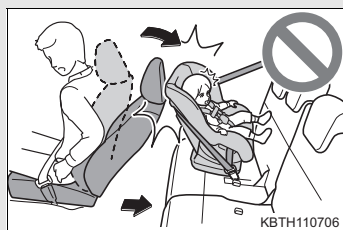
■ チャイルドシートについて

- 事故や急停止の際、効果的にお子さまを保護するために、必ずお子さまの年齢や体の大きさに合ったシートベルトまたはチャイルドシートを使用してください。お子さまを腕の中に抱くのはチャイルドシートのかわりにはなりません。事故の際、お子さまがフロントガラスや乗員、車内の装備にぶつかり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- お子さまの年齢や体の大きさに合ったチャイルドシートを使用して、リヤシートに取り付けてください。
- SRS サイド&カーテンエアバッグ装着車：チャイルドシートに座らせている場合でも、ドア・シート・フロントピラー・センターピラー・リヤピラー・ルーフサイドレール付近にお子さまの頭や体のどの部分ももたれかけないようにしてください。SRS エアバッグがふくらんだ場合、大変危険であり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- チャイルドシートによっては、取り付けができない、または取り付けが困難な場合があります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書をよくお読みの上、確実に取り付け、使用方法をお守りください。使用方法を誤ったり、確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突時などに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⚠ 警告

■チャイルドシートを取り付けるとき

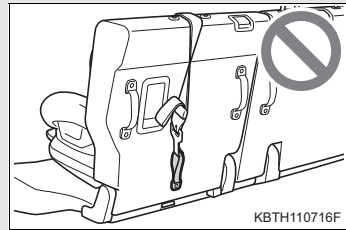
- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。万一ベルトが首に巻き付いた場合、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
誤ってそのような状態になってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。
- シートベルトのタングプレートとバックルがしっかり固定されて、ベルトがねじれていないか確認してください。
- チャイルドシートを前後左右にゆすって、しっかり固定されているか確認してください。
- チャイルドシートを固定したあとは、シートを調整しないでください。
- 運転席とチャイルドシートが干渉し、チャイルドシートが正しく取り付けられない場合は、助手席側のリヤシートに取り付けてください。
- 助手席シートとチャイルドシートが干渉しないように、助手席シートを調整してください。
- チャイルドシートはリヤシートに取り付けてください。
- 助手席には、うしろ向きにチャイルドシートを絶対に取り付けないでください。SRS エアバッグが膨らんだときの衝撃で重大な傷害を受けるおそれがあります。



⚠ 警告

■チャイルドシートを取り付けるとき

- ジュニアシートを使用している場合は、肩部ベルトが常にお子さまの肩の中心にくるようにしてください。ベルトを首から離すと共に肩から落ちないようにしてください。お守りいただかないと、事故や急ブレーキの際に重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ロアアンカレッジを使用するときは、周辺に障害物がないか、シートベルトが挟まっていないかなどを確認してください。
- トップテザーアンカレッジでチャイルドシートを取り付けるときは、リヤシートのヘッドレストを取りはずしてから、トップテザーアンカレッジに固定してください。
- テザーベルトのフックは、必ずトップテザーアンカレッジに固定してください。誤ってストラップなどに固定すると、衝突したときなどにシートが損傷したり、チャイルドシートがしっかり固定されず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- トップテザーアンカレッジでチャイルドシートを取り付けるときは、ヘッドレストを取りはずしてトップテザーアンカレッジに固定したあとに、ヘッドレストを取り付けしないでください。ヘッドレストを下げると、テザーベルトがヘッドレストに当たってたるみ、衝突したときなどにチャイルドシートが動いて重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ヘッドレストを取りはずしたときは、安全な場所にしっかりと固定しておいてください。

■チャイルドシートを使用しないときは

- 車両にチャイルドシートを搭載するときは、適切な方法で確実にシートに取り付けてください（→ P. 53）。チャイルドシートを使用しない場合でも、シートにしっかりと固定されていない状態で、客室内に置くことは避けてください。
- チャイルドシートの取りはずしが必要な場合は、車両から降ろして保管するか、カーゴルーム内に収納し、しっかりと固定しておいてください。

⚠ 注意

■チャイルドシートを取り付けるときは

チャイルドシートを取り付ける側のリヤ中央席シートベルトのバックルを車両中央に向けて取り出して、チャイルドシートを取り付けたときにリヤ中央席のバックルがチャイルドシートとシートに挟まらないようにしてください。リヤ中央席のバックルが破損するおそれがあります。

排気ガスに対する注意

排気ガスには吸引すると人体に有害な物質が含まれています。

⚠ 警告

排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素（CO）が含まれているため、次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、排気ガスが車内に侵入し、多量の排気ガスが眠気を招き事故の原因となるほか、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 走行中の留意事項

リヤゲートを閉じてください。

リヤゲートが閉じているのに車内で排気ガス臭がするときは、ドアガラスを開けて空気を入れかえ、すみやかにスバル販売店で点検整備を受けてください。

■ 駐車するとき

- 車庫内など換気が悪い場所や囲まれた場所では、エンジンを停止してください。
- 長時間エンジンをかけたままにしないでください。
やむを得ないときは、開かれた場所にお車を止め、排気ガスが車内に入っていないことを確認してください。
- 降雪時や雪が積もった場所では、エンジンをかけたままにしないでください。
まわりに積もった雪で排気ガスが滞留して、車内に侵入するおそれがあります。

■ 排気管について

排気管は定期的に点検する必要があります。排気管等の腐食などによる穴や亀裂、および継ぎ手部の損傷、また、排気音の異常などに気付いた場合は、必ずスバル販売店で点検を受けてください。

イモビライザー (盗難防止用エンジン始動ロックシステム)

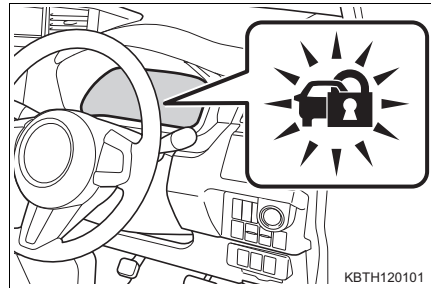
キーに信号発信機が内蔵しており、あらかじめ登録されたキー以外ではエンジンを始動できません。

車両から離れる場合は、車内にキーを残さないでください。

このシステムは車両盗難の防止に寄与する機能であり、すべての車両盗難に対する完全なセキュリティを保証するものではありません。

プッシュエンジンスイッチを OFF にすると、システムの作動を知らせるためにセキュリティ表示灯が点滅します。

登録されたキーを携帯し、プッシュエンジンスイッチをアクセサリモードまたはイグニッション ON モードにするとシステムが解除され、セキュリティ表示灯が消灯します。



知識

■メンテナンスについて

イモビライザー（盗難防止用エンジン始動ロックシステム）のメンテナンスは不要です。

■システムが正常に作動しないとき

- キーが金属のものに接したり、覆われているとき
- キーが他の車両のセキュリティ用キー（信号発信機内蔵キー）と重なっているときや接近しているとき

⚠ 注意

■イモビライザー（盗難防止用エンジン始動ロックシステム）を正常に作動させるために

システムの改造や取りはずしをしないでください。システムが正常に作動しないおそれがあります。

メーターの見方

2

2. 計器の見方

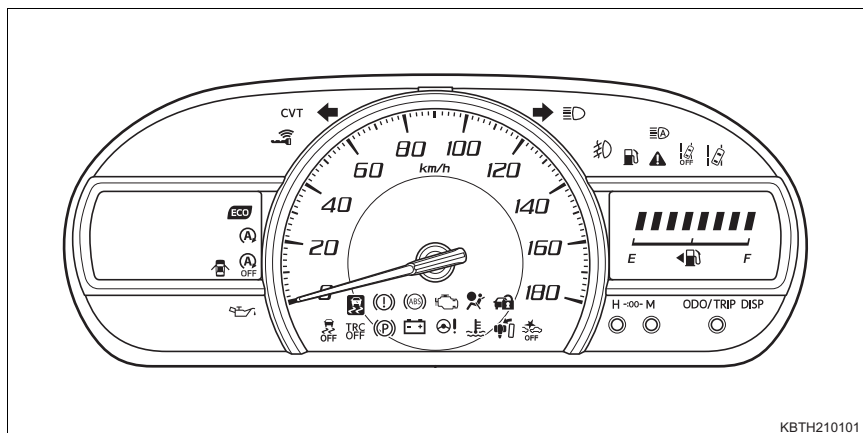
警告灯／表示灯	66
計器類	72
マルチインフォメーション ディスプレイ	76
TFT カラーマルチ インフォメーション ディスプレイ	83

警告灯／表示灯

メーター内の警告灯／表示灯でお車の状況をお知らせします。
次のイラストは、説明のためすべての警告灯／表示灯を示しています。

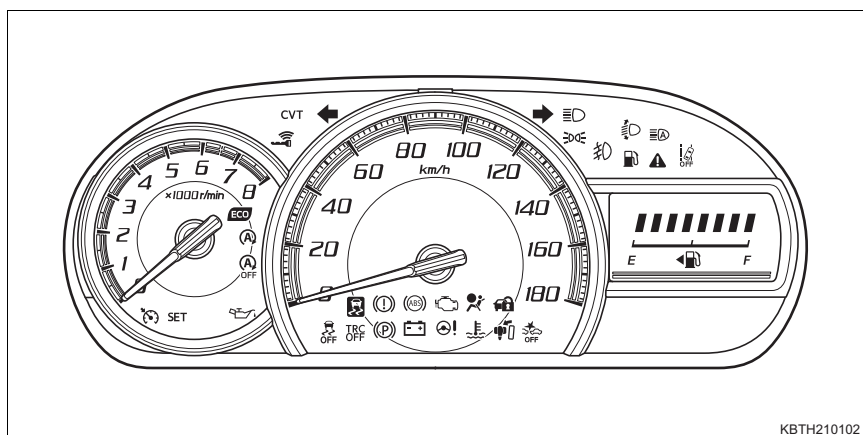
◆ メーター

▶ タコメーター装着車以外



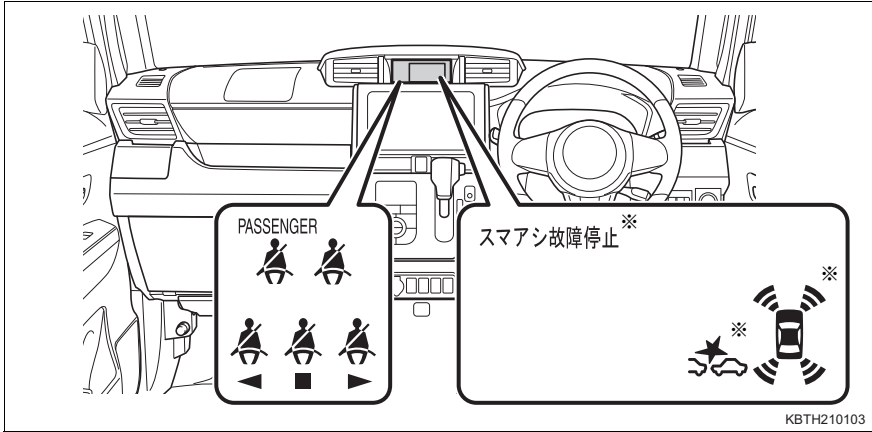
KBTH210101

▶ タコメーター装着車



KBTH210102

◆ インストルメントパネル中央



※タコメーター装着車以外

警告灯

システム異常などを警告します。

※ 1
ブレーキ警告灯
(→ P. 405)※ 1
SRS エアバッグ/
プリテンショナー警告灯
(→ P. 405)※ 1
チャージ警告灯
(→ P. 405)※ 1
ABS 警告灯 (→ P. 406)※ 1
オイルプレッシャー
警告灯 (→ P. 405)

(赤/黄)

※ 1
ステアリング制御警告灯
(→ P. 406)

(赤色)

※ 1
高水温警告灯 (→ P. 405)※ 1
ハイビームアシスト警告灯
(黄色)
(→ P. 406)※ 1
エンジン警告灯
(→ P. 405)※ 1 ※ 2
スマートアシスト OFF
表示灯
(→ P. 406)

(点滅)

※ 1
CVT 警告灯
(→ P. 405)※ 1 ※ 3
車線逸脱警報 OFF 表示灯
(→ P. 406)

※ 1 ※ 4



マスターウォーニング
(→ P. 406)

※ 1 ※ 8



キーレスアクセス警告灯
(→ P. 407)

※ 9



スマートアシスト故障
警告灯
(→ P. 406)

※ 1



ブレーキオーバーライド
システム警告灯
(→ P. 407)

※ 9



スマートアシスト
停止警告灯
(→ P. 424)



半ドア警告灯★
(→ P. 407)

※ 5 ※ 9



コーナーセンサー表示灯
(→ P. 406)



燃料残量警告灯
(→ P. 407)

※ 1 ※ 6



VSC (VDC) 作動表示灯
(→ P. 406)

※ 9



運転席シートベルト
警告灯
(→ P. 407)

(点滅)

※ 1



クルーズコントロール
表示灯★
(→ P. 407)

(黄色)

※ 9



助手席シートベルト
警告灯
(→ P. 407)

(点滅)

※ 7



アイドリングストップ
キャンセル表示灯
(→ P. 407)

(点滅)

※ 9 ※ 10



後席シートベルト
警告灯
(→ P. 408)

※ 1



LED ヘッドランプオートレ
ベライザー警告灯★
(→ P. 407)



パーキングブレーキ未解除
警告灯 (→ P. 408)

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

- ※¹ 作動確認のためにプッシュエンジンスイッチをイグニッション ON モードにすると点灯し、数秒後またはエンジンをかけると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときは、システム異常のおそれがあります。スバル販売店で点検を受けてください。
- ※² スマートアシストⅢの機能を停止にしたときも点灯します。
- ※³ 車線逸脱警報機能を停止にしたときも点灯します。
- ※⁴ スマートアシストⅢが作動したときも点灯します。(→ P. 213)
- ※⁵ コーナーセンサーが作動したときも点灯します。
- ※⁶ 点滅した場合はシステムが作動していることを示し、点灯した場合はシステム異常のおそれがあります。
- ※⁷ アイドリングストップを非作動にしたときは点灯します。
- ※⁸ 点灯した場合はシステム異常のおそれがあります。点滅した場合はアクセスキーが作動範囲外にある、またはアクセスキーの電池切れに近い状態であることを示します。(→ P. 409)
- ※⁹ インストルメントパネル中央に点灯します。
- ※¹⁰ 後席シートベルトをはずした状態で、プッシュエンジンスイッチをイグニッション ON モードにしたとき、もしくは後席シートベルトをはずすと点灯します。
後席シートベルトを着用する、または走行後約 30 秒経過すると消灯します。また、走行後に後席シートベルトをはずした状態でスライドドアを開閉すると点灯します。

表示灯

システムの作動状況を表示します。



方向指示器表示灯
(→ P. 191)



アイドリングストップ
キャンセル表示灯
(→ P. 245)



ライティングスイッチ
表示灯★ (→ P. 193)



VSC (VDC) 作動表示灯
(→ P. 287)



ハイビーム / パッシング
表示灯
(→ P. 193)



VSC (VDC) OFF 表示灯
(→ P. 288)



フロントフォグランプ
表示灯★ (→ P. 199)



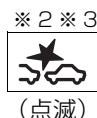
TRC OFF 表示灯
(→ P. 287)



低水温表示灯



クルーズコントロール
表示灯★
(→ P. 253)



スマートアシスト作動灯
(→ P. 213, 214, 215)



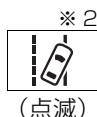
クルーズコントロール
セット表示灯★
(→ P. 253)



スマートアシスト OFF
表示灯
(→ P. 212)



エコドライブインジケー
ターランプ (→ P. 172)



車線逸脱警報作動灯
(→ P. 215)



セキュリティ表示灯
(→ P. 63)



車線逸脱警報 OFF 表示灯
(→ P. 212)



ハイビームアシスト作動灯
(緑色)
(→ P. 196)



アイドリングストップ
表示灯
(→ P. 244)



コーナーセンサー表示灯
(→ P. 258)

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

- ※¹ エンジン冷却水温が低いとき点灯します。
- ※² 作動確認のためにプッシュエンジンスイッチをイグニッション ON モードにすると点灯し、数秒後またはエンジンをかけると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときは、システム異常のおそれがあります。スバル販売店で点検を受けてください。
- ※³ インストルメントパネル中央に点灯します。
- ※⁴ スマートアシストⅢに異常があるときも点灯します。
- ※⁵ アイドリングストップに異常があるときは点滅します。
- ※⁶ コーナーセンサーに異常があるときも点灯します。

警告

■安全装置の警告灯が点灯しないとき

ABS や SRS エアバッグなどの安全装置の警告灯が、プッシュエンジンスイッチをイグニッション ON モードにしても点灯しない場合や、数秒後またはエンジンを始動しても点灯したままの場合は、事故にあったときに正しく作動せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。ただちにスバル販売店で点検を受けてください。

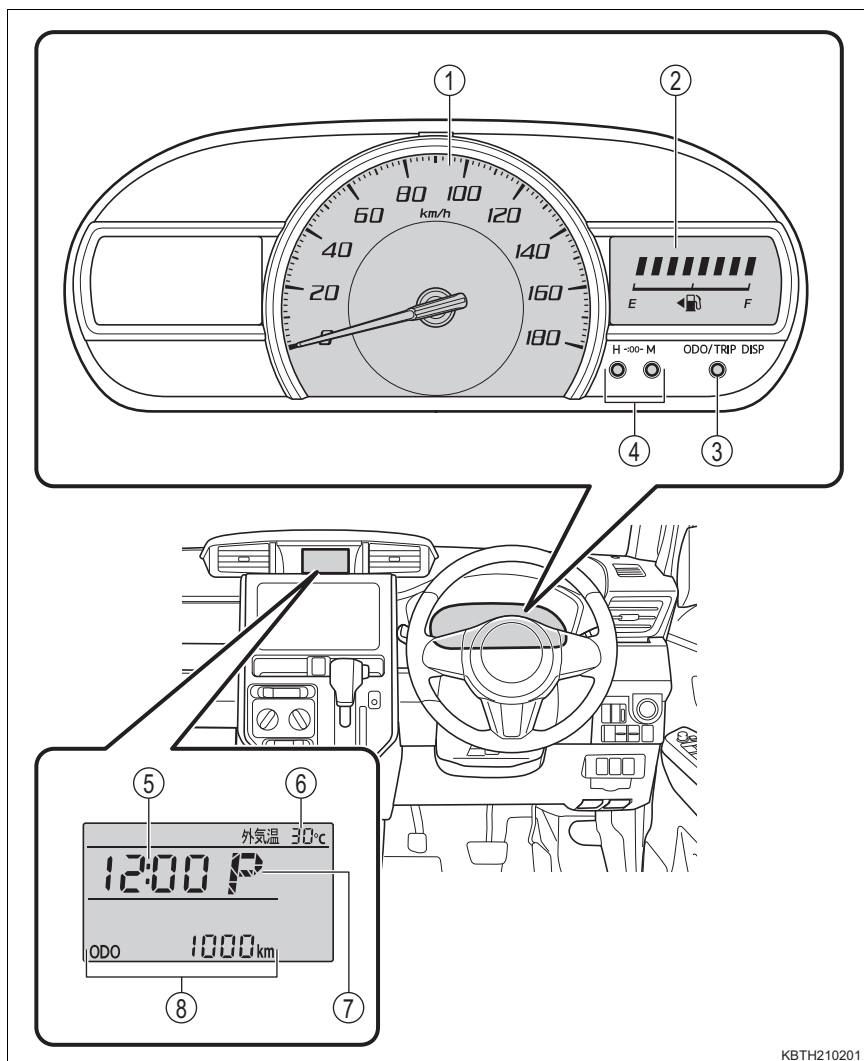
注意

■エンジンや構成部品への損傷を防ぐために

水温計のかわりに高水温警告灯（→ P. 405）が装備されています。高水温警告灯が赤色点滅または点灯したときは、オーバーヒートのおそれがあるため、ただちに安全な場所に停車してください。（→ P. 445）

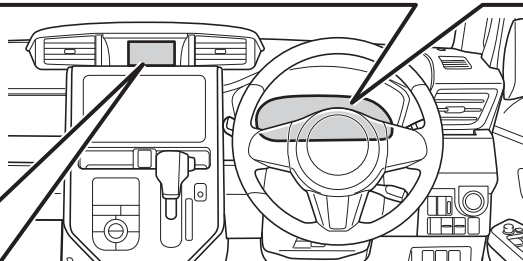
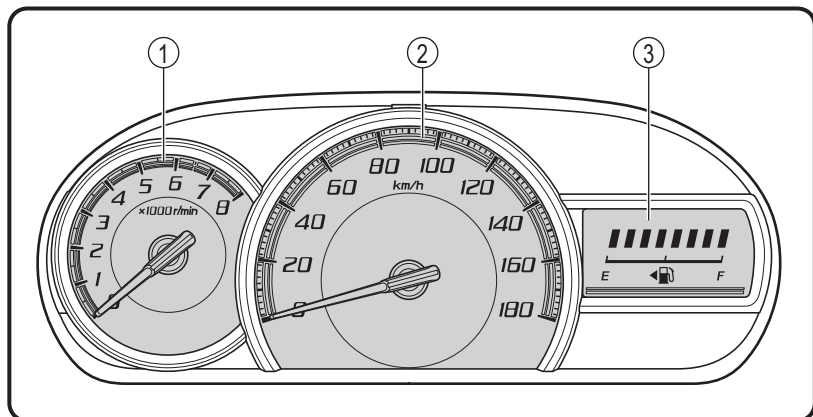
計器類

▶ タコメーター装着車以外

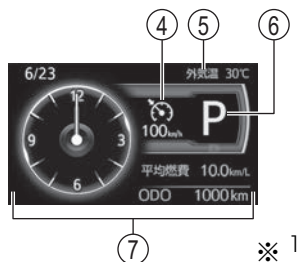


- ① スピードメーター
車両の走行速度を示します。
- ② 燃料計
燃料残量を示します。
- ③ 表示切りかえボタン
トリップインフォメーションの表示を切りかえます。(→ P. 76)
- ④ クロックセットボタン
(→ P. 77)
- ⑤ 時計表示
時刻を表示します。(→ P. 77)
- ⑥ 外気温表示
外気温を表示します。(→ P. 77)
- ⑦ シフトポジション表示
選択されているシフトポジションを表示します。(→ P. 188)
- ⑧ トリップインフォメーション
外気温や走行に関するさまざまな情報を表示します。(→ P. 78)

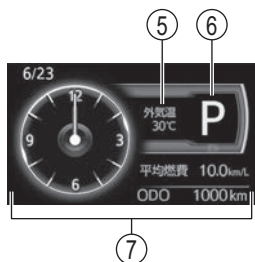
▶ タコメーター装着車



▶ クルーズコントロールシステム ON 時



▶ クルーズコントロールシステム OFF 時



① タコメーター

毎分のエンジン回転数を示します。

② スピードメーター

車両の走行速度を示します。

③ 燃料計

燃料残量を示します。

④ 設定速度※²

クルーズコントロールシステムの設定速度を示します。(→ P. 253)

⑤ 外気温表示※³

外気温を表示します。(→ P. 87)

⑥ シフトポジション表示※⁴

選択されているシフトポジションを表示します。(→ P. 188)

⑦ TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイ

車両に関するさまざまな情報を表示・設定します。(→ P. 83)

※¹ イラストは基本画面の代表例です。(時計モード)

※² 警告メッセージが表示されると、表示位置が変わります。

※³ クルーズコントロールシステムを ON にすると、表示位置が変わります。

※⁴ 警告メッセージ、パノラミックビューモニター★が表示されると、表示位置が変わります。

 知識

■ メーター・ディスプレイの作動条件

プッシュエンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■ 液晶ディスプレイについて

ディスプレイに小さな斑点や光点が表示されることがあります。これは液晶ディスプレイ特有の現象でそのまま使用しても問題ありません。

 注意

■ エンジンや構成部品への損傷を防ぐために

タコメーター装着車はタコメーターの針がレッドゾーン（エンジンの許容回転数をこえている範囲）に入らないようにしてください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

マルチインフォメーションディスプレイ★

表示内容

マルチインフォメーションディスプレイは、外気温や走行に関するさまざまな情報を表示します。

● 時計表示 (→ P. 77)

時刻を表示します。

● 外気温表示 (→ P. 77)

外気温を表示します。

● トリップインフォメーション
(→ P. 78)

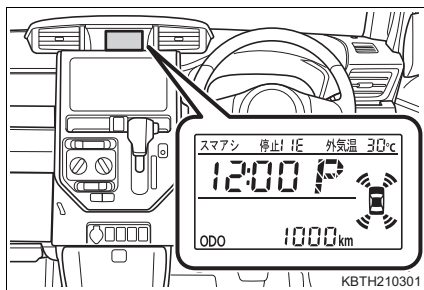
表示される項目は次のとおりです。

- ・ オドメーター
- ・ トリップメーター A/B
- ・ アイドリングストップ時間
- ・ 総アイドリングストップ時間
- ・ 瞬間燃費
- ・ 平均燃費
- ・ 航続可能距離
- ・ メーター照度調整
- ・ ディスプレイ照度調整

● シフトポジション表示 (→ P. 188)

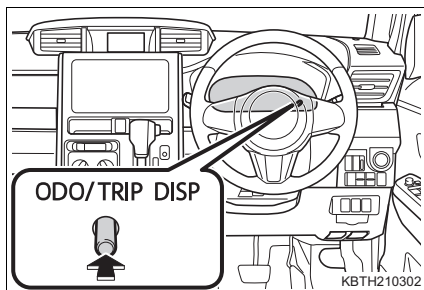
● スマートアシストⅢ機能停止コード表示 (→ P. 424)

● コーナーセンサー作動表示 (→ P. 258)



表示切りかえ

トリップインフォメーションの表示を切りかえるには、表示切りかえボタンを押します。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

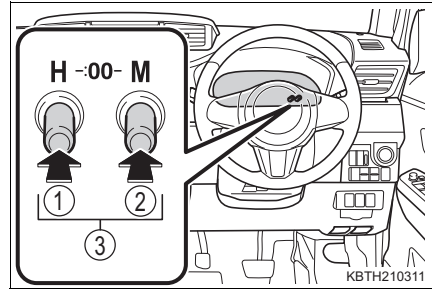
時計表示

ボタンを押して時刻を調整することができます。

- ① “時” を調整する (H)
- ② “分” を調整する (M)
- ③ “分” を 00 にする※

ボタン (①)、(②) を同時に 1 秒以上
押します。

※ (例) 1:00 ~ 1:29 → 1:00
1:30 ~ 1:59 → 2:00



外気温表示



- 外気温を表示します。

外気温：－ 30 ℃～ 50 ℃の間で表示します。

- 外気温が 3 ℃以下になると路面凍結警告を表示します。

温度表示が点滅し、路面凍結の可能性があることを表示します。

トリップインフォメーション

■ オドメーター



走行した総距離を表示します。

表示中に表示切りかえボタンを長押しすることでユーザーカスタマイズ画面に切りかわります。(→ P. 80)

■ トリップメーター A※／トリップメーター B※



リセットしてからの走行距離を表示します。

リセットするには、トリップメーター A またはトリップメーター B の表示中に表示切りかえボタンを 1 秒以上押します。



※：区間距離は、トリップ A、トリップ B の 2 種類で使い分けることができます。

■ アイドリングストップ時間



エンジンを始動してから停止にするまでのアイドリングストップ時間（アイドリングストップによるエンジン停止時間）を通算で表示します。

■ 総アイドリングストップ時間



リセットしてからのアイドリングストップ時間（アイドリングストップによるエンジンの停止時間）を通算で表示します。

リセットするには、総アイドリングストップ時間表示中にメーター内の表示切りかえボタンを長押しします。

■ 瞬間燃費



現在の瞬間燃費を表示します。

■ 平均燃費



リセットしてからの平均燃費を表示します。

- ・ リセットするには、平均燃費表示中に表示切りかえボタンを押し続けます。
- ・ 表示される平均燃費は、参考として利用してください。

■ 航続可能距離



現在の燃料残量で走行できる、およその距離を表示します。

- ・ 表示される距離は過去の平均燃費をもとに算出されるため、表示される距離を実際に走行できるとは限りません。
- ・ 燃料給油量が少量の場合、表示が更新されないことがあります。

■ メーター照度調整



車幅灯点灯時にメーター照度を表示します。

照度調整表示が表示中に表示切りかえボタンを長押しすることで、メーターの照度を 4 段階で調整できます。

■ ディスプレイ照度調整



昼照度または夜照度のディスプレイ照度を表示します。

- ・ 照度調整表示が表示中に表示切りかえボタンを長押しすることで、マルチインフォメーションの照度を 5 段階で調整できます。
- ・ 昼照度は車幅灯を消灯して調整します。
- ・ 夜照度は車幅灯を点灯して調整します。

ユーザーカスタマイズ画面

ユーザーカスタマイズ画面に切りかえることで、次の設定を変更することができます。

- エコドライブインジケータの表示・非表示
- アイドリングストップ時間割り込み表示の ON / OFF

■ 設定変更のしかた

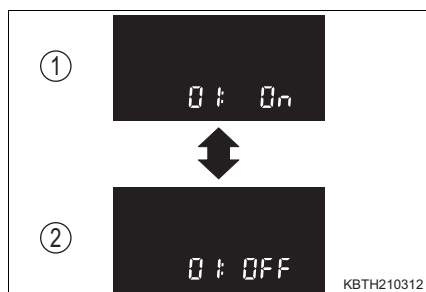
- 1 オドメーター表示中に表示切りかえボタンを約 1 秒以上押し続ける
(→ P. 76)
- 2 表示切りかえボタンを押すごとに、次の順に表示設定が切りかわる
 - ・ エコドライブインジケータランプ
 - ・ アイドリングストップ時間割り込み表示
 - ・ 設定終了表示
- 3 表示設定の画面で表示切りかえボタンを押し続けると ON / OFF が切りかわる

▶ エコドライブインジケータランプ「01」

①表示

②非表示

エコドライブインジケータランプが点滅します。(→ P. 172)

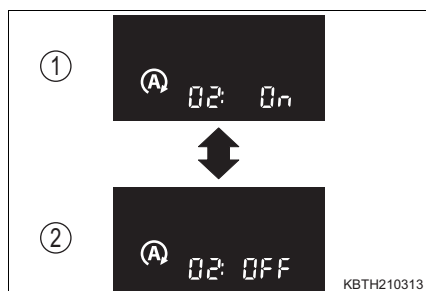


▶ アイドリングストップ時間割り込み表示「02」

①割り込み表示 ON

②割り込み表示 OFF

(A) の表示が点滅します。



▶ 設定終了表示

表示切りかえボタンを約 1 秒以上押し続ける、もしくはしばらくするとオドメーター表示にもどります。



知識

■ 時計表示について

時刻の表示は、12 時間表示です。

■ 外気温表示について

- 外気温の測定が正しく行われなときは「-℃」または「E℃」と表示されます。
- 次の場合は、正しい外気温が表示されなかったり、温度表示の更新が遅くなったりすることがありますが、故障ではありません。
 - ・ 停車しているときや、低速走行（約 20km/h 以下）のとき
 - ・ 外気温が急激に変化したとき（車庫、トンネルの出入り口付近など）
- 実際の外気温が変化していなくても、車両の状態（車速・風向きなど）により、外気温表示が変動することがあります。

■ 路面凍結警告表示について

- 路面凍結警告表示は目安です。必ず路面状況を確認してください。
- プッシュエンジンスイッチをイグニッションONモードにしたとき、外気温がすでに 3℃以下の場合、警告表示されません。
- 路面凍結警告がいったん表示されると、外気温が 4℃以上に上がってから、3℃以下に下がらないと再び警告表示されません。

■ 平均燃費について

- プッシュエンジンスイッチをイグニッションONモードにした直後は、前回エンジンを停止したときの値を表示します。
- 表示を更新するときにデータが受信できない、または無効なデータを受信した場合は、平均燃費が表示されません。

■ 航続可能距離について

- 表示の更新時間は、運転状況（走行中・停車中）によって異なります。
- 新車を受け取った際に、航続可能距離として表示される数値は正しい数値を表示しないことがあります。
- 異常検出したときは、航続可能距離がしばらく表示されないことがあります。

■ディスプレイ照度について

夜照度の設定をいちばん明るくした状態では、車幅灯を点灯させたときに、照明が減光しません。

■バッテリー端子の脱着をしたとき

バッテリー端子の脱着を行うと、時計のデータはリセットされます。

■液晶ディスプレイについて

→ P. 75

⚠ 警告**■走行中の警告**

表示切りかえボタンを使うときは、安全のため走行中に操作をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

お車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中にディスプレイを見るときは、必要最小限の時間にしてください。

■設定を変更するとき

エンジンがかかった状態で操作を行うため、車庫内など囲まれた場所では、十分に換気をしてください。換気をしないと、排気ガスが充満し、排気ガスに含まれる一酸化炭素（CO）により、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⚠ 注意**■低温時の画面表示について**

画面の温度が極めて低いときは、画面表示の切りかえが遅れる場合がありますので、車室内を暖めてからご使用ください。

■ディスプレイの設定を変更するとき

バッテリーあがりを起こす可能性がありますので、確実にエンジンがかかっている状態で実施してください。

■航続可能距離について

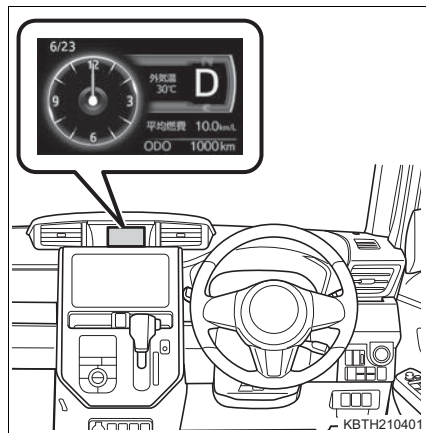
航続可能距離がまだ十分走行できる数値であっても、燃料計が“E”に近付くか、燃料残量警告灯が点灯したら、ただちに燃料を給油してください。燃料切れを起こすと、突然走行不能となり危険です。

TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイ★

TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイは、外気温や走行に関するさまざまな情報を表示します。

表示内容

- トリップインフォメーション
表示される項目は次のとおりです。
 - ・ オドメーター
 - ・ トリップメーター A / B
- ドライブインフォメーション
表示される項目は次のとおりです。
 - ・ アイドリングストップ時間
 - ・ 総アイドリングストップ時間
 - ・ 瞬間燃費
 - ・ 平均燃費
 - ・ 航続可能距離
 - ・ メッセージ確認
- 外気温表示※¹ (→ P. 87)
外気温を表示します。
- 設定速度表示※² (→ P. 253)
- シフトポジション表示※³ (→ P. 188)
- SPORT モード表示★※³ (→ P. 189)
- エコキャラモード (→ P. 87)
- 設定 (→ P. 91)
日時の修正や、画面の設定・変更を行います。
- 警告メッセージ (→ P. 411)
各システムに異常が発生すると、自動で表示されます。
- スマートアシストⅢ機能停止表示 (→ P. 424)
- コーナーセンサー作動表示 (→ P. 258)
- パノラミックビューモニター★ (→ P. 264)



※¹ クルーズコントロールシステムを ON にすると、表示位置が変わります。

※² 警告メッセージが表示されると、表示位置が変わります。

※³ 警告メッセージ、パノラミックビューモニター★が表示されると、表示位置が変わります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

表示切りかえ

操作スイッチを押して、画面の表示切りかえ、設定をします。

① DISP スイッチ

ドライブインフォメーションの表示を切りかえます。(→ P. 86)

② 〰/〴スイッチ

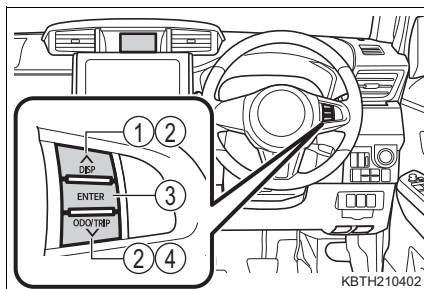
画面設定・変更時の上送り、下送りをします。(→ P. 91)

③ ENTER スイッチ

画面設定・変更時の決定・選択をします。(→ P. 91)

④ ODO/TRIP スイッチ

トリップインフォメーションの表示を切りかえます。(→ P. 85)



基本画面

TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイは、時計モード、カレンダーモード、エコキャラモードの3つの基本画面があります。表示する基本画面を選択してください。(→ P. 93)

▶ 時計モード



▶ カレンダーモード



▶ エコキャラモード



トリップインフォメーション

ODO/TRIP スイッチを押すごとに次のように切りかわります。

① オドメーター

走行した総距離を表示します。

② トリップメーター A ※

リセットしてからの走行距離を表示します。

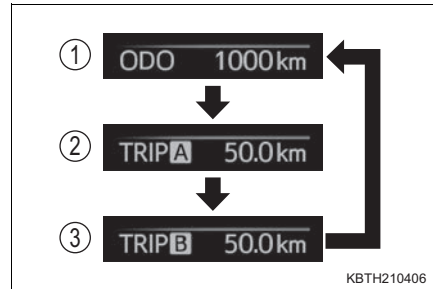
リセットするには、トリップメーター A の表示中に ODO/TRIP スイッチを 1 秒以上押します。

③ トリップメーター B ※

リセットしてからの走行距離を表示します。

リセットするには、トリップメーター B の表示中に ODO/TRIP スイッチを 1 秒以上押します。

※ : 区間距離は、トリップ A、トリップ B の 2 種類で使い分けることができます。



ドライブインフォメーション

DISPスイッチを押すごとに次のように切りかわります。

① アイドリングストップ時間

エンジンを始動してから停止にするまでのアイドリングストップ時間(アイドリングストップによるエンジン停止時間)を通算で表示します。

② 総アイドリングストップ時間

リセットしてからのアイドリングストップ時間(アイドリングストップによるエンジンの停止時間)を通算で表示します。

リセットするには、総アイドリングストップ時間表示中に DISP スイッチを長押しします。

③ 瞬間燃費

現在の瞬間燃費を表示します。

④ 平均燃費

リセットしてからの平均燃費を表示します。

- ・リセットするには、平均燃費表示中にDISPスイッチを押し続けます。
- ・表示される平均燃費は、参考として利用してください。

⑤ 航続可能距離

現在の燃料残量で走行できる、およその距離を表示します。

- ・表示される距離は過去の平均燃費をもとに算出されるため、表示される距離を実際に走行できるとは限りません。
- ・燃料給油量が少量の場合、表示が更新されないことがあります。

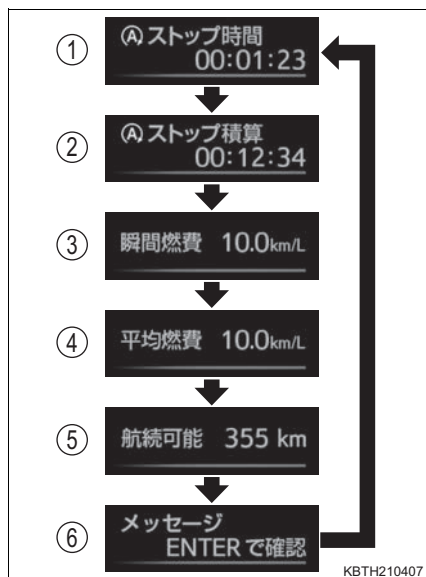
⑥ メッセージ確認

- 次のとき、「ENTER で確認」と表示されますので、ENTER スイッチを押してメッセージを確認してください。

- ・警告メッセージを記憶しているとき(→P. 411)
- ・「スマアシ停止」と表示されているとき(→P. 424)

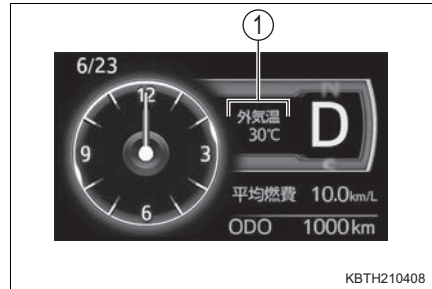
メッセージを複数記憶している場合は、**△**スイッチを押すと表示が切りかわります。

- メッセージを記憶していないときは「メッセージなし」と表示されます。



外気温表示

- 外気温 (①) を表示します。※
外気温：－ 30℃～ 50℃の間で表示します。
- 外気温が 3℃以下になると「凍結注意」の警告メッセージを表示します。(→ P. 418)



※ クルーズコントロールシステムを ON にすると、表示位置が変わります。

エコキャラモード

エコキャラモードの画面表示では、環境に配慮した運転をしているとき、車両下のイルミネーション (①) が緑色に変化したり、 スタンプ (②) が増えたりします。

- ・  スタンプは最大 10 まで増えます。
- ・  スタンプはリセットすることができます。(→ P. 100)



オープニング画面

プッシュエンジンスイッチをイグニッション ON モードにしたとき、演出画面を表示したあとのお知らせ画面を数秒間表示します。

次のお知らせ画面を表示することができます。

- 新年のごあいさつ
- 誕生日
- 記念日
- 車検日
- 点検日
- エンジンオイル交換
- オイルフィルター交換
- タイヤローテーション

■ 新年のごあいさつ

1 月 1 日に表示します。

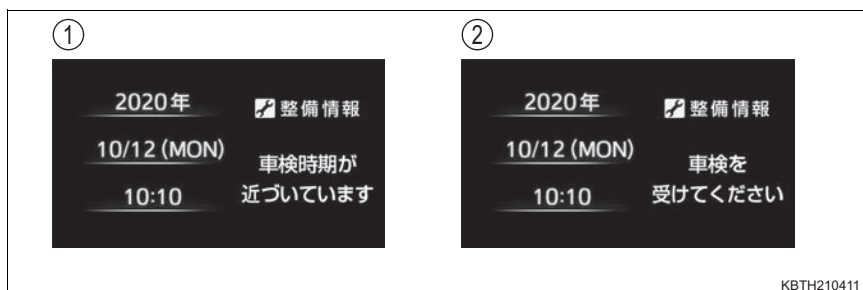
■ 誕生日、記念日

設定した日付に表示します。

■ 車検日、点検日

設定日まで残り 1 か月を切ったとき、設定日以降に一度ずつ表示します。

▶ 例：車検日



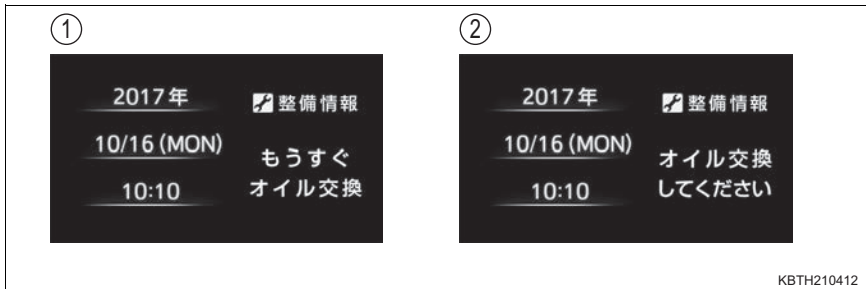
① 設定日まで残り 1 か月を切ったとき

② 設定日以降

■ エンジンオイル交換、オイルフィルター交換、タイヤローテーション

設定距離まで残り 500 kmを切ったとき、設定距離に到達したときに一度ずつ表示します。

▶ 例：エンジンオイル交換



- ① 設定距離まで残り 500 kmを切ったとき
- ② 設定距離に到達したとき

エンディング画面

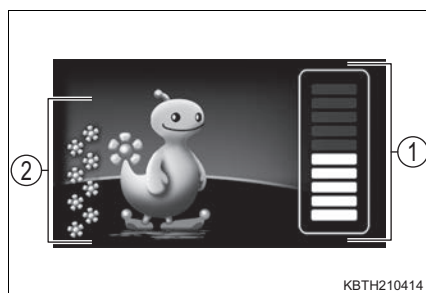
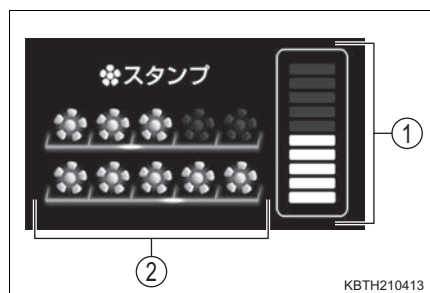
プッシュエンジンスイッチを OFF にすると、 スタンプの画面を表示したあとに走行記録を表示します。

■ スタンプ

エンジンを始動してから停止するまでに、環境に配慮した運転をしていると画面右側のゲージが増えます。ゲージが全て表示になると  スタンプが 1 つ増え、その後、ゲージは非表示になります。

- ・  スタンプは最大 10 まで増えます。
- ・  スタンプはリセットすることができます。(→ P. 100)

▶ 時計モード、カレンダーモード ▶ エコキャラモード表示時
表示時



① ゲージ

②  スタンプ

■ 走行記録

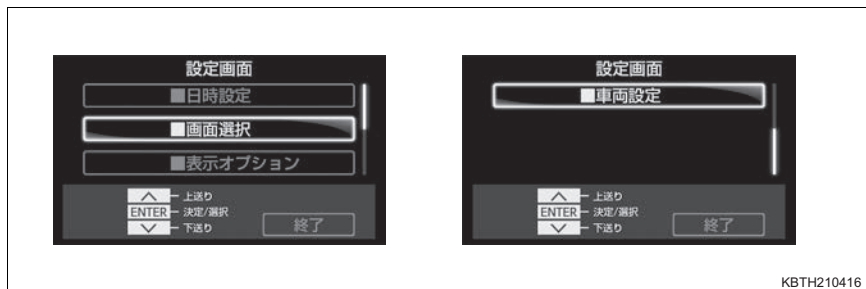
エンジンを始動してから停止するまでの走行記録を一覧で表示します。

今回の走行記録		
	走行距離	24.4km
	走行時間	0h 45m
	平均速度	35km/h
	今回燃費	20.4km/L
	節約燃料	60mL
	スタンプ	5/10pt

KBTH210415

設定

プッシュエンジンスイッチがイグニッション ON モードで停車時に、ENTER スイッチを押して「設定画面」を表示し、表示の設定や調整、機能の ON/OFF の設定をすることができます。



車両走行中は操作できません。必ず安全な場所に停車して操作してください。



次の内容を設定、調整ができます。

- 日時 (→ P. 92)
- 基本画面 (→ P. 93)
- メーター・ディスプレイの照度 (→ P. 93)
- 画面色 (→ P. 94)
- 誕生日・記念日・車検日・点検日 (→ P. 95)
- エンジンオイル交換・オイルフィルター交換・タイヤローテーション (→ P. 96)
- オープニング画面、エンディング画面 (→ P. 98)
- エコドライブインジケーターランプの表示 (→ P. 98)
- 平均燃費の給油時リセット (→ P. 98)
- アイドリングストップ表示の時間自動切りかえ (→ P. 98)
- ハンドルポジションモニター★ (→ P. 98)
- パノラミックビューモニター自動表示★ (→ P. 98)
-  スタンププリセット (→ P. 100)
- 先行車発進、車線逸脱警報のブザー音量 (→ P. 101)
- 設定初期化 (→ P. 102)

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ 日時

日時を設定できます。

- 1 基本画面表示中に ENTER スイッチを押して「設定画面」を表示する
- 2 $\wedge/\vee$ スイッチを押して「日時設定」を選択し、ENTER スイッチを押す
 - ・「日時設定」を表示しているとき、時計機能は作動を停止します。
 - 「戻る」または「終了」を選択すると、0 秒にリセットされた状態から作動を始めます。
- 3 $\wedge/\vee$ スイッチを押して「時」・「分」・「12H/24H」を選択し、ENTER スイッチを押す

・ 時・分は  が表示された後、

$\wedge/\vee$ スイッチで数値を設定し、再度 ENTER スイッチを押します。

- ・ 12H/24H は ENTER スイッチを押すたびに「12H」（12 時間表示）と「24H」（24 時間表示）が切りかわります。
- ・ 12H/24H の設定に関わらず時刻調整時は 24 時間表示になります。



- 4 $\wedge/\vee$ スイッチを長押しするか、数回押して「年」・「月」・「日」の画面に切りかえる
- 5 $\wedge/\vee$ スイッチを押して「年」・「月」・「日」を選択し、ENTER スイッチを押す

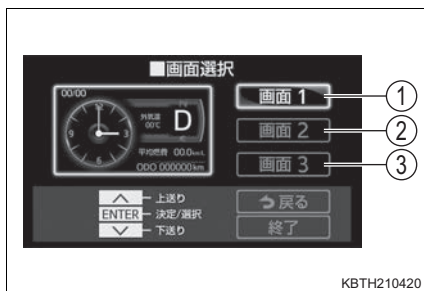
 が表示された後、 $\wedge/\vee$ スイッチで数値を設定し、再度 ENTER スイッチを押します。



■ 基本画面

表示する基本画面を選択できます。

- 1 基本画面表示中に ENTER スイッチを押して「設定画面」を表示する
- 2 $\wedge/\vee$ スイッチを押して「画面選択」を選択し、ENTER スイッチを押す
- 3 $\wedge/\vee$ スイッチを押して表示する基本画面を選択し、ENTER スイッチを押す
 - ① 時計モード
 - ② カレンダーモード
 - ③ エコキャラモード



■ メーター・ディスプレイの照度

メーターとディスプレイの昼照度または夜照度を調整できます。

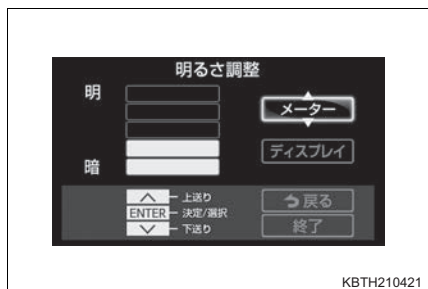
- 1 基本画面表示中に ENTER スイッチを押して「設定画面」を表示する。
- 2 $\wedge/\vee$ スイッチを押して「表示オプション」を選択し、ENTER スイッチを押す
- 3 $\wedge/\vee$ スイッチを押して「明るさ調整」を選択し、ENTER スイッチを押す

- 4 **▲/▼**スイッチを押して「メーター」・「ディスプレイ」を選択し、ENTER スイッチを押す



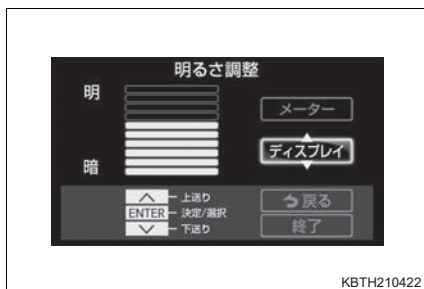
- ・ が表示された後、**▲/▼**スイッチで照度を調整し、再度 ENTER スイッチを押します。
- ・ 昼照度は車幅灯を消灯して調整します。
- ・ 夜照度は車幅灯を点灯して調整します。

▶ メーター



5 段階で調整できます。

▶ ディスプレイ



10 段階で調整できます。

■ 画面色

アンバー、またはブルーの画面色を選択できます。

- 1 基本画面表示中に ENTER スイッチを押して「設定画面」を表示する
- 2 **▲/▼**スイッチを押して「表示オプション」を選択し、ENTER スイッチを押す
- 3 **▲/▼**スイッチを押して「画面色選択」を選択し、ENTER スイッチを押す
- 4 **▲/▼**スイッチを押して「色 1」(アンバー)、または「色 2」(ブルー)を選択し、ENTER スイッチを押す

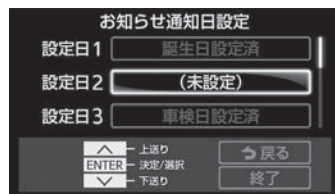


■ お知らせ通知日設定

オープニング画面で表示される誕生日、記念日、車検日、点検日の通知日を設定できます。

- 1 基本画面表示中に ENTER スイッチを押して「設定画面」を表示する
- 2 **▲/▼**スイッチを押して「表示オプション」を選択し、ENTER スイッチを押す
- 3 **▲/▼**スイッチを押して「お知らせ設定」を選択し、ENTER スイッチを押す
- 4 **▲/▼**スイッチを押して「お知らせ通知日設定」を選択し、ENTER スイッチを押す
- 5 **▲/▼**スイッチを押して 1 ～ 9 の「設定日」を選択し、ENTER スイッチを押す

4 ～ 9 の設定日は**▲/▼**スイッチを長押しするか、数回押すと表示できます。



KBTH210424

- 6 カテゴリでENTERスイッチを押して


 が表示された後、**▲/▼**スイッチで項目を選択する

誕生日、記念日、車検日、点検日のいずれかを選択し、再度 ENTER スイッチを押します。



KBTH210425

- 7 **▲/▼**スイッチを押して日付の「年」・「月」・「日」を選択し、ENTER スイッチを押す


 が表示された後、**▲/▼**スイッチで数値を設定し、再度 ENTER スイッチを押します。

・ 誕生日、記念日は、「年」の設定はありません。

- 8 設定完了後、**▲/▼**スイッチを押して「戻る」を選択し、ENTER スイッチを押す

選択したカテゴリと「設定済」が表示されます。



KBTH210426

■ メンテナンス設定

オープニング画面で表示されるエンジンオイル交換、オイルフィルター交換、タイヤローテーションの時期を距離で設定できます。

- 1 基本画面表示中に ENTER スイッチを押して「設定画面」を表示する
- 2 **▲/▼**スイッチを押して「表示オプション」を選択し、ENTER スイッチを押す
- 3 **▲/▼**スイッチを押して「お知らせ設定」を選択し、ENTER スイッチを押す
- 4 **▲/▼**スイッチを押して「メンテナンス設定」を選択し、ENTER スイッチを押す

- 5 ON/OFF を設定する場合は、**▲/▼**スイッチを押して各メンテナンス項目の「ON」、または「OFF」を選択し、ENTER スイッチを押す

オイルフィルター交換、タイヤローテーションは、**▲/▼**スイッチを長押しするか、数回押すと表示できます。

- ▶ 表示が「OFF」で距離が設定されていない場合は

「設定」の項目が表示されず、「ON」に切りかえると、リセットの設定画面が表示されます。



KBTH210428

- ▶ すでに距離が設定されている場合は
ENTER スイッチを押すごとに「ON」、
「OFF」が切りかわります。



- 6 距離を設定、リセットする場合は、 $\wedge/\vee$ スイッチを押して各メンテナンス項目の「設定」を選択し、ENTER スイッチを押す
オイルフィルター交換、タイヤローテーションは、 $\wedge/\vee$ スイッチを長押しするか、数回押すと表示できます。



- 7 「リセット」が選択されている画面が表示されたら、ENTER スイッチを押す
すでに距離が設定されている場合は、次回お知らせまでの距離が表示されています。



- 8 $\wedge/\vee$ スイッチを押して距離を選択し、ENTER スイッチを押す



が表示された後、 $\wedge/\vee$ スイッチ

で距離を設定し、再度ENTERスイッチを押します。



- 9 **▲/▼**スイッチを押して「決定」を選択し、ENTER スイッチを押す



次回お知らせまでの距離が表示されます。



■ その他の表示オプション設定

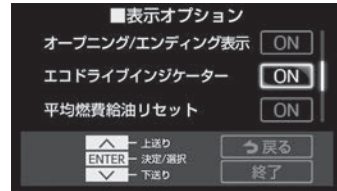
次の機能の ON/OFF を設定することができます。

- オープニング画面、エンディング画面の表示
- エコドライブインジケータランプの表示 (→ P. 172)
- 平均燃費の給油時リセット
- アイドリングストップ表示の自動切り替え
- ハンドルポジションモニター★ (ハンドル位置の警告メッセージの表示) (→ P. 418)
- シフト操作 (R を除く) によるパノラミックビューモニター自動表示★

- 1 基本画面表示中に ENTER スイッチを押して「設定画面」を表示する
- 2 **▲/▼**スイッチを押して「表示オプション」を選択し、ENTER スイッチを押す

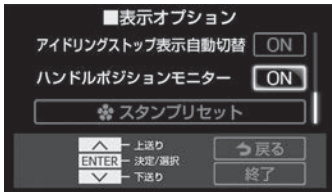
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

- 3 **▲/▼**スイッチを長押しするか、数回押して「表示オプション」の画面を切りかえる



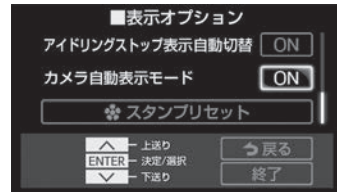
KBTH210433

- ▶ パノラミックビューモニター装着車以外



KBTH210434

- ▶ パノラミックビューモニター装着車



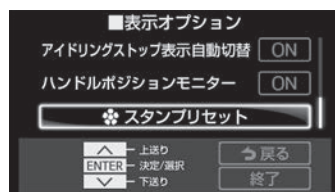
KBTH210435

- 4 **▲/▼**スイッチを押して各機能の「ON」、または「OFF」を選択し、ENTER スイッチを押す
ENTER スイッチを押すごとに「ON」、「OFF」が切りかわります。

■ スタンプリセット

増えた  スタンプをリセットすることができます。

- 1 基本画面表示中に ENTER スイッチを押して「設定画面」を表示する
- 2 /スイッチを押して「表示オプション」を選択し、ENTER スイッチを押す
- 3 /スイッチを長押しするか、数回押して「表示オプション」の画面を切りかえ、「 スタンプリセット」を選択し、ENTER スイッチを押す
- 4 /スイッチを押して、「はい」を選択し、ENTER スイッチを押す



KBTH210436



KBTH210437

■ 先行車発進、車線逸脱警報ブザー音量設定

スマートアシストⅢの先行車発進お知らせ機能、車線逸脱警報機能作動時のブザー音量を変更することができます。

- 1 基本画面表示中に ENTER スイッチを押して「設定画面」を表示する

- 2 $\wedge/\vee$ スイッチを長押しするか、数回押して「設定画面」の画面を切り替え、「車両設定」を選択し、ENTER スイッチを押す



KBTH210438

- 3 $\wedge/\vee$ スイッチを押して各機能の「大」、または「小」を選択し、ENTER スイッチを押す
ENTER スイッチを押すごとに「大」、「小」が切りかわります。



KBTH210439

■ 表示設定初期化

表示の設定を初期化（出荷時の状態）することができます。

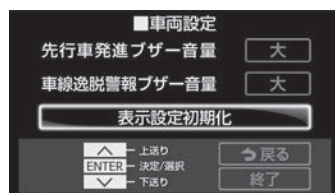
- 1 基本画面表示中に ENTER スイッチを押して「設定画面」を表示する。

- 2 $\wedge/\vee$ スイッチを長押しするか、数回押して「設定画面」の画面を切り替え、「車両設定」を選択し、ENTER スイッチを押す



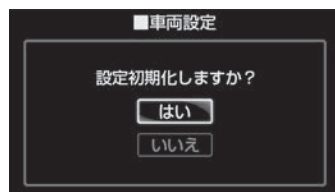
KBTH210438

- 3 $\wedge/\vee$ スイッチを押して「表示設定初期化」を選択し、ENTER スイッチを押す



KBTH210440

- 4 $\wedge/\vee$ スイッチを押して、「はい」を選択し、ENTER スイッチを押す



KBTH210441

■ 初期設定一覧

項目	初期設定
基本画面	時計モード
メーターの照度	昼照度：5
	夜照度：4
ディスプレイの照度	昼照度：10
	夜照度：6
画面色	メーター 文字板色
誕生日、記念日、車検日、点検日	未設定
エンジンオイル交換、オイルフィルター交換、タイヤローテーションの設定	OFF
エンジンオイル交換、オイルフィルター交換、タイヤローテーションの距離	未設定
オープニング画面、エンディング画面の表示	ON
エコドライブインジケータランプの表示	ON
給油時の平均燃費リセット	OFF
アイドリングストップ表示の自動切りかえ	ON
ハンドルポジションモニター	ON
カメラ自動表示モード	ON
先行車発進お知らせ機能、車線逸脱警報機能ブザー音量	大

知識

■ 外気温表示について

→ P. 81

■ 「凍結注意」の警告メッセージについて

→ P. 419

■ 平均燃費について

→ P. 81

■ 航続可能距離について

→ P. 81

■ メーター、ディスプレイ照度について

夜照度の設定をいちばん明るくした状態では、車幅灯を点灯させたときに、照明が減光しません。

■ 「設定画面」の操作について

- ドライブインフォメーションがメッセージ確認を選択しているときは、「設定画面」を表示できません。(→ P. 86)
- 「設定画面」操作中に次の状態になると操作が一時中断されます。
 - ・ 警告メッセージが表示されたとき
 - ・ 走行し始めたとき
- 一つ前の「設定画面」に戻るときは、**▲/▼**スイッチを押して「戻る」を選択し、ENTER スイッチを押します。
- 「設定画面」を終了するときには、**▲/▼**スイッチを押して「終了」を選択し、ENTER スイッチを押します。



KBTH210442

■ バッテリー端子の脱着をしたとき

バッテリー端子の脱着を行うと、時計のデータはリセットされます。

■ 液晶ディスプレイについて

→ P. 75

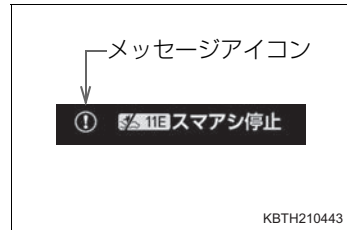
■ お知らせ画面について

- お知らせ画面は、プッシュエンジンスイッチをイグニッションONモードにしたときに一度だけ表示されます。
- 誕生日、記念日は、設定日 2 月 29 日にしている場合、うるう年以外の年は 3 月 1 日表示します。

■メッセージアイコンについて

次のとき、メッセージアイコンが表示されます。

- 警告メッセージを記憶しているとき
(→ P. 411)
- 「スマアシ停止」と表示されているとき
(→ P. 424)



⚠ 警告

■走行中の警告

メーター操作スイッチを使うときは、安全のため走行中に操作をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

お車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中にディスプレイを見るときは、必要最小限の時間にしてください。

■設定を変更するとき

→ P. 82

⚠ 注意

■低温時の画面表示について

→ P. 82

■ディスプレイの設定を変更するとき

→ P. 82

■航続可能距離について

航続可能距離がまだ十分走行できる数値であっても、次の場合はただちに燃料を給油してください。

燃料切れを起こすと、突然走行不能となり危険です。

- 燃料計が“E”に近付いた
- 燃料残量警告灯が点灯した
- TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイに「給油してください」が表示された

各部の操作**3**

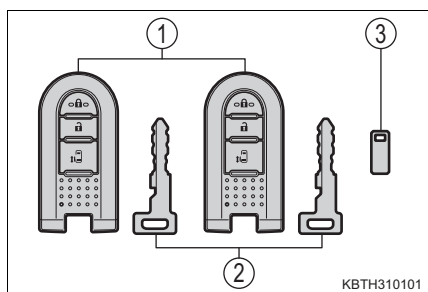
3-1. キー	
キー	108
3-2. ドアの開閉、ロックのしかた	
キーレスアクセス	112
フロントドア	121
スライドドア	125
リヤゲート	140
3-3. シートの調整	
フロントシート	146
リヤシート	147
ヘッドレスト	150
シートアレンジ	152
3-4. ハンドル位置・ミラー	
ハンドル	159
ルームミラー	161
ドアミラー	162
サイドアンダーミラー	165
3-5. ドアガラスの開閉	
パワーウインドウ	166

キー

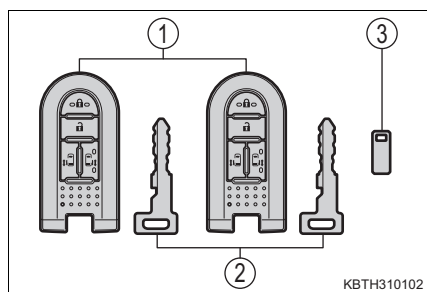
キーについて

お客様へ次のキーをお渡しします。

▶ 運転席側パワースライドドア
装着車以外



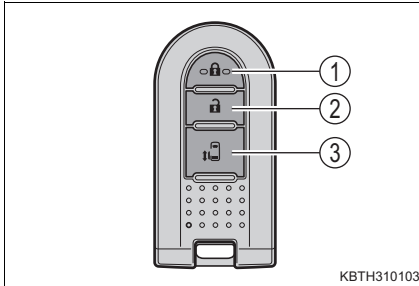
▶ 運転席側パワースライドドア
装着車



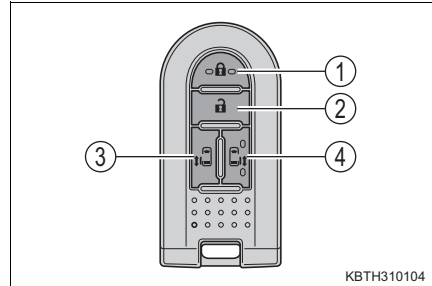
- ① アクセスキー
 - ・ キーレスアクセスの作動
(→ P. 112)
 - ・ 電波式リモコン機能の作動
(→ P. 121)
- ② メカニカルキー
- ③ キーナンバープレート

電波式リモコン

- ▶ 運転席側パワースライドドア
装着車以外



- ▶ 運転席側パワースライドドア
装着車



- ① ドアの施錠 (→ P. 121)
- ② ドアの解錠 (→ P. 121)
- ③ 助手席側パワースライドドアを開閉する (→ P. 125)
- ④ 運転席側パワースライドドアを開閉する (→ P. 125)

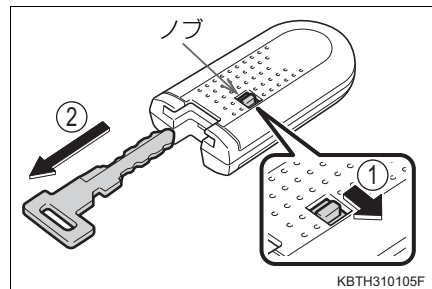
メカニカルキーを使うには

- ① ノブをスライドさせたままにする

- ② メカニカルキーを取り出す

使用後はもとにもどし、アクセスキーと一緒に携帯してください。アクセスキーの電池が切れたときやキーレスアクセスが正常に作動しないとき、メカニカルキーが必要になります。

(→ P. 440)



 知識**■メカニカルキーを紛失したとき**

- キーナンバープレートに打刻されたキーナンバーと残りのメカニカルキーから、スバル販売店でスバル純正品の新しいメカニカルキーを作ることができます。
キーナンバープレートはお車の中以外の安全な場所（財布の中など）に保管してください。
- スペアキーを作るときもこのキーナンバーが必要になります。

■航空機に乗るとき

航空機にアクセスキーを持ち込む場合は、航空機内でアクセスキーのスイッチを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にスイッチが押されないように保管してください。スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

■電池の消耗について

→ P. 119

■アクセスキーの状態や、プッシュエンジンスイッチのモードに関する警告メッセージが表示されたときは（TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイ装着車）

車内へのアクセスキーの閉じ込みや、同乗者によるアクセスキーの持ち出し、プッシュエンジンスイッチの切り忘れなどを防止するため、アクセスキーやプッシュエンジンスイッチなどの状態の確認を促すメッセージが TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイに表示されたときは、表示内容に従ってすみやかに対処してください。（→ P. 420）

■TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイに「キーの電池残量が残りがずかです」が表示されたときは（TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイ装着車）

アクセスキーの電池残量が残りがずかです。新しい電池と交換してください。（→ P. 368）

■電池の交換方法

→ P. 368

■キー登録本数の確認について

車両に登録されたキーの本数を確認することができます。詳しくはスバル販売店へご相談ください。

 注意**■ アクセスキーの故障を防ぐために**

- 落としたり、強い衝撃を与えたり、曲げたりしない
- 湿度の高いところに長時間放置しない
- めらしたり超音波洗浄器などで洗ったりしない
- アクセスキーに金属製または磁気を帯びた製品を取り付けたり、近付けたりしない
- 分解しない
- アクセスキー表面にシールなどを貼らない
- テレビやオーディオ・電磁調理器などの磁気を帯びた製品や、低周波治療器などの電気医療機器の近くに置かない

■ アクセスキー取り扱いの注意

アクセスキーは電波法の認証に適合しています。必ず次のことをお守りください。

- 電池交換時以外は、不用意に分解しないでください。分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。
- 必ず日本国内でご使用ください。

■ アクセスキーを携帯するとき

電源を入れた状態の電化製品とは 10cm 以上離して携帯してください。10cm 以内にあると電化製品の電波と干渉し正常に機能しない場合があります。

■ キーレスアクセスの故障などで販売店に車両を持っていくとき

車両に付属しているすべてのアクセスキーをお持ちください。

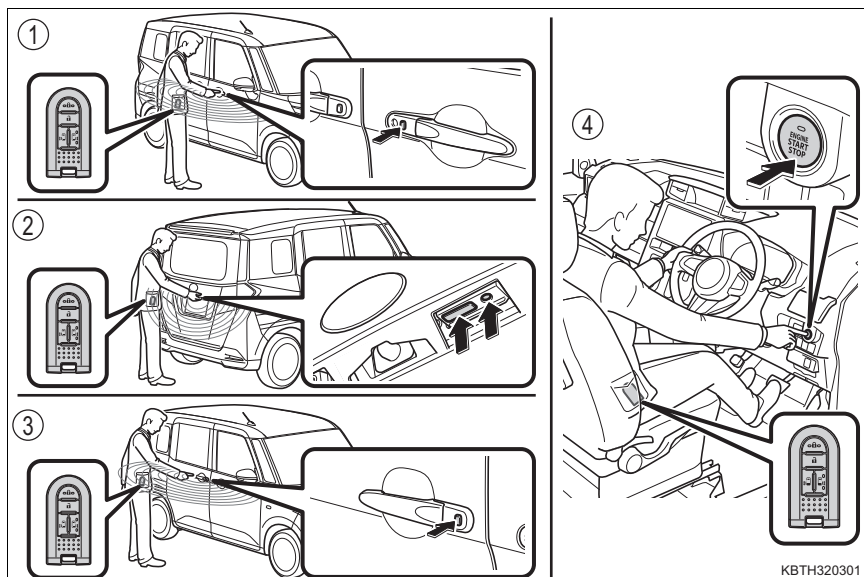
■ アクセスキーを紛失したとき

アクセスキーを紛失した状態で放置すると、盗難の危険性が極めて高くなります。車両に付属している残りのアクセスキーをすべてお持ちのうえ、ただちにスバル販売店にご相談ください。

キーレスアクセス

機能概要

アクセスキーをポケットなどに携帯すると、次の操作が行えます。
(必ず運転者が携帯してください)



- ① 全ドアを施錠・解錠する (→ P. 121)
- ② 全ドアを施錠・解錠する (→ P. 140)
- ③ スライドドアを解錠して開ける (→ P. 126)
- ④ エンジンを始動する (→ P. 183)

知識

■ 作動の合図

ドアの解錠・施錠を非常点滅表示灯の点滅で知らせます。(施錠は1回、解錠は2回)

■ カスタマイズ機能

非常点滅表示灯の点滅を停止することができます。
(カスタマイズ一覧：→ P. 455)

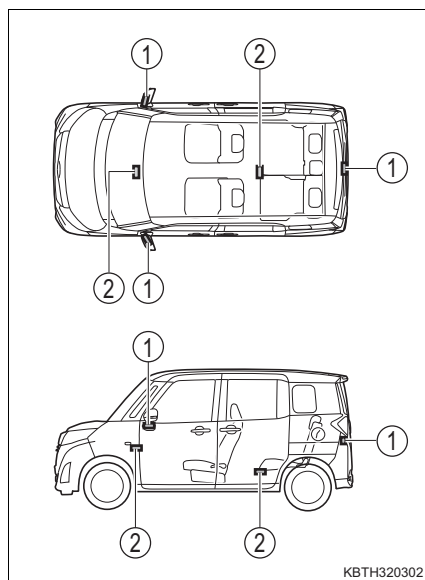
■ 解錠操作のセキュリティ機能

解錠操作後、約 30 秒以内にドアを開けなかったときは、盗難防止のため自動的に施錠されます。

アンテナの位置と作動範囲

■ アンテナの位置

- ① 車外アンテナ
- ② 車室内アンテナ



KBTH320302

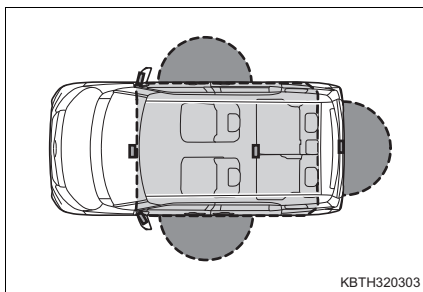
■作動範囲（アクセスキーの検知エリア）**●：ドアの施錠・解錠時**

ドアハンドルから周囲約 70cm 以内にアクセスキーを携帯している場合に作動します。

（アクセスキーを検知しているドアハンドルのみ作動します）

●：エンジン始動時またはモード切り換え時

車内でアクセスキーを携帯している場合に作動します。



 知識

■警告音と警告灯について

誤操作などによる予期せぬ事故や盗難を防ぐため、車内で警告音が鳴ったり、警告灯が点灯することがあります。TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイ装着車の場合は、メッセージが表示されることがあります。警告灯が点灯したり、メッセージが表示された場合は、状況に応じて適切に対処してください。(→ P. 409, 420)

警告音が鳴る場合の状況と対処方法は次の通りです。

警告音	状況	対処方法
車内から“ピピピピ”と警告ブザーが鳴る	プッシュエンジンスイッチがアクセサリモードまたは ON モードのときに、いずれかのドアを開けてアクセスキーを車外に持ち出しドアを閉めた	アクセスキーを携帯して乗車してください
車内から“ピーンピーンピーン…”と警告ブザーが鳴り続ける	運転席ドアが開いている状態でプッシュエンジンスイッチをアクセサリモードにした(アクセサリモードのときに運転席ドアを開いた)	プッシュエンジンスイッチを OFF にして、ドアを閉めてください
車内から“ピッピッピッ”と警告ブザーが鳴る	アクセスキーの電池切れが近いときに、プッシュエンジンスイッチを OFF にした※	新しい電池に交換してください
車内から“ピーンピーンピーン…”と警告ブザーが鳴り続ける	運転席ドアが開いているときに、プッシュエンジンスイッチを ON モードから OFF にした	運転席ドアを閉めてください

※ 電池切れが近い状態を継続すると、プッシュエンジンスイッチをアクセサリモードまたは ON モードにしたときも警告ブザーが鳴ります。

■機能が正常に働かないおそれのある状況

キーレスアクセスは微弱な電波を使用しています。次のような場合はアクセスキーと車両間の通信をさまたげ、キーレスアクセスや電波式リモコン、イモビライザー（盗難防止用エンジン始動ロックシステム）が正常に作動しないことがあります。

（対処方法：→P. 440）

- アクセスキーの電池が消耗しているとき
- 近くにテレビ塔や発電所・ガソリンスタンド・放送局・大型ディスプレイ・空港があるなど、強い電波やノイズの発生する場所にいるとき
- アクセスキーが、次のような金属製のものに接していたり、覆われたりしているとき
 - ・ アルミ箔などの金属の貼られたカード
 - ・ アルミ箔を使用したタバコの箱
 - ・ 金属製の財布やかばん
 - ・ 小銭
 - ・ カイロ
 - ・ CD や DVD などのメディア
- 近くで他の電波式リモコンを使用しているとき
- アクセスキーを、次のような電波を発信する製品と同時に携帯しているとき
 - ・ 無線機や携帯電話・コードレス式電話などの無線通信機器
 - ・ 他の車のアクセスキーや電波式リモコン
 - ・ パソコンや携帯情報端末（電子手帳）
 - ・ デジタルオーディオプレーヤー
 - ・ ポータブルゲーム機器
- リヤガラスに金属を含むフィルムなどが貼ってあるとき
- 充電器など電子機器の近くにアクセスキーを置いた場合

■ご留意いただきたいこと

- アクセスキーが作動範囲内（検知エリア内）にあっても、次のような場合は正しく作動しないことがあります。
 - ・ ドアの施錠・解錠時にアクセスキーがドアガラスやドアハンドルに近付きすぎる、または地面の近くや高い場所にある場合
 - ・ エンジン始動時またはモード切りかえ時にアクセスキーがインストルメントパネルやフロア上・ドアポケットまたはグローブボックス内などに置かれていた場合
- アクセスキーをポケットに携帯していても、ポケットの位置や形状によっては、正しく作動しないことがあります。（作動範囲：→ P. 114）
- インストルメントパネル上面・ドアポケット付近にアクセスキーを置いたまま車外に出ると、電波の状況によっては車外アンテナに検知されて車外からのドアロックが可能になる場合があります、アクセスキーが車内に閉じ込められるおそれがあるため注意してください。
- アクセスキーが作動範囲内にあれば、アクセスキーを携帯している人以外でも施錠・解錠できます。ただし、アクセスキーを検知しているドア以外では、解錠できません。
場合によっては、解錠操作を行ったドアと反対側のドア付近にアクセスキーがある場合でも、アクセスキーを検知し、解錠されることがあります。
- 車外でもドアガラスに近い位置にアクセスキーがあるときは、エンジンの始動が可能になる場合があります。
- アクセスキーが作動範囲内にある場合、洗浄などで水圧にてドアハンドルにあるスイッチが押され、ドアが解錠・施錠することがあります。（解錠された場合でも、ドアの開閉操作がなければ約 30 秒後に自動的に施錠されます）
- 車室内または車両に近い位置にアクセスキーがあるときに電波式リモコンなどで施錠を行うと、キーレスアクセスによる解錠ができなくなることがあります。（電波式リモコンで解錠すると復帰します）
- ドアハンドルにあるスイッチは確実に押して、施錠・解錠したことを確認してください。スイッチを早押しした場合、施錠・解錠されないことがあります。
- ドアハンドルにあるスイッチは強い力で押したり、鋭利なもので押さないでください。スイッチが破損するおそれがあります。

■施錠時の留意事項

- アクセスキーを携帯して洗車などで高圧な水をドアハンドルにあるスイッチにかけた場合、解錠・施錠動作をくり返すことがあります。その場合はキーを車両から 2m 以上離れた場所に保管して、洗車などをしてください。(キーの盗難に注意してください)
- 車内にアクセスキーがあるときに、洗車機で洗車するなどして高圧な水をドアハンドルにあるスイッチにかけた場合、車内のブザーが鳴ることがあります。
- ドアハンドルにあるスイッチに氷や雪、泥が付着すると、スイッチが押せない場合があります。押せない場合は表面に付着した氷や雪、泥を取り除いて再度操作してください。
- ドアハンドルにあるスイッチを操作するときに、爪がドアにあたる場合があります。ドアを傷付けたり、爪を割ったりしないように注意してください。

■解錠時の留意事項

- ドアハンドルにあるスイッチを押しながらドアハンドルを引いたときは、解錠されない場合があります。(リヤゲートを除く) その場合は、ドアハンドルを一度もとの位置にもどしてから再度スイッチを押し、解錠されたことを確認してからドアハンドルを引いてください。
- アクセスキーを携帯して洗車などで高圧な水をドアハンドルにあるスイッチにかけた場合、解錠・施錠動作をくり返すことがあります。その場合はキーを車両から 2m 以上離れた場所に保管して、洗車などをしてください。(キーの盗難に注意してください)
- 作動範囲内に他のアクセスキーがあるときは、ドアハンドルにあるスイッチを押してから解錠するまでの時間が少し長くなる場合があります。
- ドアハンドルにあるスイッチを操作するときに、爪がドアにあたる場合があります。ドアを傷付けたり、爪を割ったりしないように注意してください。

■長期間運転しないとき

- 盗難防止のため、アクセスキーを車両から 2m 以上離しておいてください。
- あらかじめキーレスアクセスを非作動にすることができます。
詳しくはスバル販売店にお問い合わせください。

■システムを正しく作動させるために

アクセスキーを必ず携帯した上で作動させてください。また、車外から操作する場合はアクセスキーを車両に近付けすぎないようにしてください。
作動時のアクセスキーの位置や持ち方によっては、アクセスキーが正しく検知されず、システムが正しく作動しないことがあります。(誤って警報が鳴ったり、キー閉じ込み防止機能が働かないこともあります。：→ P. 123)

■キーレスアクセスが正常に作動しないとき

- ドアの施錠・解錠：→ P. 440
- エンジンの始動：→ P. 440

■電池の消耗について

- 電池の標準的な寿命は 1 ～ 2 年です。
- 電波式リモコンを使用しなくても電池は消耗します。また、アクセスキーは常に電波を受信しているため、使用していないあいだでも電池が消耗します。次のような状態になったときは、電池が消耗している可能性があります。新しい電池に交換してください。
 - ・ キーレスアクセスや電波式リモコンが作動しない
 - ・ 作動範囲が狭くなった
 - ・ アクセスキーの LED が点灯しない
- 電池残量が少なくなると、エンジンを停止した際に車内から警告ブザーが鳴ります。(→ P. 409, 421)
- 電池の著しい消耗を防ぐため、次のような磁気を発生する電化製品の 1m 以内にアクセスキーを保管しないでください。
 - ・ TV
 - ・ パソコン
 - ・ 携帯電話やコードレス電話機、および充電器
 - ・ 電気スタンド
 - ・ 電磁調理器

■電池が切れたとき

→ P. 368

■販売店で設定可能な機能

キーレスアクセスを非作動にすることができます。

(カスタマイズ一覧：→ P. 455)

■販売店でキーレスアクセスを非作動にしたとき

- ドアの施錠・解錠：電波式リモコン機能、またはメカニカルキーを使ってドアの施錠・解錠ができます。(→ P. 109, 440)
- エンジンの始動・プッシュエンジンスイッチのモード切りかえ：
→ P. 440, 441
- エンジンの停止：→ P. 184

 警告**■電波がおよぼす影響について**

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、アンテナ (→ P. 113) から約 22cm 以内に近付かないようにしてください。電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波が医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

キーレスアクセスを非作動にすることもできます。
詳しくはスバル販売店にお問い合わせください。

フロントドア

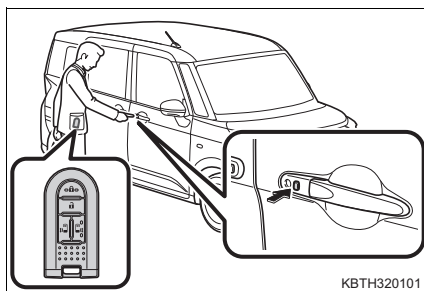
ドアの施錠／解錠

キーレスアクセスや電波式リモコン機能、キー、ドアロックスイッチを使って解錠・施錠できます。

◆ キーレスアクセス

アクセスキーを携帯し、ロック／アンロックスイッチを押して全ドアを解錠・施錠する

スイッチを確実に押してください。
施錠したときは、必ず施錠されたことを確認してください。

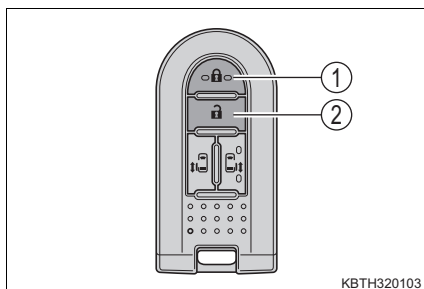


◆ 電波式リモコン機能

① 全ドアを施錠する

必ず施錠されたことを確認してください。

② 全ドアを解錠する



 知識

■ 作動の合図

非常点滅表示灯の点滅で知らせます。
(施錠は1回、解錠は2回)

■ カスタマイズ機能

非常点滅表示灯の点滅を停止することができます。
(カスタマイズ一覧：→ P. 455)

■ 解錠操作のセキュリティ機能

解錠操作後、約 30 秒以内にドアを開けなかったときは、盗難防止のため自動的に施錠されます。

■ キーレスアクセスや電波式リモコンが正常に作動しないとき

メカニカルキーを使ってドアの施錠・解錠ができます。(→ P. 440)
アクセスキーの電池が消耗しているときは、電池を交換してください。
(→ P. 368)

◆ キー

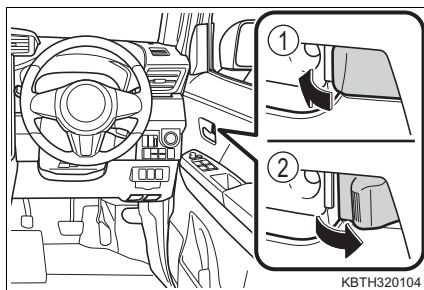
メカニカルキーを使ってドアを施錠・解錠できます。(→ P. 440)

◆ ロックレバー

① ドアを施錠する

② ドアを解錠する

運転席のドアを解錠（または施錠）すると、全てのドアが解錠（または施錠）されます。



キーを使わずに外側から運転席を施錠するとき

1 ロックレバーを施錠側にする

2 ドアハンドルを引いたままドアを閉める

プッシュエンジンスイッチがアクセサリーモードまたはイグニッションONモードのときや車内にアクセスキーが放置されているときは施錠されません。

キーが正しく検知されずに施錠される場合があります。

 知識**■キー閉じ込み防止機能**

- キーを車内に残したまま、施錠することを防ぐ機能です。次の状態で作動します。
 - ・ プッシュエンジンスイッチがアクセサリーモード またはイグニッションONモード のとき
 - ・ 車内にアクセスキーがあるとき
- 次の操作をするとキー閉じ込み防止機能が作動して、すべてのドアが解錠されます。
 - ・ 車内の運転席ドアのロックレバーを施錠側にし、運転席ドアハンドルを引いたままドアを閉めたとき
 - ・ すべてのドアが施錠されている状態で、運転席以外のドアロックレバーを車内から解錠し、ドアを開けて閉めたとき

■半ドア走行時警告ブザー

→ P. 407, 416

■機能が正常に働かないおそれのある状況

→ P. 116

 警告**■事故を防ぐために**

運転中は次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、不意にドアが開き車外に放り出されるなど、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- シートベルトを必ず使用する
- すべてのドアを確実に閉め、施錠する
- 走行中はドア内側のドアレバーを引かない
- お子さまをリヤシートに乗せるときは、チャイルドブーフを使用して車内からドアが開かないようにする

■ドアを開閉するときの留意事項

傾斜地・ドアと壁などのあいだが狭い場所・強風など、周囲の状況を確認し、予期せぬ動きにも対処できるよう、ドアハンドルを確実に保持してドアを開閉してください。

スライドドア

車外からの解錠／施錠

◆ キーレスアクセス

→ P. 112

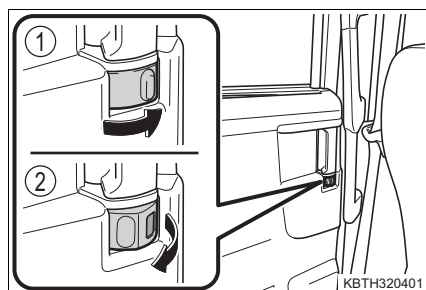
◆ 電波式リモコン

→ P. 109

車内からの解錠・施錠

◆ ロックレバー

- ① 施錠
- ② 解錠



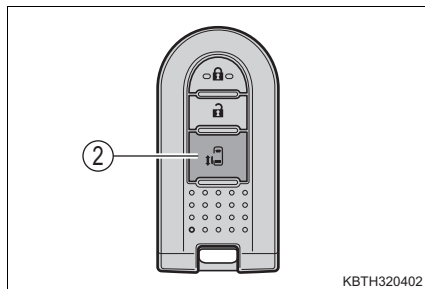
3

各部の操作

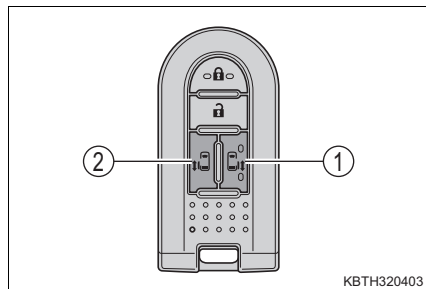
車外からスライドドアを開閉する

◆ 電波式リモコン

▶ 運転席側パワースライドドア
装着車以外



▶ 運転席側パワースライドドア
装着車



- ① 運転席側パワースライドドア★を開閉する（長押し）
- ② 助手席側パワースライドドアを開閉する（長押し）

開閉作動中に押すと停止し、再度長押しすると全開します。

途中まで開いた状態から全閉するとき、一度全開した後にスイッチを長押ししてください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

◆ スライドドアハンドル

① スイッチを押して開閉する

- ・ ドア施錠時：アクセスキーを携帯し、スイッチを押すと全てのドアが解錠されスライドドアが自動で開きます。

アクセスキーの検知エリア内(→ P. 114) でスイッチを押さないと、スライドドアは開きません。

- ・ ドア解錠時：スイッチを押すとスライドドアが自動で開きます。

② ドアハンドルを引いて開閉する

ロックが解除するまで確実にドアハンドルを引きます。

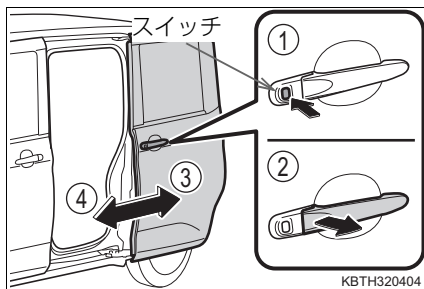
③ 開く

④ 閉じる

パワースライドドアは、ドアハンドルを引くと自動で全開または、全閉になります。

また、自動開閉作動中にスイッチを押す、またはドアハンドルを引くと自動開閉作動が停止し、再度スイッチを押す、またはドアハンドルを引くと、スライドドアが反対方向に作動します。

スライドドアが全閉した状態でスイッチを押してもドアは施錠しません。



車内からスライドドアを開閉する

◆ インサイドドアハンドル

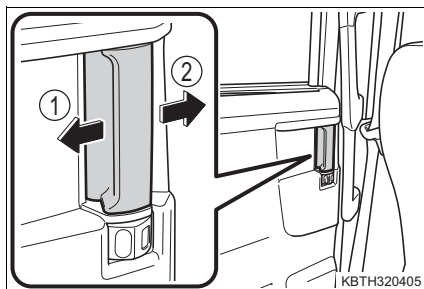
① 開く

② 閉じる

ロックが解除するまで確実にドアハンドルを操作します。

パワースライドドアは、ドアハンドルを操作すると自動で全開または、全閉になります。

また、自動開閉作動中に再度ドアハンドルを操作すると自動開閉作動が停止します。

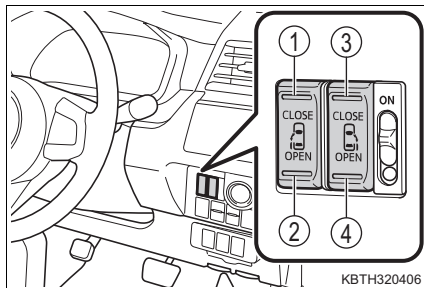


◆ パワースライドドアスイッチ

- ① 閉める（助手席側）
- ② 開ける（助手席側）
- ③ 閉める（運転席側）★
- ④ 開ける（運転席側）★

スイッチを長押しして開閉します。

開閉作動中に再度スイッチを押すと、停止します。



パワースライドドアを使用するときは

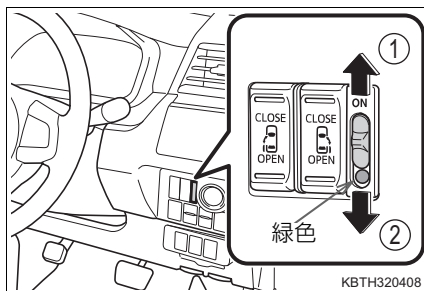
パワースライドドアメインスイッチを ON にする

① ON

次の操作によりパワースライドドアを自動で開閉できます。

- ・ 電波式リモコン
- ・ スライドドアハンドル
- ・ インサイドドアハンドル
- ・ パワースライドドアスイッチ
- ・ スライドドアハンドルスイッチ

ON にするとスイッチ下部に緑色のマークが表れます。



② OFF

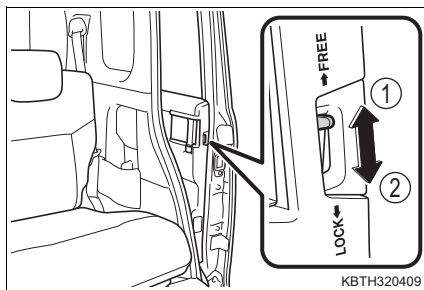
スライドドアを手動でのみ開閉できます。

チャイルドブーフ

施錠側にすると、スライドドアが車内から開かなくなります。

- ① 解錠
- ② 施錠

お子さまが車内からスライドドアを開けられないようにできます。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

■ 作動の合図（パワースライドドア使用時）

ブザーで知らせます。（作動開始時に 1 回、閉作動中は継続）

■ チャイルドブルーフ使用時のドアの開け方

ドアを解錠して車外のドアハンドルを引くと開きます。万一、車内から開ける場合は、ドアガラスを下げて手を出し、車外のドアハンドルを引いてください。

■ 中間ストッパー

フューエルリッドが開いていると、助手席側スライドドアは途中までしか開きません。（中間ストッパー位置で停止します）中間ストッパー位置で停止したスライドドアを全開にするときは、いったんスライドドアを全閉にしてから、フューエルリッドを閉じ再度スライドドアを開けてください。

■ イージークローザー

スライドドアが半ドア状態になったとき、イージークローザーが作動し、スライドドアが自動で完全に閉まります。

● 次の場合でもイージークローザーは作動します。

- ・ プッシュエンジンスイッチがアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード
- ・ パワースライドドアメインスイッチが OFF

● 車内や車外のドアハンドルを引いたままドアを閉めたときは、イージークローザーが作動しないことがあります。

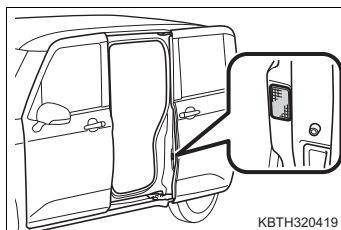
● イージークローザーが作動中でも、車内のドアハンドルや車外のドアハンドルを引いてドアを開けることができます。（ロックレバーやチャイルドブルーフが施錠側のときを除く）

■ デッキサイドランプ右側（スイッチ付）★

スイッチをドアポジションにしておくと、右側のスライドドアを開けたときに点灯します。（→ P. 318）

■ 後席ステップランプ★※

スライドドアを開けたときにランプが点灯します。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

※：右側は運転席側パワースライドドア装着車に装着されています。

■パワースライドドアの作動可能条件

次の作動条件をすべて満たしているときに、自動で開閉できます。

- パワースライドドアメインスイッチが ON
- フューエルリッドが閉じている（助手席側パワースライドドアのみ）
- プッシュエンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき、車速が約 3km/h 以下で次のいずれかの条件を満たしている
 - ・パーキングブレーキがかかっているとき
 - ・ブレーキペダルを踏んでいるとき
 - ・停車している状態でセレクトレバーが P のとき

スライドドアが施錠された状態で、スライドドアハンドルのスイッチ（→ P. 126）以外の操作をしたときは、自動開作動しません。自動開作動の前に解錠してください。

■パワースライドドアの作動について

- パワースライドドアメインスイッチが ON のとき、ドアハンドルをブザーが鳴る位置まで操作すると自動で作動します。
閉作動中は、ブザーが断続的に鳴ります。
- パワースライドドアメインスイッチが ON のとき、作動可能条件を満たしていない状態でドアハンドルを引いて手動で開けると、ブザーが鳴ります。この場合、スライドドアがスムーズに動かないことがあります。異常ではありません。
- パワースライドドアメインスイッチが OFF のときは、手動でのみ開閉できます。
- パワースライドドアメインスイッチが OFF のときにパワースライドドアスイッチを押すとブザーが鳴り、パワースライドドアが作動しないことをお知らせします。
- フューエルリッドが開いているときに、助手席側パワースライドドアを開けることはできません。
- パワースライドドアの自動開閉中に、次の操作を行うとブザーが鳴り、作動が停止します。ドアハンドルを操作して、手動で全閉にしてください。
 - ・パワースライドドアメインスイッチを OFF にした
 - ・フューエルリッドを開けた（助手席側パワースライドドア）手動で全閉するとき、スライドドアがスムーズに動かないことがあります。異常ではありません。
- パワースライドドアの自動開閉中に車速が約 3km/h 以上になったときは、ブザーが鳴り作動が停止して、そのまま停止状態を維持します。スイッチやドアハンドルの操作で全閉にしてください。
- 次の場合は、パワースライドドアが作動しないことがあります。
 - ・バッテリーの電圧が低下したとき
 - ・傾斜地で駐車しているとき

- パワースライドドアの自動開閉中に、人や異物などにより挟み込みを感知すると、ブザーが鳴り、10cm 位反転作動したあとに作動を停止します。停止後にパワースライドドアを操作すると、次のように作動します

逆方向に動く：

- ・ アウトサイドハンドルを引くまたはスライドドアハンドルのスイッチを押す
- 開方向に動く：

- ・ インサイドハンドルを開方向に引くまたはパワースライドドアスイッチ（OPEN 側）を押す

閉方向に動く：

- ・ インサイドハンドルを閉方向に引くまたはパワースライドドアスイッチ（CLOSE 側）を押す

挟み込み防止機能作動後、電波式リモコンのパワースライドドア開閉スイッチを押しても、パワースライドドアは作動しません。また、センサーに手などが強く触れたままの場合も作動しません。（→ P. 130）

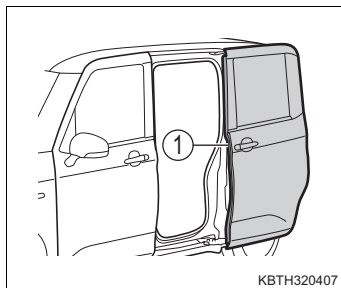
- 挟み込みを感知したスライドドアが反転作動している間に再度挟み込みを感知すると、ただちに作動が停止します。
- 挟み込みを感知した後、自動開閉できないときは、手動操作で全閉にしてください。その際、スライドドアがスムーズに動かないことがありますが、異常ではありません。
- 車外または車内のドアハンドルで自動で全開する際、ドアハンドル操作が不十分な場合にスライドドア後端付近で「ガコッ」と音がしてブザーが約 10 秒間鳴ることがありますが、異常ではありません。もう一度ドアハンドルを引くと、パワースライドドアが正常に作動します。

■ バッテリーを再接続したときは

- パワースライドドアを適切に作動させるために、次の操作で初期設定を行ってください。
 - ・ スライドドアのドアハンドルを操作して、手動で一度全閉にする
- 手動で全閉するとき、スライドドアがスムーズに動かないことがありますが、異常ではありません。
- 初期設定を行っていないと、パワースライドドア、および挟み込み防止機能が作動しません。

■ 挟み込み防止機能

パワースライドドアの前端部には、センサー（①）が付いています。ドアを自動で閉めているときに、挟み込みなどによりセンサーが押された、またはドアに一定以上の負荷がかかると挟み込み防止機能が作動し、ドアは 10cm 位反転作動したあとに停止します。



KBTH320407

■予約ロック機能について

スライドドアが開いている状態で、あらかじめ全ドアの施錠を予約する機能です。

次の操作をすると、スライドドア以外のすべてのドアが施錠され、スライドドアが閉まると同時にスライドドアも施錠されます。

① スライドドア以外のすべてのドアを閉じる

② スライドドアの自動閉作動中に電波式リモコンによる施錠操作を行う

(→ P. 125)

非常点滅表示灯が 1 回点滅します。

③ スライドドアが閉まると、同時に施錠される

非常点滅表示灯が 1 回点滅して、予約ロックが完了します。

- 予約ロックをしてスライドドアが自動閉作動中に、次の操作が行われると予約ロック機能が解除され全てのドアが解錠されます。

- ・ キーレスアクセスで解錠する
- ・ 運転席側ロックレバーを解錠方向に操作する
- ・ プッシュエンジンスイッチをアクセサリモードにする
- ・ 挟み込み防止機能が作動するなどの停止操作

キーレスアクセスで解錠、挟み込み防止機能が作動するなどの操作で解錠した場合は、非常点滅表示灯が 2 回点滅します。

- 予約ロック機能使用時、施錠操作をしたあとに、アクセスキーを車内にもどすと、車内にアクセスキーが閉じ込められることがあります。
予約ロック機能を使用するときは、必ずアクセスキーを携帯した状態で行ってください。
- お車から離れるときは、すべてのドアが閉まり施錠されたことを確認してください。
- スライドドアのスイッチでは、予約ロックはできません。

■半ドア走行時警告ブザー

→ P. 407, 416

■自動洗車機を使うとき

→ P. 336

■カスタマイズ機能

スライドドアスイッチの操作方法などの変更ができます。

(カスタマイズ一覧：→ P. 455)

 警告**■走行中の警告**

走行中は次のことをお守りください。

お守りいただかないと思ってもよらずドアが開き、外に投げ出されるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- すべてのドアを確実に閉める
- すべてのドアを施錠する
- お子様を乗せるときは、チャイルドプーフを使用してドアが開かないようにする
- シートベルトを必ず着用する
- 走行中はドア内側のドアハンドルを操作しない

■お子さまを乗せているときは

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- お子さまを車内に残さないでください。
誤って閉じ込められた場合、熱射病などを引き起こすおそれがあります。
- お子さまにはスライドドアの開閉操作をさせないでください。
不意にスライドドアが動いたり、閉めるときに手・頭・首などを挟んだりするおそれがあります。(パワースライドドア：パワースライドドアメインスイッチを OFF にする。もしくは、スライドドアのドアロックを施錠することでパワースライドドアは作動しません)
- お子さまをリヤシートに乗せるときは、チャイルドプーフ (→P. 127) を使用して車内からドアが開かないようにする

 警告**■スライドドアの操作にあたって**

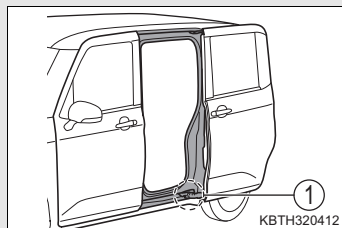
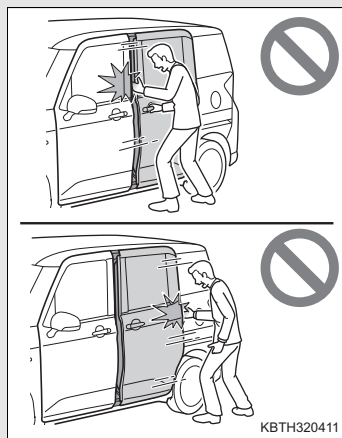
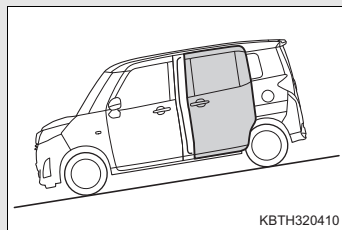
次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、体を挟むなどして重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 乗り降りするときは、スライドドアが全開位置であることを確認してください。
- スライドドアを開閉するときは、十分に周囲の安全を確かめてください。
- ドアガラスを開けた状態でスライドドアを開閉するときは、窓から手・足・顔などを出さないでください。
- 人がいるときは安全を確認し、動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- ドアハンドルをしっかりと持ち、スライドドアのふちやその周辺に手をかけずに開閉してください。
- スライドドアを開けるときは、必ず全開位置まで開き固定してください。（全開にするとスライドドアがストッパーで固定されます）半開状態ではスライドドアが確実に固定されないため、傾斜地などで不意に動き出すおそれがあります。

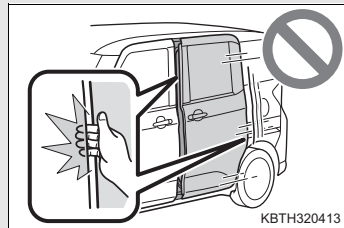
警告**■スライドドアの操作にあたって**

- 車内からスライドドアにもたれかからないでください。スライドドアを開いたとき、車外へ落ちるなど思わぬ事故につながるおそれがあります
- スライドドアが中間ストッパーの位置で停止した場合、スライドドアは固定されません。坂道などではドアが不意に動き出すおそれがありますので、十分注意してください。
- 傾斜した場所ではスライドドアを開けたままにしないでください。また、スライドドアの開閉スピードが速くなります。スライドドアにあたったり挟んだりしないように注意してください。
- 下り坂で乗り降りするときは、スライドドアを全開にしておいてください。また、途中でドアハンドルやドアハンドルスイッチを操作しないでください。スライドドアが突然動き出すおそれがあります。
- スライドドアを閉めるときは、指などを挟まないよう十分注意してください。
- スライドドアのアーム、レール、ピラー部および配線部には、手足をかけないでください。特に（①）の部分には十分注意してください。



警告**■ イージークローザーについて**

- スライドドアが半ドア状態になったとき、イージークローザーが作動し自動で完全に閉まります。また、作動し始めるまでに数秒かかります。指などを挟まないように注意してください。骨折など重大な傷害を受けるおそれがあります。(→ P. 128)

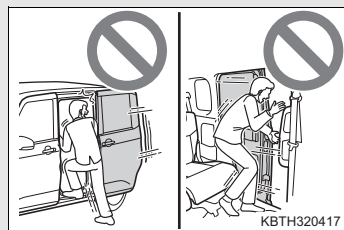


- イージークローザーは、パワースライドドアメインスイッチが OFF であっても作動するため、指などの挟み込みには十分注意してください。
- ロックレバーやチャイルドブーフが施錠側のとき、イージークローザー作動中にインサイドドアハンドルを引くとイージークローザーが半ドア状態で停止し、開けられません。指などを挟まれないように注意してください。骨折など重大な傷害を受けるおそれがあります。

■ パワースライドドアについて

パワースライドドアの操作時は、次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

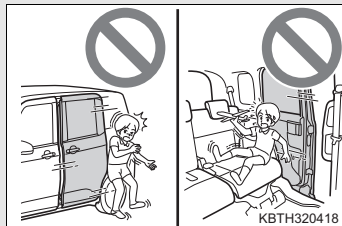
- パワースライドドア作動中に乗り降りしないでください。



- ドアハンドルを使ってパワースライドドアを開閉するときは、操作後すぐにドアハンドルから手を離してください。ドアハンドルを握ったままスライドドアが作動すると、手・指・腕などに無理な力がかかるおそれがあるので十分注意してください。
- 周辺の安全を確かめ、障害物がないか、身のまわりの品が挟み込まれる危険がないか確認してください。

警告**■パワースライドドアについて**

- 人がいるときは、作動させる前に安全を確認し、動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
また、車外および車内のスライドドア付近にもたれている人がいるときは、パワースライドドアを作動させないでください。



- 自動開閉中にパワースライドドアメインスイッチを OFF にしたり、フューエルリッドを開いたりしたときやセンサーなどが故障したときは、ブザーが鳴り作動が停止して、約 3 秒後に手動操作に切りかわります。この場合、傾斜した場所では、スライドドアが急に開いたり閉じたりするおそれがあるので、十分に注意してください。
- 自動開閉中、または全開以外のときは、ドアが急に反転作動したり、動きだすおそれがあります。必ず全開で静止していることを確認してください。
- 自動開閉中に作動可能条件を満たさなくなったときは、ブザーが鳴り、作動が停止し、手動操作に切りかわる場合があります。
この場合、傾斜した場所では、スライドドアが急に開いたり閉じたりするおそれがあるので、十分注意してください。
- 自動開作動中に車速が約 3 km/h 以上になったときは、ブザーが鳴り作動が停止して、そのまま停止状態を維持します。この場合、同乗者や荷物が車外に放り出されるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。ただちに安全な場所に停車するか、スイッチやドアハンドルの操作でスライドドアを全閉にしてください。
- エンジン停止中に、パワースライドドアを途中で停止させたまま放置しないでください。スイッチやドアハンドルの操作で停止した場合は、約 3 分後（挟み込みで停止した場合は約 30 分後）にブザーが鳴り、手動操作に切りかわります。この場合、傾斜した場所では、スライドドアが急に開いたり閉じたりするおそれがあるので、十分注意してください。

 警告**■ パワースライドドアについて**

- 次のような場合、システムが異常と判断して自動作動が停止し、手動操作に切りかわることがあります。この場合、傾斜した場所では、スライドドアが急に開いたり閉じたりするおそれがあるので、十分注意してください。
 - ・ 自動作動中、障害物に干渉したとき
 - ・ エンジン停止時でパワースライドドアが自動作動しているときに、プッシュエンジンスイッチをイグニッションONモードにしたりエンジンを始動したりして、バッテリー電圧が急に低下したとき
- ドアガラスを開けた状態で自動開閉するときは、絶対に窓から手足や顔などを出さないでください。
- タイヤ交換時や洗車機を使用する際は、パワースライドドアメインスイッチをOFFにしてください。OFFにしないと誤ってスイッチにふれたときにスライドドアが動き、手・頭・首などを挟んだりするおそれがあります。

■ 挟み込み防止機能（パワースライドドアメインスイッチ ON 時）

次のことを必ずお守りください。

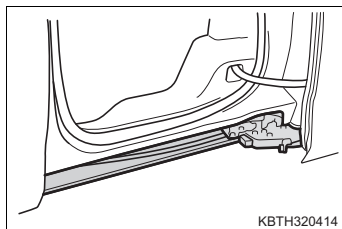
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 挟み込み防止機能を故意に作動させようとして、体の一部を挟んだりしないでください。
- 挟み込み防止機能は、スライドドアが完全に閉まる直前に異物を挟むと作動しない場合があります。指などを挟まないように注意してください。
- 挟み込み防止機能は、挟まれるものの形状や挟まれかたによっては作動しない場合があります。指などを挟まないように注意してください。

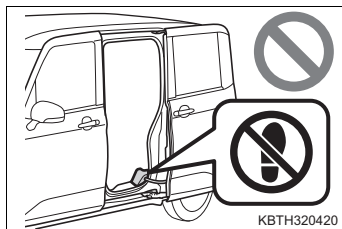
⚠ 注意**■スライドドアについて**

- スライドドアを開閉する前に、運転者はスライドドアが安全に開閉できるように車外および車内のスライドドア付近の状態を必ず確認してください。

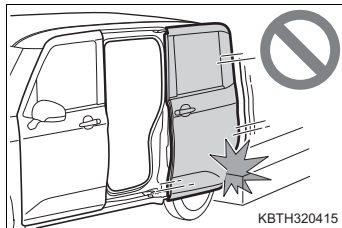
- スライドドアのリヤステップ下のローラー滑走面に、石などの異物が入り込まないように注意してください。異物が入り込んだままスライドドアを開閉すると、スライドドアの故障の原因になります。



- 乗降時に、リヤシート下のプレートを押さないようにしてください。プレート下の配線類が損傷するおそれがあります。



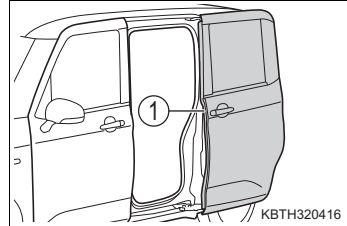
- スライドドアを開けるときは縁石や壁などにあたらないように注意してください。スライドドアを損傷するおそれがあります。

**■イージークローザーについて**

- イージークローザーの作動中は無理な力をかけないでください。
- ドアの開け閉めを短時間にくり返すとイージークローザーが作動しないことがあります。この場合、1度ドアを開け、少し時間をおいてから閉め直すと作動します。

⚠ 注意**■ パワースライドドアについて**

- パワースライドドア前端部のセンサー
(①) を刃物などの鋭利なもので傷付けないよう注意してください。センサーが切断されると自動で閉めることができなくなります。また、自動で閉めているときにセンサーが切断されると、スライドドアはただちに停止します。



- アイドリングストップによるエンジン停止中に自動開閉すると、エンジンが始動することがあります。しっかりとブレーキペダルを踏み続けてください。
- ドアが凍結しているときは、スライドドアが開閉可能か手動で確認してから自動開閉してください。凍結したまま操作を繰り返すと、故障の原因となります。

■ バッテリーあがりを防止するために

後席ステップランプ★※が点灯するため、エンジンを停止した状態でスライドドアを長時間開けたままにしないでください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

※：右側は運転席側パワースライドドア装着車に装着されています。

リヤゲート

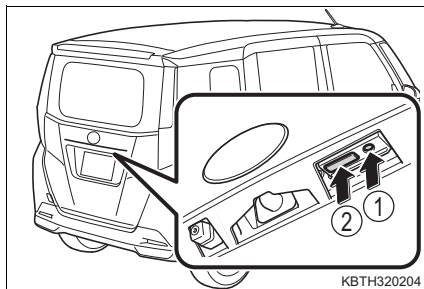
リヤゲートは次の方法で施錠・解錠および開けることができます。

車外からの施錠／解錠

◆ キーレスアクセス

アクセスキーを携帯して操作します。

- ① 全ドアを施錠する
必ず施錠されたことを確認してください。
- ② 全ドアを解錠する
リヤゲートが半ドア状態になります。



◆ 電波式リモコン

→ P. 109

車内からの施錠／解錠

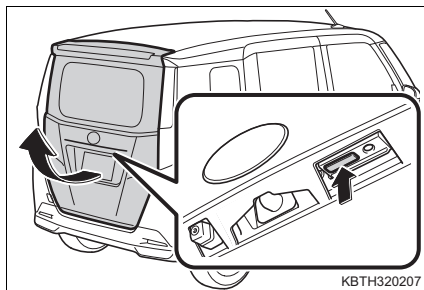
◆ ロックレバー

→ P. 122

リヤゲートを開けるには

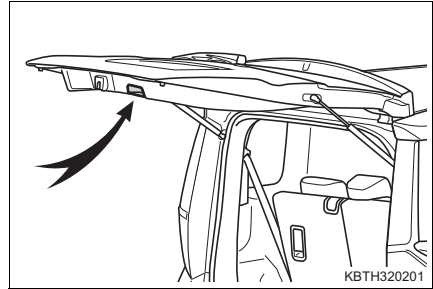
リヤゲートオープンスイッチを押したまま、リヤゲートを持ち上げる

リヤゲートオープンスイッチを押したあと、約 1 秒間はリヤゲートを閉めることができません。



リヤゲートを閉めるとき

リヤゲートインナーハンドルを持ってリヤゲートを引き下げる
必ず外から押して閉めてください。

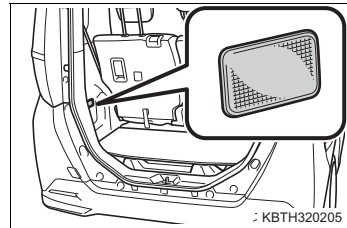


知識

■ デッキサイドランプ左側

リヤゲート、またはリヤゲート以外のドアを開けたとき、デッキサイドランプ左側が点灯します。

プッシュエンジンスイッチがアクセサリモード、または OFF の場合、約 10 分後に自動消灯します。



■ 半ドア走行時警告ブザー

→ P. 407, 416

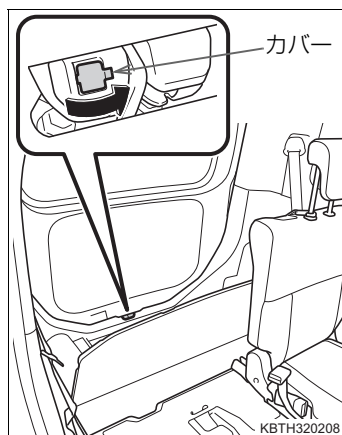
■ カスタマイズ機能

リヤゲートスイッチ操作による作動を変更することができます。
(カスタマイズ一覧：→ P. 455)

■ リヤゲートが開かなくなったら

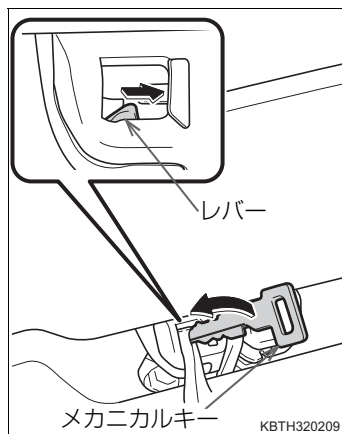
リヤゲートを内側から開けることができます。

- 1 右側リヤシートを格納する (→ P. 153)
- 2 カーゴボードを上げる (→ P. 326)
- 3 カバーを開ける



- 4 メカニカルキーなどを使ってレバーを矢印の方向に動かす (→ P. 109)

傷が付くのを防ぐため、メカニカルキーなどの先端に布などを巻いて保護してください。



 警告**■走行中の警告**

- 走行中はリヤゲートを閉めてください。
開けたまま走行すると、リヤゲートが車外のものにあたったり荷物が投げ出されたりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
また、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害や死亡につながるおそれがあります。走行前にリヤゲートが閉まっていることを必ず確認してください。
- 走行前にリヤゲートが完全に閉まっていることを確認してください。リヤゲートが完全に閉まっていないと、走行中にリヤゲートが突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- カーゴルームには絶対に人を乗せないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■お子さまを乗せているときは

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- カーゴルームの中でお子さまを遊ばせないでください。
誤って閉じ込められた場合、熱射病や窒息などを引き起こすおそれがあります。
- お子さまにはリヤゲートの開閉操作をさせないでください。
不意にリヤゲートが動いたり、閉めるときに手・頭・首などを挟んだりするおそれがあります。

■リヤゲートの使用にあたって

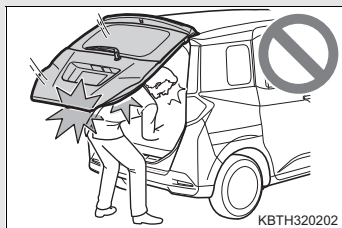
次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、体を挟むなどして重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

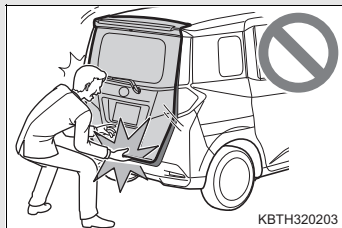
- リヤゲートを開ける前に、リヤゲートに張り付いた雪や氷などの重量物を取り除いてください。開いたあとに重みでリヤゲートが突然閉じるおそれがあります。
- リヤゲートを開閉するときは、十分に周囲の安全を確かめてください。
- 人がいるときは、安全を確認し動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- 強風時の開閉には十分注意してください。
リヤゲートが風にあおられ、勢いよく開いたり閉じたりするおそれがあります。
- リヤゲートのスイッチを押すときは、スイッチ横の番号灯をさわらないでください。点灯中、または消灯直後は電球が高温になっているため、やけどをするおそれがあります。

警告

- 半開状態で使用すると、リヤゲートが突然閉じて重大な傷害を受けるおそれがあります。特に傾斜地では、平坦な場所よりもリヤゲートの開閉がしにくく、急にリヤゲートが開いたり閉じたりするおそれがあります。必ずリヤゲートが全開で静止していることを確認して使用してください。



- リヤゲートを閉めるときは、指などを挟まないよう十分注意してください。
- リヤゲートは必ず外から軽く押して閉めてください。リヤゲートインナーハンドルを持ったままリヤゲートを閉めると、手や腕を挟むおそれがあります。



- リヤゲートダンパーステアを持ってリヤゲートを閉めたり、ぶらさがったりしないでください。
手を挟んだり、リヤゲートダンパーステアが破損したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- リヤゲートにキャリアなどの重いものを取り付けると、開けたあとにドアが突然閉じて、手・頭・首などを挟むおそれがあります。リヤゲートにスバル純正品以外のアクセサリ用品を取り付けしないでください。

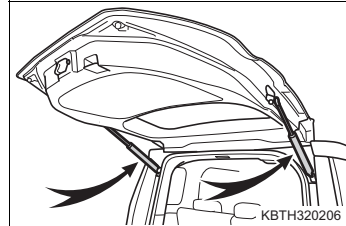
⚠ 注意**■ リヤゲートハンドルのスイッチについて**

リヤゲートハンドルのスイッチは強い力で押したり、鋭利なもので押さないでください。スイッチが破損するおそれがあります。

■ ダンパーステアについて

リヤゲートにはリヤゲートを支えるためのダンパーステアが取り付けられています。ダンパーステアの損傷や作動不良を防ぐため次のことをお守りください。

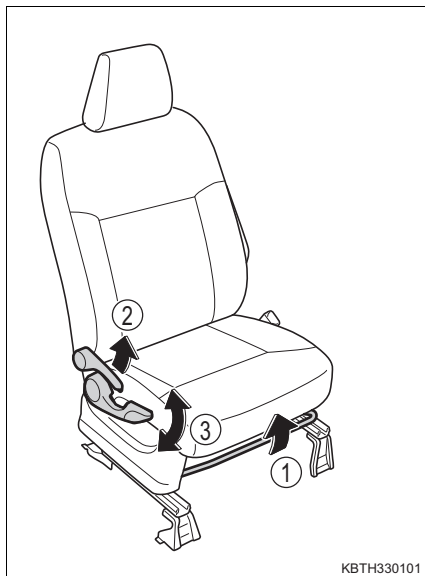
- ビニール片・ステッカー・粘着材などの異物をステアのロッド部（棒部）に付着させない
- ロッド部を軍手などでふれない
- リヤゲートにスバル純正品以外のアクセサリ用品をつけない
- ステアに手をかけたり、横方向に力をかけたりしない



フロントシート

調整のしかた

- ① 前後位置調整
- ② リクライニング調整
- ③ シート全体の上下調整★（運転席のみ）



⚠ 警告

■シートを調整するとき

- 同乗者がシートにあたっけがをしないように注意してください。
- シートの下や動いている部分に手を近付けないでください。
指や手を挟み、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 足元のスペースを確保し足を挟まないように注意してください。

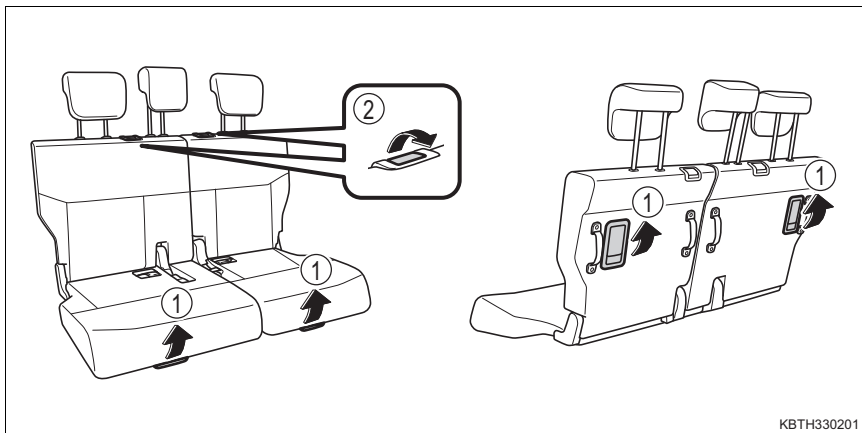
■リクライニング調整について

- 背もたれは必要以上に倒さないでください。
必要以上に倒しすぎると、事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けたり肩部ベルトが首にかかるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- シート調整後はシートがきちんと固定されていることを確認してください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

リヤシート

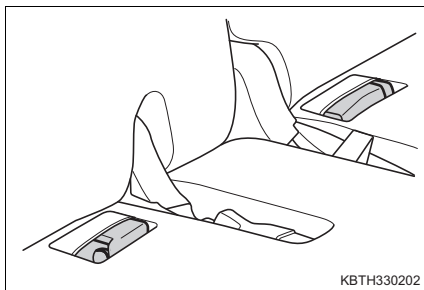
調整のしかた



- ① 前後位置調整
- ② リクライニング調整

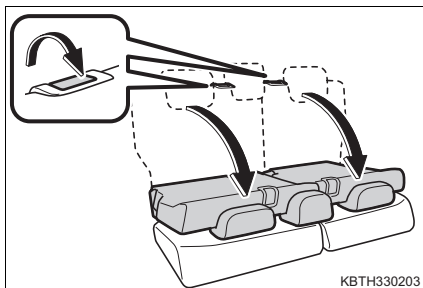
背もたれを前に倒す

- ① リヤ中央席シートベルトを格納する (→ P. 30)
- ② リヤ中央席シートベルトのバックルを格納する



- ③ ヘッドレストをいちばん下まで下げる (→ P. 150)

- 4 リクライニングレバーを引きながら、背もたれを前方に倒す
ロックが確実に解除されるまで、レバーを引いてください。



- 5 上から押して、背もたれを固定する
6 背もたれをもとにもどすときは逆の手順で行う

⚠ 警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■シート調整について

- シートが乗員や荷物にあたらないように注意してください。
- 背もたれは必要以上に倒さないでください。
事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けるなど生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- リヤ中央席に座わるときは、リヤ左右席のシート位置、背もたれの角度を同じにしてください。正しい姿勢がとれず、事故の際に重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- シートの下や動いている部分に手を近付けないでください。
指や手を挟み、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- シート調整後はシートが確実に固定されていることを確認してください。

■背もたれを前に倒すときは

- 走行中にリヤシートを操作しない
- 平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、セレクトレバーをPにする
- 操作をするときに、可動部や結合部に手や足などを挟まないように注意する
- 倒した背もたれやカーゴルームに人を乗せて走行しない
- お子さまがカーゴルームに入らないよう注意する

■背もたれをもとにもどしたあとは

- シートを前後に軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認する
- シートのあいだにシートベルトが挟み込まれていないか確認する

 注意**■ 背もたれを前に倒すときは**

背もたれを倒す前に、必ずリヤ中央席のシートベルトとバックルを格納してください。シート、またはバックルが破損するおそれがあります。

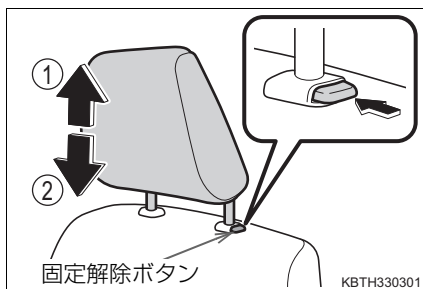
ヘッドレスト

フロントシート

① 上げる

② 下げる

下げるときは、固定解除ボタンを押しながら操作します。

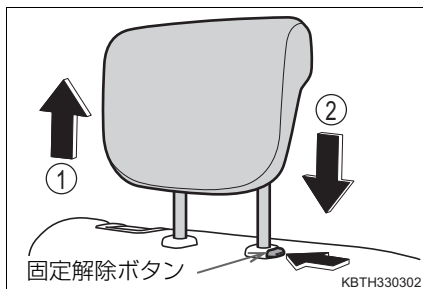


リヤシート

① 上げる

② 下げる

下げるときは、固定解除ボタンを押しながら操作します。



知識

■ヘッドレストを取りはずすとき

固定解除ボタンを押しながら取りはずします。



■ヘッドレストを取り付けるとき

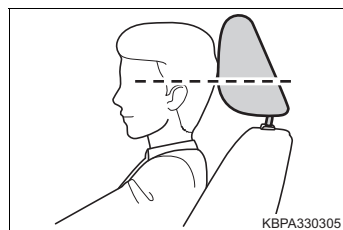
ヘッドレストを取り付け穴に合わせて、ロック位置まで押し下げてください。

さらに下げるときは、固定解除ボタンを押しながら操作してください。



■フロント席のヘッドレストの高さについて

必ずヘッドレストの中心が両耳のいちばん上のあたりになるよう調整してください。



■リヤシートのヘッドレストの使用について

使用するときは、常に格納位置から一段上げた位置にしてください。

⚠ 警告

■ヘッドレストについて

次のことをお守りください。

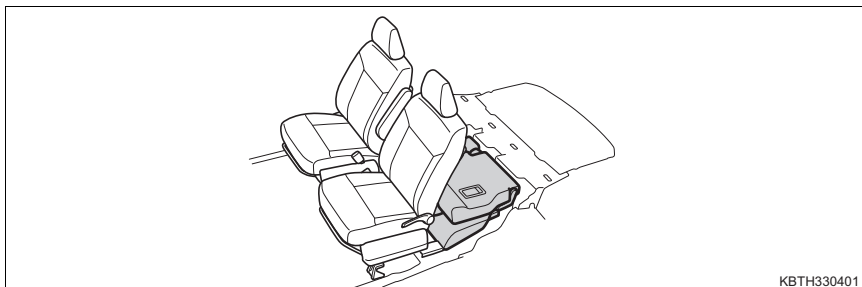
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ヘッドレストは、それぞれのシート専用のものを使用する
- ヘッドレストを必ず正しい位置に調整する
- ヘッドレストを調整したあとは、ヘッドレストを押し下げて固定されていることを確認する
- ヘッドレストをはずしたまま走行しない

シートアレンジ

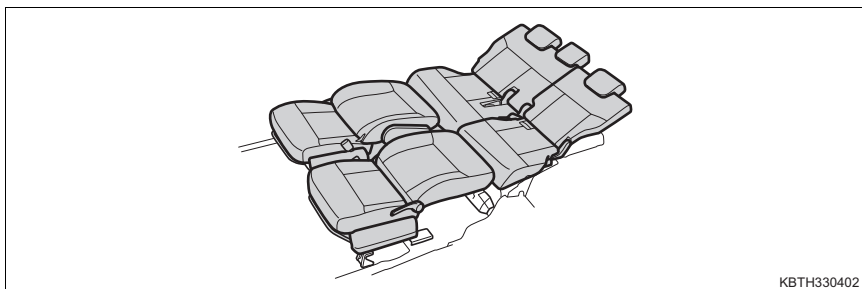
◆ ダイブインモード（リヤシート格納）

→P. 153



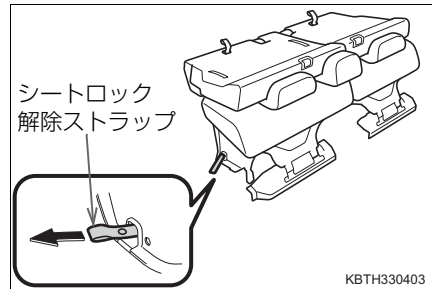
◆ フルフラットモード

→P. 154



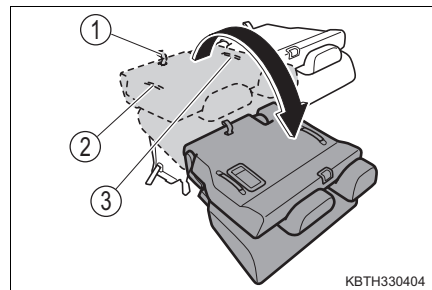
ダイブインモード（リヤシート格納）にするには

- 1 お車を停止させ、しっかりとパーキングブレーキをかける
- 2 フロントシートをいちばん前までスライドする
- 3 リヤシートをいちばんうしろまでスライドする
- 4 リヤシートのヘッドレストをいちばん下まで下げる（→ P. 150）
- 5 リヤシートの背もたれを前に倒して固定する（→ P. 147）
- 6 シートロック解除ストラップを引いてロックを解除する



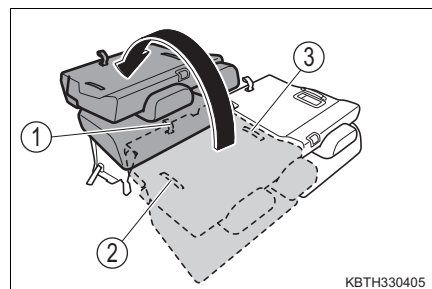
- 7 車外からストラップ(①)、(②)を持って、リヤシートを持ち上げ格納する

車内から格納するときは、ストラップ(①)、(③)を持ちます。

**■もとにもどすには**

- 1 お車を停止させ、しっかりとパーキングブレーキをかける
- 2 フロントシートをいちばん前までスライドする
- 3 車外からストラップ(①)、(②)を持って、リヤシートを持ち上げもとにもどす

車内からもどすときは、ストラップ(①)、(③)を持ちます。



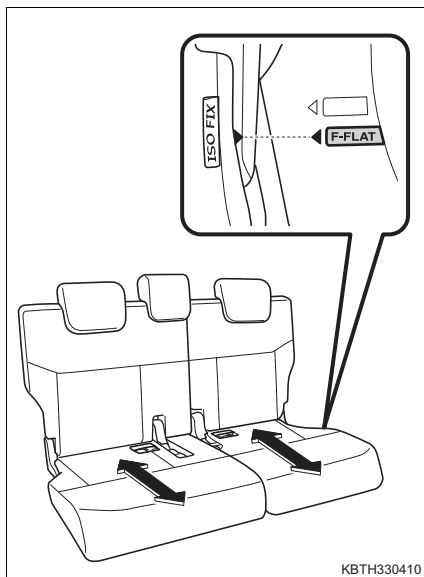
- 4 上から押して、リヤシートを固定する
- 5 背もたれを起こし、固定する

リクライニングレバーを引いたまま背もたれを起こします。

フルフラットモードにするには

- 1 お車を停止させ、しっかりとパーキングブレーキをかける
- 2 リヤシートの位置を調整する

▶ マークを ◀ (F-FLAT) マークに合
わせてください。



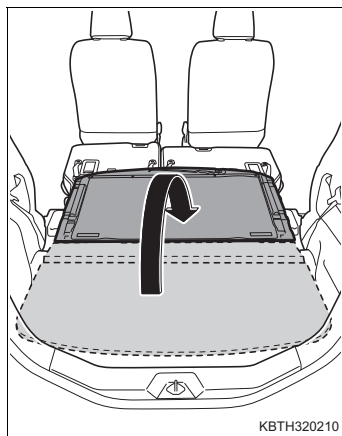
- 3 リヤシートのヘッドレストをいちばん下まで下げる (→ P. 150)
- 4 リヤシートの背もたれをいちばんうしろに倒す
- 5 フロントシートのヘッドレストを取りはずす (→ P. 150)
- 6 フロントシートをいちばん前までスライドする
- 7 フロントシートの背もたれをいちばんうしろに倒す

 知識

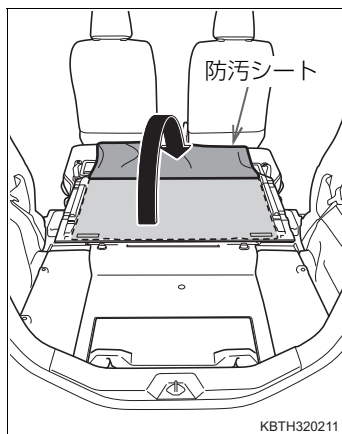
■ カーゴボードの防汚シートについて

ダイブインモードにしてデッキボード裏面にある防汚シートを展開すると、リヤシートを汚すことなく荷物を積むことができます。

- 1 ダイブインモードにする (→ P. 153)
- 2 カーゴボードを車両前側に反転する



- 3 カーゴボード裏面の防汚シートを車両前側にめくる



 警告**■シートアレンジについて**

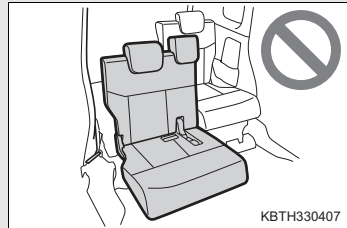
次のことをお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

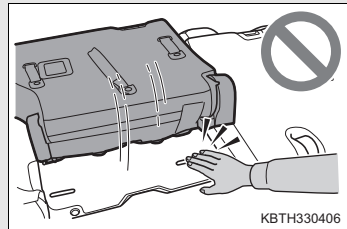
- 必ず平坦な場所でセレクトレバーをPに入れて、パーキングブレーキを確実にかけてください。
- 走行中はシートアレンジ操作をしないでください。
- シートアレンジをしたあとは、シートを軽くゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。
- シートのあいだにシートベルトが挟みこまれていないか確認してください。
- シートを調整するときは、同乗者や荷物にあてないように注意してください。同乗者がけがをしたり、荷物をこわしたりするおそれがあります。
- シートを調整しているときは、シートの下や動いている部分の近くに手を近付けないでください。指や手を挟み、けがをするおそれがあります。
- 操作をするときに、可動部や結合部に手や足などを挟まないようにしてください。
- シートに人が乗っている状態でシートアレンジ操作をしないでください。

警告**■ダイブインモードについて**

- カーゴスペースに人を乗せて走行しないでください。
- 操作するときは、2箇所のストラップ（→ P. 153）を必ず両手で持って、リヤシートの下を持たないようにしてください。また、もとにもどすときは、シートが固定されるまでストラップから手を離さないでください。シートが落下したときに、手を挟みけがをするおそれがあります。
- 格納操作時以外、シートロック解除ストラップを操作しないでください。
- リヤシートを格納するときは、カーゴルーム側から操作しないでください。体がシートの重みで前側に引っぱられ、けがをするおそれがあります。
- リヤシートを格納した状態から背もたれだけ起こして、人を乗せないでください。シートが固定されていないため走行中にシートが動き、急ブレーキや事故の際に重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- リヤシートをもとにもどしたときは、シート脚部が床面ロック部に確実に固定されたことを確認してください。
- リヤシートをもとにもどすときは、シート脚部と床面ロック部のあいだに手や足を近付けないでください。手や足を挟み、けがをするおそれがあります。

**■フルフラットモードについて**

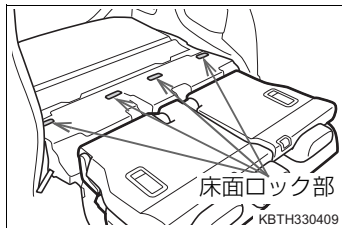
人を乗せて走行しないでください。体が固定されていないため、急ブレーキや事故の際に重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 注意

■ ダイブインモードについて

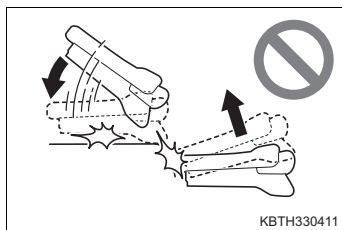
- リヤシートを格納するときや、もとにもどすときは、床面やシートクッションの上に物がなくを確認してから行ってください。
- リヤシートを格納するとき、シートをいちばんうしろまでスライドしてから行ってください。いちばんうしろの位置以外で操作すると、シート周辺の部品と干渉して傷付いたり、破損するおそれがあります。

- リヤシートをもとにもどす前に、床面ロック部に異物が入っていないことを確認してください。異物が入っていると、シートが固定できなかったり、ロック機構が破損するおそれがあります。



- リヤシートをもとにもどすときは、次のことをお守りください。シートとフロアが干渉して破損するおそれがあります。

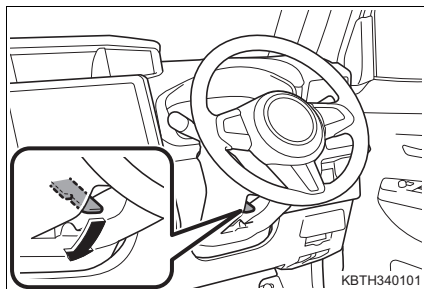
- ・ シートを斜めにして持ち上げない
- ・ シートが固定されるまで両手で持っているストラップを離さない



ハンドル

調整のしかた

- 1 ハンドルを持ち、レバーを下げる



- 2 ハンドルを上下に動かし、適切な位置にする

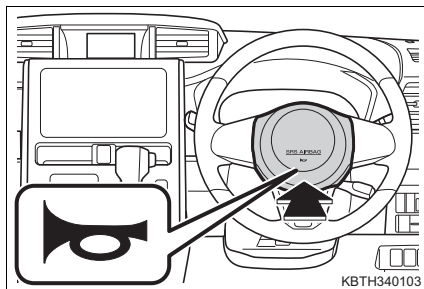
位置が決定したら、レバーを上げてハンドルを固定してください。



ホーン（警音器）

ハンドルの  周辺部を押すと
ホーンが鳴ります。

プッシュエンジンスイッチの位置に関
係なく鳴ります。



知識

■ ハンドル位置を調整したあとは

ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。
固定が不十分だとホーンが鳴らない場合があります。（→ P. 159）

警告

■ 走行中の警告

走行中はハンドル位置の調整をしないでください。
運転を誤って、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

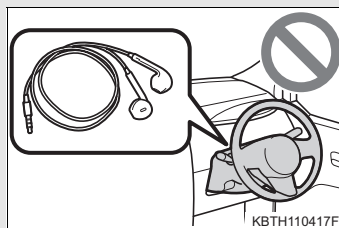
■ ハンドル位置を調整したあとは

ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。
固定が不十分だと、ハンドルの位置が突然変わり、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ SRS エアバックについて

ハンドルやその周辺に物を置いたり、ケーブルなどをひっかけたりしないでください。

スイッチの誤操作を引き起こす原因になる
おそれがあるだけでなく、SRS エアバッグ
システムが正常に作動しなくなるおそれ
があります。



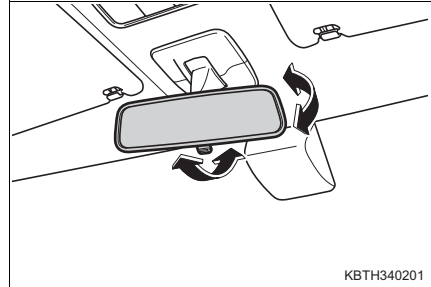
ルームミラー

後方を十分に確認できるようにミラーの角度を調整することができます。

調整のしかた

運転姿勢に合わせてルームミラーの角度を調整することができます。

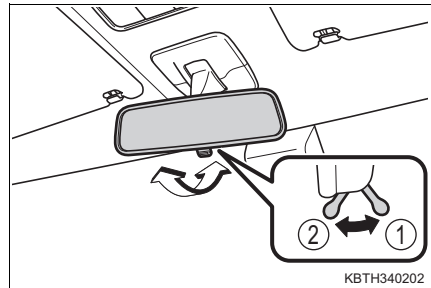
ルームミラー本体を持って調整する



防眩機能

レバーを操作することで、後続車のヘッドランプによる反射光を減少させます。

- ① 通常使用時
- ② 防眩時



⚠ 警告

■ 走行中の警告

走行中はミラーの調整をしないでください。

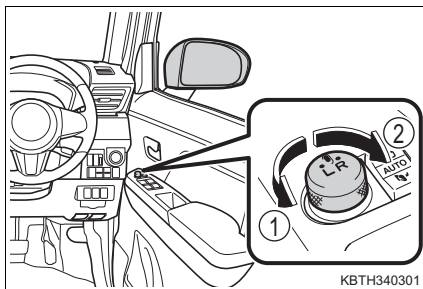
運転を誤って、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

ドアミラー

調整のしかた

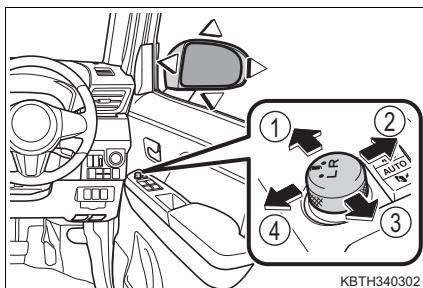
- 1 調整するミラーを選ぶには、スイッチをまわす

- ① 左
- ② 右



- 2 ミラーの鏡面を調整するにはスイッチを操作する

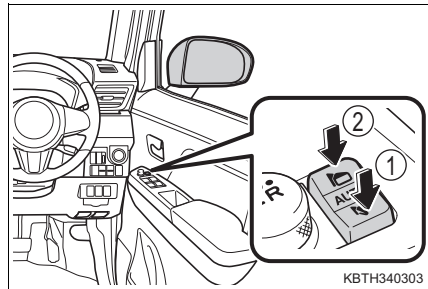
- ① 上
- ② 右
- ③ 下
- ④ 左



ドアミラーを格納する**■ マニュアル作動での格納・復帰のしかた**

スイッチを押す

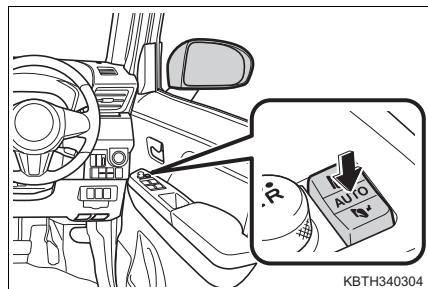
- ① 格納する
- ② 復帰する

**■ オート作動**

キーレスアクセスによるドアの施錠に連動して、ドアミラーが自動的に格納します。

▶ 格納のしかた

- ① スwitchを“**AUTO**”（中立）の位置にする
- ② ロック／アンロックスイッチ操作、または電波式リモコン操作でドアを施錠する

**▶ 復帰のしかた**

プッシュエンジンスイッチをアクセサリモード またはイグニッション ON モードにする

 知識

■ 作動条件

プッシュエンジンスイッチがアクセサリモードまたはイグニッションONモードのとき

■ ミラーが曇ったとき（ヒートッドアミラー装着車）

リヤウインドゥデフォグガーを作動させると、ヒートッドアミラーが同時に作動し、曇りを取ることができます。（→ P. 303, P. 309）

■ 寒冷時に「オート作動」で使用するとき

寒冷時に「オート作動」で使用しているとき、ドアミラーが凍結すると自動で格納・復帰ができないことがあります。この場合、ドアミラーに付着している氷や雪などを取り除いたあと、「マニュアル作動」で作動させるか、手で動かしてください。

■ オート作動での格納（または復帰）をさせたくないとき

スイッチを復帰（または格納）の位置にしてください。

■ カスタマイズ機能

オート作動の作動内容などを変更できます。
（カスタマイズ一覧：→ P. 455）

 警告

■ 走行中の留意事項

走行中は次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、運転を誤って重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ミラーの調整をしない
- ドアミラーを格納したまま走行しない
- 走行前に必ず、運転席側および助手席側のミラーをもとの位置にもどして、正しく調整する

■ ミラーが動いているとき

手をふれないでください。

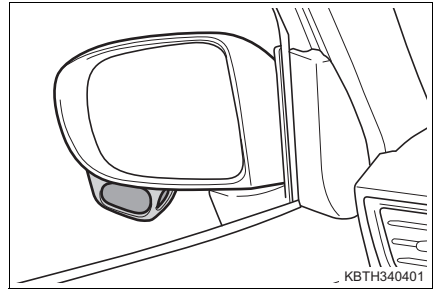
手を挟んでけがや、ミラーの故障などの原因になるおそれがあります。

■ ヒートッドアミラーが作動しているとき（ヒートッドアミラー装着車）

鏡面が熱くなるのでふれないでください。

サイドアンダーミラー★

発進時またはごく低速時に、助手席側車両側面を確認するときに役立ちます。

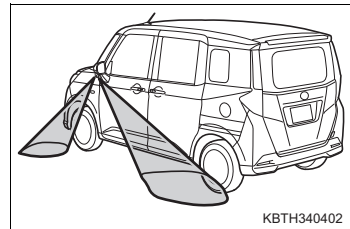


知識

■ミラーに映るおよその範囲

運転者の身長・シートの位置により、確認できる範囲は異なります。

ミラーの鏡面は固定式のため、鏡面を動かして確認できる範囲の調整をすることはできません。



⚠ 注意

■サイドアンダーミラーについて

- サイドアンダーミラーの鏡面部に汚れが付着しているときは、やわらかい布などを使用して汚れをふき取ってください。そのままにしておくと、視界のさまたげとなるおそれがあります。
- 車両直前・直左部や後方の確認は、直接確認するかルームミラー・ドアミラーなども併用し十分注意して行ってください。

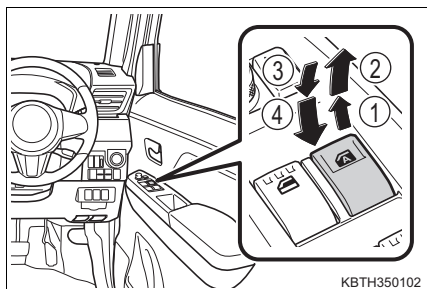
パワーウィンドウ

開閉のしかた

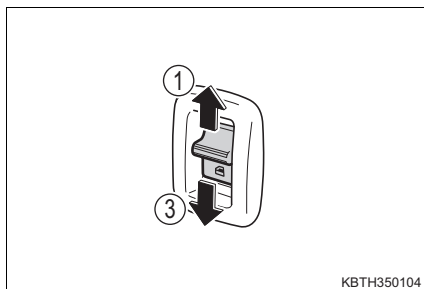
スイッチでドアガラスを開閉できます。

スイッチを操作すると、ドアガラスを次のように動かします。

▶ 運転席 / 助手席



▶ 後席



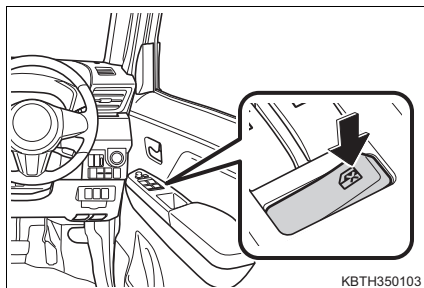
- ① 閉める
- ② 自動全閉（運転席のみ）※
- ③ 開ける
- ④ 自動全開（運転席のみ）※

※ 途中で停止するときは、スイッチを反対側へ操作します。

ウィンドウロックスイッチ

スイッチを押すと、運転席以外のドアガラスが作動不可になります。

お子さまが誤ってドアガラスを開閉することを防止できます。



 知識

■ 作動条件

プッシュエンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■ エンジン停止後の作動（運転席のみ）

プッシュエンジンスイッチをアクセサリモード、または OFF にしたあとでも、約 40 秒間はドアガラスを開閉できます。

■ ウインドウ反転機構（運転席のみ）

ドアガラスを閉めているときに、窓枠とドアガラスのあいだに異物が挟まると、作動が停止し、少し開きます。

■ 運転席ドアガラスを閉めることができないとき

ウインドウ反転機構が異常に作動してしまい、運転席ドアガラスを全閉できないときは、運転席ドアウインドウスイッチで、次の操作を行ってください。

- ① お車を停止し、プッシュエンジンスイッチをイグニッション ON モードにする
- ② 運転席ドアウインドウスイッチを「自動全閉」の位置まで引き続け、ドアガラスを全閉にしたあと、さらにスイッチを 6 秒間引き続ける

ドアガラス作動途中でスイッチから手を離すと、最初からやり直しとなります。以上の操作を行っても反転して閉じ切らない場合は、スバル販売店で点検を受けてください。

■バッテリーを再接続したときは

パワーウィンドゥを適切に作動させるために、初期設定を次の手順で行ってください。

- ① プッシュエンジンスイッチをイグニッション ON モードにする
- ② 運転席ドアウィンドゥスイッチを「自動全閉」の位置まで引き続け、ドアガラスを全閉したあと、さらにスイッチを2秒間引き続ける

ドアガラス作動途中でスイッチから手を離すと、最初からやり直しとなります。

⚠ 警告

次のことを必ずお守りください。

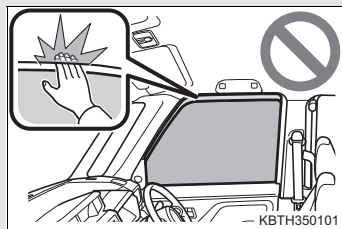
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ドアガラスを開閉するとき

- 運転者は、乗員の操作を含むすべてのドアガラス開閉操作について責任があります。特にお子さまの誤った操作による事故を防ぐため、お子さまにはドアガラスの操作をさせないでください。お子さまや他の人がドアガラスに挟まれたり巻き込まれたりするおそれがあります。

また、お子さまが同乗するときはウィンドゥロックスイッチを使用することをおすすめします。(→ P. 166)

- ドアガラスを開閉するときは、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだり巻き込んだりしないようにしてください。特にお子さまへは手などを出さないよう声かけをしてください。



- お車から離れるときはプッシュエンジンスイッチを OFF にし、アクセスキーを携帯してお子さまも一緒に連れて行ってください。いたずらなどによる誤った操作により、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ウィンドゥ反転機構（運転席のみ）

- ウィンドゥ反転機構を故意に作動させるため、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだりしないでください。
- ウィンドゥ反転機構は、ドアガラスが完全に閉まる直前に異物を挟むと作動しない場合があります。また、ウィンドゥ反転機構は、スイッチを引き続けた状態では作動しません。指などを挟まないように注意してください。

運転

4

4-1. 運転にあたって

運転にあたって	170
荷物を積むときの注意	181

4-2. 運転のしかた

エンジン（イグニッション） スイッチ	183
CVT 車の運転	188
方向指示レバー	191
パーキングブレーキ	192

4-3. ランプのつけ方・

ワイパーの使い方

ライティングスイッチ	193
ハイビームアシスト	196
フォグランプスイッチ	199
ワイパー & ウォッシャー （フロント）	200
ワイパー & ウォッシャー （リヤ）	202

4-4. 給油のしかた

フューエルリッド （燃料給油口）の開け方	204
-------------------------------	-----

4-5. 運転支援装置について

スマートアシストⅢ	208
衝突警報機能（対車両・ 対歩行者）、衝突回避支援 ブレーキ機能（対車両・ 対歩行者）	220
誤発進抑制制御機能 （前方・後方）	230
車線逸脱警報機能	239
先行車発進お知らせ機能	242
アイドリングストップ システム	244
クルーズコントロール システム	253
コーナーセンサー	258
パノラミックビュー モニター	264
運転を補助する装置	286

4-6. 運転のアドバイス

寒冷時の運転	292
--------------	-----

運転にあたって

安全運転を心がけて、次の手順で走行してください。

エンジンを始動する

→ P. 183

発進する

- 1 ブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーをDにする(→P. 188)
- 2 パーキングブレーキを解除する(→P. 192)
- 3 ブレーキペダルから徐々に足を離し、アクセルペダルをゆっくり踏み発進する

停車する

- 1 セレクトレバーはDのまま、ブレーキペダルを踏む
- 2 必要に応じて、パーキングブレーキをかける
長時間停車する場合は、セレクトレバーをPまたはNにします。(→P. 188)

駐車する

- 1 セレクトレバーはDのまま、ブレーキペダルを踏む
- 2 パーキングブレーキをかけて(→P. 192)、セレクトレバーをPにする(→P. 188)
- 3 プッシュエンジンスイッチをOFFにしてエンジンを停止する
- 4 キーを携帯していることを確認し、ドアを施錠する
坂道の途中で駐車をする場合は、必要に応じて輪止めを使用してください。

上り坂の発進のしかた

- 1 パーキングブレーキをしっかりかけ、セレクトレバーをDにする
- 2 アクセルペダルをゆっくり踏む
- 3 お車が動き出す感触を確認したら、パーキングブレーキを解除し発進する

知識

■ 雨の日の運転について

- 雨の日は視界が悪くなり、またガラスが曇ったり、路面がすべりやすくなった
りするので、慎重に走行してください。
- 雨の降りはじめは路面がよりすべりやすいため、慎重に走行してください。
- 雨の日の高速走行などでは、タイヤと路面のあいだに水膜が発生し、ハンドル
やブレーキが効かなくなるおそれがあるので、スピードは控えめにしてくださ
い。

■ 走行中のエンジン回転数について

次の場合、走行中にエンジン回転数が高くなることがあります。これは走行状況にあわせてシフトアップの制限、またはシフトダウンの実施を自動的に行うため、急加速を示すものではありません。

- 車両が上り坂、または下り坂を走行していると判断したとき
- アクセルペダルを離したとき

■ エンジン出力の抑制について（ブレーキオーバーライドシステム）

- アクセルペダルとブレーキペダルが同時に踏まれたとき、エンジン出力を抑制
する場合があります。
- ブレーキオーバーライドシステム作動中は、警告灯が点灯します（→ P. 407）
- TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイ装着車は、警告灯の点灯と
共に警告メッセージが表示されます。（→ P. 415）

■ 運転標識の取り付け

磁石式の初心運転者標識や高齢運転者標識などを樹脂部品（バンパー、リヤゲートなど）に取り付けることはできません。

■エンジン停止前のアイドリング運転について（ターボ車）※

ターボ装置の損傷を防ぐため、高速走行・登坂走行直後は、停車後、1 分程度アイドリング運転を行ってからエンジンを停止してください。

※ アイドリングストップによってエンジン停止したときは、アイドリング運転は不要です。

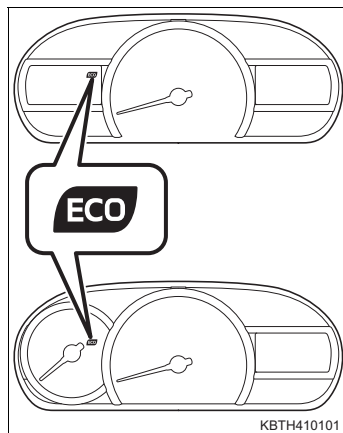
■環境に配慮した運転

環境に配慮した運転をしているとき、エコドライブインジケータランプが点灯します。必要以上にアクセルペダルを踏んだときや停車中は消灯します。

次の場合、エコドライブインジケータランプは作動しません。

- セレクトレバーが D 以外のとき
- 車速が約 100km/h 以上のとき
- クルーズコントロールシステムによる定速走行中
(→ P. 253)
- ターボ車：走行モードが SPORT モードのとき (→ P. 189)

エコドライブインジケータランプの表示／非表示を設定できます。
(→ P. 80, 98)



 警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■発進するとき

エンジンがかかったまま停車しているときは、常にブレーキペダルを踏んでください。クリープ現象でお車が動き出すのを防ぎます。

■運転するとき

●踏み間違いを避けるため、ブレーキペダルとアクセルペダルの位置を十分把握した上で運転してください。

- ・ アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏むと、お車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・ 後退するときは体をひねった姿勢となるため、ペダルの操作がしにくくなります。ペダル操作が確実にできるよう注意してください。
- ・ お車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
- ・ ブレーキペダルは右足で操作してください。左足でのブレーキ操作は緊急時の反応が遅れるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■運転するとき

- 燃えやすいものの上を走行したり、可燃物付近にお車を停めたりしないでください。
排気管や排気ガスは高温になり、可燃物が近くにあると火災につながるおそれがあり危険です。
- 通常走行時は、走行中にエンジンを停止しないでください。走行中にエンジンを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、操作力補助がなくなり、ハンドルとブレーキの操作が困難になります。安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。
なお、通常の方法で車両を停止することができないような緊急時は、P. 394を参照してください。
- 急な下り坂では、エンジンプレーキを使用してスピードを下げてください。フットブレーキを連続して使いすぎると、ブレーキが過熱して正常に機能しなくなります。(→ P. 188)
- 走行中はハンドル・シート・ドアミラー・ルームミラーの調整をしないでください。
運転を誤るおそれがあります。
- すべての乗員は頭や手、その他の体の一部をお車から出さないようにしてください。
- オフロード走行をしないでください。
やむを得ずオフロードを走行するときは、慎重に運転してください。
また、フルタイム 4WD 車はオンロード専用です。オフロード走行やラリー走行などが目的ではなく、一般道での優れた走行安定性に寄与することを目的とした 4WD ですので、無理な運転はしないでください。
- 河を渡るなどの水中走行はしないでください。
電装品のショートやエンジンの破損など、重大な車両故障の原因になるおそれがあります。
- シートの上や付近に荷物を置いて走行しないでください。
急ブレーキをかけたときや、旋回しているときなどに荷物が飛び出して乗員にあたったり、荷物を破損したり、荷物に気をとられたりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 大きな段差がある場所や、輪止めなどがある場所では慎重に走行してください。バンパーを損傷するおそれがあります。

 警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ すべりやすい路面を運転するとき

- 急ブレーキ・急加速・急ハンドルはタイヤがスリップし、車両の制御ができなくなるおそれがあります。
- 急激なアクセル操作、シフト操作によるエンジンブレーキやエンジン回転数の変化は、お車が横すべりするなどのおそれがあります。
- 水たまり走行後はブレーキペダルを踏んでブレーキが正常に働くことを確認してください。ブレーキパッドがぬれるとブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方だけが効いたりしてハンドルをとられるおそれがあります。

■ セレクトレバーを操作するとき

- セレクトレバーを前進側のシフトポジションに入れたまま惰性で後退したり、Rに入れたまま惰性で前進することは絶対にやめてください。エンジンが止まり、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなったりして、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。
- 車両が動いているあいだは、セレクトレバーをPに入れないでください。トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 車両が前進しているあいだは、セレクトレバーをRに入れないでください。トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 車両が後退しているあいだは、セレクトレバーを前進側のシフトポジションに入れないでください。トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 走行中にセレクトレバーをNにすると、トランスミッションとエンジンの動力伝達が解除され、エンジンブレーキが効かなくなります。
- アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。セレクトレバーがPまたはN以外にあると、お車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■継続的にブレーキ付近から警告音（キーキー音）が発生したとき

できるだけ早くスバル販売店で点検を受け、ブレーキパッドを交換してください。

必要なときにパッドの交換が行われないと、ディスクローターの損傷につながる場合があります。

パッドやローターなどの部品は、役割を果たすと共に摩耗していきます。摩耗の限度をこえて走行すると故障を引き起こすばかりでなく、事故につながるおそれがあります。

■停車するとき

- 空ぶかしをしないでください。

セレクトレバーが P または N 以外にあると、お車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- お車が動き出すことによる事故を防ぐため、エンジン回転中は常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。

- 坂道で停車するときは、前後に動き出して事故につながることを防ぐため、常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。

- 停車中に空ぶかしをしないでください。

排気管が過熱し、可燃物が近くにあると火災につながるおそれがあり危険です。

 警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 駐車するとき

- 炎天下では、メガネ・ライター・スプレー缶や炭酸飲料の缶などを車内に放置しないでください。
放置したまましていると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。
 - ・ライターやスプレー缶からガスがもれたり、出火する
 - ・プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが、変形またはひび割れを起こす
 - ・炭酸飲料の缶が破裂して車内を汚したり、電気部品がショートする原因になる
- ライターを車内に放置したままにしないでください。ライターをグローブボックスなどに入れておいたり、車内に落としたままにしておくと、荷物を押し込んだりシートを動かしたときにライターの操作部が誤作動し、火災につながるおそれがあり危険です。
- ウインドウガラスなどには吸盤を取り付けしないでください。また、インストルメントパネルやダッシュボードの上に芳香剤などの容器を置かないでください。
吸盤や容器がレンズの働きをして、車両火災につながるおそれがあり危険です。
- シルバー色などの金属蒸着フィルムを曲面ガラスに貼った場合は、ドアやウインドウを開けたまま放置しないでください。
直射日光が曲面ガラスの内側に反射し、レンズの働きをして火災につながるおそれがあり危険です。
- お車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけ、セレクトレバーをPにしてエンジンを停止し、施錠してください。
エンジンがかかっているあいだは、お車から離れないでください。
パーキングブレーキをかけずにセレクトレバーをPにした状態では、お車が動き思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- エンジン回転中またはエンジン停止直後は排気管にふれないでください。
やけどをするおそれがあります。

 警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 仮眠するとき

必ずエンジンを停止してください。

エンジンをかけたまま仮眠すると、無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、事故やエンジンの異常過熱による火災が発生するおそれがあります。さらに、風通しの悪い場所に停めると、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ ブレーキをかけるとき

- ブレーキがめれているときは、普段よりも注意して走行してください。
ブレーキがめれていると、制動距離が長くなり、ブレーキのかかりに、左右の違いが出るおそれがあります。また、パーキングブレーキがしっかりとかからないおそれもあります。
- ブレーキ倍力装置が機能しないときは、他の車に近付いたりしないでください。また、下り坂や急カーブを避けてください。
この場合ブレーキは作動しますが、通常よりも強く踏む必要があります。また制動距離も長くなります。ただちにブレーキの修理を受けてください。
- 万一エンジンが停止したときは、ブレーキペダルをくり返し踏まないでください。
ペダルを踏むたびに、ブレーキのアシスト力の蓄えを使い切ってしまいます。
- ブレーキシステムは2つの独立したシステムで構成されており、一方の油圧システムが故障しても、もう一方は作動します。この場合、ブレーキペダルを通常より強く踏む必要があり、制動距離が長くなります。ただちにブレーキの修理を受けてください。

■ 万一脱輪したとき（4WD 車）

いずれかのタイヤが宙に浮いているときは、むやみに空転させないでください。前・後輪の回転差が激しい状態が続くと、駆動系部品に無理な力が加わり焼き付きなどの損傷を受けたり、焼き付きにより、車両が急に飛び出し思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

脱出できないときは、スバル販売店または専門業者へご連絡ください。

 注意**■運転しているとき**

- 運転中にアクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏むと、駆動力を抑制する場合があります。(→ P. 171)
- 坂道で停車するために、アクセルペダルを使ったり、アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだりしないでください。

■駐車するとき

必ずパーキングブレーキをかけセレクトレバーをPにしてください。パーキングブレーキをかけセレクトレバーをPにしておかないと、お車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込んだときに急発進するおそれがあります。

■部品の損傷を防ぐために

- パワーステアリングモーターの損傷を防ぐため、ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けないでください。
- ディスクホイールなどの損傷を防ぐため、段差などを通過するときは、できるだけゆっくり走行してください。

■ターボ装置の故障を防ぐために（ターボ車）

- 高速走行・登坂走行直後は、エンジンを停止しないでください。必ず1分程度アイドリング運転を行い、ターボ装置を冷却してからエンジンを停止してください。（アイドリングストップによってエンジン停止したときは、アイドリング運転は不要です）(→ P. 244)
- 排気管などには純正以外の部品を使わないでください。
- 排気管の改造は絶対にしないでください。
- エンジンが冷えているときは、空ぶかしや急加速は絶対に行わないでください。
- 定期的なオイル交換を必ず行ってください。(→ P. 450)

■走行中にタイヤがパンクしたら

次のようなときはタイヤのパンクや損傷が考えられます。ハンドルをしっかりと持って徐々にブレーキをかけ、スピードを落としてください。

- ハンドルがとられる
- 異常な音や振動がある
- 車両が異常に傾く

 注意**■ タイヤがパンクしたときは**

タイヤの損傷の程度を確認してください。

- 修理可能な場合は、応急修理してください。(→ P. 427)
- 修理不可能な場合は、スバル販売店にご連絡ください。

■ 冠水路走行に関する注意

大雨などで冠水した道路では、次のような重大な損傷を与えるおそれがあるため、走行しないでください。

- エンストする
- 電装品がショートする
- 水を吸い込んでのエンジン破損

万一、冠水した道路を走行し、水中に浸かってしまったときは必ずスバル販売店で次の点検をしてください。

- ブレーキの効き具合
- エンジン・トランスミッション・トランスファー（4WD 車）・ディファレンシャルなどのオイルやフルードの量および質の変化
- プロペラシャフト（4WD 車）各ベアリング・各ジョイント部などの潤滑不良

荷物を積むときの注意

安全で快適なドライブをするために、荷物を積むときは次のことをお守りください。

⚠ 警告

■ 積んではいけないもの

次のようなものを積むと引火するおそれがあり危険です。

- 燃料が入った容器
- スプレー缶

■ 荷物を積むとき

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、ブレーキペダル・アクセルペダルを正しく操作できなかったり、荷物が視界をさえぎったり、荷物が乗員に衝突したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- できるだけ荷物はカーゴルームに積んでください。
- 次の場所には荷物を積まないでください。
 - ・ 運転席足元
 - ・ 助手席やリヤシート（荷物を積み重ねる場合）
 - ・ インストルメントパネル
 - ・ ダッシュボード
 - ・ フタのない小物入れ／トレイ
- 室内に積んだ荷物はすべてしっかりと安定させてください。
- シート背もたれより高いものをカーゴルームに積まないでください。
急ブレーキや事故の際に、投げ出され、乗員を傷付けるおそれがあります。
- リヤシートの背もたれを折りたたんで、寸法が長い荷物を積むときは、できるだけフロントシートの背もたれの真うしろには積まないでください。
- カーゴルームに人を乗せないでください。乗員用には設計されていません。乗員は、適切にシートベルトを着用させ、座席に座らせてください。
お守りいただかないと、急ブレーキや衝突の際に、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 警告**■ 荷物の重量・荷重のかけ方について**

- 荷物を積み過ぎないでください。
- 荷重を不均等にかけないようにしてください。

これはタイヤに負担をかけるだけでなく、ハンドル操作性やブレーキ制御の低下により思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

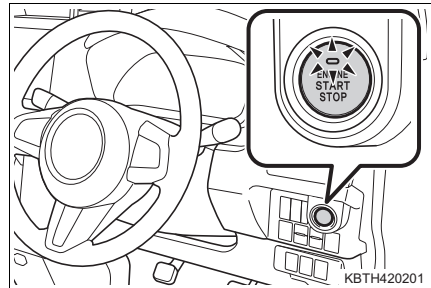
エンジン（イグニッション）スイッチ

アクセスキーを携帯して次の操作を行うことで、エンジンの始動またはプッシュエンジンスイッチのモードを切りかえることができます。

エンジンのかけ方

- 1 正しい運転姿勢（→ P. 26）がとれるようにシートの位置を調整し、ペダルの各位置を確認する
- 2 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 3 セレクトレバーがPにあることを確認する
- 4 ブレーキペダルをしっかりと踏む

プッシュエンジンスイッチの表示灯が緑色に点灯します。
緑色に点灯していないと、エンジンは始動しません。



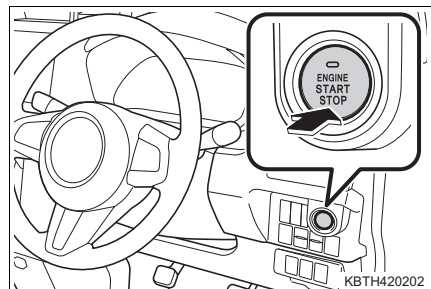
- 5 プッシュエンジンスイッチを短く確実に押す

短く確実に押せば、押し続ける必要はありません。

エンジンが始動するまで最大 30 秒間スターターが回転します。

完全にエンジンが始動するまでブレーキペダルを踏み続けてください。

プッシュエンジンスイッチのどのモードからでもエンジンを始動できます。



エンジンの停止のしかた

- 1 車両を完全に停止させる
- 2 パーキングブレーキをかけて(→P. 192)、セレクトレバーをPにする
- 3 プッシュエンジンスイッチを押す
- 4 ブレーキペダルから足を離して、プッシュエンジンスイッチの表示灯が消灯していることを確認する

エンジンスイッチのモード切りかえ

ブレーキペダルを踏まずにプッシュエンジンスイッチを押すと、モードを切りかえることができます。(スイッチを押すごとにモードが切りかわります)

OFF ※

非常点滅表示灯が使用できます。

アクセサリーモード

アクセサリーソケットなどの電装品が使用できます。

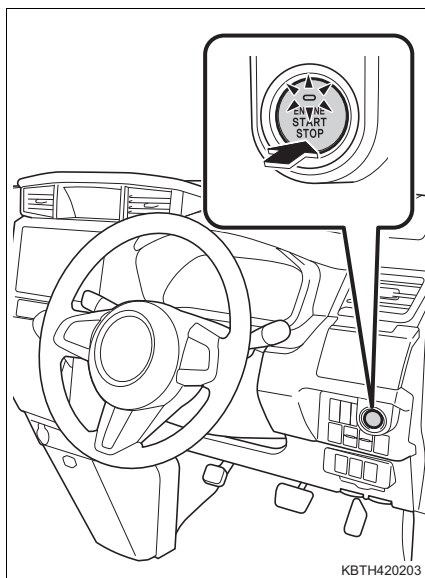
プッシュエンジンスイッチの表示灯が緑色にゆっくりと点滅します。

イグニッション ON モード

すべての電装品が使用できます。

プッシュエンジンスイッチの表示灯が緑色にゆっくりと点滅します。

※ セレクトレバーが P 以外のときはアクセサリーモードになり、OFF になりません。



セレクトレバーが P 以外でエンジンを停止したときは

セレクトレバーが P 以外でエンジンを停止させた場合、プッシュエンジンスイッチのモードはアクセサリーモードになり OFF になりません。次の手順で OFF にしてください。

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 2 セレクトレバーを P にする
- 3 プッシュエンジンスイッチの表示灯が緑色にゆっくりと点滅していることを確認し、プッシュエンジンスイッチを 2 回押す
- 4 プッシュエンジンスイッチの表示灯が消灯していることを確認する

知識

■自動電源 OFF 機能

セレクトレバーが P にあるとき、20 分以上イグニッション ON モード（エンジンがかかっていない状態）か 1 時間以上アクセサリーモードにしたままにしておくと、プッシュエンジンスイッチが自動で OFF になります。

ただし、自動電源 OFF 機能は、バッテリーあがりを完全に防ぐものではありません。エンジンがかかっていないときは、プッシュエンジンスイッチをアクセサリーモード、またはイグニッション ON モードにしたまま長時間放置しないでください。

■アクセスキーの電池の消耗について

→ P. 119

■キーレスアクセスが正常に働かないおそれのある状況

→ P. 116

■ご留意いただきたいこと

→ P. 117

■エンジンが始動しないとき

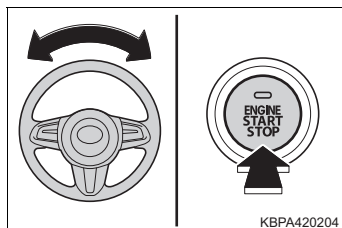
イモビライザー（盗難防止用エンジン始動ロックシステム）が解除されていない可能性があります。（→ P. 63）

■ステアリングロックについて

プッシュエンジンスイッチを OFF にしたあとにリヤゲートを除くいずれかのドアを開閉すると、ステアリングロックによりハンドルが固定されます。プッシュエンジンスイッチを操作すると、ステアリングロックは自動で解除されます。

■ステアリングロックが解除できないときは

プッシュエンジンスイッチの表示灯がしばらく緑色に速く点滅します。



セレクトレバーがPにあることを確認して、ハンドルを左右にまわしながら再操作してください。

■ステアリングロックモーターのオーバーヒート防止について

短時間にエンジンの始動・停止をくり返すと、モーターのオーバーヒート防止のために作動制限することがあります。その場合は操作を控えてください。10 秒程度でもとの状態にもどります。

■プッシュエンジンスイッチの表示灯が黄色に点滅したとき

システムに異常があるおそれがあります。ただちにスバル販売店で点検を受けてください。

■アクセスキーの電池が切れたときは

→ P. 368

■プッシュエンジンスイッチの操作について

- スイッチを短く確実に押せていない場合や速く連続して押した場合は、モードの切り替えやエンジンの始動ができない場合があります。
- プッシュエンジンスイッチ OFF 後、すぐに再始動した場合は、エンジンが始動しない場合があります。プッシュエンジンスイッチ OFF 後の再始動は、数秒待ってから操作してください。

■カスタマイズ機能でキーレスアクセスを非作動にしたときは

→ P. 455

 警告**■ エンジンを開始するとき**

必ず運転席に座って行ってください。このとき決してアクセルペダルは踏まないでください。

思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 走行中の警告

エンジンの停止などで車両滑走状態になったときは、車両が安全な状態で停止するまでドアを開けたり、ドアの施錠操作をしったりしないでください。ステアリングロックが作動し、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 緊急時のエンジン停止方法

走行中にエンジンを緊急停止したい場合には、プッシュエンジンスイッチを 3 秒以上押し続けるか、素早く 3 回以上連続で押してください。(→ P. 394)
ただし、緊急時以外は走行中にプッシュエンジンスイッチにふれないでください。走行中にエンジンを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、操作力補助がなくなり、ハンドルとブレーキの操作が困難になります。安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。

 注意**■ バッテリーあがりを防止するために**

- エンジンがかかっていないときは、プッシュエンジンスイッチをアクセサリモードまたはイグニッション ON モードにしたまま長時間放置しないでください。
- プッシュエンジンスイッチの表示灯が消灯していない場合プッシュエンジンスイッチが OFF になっていません。プッシュエンジンスイッチを OFF にしてから車両を離れてください。
- セレクトレバーが P 以外でエンジンを停止させないでください。セレクトレバーが P 以外でエンジンを停止させた場合、プッシュエンジンスイッチがアクセサリモードとなるため、そのまま放置するとバッテリーあがりの原因となります。

■ エンジンを開始するとき

- エンジンが冷えた状態で空ぶかししないでください。
- もしエンジンが始動しにくかったり、ひんぱんにエンストする場合は、ただちにスバル販売店で点検を受けてください。

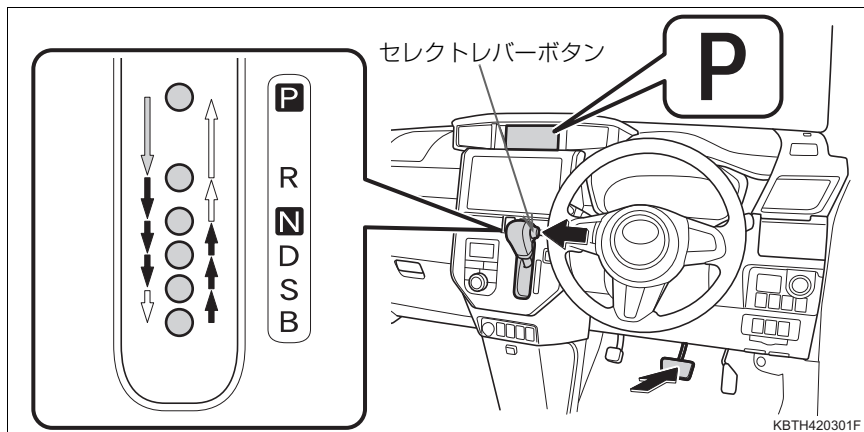
■ プッシュエンジンスイッチの操作について

プッシュエンジンスイッチ操作時に引っかかりなどの違和感があるときは、故障のおそれがあります。すみやかにスバル販売店にご連絡ください。

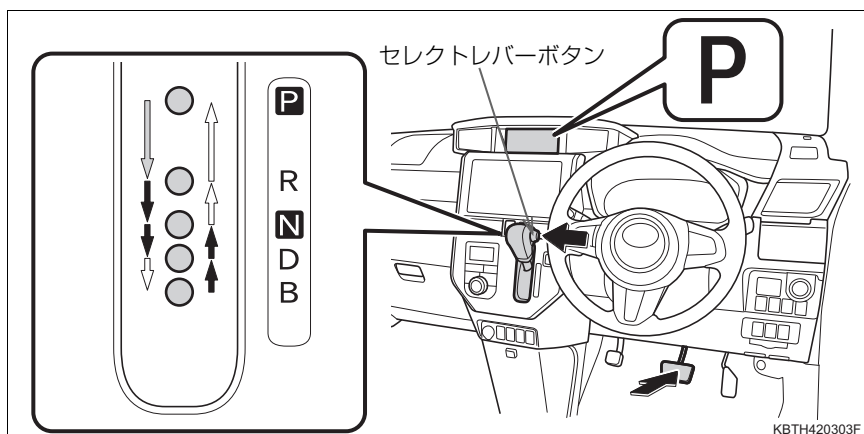
CVT 車の運転

セレクトレバーの動かし方

▶ ターボ車以外



▶ ターボ車



- ← プッシュエンジンスイッチがイグニッション ON モードの状態
で、ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーボタンを押して
操作します。
- ← セレクトレバーボタンを押して操作します。
- ← セレクトレバーボタンを押さずに操作します。

シフトポジションの使用目的

シフトポジション	目的	
	ターボ車以外	ターボ車
P	駐車またはエンジン始動	
R	後退	
N	動力が伝わらない状態	
D	通常走行※	
S	坂道走行	
B	急な下り坂走行	

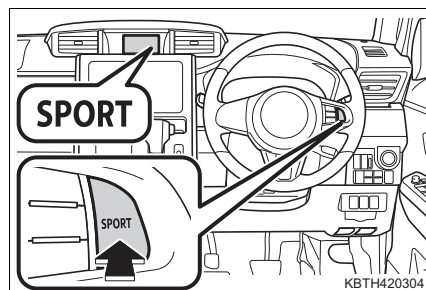
※ 燃費向上や騒音の低減のために、通常は D ポジションを使用してください。

走行モードの選択★（ターボ車）

SPORT モードスイッチを押す

カーブの多い山道や高速で走行するときに適しています。スイッチを押すと、ディスプレイ内に SPORT モードが表示されます。

もう一度スイッチを押すと通常走行モードへもどります。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

■セレクトレバーをPからシフトできないときは

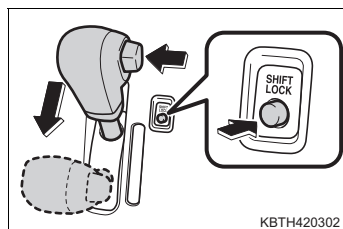
ブレーキペダルを踏んでいることを確認してください。

ブレーキペダルを踏んだ状態でセレクトレバーがシフトできない場合、シフトロックシステムなどの故障が考えられます。ただちにスバル販売店で点検を受けてください。ただし一時的な処置として、次の方法でセレクトレバーをシフトすることができます。

シフトロックの解除のしかた：

- 1 パーキングブレーキをかける
- 2 プッシュエンジンスイッチを OFF にする
- 3 ブレーキペダルを踏む
- 4 シフトロック解除ボタンを押す

ボタンを押しているあいだは、レバーをシフトできます。



■リバース警告ブザー

セレクトレバーをRに入れるとブザーが鳴り、Rにあることを運転者に知らせます。

■シフトロックシステム

シフトロックシステムは、発進時のセレクトレバーの誤操作を防ぐシステムです。プッシュエンジンスイッチがイグニッション ON モードでブレーキペダルを踏んだ状態でなければ、セレクトレバーをPからシフトできません。

 警告

■すべりやすい路面を走行するとき

急なアクセル操作やシフト操作を行わないでください。エンジンブレーキ力の急激な変化が横すべりやスピンの原因になりますので注意してください。

■シフトロック解除時の事故を防ぐために

シフトロック解除ボタンを押すときは、必ずパーキングブレーキをかけブレーキペダルを踏んでください。

誤ってアクセルペダルを踏んでいると、シフトロック解除ボタンを押してセレクトレバーを操作したときに、お車が急発進して思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

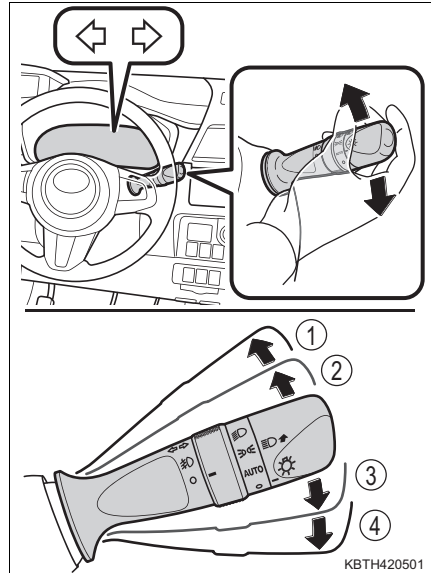
方向指示レバー

操作のしかた

レバー操作したあと、すぐにもとの位置にもどります。

- ① 左折
- ② 左側へ車線変更
(レバーを途中で保持※)
レバーを離すまで左側方向指示灯が点滅します。
- ③ 右側へ車線変更
(レバーを途中で保持※)
レバーを離すまで右側方向指示灯が点滅します。
- ④ 右折

※ ②または③の位置にレバー操作し、すぐに離れたときは方向指示灯が 3 回点滅します。



■ 右左折後に方向指示灯の点滅が停止しない場合や、点滅を中止させたいとき

レバーを逆方向の②または③の位置に操作してください。レバーを①または④の位置まで操作すると、選択した方向指示灯が点滅します。

知識

■ 作動条件

プッシュエンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■ 表示灯の点滅が異常に速くなったとき

方向指示灯の電球が切れていないか確認してください。

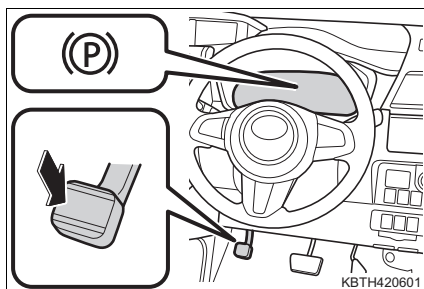
■ カスタマイズ機能

方向指示灯の設定を変更できます。(カスタマイズ一覧：→ P. 455)

パーキングブレーキ

操作のしかた

パーキングブレーキをかけるには、右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをいっぱいまで踏み込む（再度踏み込むと解除される）



知識

■ パーキングブレーキ未解除走行時警告ブザー

→ P. 408

■ 冬期のパーキングブレーキの使用について

→ P. 293

⚠ 注意

■ 走行前の注意

パーキングブレーキを完全に解除してください。
パーキングブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキ部品が過熱し、ブレーキの効が悪くなったり、早く摩耗したりするおそれがあります。

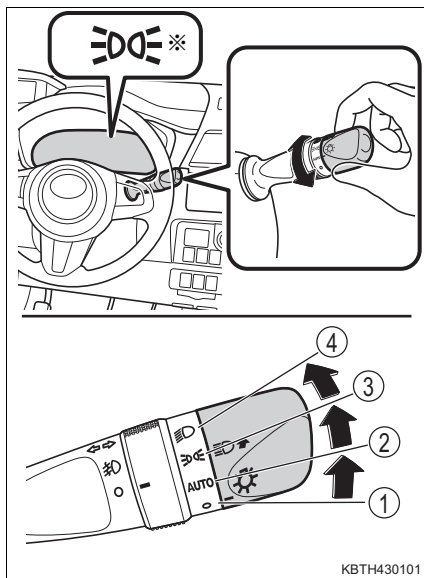
ライティングスイッチ

自動または手動でヘッドランプなどを点灯できます。

操作のしかた

次のように  スイッチを操作すると、ランプが点灯します。

- ①  消灯
- ② **AUTO** ヘッドランプ・LED ライナー★・車幅灯などを自動点灯・消灯
(プッシュエンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき)
- ③  LED ライナー★、車幅灯・尾灯・番号灯・メーター照明を点灯
- ④  上記ランプとヘッドランプを点灯

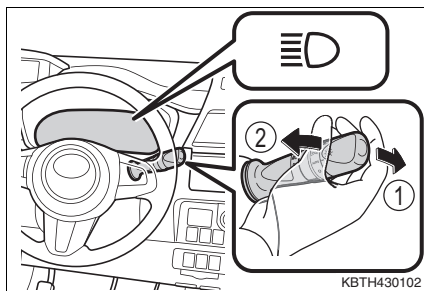


KBTH430101

※ タコメーター装着車

ハイビームにする

- ① ヘッドランプ点灯時ハイビームに切りかえ
レバーをもとの位置へもどすとロービームにもどります。
- ② レバーを引いているあいだ、ハイビームを点灯
ランプが消灯していても、ハイビームが点灯します。レバーを離すと、ロービームにもどる、または消灯します。



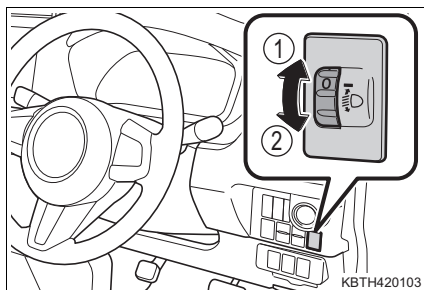
KBTH430102

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

光軸調整ダイヤル（ハロゲンヘッドランプ装着車）★

乗車人数や荷物の量などによるお車の姿勢の変化に合わせて、ヘッドランプの光軸を調整することができます。

- ① 上向きに調整
- ② 下向きに調整



■ 目盛り設定の目安

乗員と荷物の条件		ダイヤル位置	
乗員	荷物	FF 車 (前輪駆動)	4WD 車 (4 輪駆動)
運転者	なし	0	0
運転者と 助手席乗員	なし	0	0
全乗員	なし	1.5	1
全乗員	カーゴルーム 満載時	2	1.5
運転者	カーゴルーム 満載時	2.5	2

□ 知識

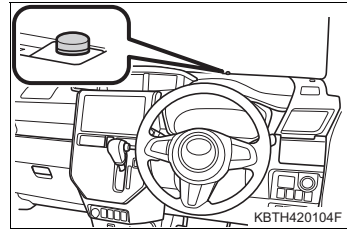
■ LED ライナー★

- 日中走行時にお車が他の車両の運転手から見えやすくするために、ライティングスイッチが AUTO のときイグニッション ON モードにすると自動で点灯します。
- 上記以外のときは、車幅灯に連動して点灯します。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ライトセンサー

センサーの上にものを置いたり、センサーをふさぐようなものをフロントウインドウガラスに貼らないでください。周囲からの光がさえぎられると、自動点灯・消灯機能が正常に働かなくなります。



■ランプ消し忘れ防止機能

- ライティングスイッチを ○ の位置にしないまま、プッシュエンジンスイッチをイグニッション ON モードからアクセサリモード、または OFF にして運転席ドアを開けると、点灯していた車幅灯などが自動で消灯します。
- 再びライティングを点灯する場合は、プッシュエンジンスイッチをイグニッション ON モードにするか、一度ライティングスイッチを ○ の位置にもどし、再度  または  の位置にします。

■オートヘッドランプレベライザー★

通行人や対向車がまぶしくないように、乗車人数・荷物の量などによるお車の姿勢の変化に合わせて、ヘッドランプの光軸を自動で調整します。

■ランプ消し忘れ警告ブザー

- プッシュエンジンスイッチがアクセサリモードまたは OFF の状態で、ヘッドランプ・尾灯を点灯して運転席ドアを開けると、ランプ類の消し忘れを警告するブザーが鳴ります。
- TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイ装着車は、ブザーと共に警告メッセージが表示されます。(→ P. 418)

■節電機能

車両のバッテリーあがりを防止するため、プッシュエンジンスイッチをアクセサリモードまたは OFF の状態で、ヘッドランプまたは尾灯が点灯している場合、節電機能が働き約 10 分後にすべてのランプが自動消灯します。

次のいずれかを行った場合、節電機能は解除されます。

- ・ プッシュエンジンスイッチをイグニッション ON モードにしたとき
- ・ ライティングスイッチを操作したとき
- ・ ドアを開閉したとき

⚠ 注意

■バッテリーあがりを防止するために

エンジンを停止した状態でランプ類を長時間点灯しないでください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ハイビームアシスト

ハイビームアシストは、フロントウィンドウガラス上部に設置されたステレオカメラにより対向車または先行車のランプや街路灯などの明るさを判定し、自動的にハイビームとロービームを切りかえます。

⚠ 警告

■安全にお使いいただくために

ハイビームアシストを過信しないでください。ハイビームアシストは運転者の視界確保を補助、支援することを目的としていますが、状況によってはハイビームとロービームが切りかわらない場合があります。運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけ、必要に応じて手動でハイビームとロービームを切りかえてください。

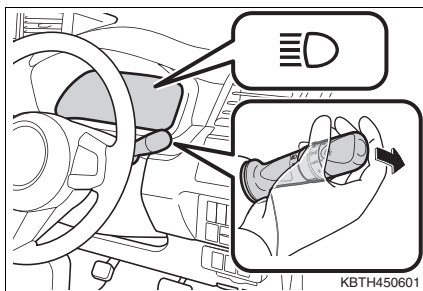
⚠ 注意

■ハイビームアシストを正しく作動させるために

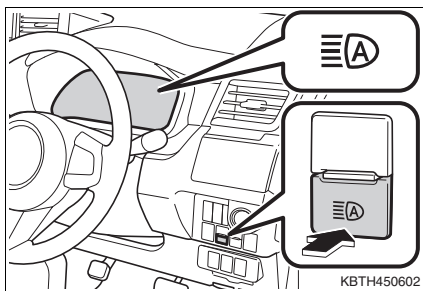
- 荷物を積み過ぎないでください。
- 車両を改造しないでください。

ハイビームアシストの使い方

- 1 ランプスイッチを **AUTO** または  にし、レバーを前方へ押す
ハイビーム / パッシング表示灯が点灯します。



- 2 ハイビームアシストスイッチを押す
ハイビームアシストが作動すると、ハイビームアシスト作動灯が点灯します。



ハイビームとロービームの自動切りかえ条件

次の条件をすべて満たすと、ハイビームが点灯します。

- 車速が約 25km/h 以上
- 車両前方が暗い
- 対向車または先行車が存在しない、またはランプを点灯していない
- 前方の街路灯が暗い

次の条件のいずれかのときはロービームが点灯します。

- 車速が約 20km/h 以下
- 車両前方が明るい
- 対向車または先行車がランプを点灯している
- 前方の街路灯が明るい

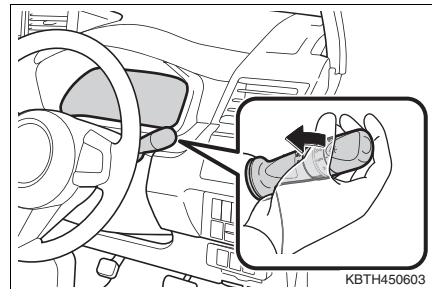
手動切りかえのしかた

■ ロービームへの切りかえ

レバーをもとの位置にもどす

ハイビームアシスト作動灯が消灯します。

ハイビームアシストにもどすには、再度レバーを前方に押します。

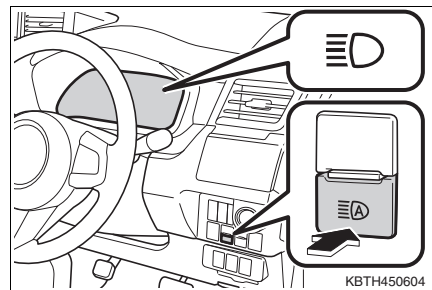


■ ハイビームへの切りかえ

ハイビームアシストスイッチを押す

ハイビームアシスト作動灯が消灯し、ハイビーム / パッシング表示灯が点灯します。

ハイビームアシストにもどすには、再度スイッチを押します。



 知識

■ 作動条件

プッシュエンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■ ハイビームアシストについて

- 次の状況では、ハイビームが自動でロービームに切りかわらない場合があります。
 - ・ 見通しの悪いカーブで対向車と突然すれ違ったとき
 - ・ 他車が前方を横切ったとき
 - ・ 連続するカーブや中央分離帯、街路樹などで対向車や先行車が見え隠れするとき
- 街路灯や信号・広告などの照明、または標識・看板などの反射物によりハイビームがロービームに切りかわる場合や、ロービームが継続する場合があります。
- 次の原因により、ハイビームとロービームの切りかえのタイミングが変化する場合があります。
 - ・ 対向車または先行車のランプの明るさ
 - ・ 対向車または先行車の動きや向き
 - ・ 対向車または先行車のランプが片側のみ点灯しているとき
 - ・ 対向車または先行車が二輪車のとき
 - ・ 道路の状態（勾配やカーブ、路面状況など）
 - ・ 乗車人数や荷物の量
- ハイビームアシストは車両前方にあるランプの明るさなどで周囲の状況を認識します。従って、ハイビームとロービームが運転者の感覚に合わず切りかわる場合があります。
- 自転車などの軽車両は検知しない場合があります。
- 次の状況では、周囲の明るさが正確に検知されず、ハイビームが対向車や先行車の迷惑になる場合や、ロービームが継続する場合があります。このような場合は、手動でハイビームとロービームを切りかえてください。
 - ・ 悪天候時（豪雨、吹雪、濃霧など）
 - ・ フロントウインドウガラスの曇りや汚れ、雨粒、シールなどでステレオカメラ前方が覆われているとき
 - ・ ステレオカメラの温度が高いとき
 - ・ 周囲にヘッドランプや尾灯などに似た光があるとき
 - ・ 対向車や先行車のランプが無灯火のときや、ランプに汚れや変形があったり光軸がずれているとき
 - ・ 急激な明るさの変化が連続するとき
 - ・ 起伏や段差が多い道路を走行しているとき
 - ・ 車両前方に標識やミラーのように光を強く反射するものがあるとき
 - ・ コンテナなど、先行車両の後部が光を強く反射するとき
 - ・ パンクやけん引などにより車両が傾いているとき

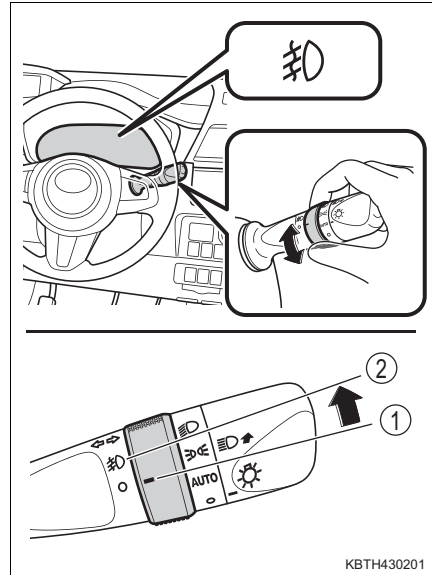
■ ハイビームアシスト警告灯が点灯したとき

システムに異常があるおそれがあります。スバル販売店で点検を受けてください。

フォグランプスイッチ★

雨や霧などの悪天候下での視界を確保します。

- ① ○ 消灯する
- ② ㊦ 点灯する



知識

■点灯条件

ヘッドランプまたは車幅灯が点灯しているときに使用できます。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ワイパー & ウォッシャー（フロント）

操作のしかた

次のように  レバーを操作すると、ワイパーまたはウォッシャーが作動します。

車速感应式間欠ワイパー装着車は  を選択しているとき、車速に応じて間欠作動の時間がかわります。

① ○ 停止

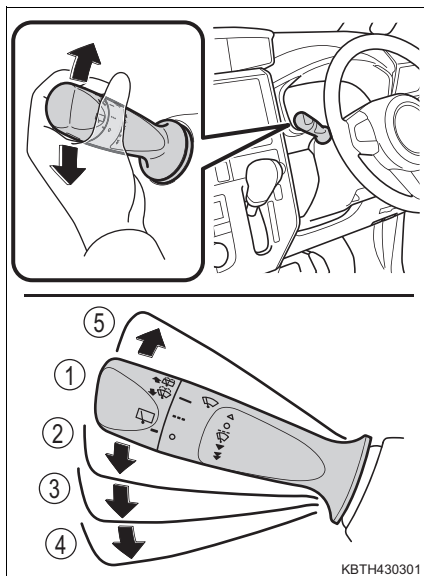
②  間欠作動

車速感应式間欠ワイパー装着車は、車速が高くなると、作動頻度が増えます。

③ ▼ 低速作動

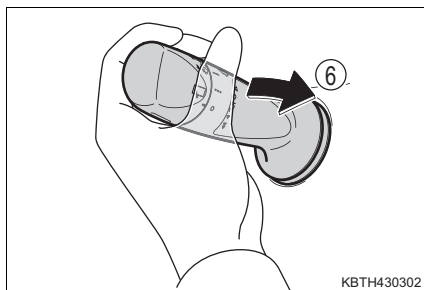
④ ▼▼ 高速作動

⑤ ▲ 一時作動



⑥  ウォッシャー液を出す

レバーを手前に引くとワイパーと連動してウォッシャーが作動します。



 知識

■ 作動条件

プッシュエンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■ ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズルのつまりを点検してください。

■ カスタマイズ機能

車速感応機能の設定を変更することができます。(カスタマイズ一覧：P. 455)

 警告

■ ウォッシャー使用時の警告

寒冷時はフロントウィンドウガラスが温まるまでウォッシャー液を使用しないでください。ウォッシャー液がフロントウィンドウガラスに凍りつき、視界不良を起こして思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 注意

■ フロントウィンドウガラスが乾いているとき

ワイパーを使わないでください。
ガラスを傷付けるおそれがあります。

■ ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャースイッチを操作し続けしないでください。
ポンプが故障するおそれがあります。

■ ノズルがつまったとき

ノズルがつまったときはスバル販売店へご連絡ください。
ピンなどで取り除かないでください。
ノズルが損傷するおそれがあります。

■ バッテリーあがりを防止するために

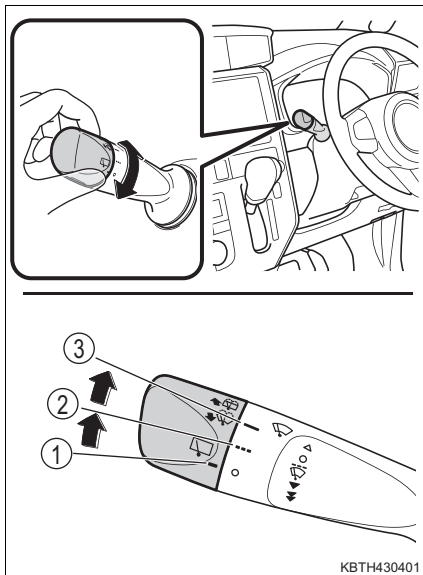
エンジンを停止した状態でワイパーを長時間作動しないでください。

ワイパー & ウォッシャー（リヤ）

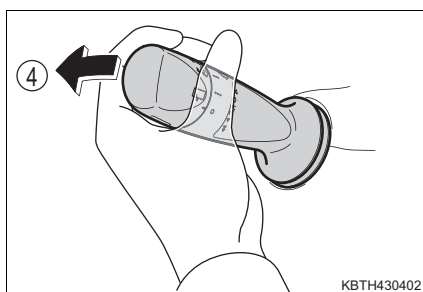
操作のしかた

次のように  スイッチを操作すると、リヤワイパーが作動します。

- ① ○ 停止
- ② --- 約 4 秒間低速作動した後、
間欠作動
- ③ — 通常作動



- ④  ウォッシャー液を出す
レバーを前方へ押すとウォッシャーが
作動します。



 知識

■ 作動条件

プッシュエンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■ ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズルのつまりを点検してください。

■ リバース連動機能

フロントワイパーが作動中、セレクトレバーを R にするとリヤワイパーが数回作動します。

■ カスタマイズ機能

作動の間隔などの設定を変更することができます。

(カスタマイズ一覧→ P. 455)

 注意

■ リヤウインドウガラスが乾いているとき

ワイパーを使わないでください。
ガラスを傷付けるおそれがあります。

■ ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャースイッチを操作し続けしないでください。
ポンプが故障するおそれがあります。

■ ノズルがつまったとき

ノズルがつまったときはスバル販売店へご連絡ください。
ピンなどで取り除かないでください。
ノズルが損傷するおそれがあります。

■ バッテリーあがりを防止するために

エンジンを停止した状態でワイパーを長時間作動しないでください。

フューエルリッド（燃料給油口）の開け方

給油する前に

- ドアとドアガラスを閉め、プッシュエンジンスイッチを OFF にしてください。
- 燃料の種類を確認してください。

知識

■ 燃料の種類

無鉛レギュラーガソリン

■ エタノール混合燃料について

エタノール混合燃料（エタノールの混合率 3%以下、含酸素化合物の含酸素率 1.3%以下）も使用することができます。

■ 助手席側スライドドアが全開にならない状況

フューエルリッドが開いていると、助手席側スライドドアは途中までしか開きません。

(→ P. 128)

警告

■ 給油するときは

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと火災を引き起こすなど、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 給油前にボディなどの金属部分にふれて体の静電気を除去してください。除去したあとは給油が完了するまで、車内にもどったり、他の人やものにふれないでください。また、フューエルリッドに静電気を除去していない人を近付けないでください。

静電気を帯電した人がフューエルリッドに近付くと、放電による火花で燃料に引火するおそれがあります。

- フューエルキャップはツマミ部分を持ち、ゆっくりと開けてください。また、フューエルキャップをゆるめたときに、“シュー”という音がする場合は、その音が止まるまでフューエルキャップを保持してください。すぐに開けると、気温が高いときなどに、フューエルリッドから燃料が噴き出るおそれがあります。

 警告

- 気化した燃料を吸わないようにしてください。
燃料の成分には、有害物質を含んでいるものもあります。
- 喫煙しないでください。
- フューエルリッドにノズルを確実に挿入してください。
- 継ぎ足し給油をしないでください。
- 正常に給油できない場合は、スタンドの係員を呼んで指示に従ってください。

 注意**■ 給油するとき**

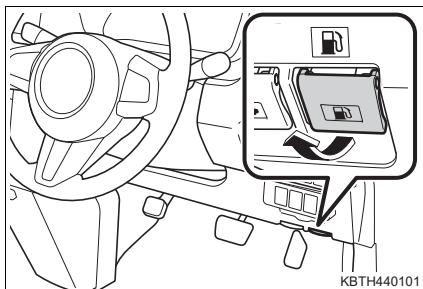
指定以外のガソリンや他の燃料（粗悪ガソリン・軽油・灯油・高濃度アルコール含有燃料※）を使用したり、燃料をこぼしたりしないでください。
次のような状態になるおそれがあります。

- エンジンの始動性が悪くなる
- エンジンからの異音や振動など（ノッキング）が発生する
- エンジン出力が低下する
- 排気制御システムが正常に機能しない
- 燃料系部品が損傷する
- 塗装が損傷する

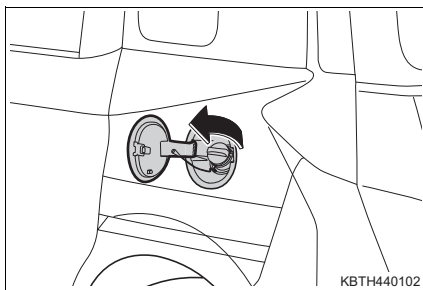
※：アルコールが主成分の高濃度アルコール含有燃料。日本工業規格（JIS）や「揮発油の品質の確保に関する法律」が定めたガソリン規格に適合している ETBE や E3 などのバイオガソリンは使用できます。

フューエルリッドの開け方

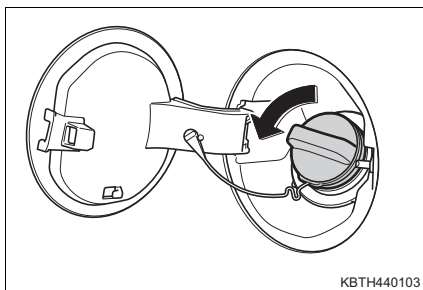
- 1** オープナーレバーを引く



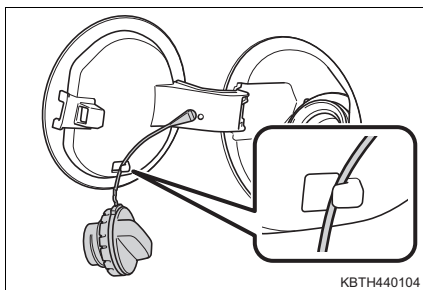
- 2** フューエルリッドを止まる位置まで開ける
フューエルリッドがもどらないことを確認する。



- 3** フューエルキャップをゆっくりまわして開ける



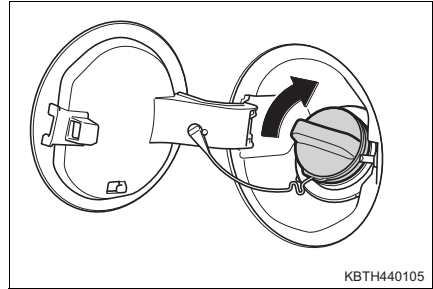
- 4** フューエルキャップをハンガーにかける



フューエルリッドの閉め方

フューエルキャップを“カチッ”と音がするまでまわして閉める

手を離すと、フューエルキャップが逆方向に少しもどります。



⚠ 警告

■ フューエルキャップが正常に閉まらないとき

必ずスバル販売店へご連絡ください。

正常に閉まらないフューエルキャップをそのまま使用したり、スバル純正品以外のキャップを使用すると、火災などを引き起こし、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

スマートアシストⅢ※

※ “スマートアシスト” はダイハツ工業株式会社の登録商標です。

スマートアシストⅢは、次の機能によって運転者を補助し、安全で快適なドライブを支援します。

◆ 衝突警報機能（対車両・対歩行者）

→ P. 220

◆ 衝突回避支援ブレーキ機能（対車両・対歩行者）

→ P. 220

◆ 誤発進抑制制御機能（前方・後方）

→ P. 230

◆ 車線逸脱警報機能

→ P. 239

◆ 先行車発進お知らせ機能

→ P. 242

◆ ハイビームアシスト

→ P. 196

 警告**■スマートアシストⅢについて**

- スマートアシストⅢは運転者の安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の軽減に寄与することを目的としています。スマートアシストⅢは認識性能・制御性能に限界があります。システムを過信せず、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけてください。
- 次の状況ではシステムは正しく作動しません。スマートアシストⅢの機能を停止してください。(→ P. 212)
 - ・ タイヤの空気圧が適正でないとき
 - ・ 標準タイヤサイズ以外のタイヤやタイヤチェーンを装着しているとき
 - ・ 摩耗したタイヤ、摩耗差の激しいタイヤを装着しているとき
 - ・ メーカー指定のサイズ以外のタイヤを装着しているとき
 - ・ タイヤパンク応急修理キットを使用したとき
 - ・ サスペンションを改造したとき
 - ・ ステレオカメラの視界をさまたげるようなものを車両に取り付けたとき
 - ・ ヘッドランプの汚れなどで、対象物を正しく照射できず、認識しづらいとき
 - ・ ヘッドランプの光軸がずれているとき
 - ・ ヘッドランプなどのランプ類を改造したとき
 - ・ 荷物の積載などにより、極端に車両が傾いているとき
 - ・ 車両を改造・架装したとき
 - ・ けん引されるとき
 - ・ キャリアカーに積載するとき
 - ・ シャシーダイナモメーターやフリーローラーなどを使用するとき
 - ・ リフトアップし、エンジンをかけタイヤを空転させたいとき
 - ・ 垂れ幕や旗、垂れ下がった枝、ビニールカーテン、草むらや茂みなどに触れながら通過するとき
 - ・ サーキットなどでスポーツ走行するとき
 - ・ 脱輪したときやぬかるみから脱出するとき
 - ・ 冠水した道を走行するとき
 - ・ 事故や故障で自車の走行が不安定なとき
 - ・ ブレーキ警告灯が点灯しているとき

車両データの記録について

スマートアシストⅢには、車両の制御や操作に関するデータなどを記録するコンピューターが装備されており、主に次のようなデータを記録します。

- アクセルペダルおよびブレーキペダルの操作状況
- ハンドルおよびセレクトレバーの操作状況
- 車速などの車両情報
- スマートアシストⅢの各機能の作動状況
- 先行車や障害物との距離、相対速度などの情報
- ステレオカメラの画像情報（2 次ブレーキ作動時のみ）

なお、会話などの音声や車内の映像は記録しません。

■ データの取り扱いについて

スバルおよびスバルが委託した第三者は、コンピューターに記録されたデータを車両の故障診断・研究開発・品質の向上を目的に取得・利用することがあります。

なお、次の場合を除き、スバルおよびスバルが委託した第三者は、取得したデータを第三者へ開示または提供することはありません。

- お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合
- 警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- スバルが訴訟で使用する場合
- 統計的な処理を行う目的で、使用者や車両が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

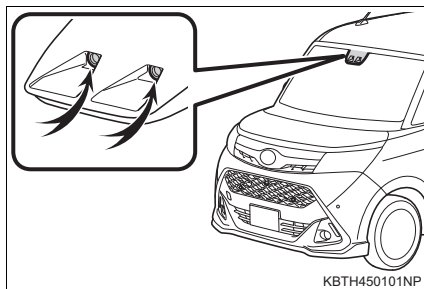
【ここでいうスバルは、株式会社 SUBARU を意味しています。】

記録した画像情報は特別な装置を使用して消去することが可能です。
また、画像情報を記録する機能を停止することも可能です。詳しくは、スバル販売店にご相談ください。

ステレオカメラ

ステレオカメラは、次の機能で必要な情報を認識します。

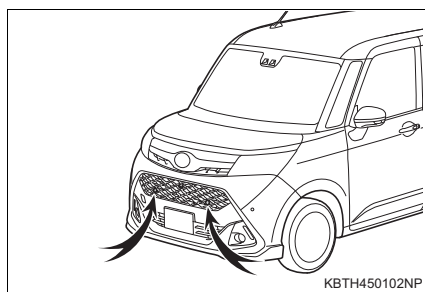
- 衝突警報機能（対車両・対歩行者）
- 衝突回避支援ブレーキ機能（対車両・対歩行者）
- 誤発進抑制制御機能（前方）
- 車線逸脱警報機能
- 先行車発進お知らせ機能
- ハイビームアシスト



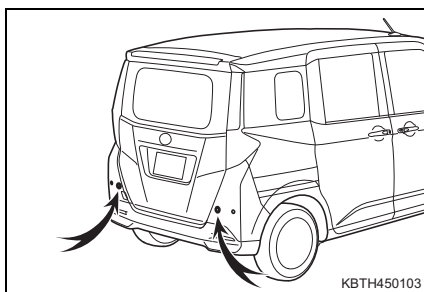
ソナー

ソナーは、誤発進抑制制御機能（前方・後方）で必要な情報を認識します。

▶ フロントソナー



▶ リヤソナー



スマートアシストⅢの機能を停止するには

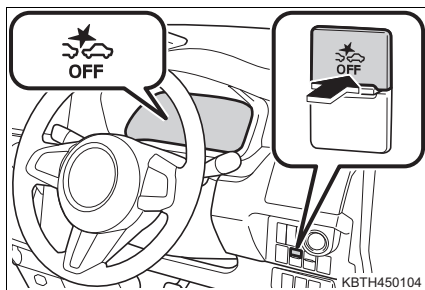
スマートアシスト OFF スイッチを押すことにより、スマートアシストⅢの機能を停止することができます。

■ 衝突警報機能・衝突回避支援ブレーキ機能・誤発進抑制制御機能（前方・後方）・先行車発進お知らせ機能を停止するとき

スマートアシスト OFF スイッチを2秒以上押し続ける

“ピピッ”とブザーが鳴り、スマートアシスト OFF 表示灯が点灯します。

もう一度2秒以上押し続けると、“ピピッ”とブザーが鳴りスマートアシスト OFF 表示灯が消灯し、作動可能状態にもどります。

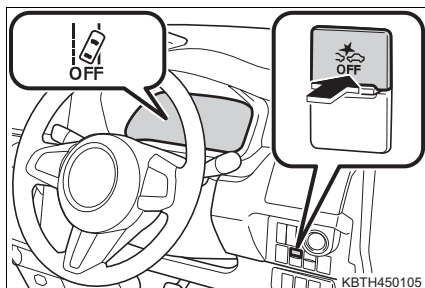


■ 車線逸脱警報機能を停止するとき

スマートアシスト OFF スイッチを押す

“ピピッ”とブザーが鳴り、車線逸脱警報 OFF 表示灯が点灯します。

もう一度押すと、“ピピッ”とブザーが鳴り車線逸脱警報 OFF 表示灯が消灯し、作動可能状態にもどります。



知識

■ スマートアシストⅢの自動復帰について

次の機能は機能を停止した場合でも、プッシュエンジンスイッチをイグニッション ON モードにすると自動的に作動可能状態にもどります。

- 衝突警報機能（対車両・対歩行者）
- 衝突回避支援ブレーキ機能（対車両・対歩行者）
- 誤発進抑制制御機能（前方・後方）
- 先行車発進お知らせ機能

■ 車線逸脱警報機能について

車線逸脱警報機能の作動可能状態または停止状態は、エンジンを再始動しても維持されます。

■スマートアシストⅢの作動状態について

ブザーとメーター、ディスプレイの表示でスマートアシストⅢの作動状態をお知らせします。

ブザー	メーター	ディスプレイ	作動状態
“ピピピピピ ピッ”	—	※1  (点滅) ※2 	衝突警報機能が作動
“ピピピピピ” と 鳴り続ける		※1  (点滅) ※2 	衝突回避支援ブレーキ 機能の1次ブレーキ、 または2次ブレーキが 作動
“ピピピッ” と鳴 り続ける	—	※1  (点滅) ※2 	衝突回避支援ブレーキ 機能の2次ブレーキが 作動した後、車両が停 止 運転者の操作でブザー とディスプレイの表示 が終了します。

※1 マルチインフォメーションディスプレイ装着車

※2 TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイ装着車

ブザー	メーター	ディスプレイ	作動状態
“ピピピピピッ”	—	※1  (点滅) ※2 	誤発進抑制制御機能 (前方)の警報が作動
“ピピピピピ” と 鳴り続ける		※1  (点滅) ※2 	誤発進抑制制御機能 (前方)の警報が作動す るとともにエンジン出 力を抑制
“ピピピピピッ”	—	※1  (点滅) ※2 	誤発進抑制制御機能 (後方)の警報が作動
“ピピピピピ” と 鳴り続ける		※1  (点滅) ※2 	誤発進抑制制御機能 (後方)の警報が作動す るとともにエンジン出 力を抑制

ブザー	メーター	ディスプレイ	作動状態
“ピピピピッ ピピピピッ”	※ 1  (点滅)	※ 2 	車線逸脱警報機能が作動
“ピピピッ”	—	※ 1  (点滅) ※ 2 	先行車発進お知らせ機能が作動
—		—	ハイビームアシストが作動

※ 1 マルチインフォメーションディスプレイ装着車

※ 2 TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイ装着車

■スマートアシストⅢが作動しない場合

次のいずれかの場合、スマートアシストⅢの機能は作動しません。

- エンジン始動直後
- スマートアシスト OFF スイッチでシステムを停止しているとき
- スマートアシスト OFF 表示灯が点灯しているとき
- 「スマアシ故障」が表示されているとき（システム異常）
- 「スマアシ停止」が表示されているとき※（機能停止）

※ 機能停止コード「11E」のみが表示されているときは、「スマアシ停止」が表示されていても、ソナーの認識による誤発進抑制制御機能（前方）は作動します。

 警告**■ステレオカメラについて**

- ステレオカメラは人の目と似た特性を持っています。そのため、運転者にとって前方が見えにくい状況では、ステレオカメラも同様に前方車両や歩行者、障害物、車線を認識しづらくなります。
- ステレオカメラによる前方車両や歩行者、障害物、車線の認識は視野範囲内に限られています。また、視野範囲に対象物が入ってから制御・警報の対象となるまでは数秒間かかります。

■ステレオカメラの故障や誤作動を防ぐために

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、ステレオカメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ステレオカメラ前面のフロントウィンドウガラスは常にきれいにしてください。
 - ・フロントウィンドウガラス外側に汚れ・油膜・水滴・雪などが付着した場合は、取り除いてください。
 - ・ステレオカメラ前面に水滴などが付着した場合は、ワイパーでふき取ってください。
 - ・フロントウィンドウガラス内側のステレオカメラ取り付け部が汚れた場合は、スバル販売店にご相談ください。
- フロントウィンドウガラスのステレオカメラ前面に、ステッカー（透明なものを含む）などを貼ったりしないでください。やむを得ず取り付けなければならない（車検ステッカーなど）ときは、ステレオカメラの前面に重ならないようにしてください。
- フロントウィンドウガラスが曇った場合は曇りを取ってください。
（→ P. 303, 309）
- フロントウィンドウガラスのステレオカメラ前部の水滴をワイパーが正しくふき取れないときは、ワイパーゴムまたはワイパーブレードを交換してください。（→ P. 364）
 - ・ワイパーブレードの交換が必要な場合は、スバル販売店にご相談ください。

 警告

- フロントウインドゥガラスにフィルムを貼らないでください。
- 事故などでステレオカメラ周辺が変形した場合はスバル販売店にご相談ください。
- フロントウインドゥガラスに傷・ひびなどが生じた場合は、そのまま放置せずに交換してください。特にステレオカメラ前面のフロントガラスに傷、ひびなどの損傷や部分修正があると、システムが正しく作動しなくなることがあります。
フロントウインドゥガラスの交換が必要な場合は、スバル販売店にご相談ください。
- スバル純正品以外のフロントウインドゥガラスに交換しないで下さい。
- ステレオカメラに液体をかけないでください。
- ステレオカメラのレンズを汚したり、傷を付けたりしないでください。レンズに汚れ、傷がある場合は、スバル販売店にご相談ください。
- ステレオカメラに強い衝撃を加えないでください。
- ステレオカメラ取り付け位置や向きを変更したり、取りはずしたりしないでください。
- ステレオカメラを分解しないでください。
- ステレオカメラ付近に電子機器やアンテナなど、強い電波を発信する機器を取り付けしないでください。
- ルームミラーなどのステレオカメラ周辺部品や天井を改造しないでください。
- インストルメントパネル上部に物を置かないでください。フロントウインドゥガラスに反射してシステムが正しく作動しなくなる場合があります。
- インストルメントパネル上面をケミカル剤などで光沢を持たせた場合、フロントウインドゥガラスへの映りこみにより、ステレオカメラが安定した認識ができずシステムが正常に作動しない場合があります。
- ボンネット・フロントグリル・フロントバンパーなどに、ステレオカメラの視界をさえぎる可能性のあるアクセサリーを取り付けしないでください。
- ルーフ上に全長の長い荷物（サーフボード、カヌー、スキー板など）を積むときは、ステレオカメラの視界をさえぎらないようにしてください。
- スバル純正品以外のルームミラー（ワイドタイプミラーなど）、サンバイザーを装着しないでください。

 警告**■ ソナーの故障や誤作動を防ぐために**

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、ソナーが正常に作動せず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●ソナーは常にきれいにしてください。

- ・ 雨、雪、氷、汚れなどがソナーに付着した場合は、取り除いてください。
- ・ 手入れする際は、ソナーを傷付けないよう、やわらかい布を使ってください。

●ソナーにウォッシャー液やオイルが付着した場合は、すみやかにふき取ってください。

●ソナーにワックスや撥水剤などを塗らないでください。

●高圧洗車機を使用して洗車するときは、ソナー部に直接水をあてないでください。

●スチームを使用した洗車機などで洗車するときは、スチームをソナー部に近付けすぎないようにしてください。

●ソナー、およびその周辺部分に強い衝撃や力を加えないでください。強い衝撃を受けたときは、必ずスバル販売店で点検を受けてください。

●ソナーを取りはずしたり、分解したりしないでください。

●ソナーの取り付け位置を変更したり、周辺構造物を改造したりしないでください。また、ソナーを塗装したりしないでください。

●ソナー、およびその周辺部分にアクセサリーを付けたり、ステッカー（透明なものを含む）などを貼ったりしないでください。

●バンパー部分に腰掛けたり、寄りかかったりしないでください。

●バンパーを交換・修理する場合や、事故などでソナー周辺が変形した場合は、スバル販売店にご相談ください。

■ 汚れ検知機能について

●ステレオカメラとソナーは汚れ検知機能を備えていますが、万全ではありません。

汚れを検知した場合は、スマートアシストⅢの機能が自動的に停止します。

 注意**■スマートアシストⅢの機能停止について**

次のようなときは、状況によってはスマートアシストⅢの認識性能が下がる場合や一時停止状態になる場合があります。(→ P. 424)

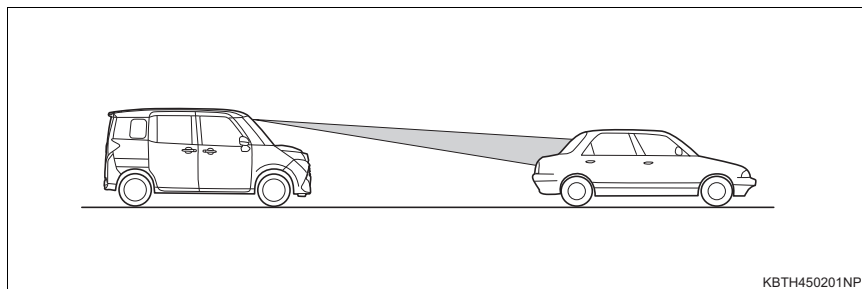
状況が改善されれば再び機能は作動します。

- 悪天候時（豪雨、吹雪、濃霧など）
- お車を炎天下で放置したあとなど、ステレオカメラの温度が極端に高くなった場合
- エンジン始動直後
- 前方から強い光（太陽光などによる逆光や対向車のヘッドランプの光など）を受けたとき
- 街灯などがなく、真っ暗で周囲に建物や車両などが無い場合
- ステレオカメラ、ソナー部に雪や汚れ、霜などが付着して覆っているとき
- 重い荷物を積んでいるとき
- 水しぶき、雪などの巻き上げがあったとき
- 排気ガス、水蒸気、砂、煙、土ぼこりなど視界が十分でないとき

機能によって認識性能の低下する条件が異なります。詳しくは各機能の説明をお読みください。

衝突警報機能（対車両・対歩行者）、衝突回避支援ブレーキ機能（対車両・対歩行者）

衝突警報機能、衝突回避支援ブレーキ機能は、ステレオカメラで前方車両、歩行者を認識して、衝突の危険性が高い場合に作動し、運転者への注意喚起とブレーキ制御を行い、衝突回避を支援、あるいは衝突被害の軽減に寄与します。



◆ 衝突警報機能（対車両・対歩行者）

次の場合にブザーとディスプレイの表示（→ P. 213）で注意をうながします。

- 車速約 4 ～ 100km/h で走行中、前方車両に対し自車との速度差が約 4 ～ 100km/h で衝突のおそれがあるとき
状況によっては、二輪車、壁、ガードレールなどの障害物に対しても衝突警報は作動します。

- 車速約 4 ～ 50km/h で走行中、前方の歩行者に対し自車との速度差が約 4 ～ 50km/h で衝突のおそれがあるとき

◆ 衝突回避支援ブレーキ機能（対車両・対歩行者）

次の場合にブザーとメーター内の警告灯、およびディスプレイの表示（→ P. 213）で注意をうながし、衝突の直前で緊急ブレーキが作動して、衝突回避を支援、あるいは衝突被害の軽減に寄与します。

- 車速約 4 ～ 80km/h で走行中、前方車両に対し自車との速度差が約 4 ～ 80km/h で衝突のおそれがあるとき
- 車速約 4 ～ 50km/h で走行中、前方の歩行者に対し自車との速度差が約 4 ～ 50km/h で衝突のおそれがあるとき

◆ 被害軽減ブレーキアシスト

緊急ブレーキ作動中、次の場合にブレーキペダルを踏み込むと、踏んだ以上の制動力で減速をアシストします。

- 車速約 30 ～ 80km/h で走行中、前方車両に対し自車との速度差が約 30 ～ 80km/h で衝突のおそれがあるとき
- 車速約 30 ～ 50km/h で走行中、前方の歩行者に対し自車との速度差が約 30 ～ 50km/h で衝突のおそれがあるとき

⚠ 警告

■ 安全にお使いいただくために

- 安全運転を行う責任は運転者にあります。常に周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。

衝突回避支援ブレーキ機能を日常のブレーキ操作のかわりには絶対に使用しないでください。衝突回避支援ブレーキ機能はあらゆる状況で衝突を回避または衝突の被害を軽減するものではありません。機能に頼ったり、安全を委ねる運転をしたりすると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 衝突回避支援ブレーキ機能は、衝突回避を支援、あるいは衝突被害の軽減に寄与することを目的としています。衝突が避けられないと判断した段階で緊急ブレーキが作動し、衝突直前で強いブレーキをかけるように設定していますが、常に同じ性能を発揮できるものではありません。その効果はさまざまな条件によりかわるため、システムを過信せず安全運転に努めてください。

次の項目をお読みいただき、システムを過信せず安全運転に努めてください。

- ・ 衝突の可能性がなくても機能が作動するおそれがあるとき：→ P. 228
- ・ 機能が正常に作動しないおそれがあるとき：→ P. 226、228
- 安全のため、お客様で自身で衝突回避支援ブレーキ機能の作動テストを行わないでください。止まりきれないことや作動しないことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

 警告**■衝突警報機能、衝突回避支援ブレーキ機能について**

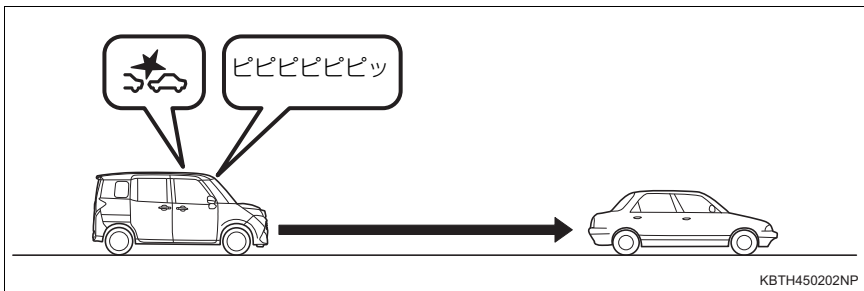
- 衝突回避支援ブレーキ機能は、ステレオカメラが認識した前方車両や歩行者に作動します。二輪車や電柱、壁などに対しても作動することがありますが、これらへの衝突を回避することを目的とはしていません。
- 緊急ブレーキが作動したとき、アクセル操作をしても、緊急ブレーキを継続します。ただし、アクセルを全開に踏み込むと衝突回避支援ブレーキを解除します。
- 運転者がブレーキペダルを踏んでいたり、ハンドルを操作していたりすると、その操作状態によっては運転者の回避操作として判断され、衝突警報や衝突回避支援ブレーキが作動しない場合があります。
- 衝突回避支援ブレーキ機能は、作動車速内であっても、前方車両との速度差が約 30km/h を超える場合、スマートアシストⅢの性能限界から衝突を回避することはできません。また、前方車両との速度差が約 80km/h（対歩行者の場合は速度差が約 50km/h）を超える場合は、衝突回避支援ブレーキ機能は作動しません。
- シートベルトを着用し、必ず同乗者にも着用させてください。シートベルトを正しく着用しないと、衝突回避支援ブレーキが作動したときに危険な場合があります。（→ P. 28）

衝突警報機能・衝突回避支援ブレーキ機能・被害軽減ブレーキアシストの作動

①～④の順にシステムが作動し、運転者への注意喚起とブレーキ制御を行います。

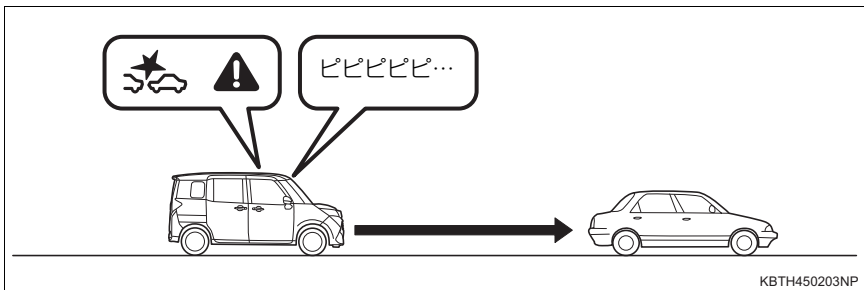
- ・システム作動中は、ブザーとメーター内の表示、およびディスプレイの表示で運転者に注意をうながします。
- ・ブレーキ制御中は制動灯、ハイマウントストップランプが点灯します。
- ・ブレーキ制御中にブレーキペダルを踏み込むと、被害軽減ブレーキアシストが作動し、踏んだ以上の制動力で減速をアシストします。

① 衝突警報



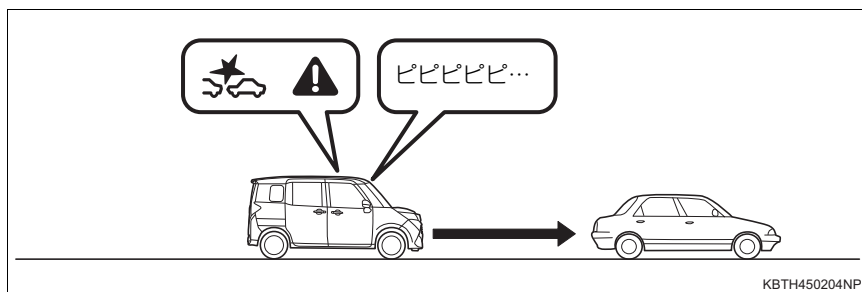
前方車両・歩行者に対し、衝突の危険性があると判断したときに、ブザーとディスプレイの表示（→ P. 213）で運転者に注意喚起して衝突回避操作をうながします。

② 1次ブレーキ

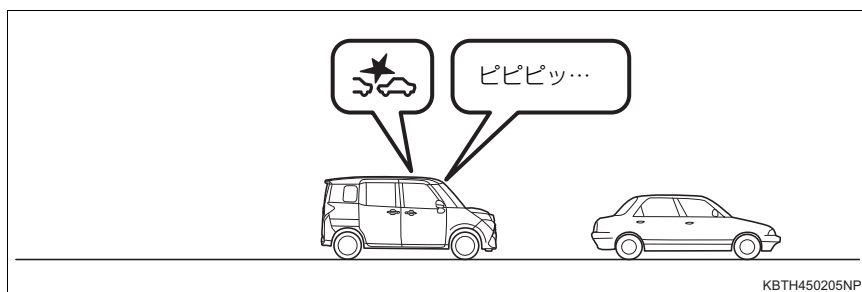


前方車両・歩行者を認識して、衝突の可能性が高いと判断したときに、ブザーを変化させブレーキ制御を行います。

- ・前方車両・歩行者と認識していない場合、またはブレーキペダルを踏んで減速し、適切な車間距離をとった場合は、ブレーキ制御を行いません。
- ・運転者の衝突回避操作（ブレーキペダル・ハンドルなど）の操作量により、衝突する可能性が低くなったと判断した場合、作動を解除します。

3 2次ブレーキ

前方車両・歩行者に対し、衝突の危険性が非常に高いと判断したときに、1次ブレーキより強くブレーキ制御を行います。

4 停止保持

停止後にブザーが鳴り、ブレーキ制御を最長約 1.5 秒間継続した後、ブレーキ制御を解除します。

停止保持後にブレーキ制御が解除されると、クリープ現象により車両がゆっくりと動き出します。停車状態を継続するには、ブレーキペダルをしっかりと踏み続けてください。

 知識

■衝突警報機能、衝突回避支援ブレーキ機能、被害軽減ブレーキアシストの作動条件

自車が次の条件をすべて満たしたときに作動可能となります。

- プッシュエンジンスイッチがイグニッション ON モード
- スマートアシスト OFF 表示灯が消灯
- 「スマアシ停止」が表示されていない
- 「スマアシ故障」が表示されていない
- シフトポジションが P・R 以外
- 次の表に示す機能のいずれかの作動車速および速度差で走行しているとき

機能	対象	作動車速、速度差※ ¹
衝突警報機能	対車両	約 4 ～ 100km/h
	対歩行者	約 4 ～ 50km/h
衝突回避支援ブレーキ機能	対車両	約 4 ～ 80km/h
	対歩行者	約 4 ～ 50km/h
被害軽減ブレーキアシスト※ ²	対車両	約 30 ～ 80km/h
	対歩行者	約 30 ～ 50km/h

※¹ 自車と前方車両、歩行者との速度差は作動車速の数値と同じです。

※² 緊急ブレーキ作動中にブレーキペダルを踏み込んだ場合

■衝突警報機能、衝突回避支援ブレーキ機能を停止するには

→ P. 212

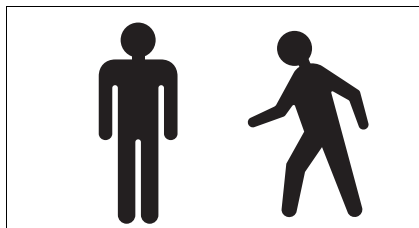
■衝突回避支援ブレーキについて

- 状況によっては、1 次ブレーキや 2 次ブレーキから作動することがあります。
- 衝突回避支援ブレーキ中に音が聞こえることがありますが、制御によるものであり異常ではありません。
- 衝突回避支援ブレーキ中にブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが固く感じられることがありますが、異常ではありません。

⚠ 注意

■ステレオカメラについて

ステレオカメラは歩行者を認識します。歩行者認識は対象物の大きさや形状、動きから行っています。頭部、両肩の輪郭が明瞭であるときに認識します。



■衝突警報機能、衝突回避支援ブレーキ機能が作動しないおそれのある状況

次のような場合は、衝突警報機能が作動しなかったり、衝突回避支援ブレーキ機能が作動せず、止まりきれないことがあります。

- 前方車両や歩行者との速度差、車間距離、接近の状態、横方向のずれ具合（自車の正面にいないなど）
- 車両の状態（積載量・乗員など）
- 路面の状態（勾配・滑りやすさ・形状・凹凸など）
- 前方の視界が悪いとき（豪雨、吹雪、濃霧、土ぼこりなど）
- 運転者の操作状態（アクセルペダル・ブレーキペダル・ハンドルなど）から運転者が回避操作をしたと判断したとき
- エンジン始動直後
- 外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき
- 下り坂などでブレーキが過熱してブレーキの効きが悪くなっているとき
- 水たまり走行後や洗車後などブレーキが濡れてブレーキの効きが悪くなっているとき
- ステレオカメラが認識しにくい状態（特に次のような場合）
 - ・ フロントウィンドウガラスの曇りや汚れ、雪、霜、雨粒、土ぼこり、シールなどでステレオカメラ前面が覆われているとき
 - ・ ガラスコーティング剤を使用したとき
 - ・ フロントウィンドウガラスにフィルムを貼ったとき
 - ・ フロントウィンドウガラスへの映り込みにより安定した認識ができないとき
 - ・ フロントウィンドウウォッシャーの使用後または使用中で、フロントウィンドウガラスが十分にふき取れていないとき
 - ・ フロントウィンドウガラスに傷、ひびなどが生じたとき
 - ・ ルーフ上に全長の長い荷物（サーフボード、カヌー、スキー板など）を積んだりして、ステレオカメラの視界がさえぎられたとき
 - ・ スバル純正品以外のワイパーブレードを装着したとき（長さが短いタイプ含む）

 注意

- ・ 雨滴やウインドウウォッシャーの水滴、またはワイパーブレードがステレオカメラの視野を遮ることにより、対象物の認識が不完全になったとき
- ・ ステレオカメラの前を手でふさぐなどしたとき
- ・ ステレオカメラに衝撃が加わり、ずれやゆがみが生じたとき
- ・ 悪天候時（豪雨、吹雪、濃霧など）
- ・ 夜間または、トンネル内、屋内の駐車場など暗い場所で前方車両、歩行者に接近するとき
- ・ トンネルの出入り口や木、建物の影などで明るさが変化したとき
- ・ ステレオカメラ前方から強い光（太陽光などによる逆光や対向車両のヘッドランプの光など）を受けているとき
- ・ 強い光が車両や歩行者、路面に反射しているとき
- ・ カーブ、うねった道路、坂道するとき
- ・ 路面に水たまりや水膜があるとき
- ・ 雪道や未舗装路など、凸凹やわだちのある道路のとき
- ・ 前方車両や歩行者との距離が極端に短いとき
- ・ 自車の前方に車両や歩行者が急に割り込んだり、飛び出したりしたとき
- ・ 急加速やハンドル操作をしながら、前方車両、歩行者に接近したとき
- ・ 前方車両の一部しかステレオカメラの認識範囲内に入っていないとき
- ・ 小さい速度差で接近する場合（接近してから制御を行うため、対象物の形状・大きさによっては最後面がステレオカメラの視野範囲から外れる場合があります）
- ・ 前方車両や対向車両による水しぶきや雪などの巻上げ、排気ガス、水蒸気、砂、煙、土ぼこりなどがあるとき
- ・ 自車が車線変更を行い、前方車両のすぐうしろに接近したとき
- ・ 前方車両が急ハンドル、急加速、急減速したとき
- ・ 特殊な形状の車両（キャリアカー、サイドカーなどを含む）のとき
- ・ 前方車両の最後面が小さい（トレーラーなど）、低い、または凹凸があるとき
- ・ 車両背面のガラスが大きく前が見えてしまうような前方車両に接近したとき
- ・ 荷台にあおりがなく荷物が載っていないトラックなどが前方車両のとき
- ・ 後端から積荷が飛び出している車両などのとき
- ・ 車両が斜め、または横向きに停まっているとき
- ・ 対向車やバックしてくる車両などのとき
- ・ 車高の低い車両などのとき
- ・ 停車している車両の前に壁などがあるとき
- ・ 重い荷物を積むなど、前方車両が傾いているとき
- ・ 歩行者の一部（頭や手足など）が荷物や傘、帽子、車両、建物などに隠れているとき
- ・ 歩行者が背景にまぎれて、ステレオカメラが歩行者を認識できないとき

⚠ 注意

- ・歩行者が前かがみやしゃがんだ姿勢をとっているとき、横たわっているとき、手を振ったり走っているとき
- ・身長の高い子供や高身長の歩行者のとき（接近してから制御を行うため、歩行者の体形によってはステレオカメラの視野範囲から外れてしまい、作動しなかったり、作動が解除されたりすることがあります）
- ・歩行者が大きな荷物を背負っていたり、抱えたり、自転車やカートなどを押しているとき
- ・歩行者が長いスカートや和服などを着用していて足元が見えないとき
- ・集団で歩いているときなど、ステレオカメラが歩行者として認識できないとき
- ・ヘッドランプ照射範囲外に対象物がある場合
- ・周囲一面が同じような色合いのとき（一面雪景色など）
- ・対象物と背景のコントラストが少ないとき（森の中の黒車両、白壁前の白服歩行者など）

■衝突の可能性がなくても衝突警報機能、衝突回避支援ブレーキ機能が作動する場合

次のような場合は、衝突の可能性がなくても衝突警報機能・衝突回避支援ブレーキ機能が作動することがあります。

- 狭い橋、小トンネル、田舎道、ETC ゲート、狭いガードレール、雪だまりなど、両脇に壁や障害物がある細い道を走行するとき
- 前方車両に接近して走行するときや、前方の壁や前方車両の寸前まで接近して停止するとき
- 停止車両などの横を至近距離で通過するときや対向車が自車に向かって接近するとき
- 路面の勾配が急に変化する場所を走行するとき
- 水蒸気や霧、煙のかたまりを通過するとき
- ビニールカーテン、旗などをくぐって通過するとき
- 前方車両および対向車両の排気ガスや水、雪などの巻上げ、排気ガス、水蒸気、砂、煙、土ぼこりなどで前方の視界が悪いとき
- ステレオカメラの光軸がずれているとき
- 車両用エレベーターや機械式駐車場を利用するとき
- 路面上に大きなペイントなどがある場合
- カーブの入口や交差点にガードレールや看板、木立などの路側物があるとき
- カーブですれ違う対向車両があるとき
- 駐車場のバーや遮断機のバーが上がりきる前のとき

 注意

- 下り坂走行中、路面にキャッツアイやマンホール、路面電車のレールなどがあるとき
- バンプや段差を乗り降りしたときに、目の前に標識の影や、路面の継ぎ目などがあった場合
- 複数台の前方車両などが重なって見えるような場合
- 上り坂走行中、上方に看板や樹木の枝があるとき
- 縦縞フェンス、タイル壁、縦縞服など、連続する縦模様があるとき
- 先行車両の方向指示／非常点滅表示灯、制動灯が点灯したとき
- 水たまり、濡れた路面、ボディ鏡面への風景写り込みやランプ反射があるとき
- 外部から光の差し込みがあるとき
- 車両と車両、車両と歩行者、歩行者と歩行者、遠方のランプ群など、並進物があるとき
- 進路脇に歩行者、または歩行者と同じような大きさの物が並んでいるとき
- すれ違う歩行者、先行車両の二車線変更など、二つの物が交差して入れかわるとき
- ダンプカー、空荷トラック、スーツケースを持った人など、背面に前後差があるとき
- 複雑な形状の車両のとき
- 横断歩行者が自車正面に差し掛かる前に立ち止まったとき
- 風に揺れる旗や木の枝、衣服の揺れがあるとき

■衝突回避支援ブレーキについて

緊急ブレーキ作動時は、強いブレーキがかかります。緊急ブレーキは車両が停止してから約 1.5 秒後に解除されるため、必要に応じて運転者自らブレーキをかけてください。

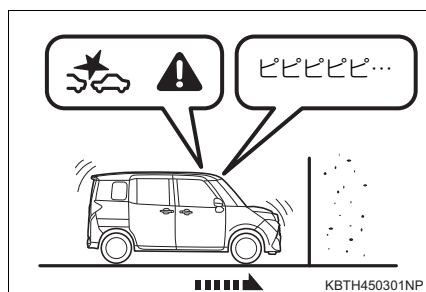
誤発進抑制制御機能（前方・後方）

誤発進抑制制御機能は、前方、または後方に障害物を認識している場合、停車または徐行（車速約 10km/h 以下）状態で、ペダルの踏み間違いなどにより必要以上にアクセルペダルが踏み込まれたとシステムが判断したときに、ブザーとメーター、ディスプレイの表示（→ P. 213）による運転者への警報とエンジン出力の抑制制御を行い、発進をゆるやかにすることで、衝突時の被害を軽減します。

◆ 前方

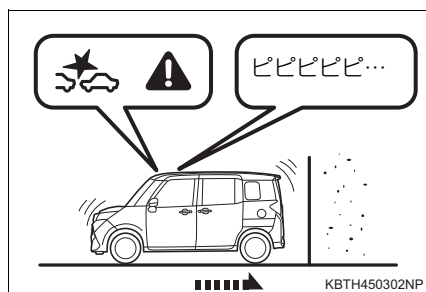
次の場合に作動します。

- ステレオカメラが前方約 4m 以内に障害物を認識している場合
- フロントソナーが前方約 2 ～ 3 m 先までの壁などの障害物を認識している場合



◆ 後方

リヤソナーが後方約 2 ～ 3m 先までの壁などの障害物を認識している場合に作動します。



 警告**■誤発進抑制制御機能について**

- 誤発進抑制制御機能を過信しないでください。誤発進抑制制御機能は衝突を回避するものではありません。発進時はセレクトレバーやペダルの位置および周囲の安全を十分に確認して操作してください。機能に頼っていると、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 誤発進抑制制御機能は停止状態を保つものではありません。
- 誤発進抑制制御機能はあらゆる状況で発進をゆるやかにするものではありません。
- 誤発進抑制制御機能は前方、または後方に障害物を認識している場合に作動するものであり、崖など対象物が見えない状況で発進をゆるやかにするものではありません。
- 故意に対象物の近くでアクセルペダルを過剰に踏み込まないでください。アクセルの調節を誤発進抑制制御機能に頼っていると衝突事故を起こす場合があります。
- 前方と後方では、認識できる障害物が異なります。
- 誤発進抑制制御機能とコーナーセンサーでは作動の対象とする障害物が異なります。コーナーセンサーのブザーが鳴っていても誤発進抑制制御機能が作動しなかったり、コーナーセンサーのブザーが鳴っていても、誤発進抑制制御機能が作動する場合があります。
- 万一、自車が踏切内で閉じ込められた場合、ステレオカメラ、またはソナーが遮断機を対象物と認識し、誤発進抑制制御機能が作動することがあります。遮断機を押し進める場合は、慌てずにアクセルペダルを踏み続けるか、スマートアシストⅢを停止してください。（→ P. 212）
- 運転者がハンドル操作をしていると、その操作状態によっては運転者の回避操作として判断され、誤発進抑制制御機能が作動しない場合があります。
- TRC を停止、または VSC (VDC) ・ TRC を停止にした場合、誤発進抑制制御機能は作動しません。
- エンジン出力の抑制制御をしたときに、アクセルペダルを約 8 秒以上踏み続けると、作動を解除します。また、すばやく 3 回以上、全開まで踏みなおすと、誤発進抑制制御機能は作動しません。

誤発進抑制制御機能の作動

■ 警報

車速が約 4km/h 以下で、アクセルペダルが必要以上に踏み込まれたと判断したときに、ブザーとディスプレイの表示（→ P. 213）で警報し、運転者に衝突回避操作をうながします。

- 後方で作動したとき、ブザーはリバース警告ブザーよりも早い間隔で鳴ります。（→ P. 213）

■ エンジン出力の抑制制御

車速が約 10km/h 以下で、アクセルペダルをすばやく、かつ必要以上に踏み込まれたと判断したときに、ブザーとメーター内の警告灯、およびディスプレイの表示（→ P. 213）で運転者に警報するとともに、エンジン出力の抑制制御を行います。

- エンジン出力の抑制制御はアクセルペダルを踏み続けている間、最長約 8 秒間継続します。
- エンジン出力の抑制制御中は、メーター内のマスターウォーニングが点灯します。

知識

■ 誤発進抑制制御機能の作動

自車が次の条件をすべて満たしたときに作動可能となります。

- エンジン回転中
- スマートアシスト OFF 表示灯が消灯
- 「スマアシ停止」が表示されていない※¹
- 「スマアシ故障」が表示されていない
- ブレーキペダルを踏んでいない
- 車速が 0 ～約 10km/h
- 方向指示表示灯が消灯
- メーター内の TRC OFF 表示灯・VSC（VDC）OFF 表示灯が消灯
- 前方の場合は、シフトポジションが D・S★・B
- 後方の場合は、シフトポジションが R
- フロントワイパーを“高速”で作動させていない※²

※¹ 機能停止コード「11E」のみが表示されているときは、「スマアシ停止」が表示されていても、ソナーの認識による誤発進抑制制御機能（前方）は作動します。

※² フロントワイパーを“高速”で作動させていても、ステレオカメラの認識による誤発進抑制制御機能（前方）は作動します。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■誤発進抑制制御機能（前方・後方）を停止するには

→ P. 212

 注意

■誤発進抑制制御機能（前方）が作動しないおそれのある状況

次の条件の違いにより、誤発進抑制制御機能（前方）が作動しないことがあります。

- 前方障害物との速度差、車間距離、接近の状態、横方向のすれ具合（自車の正面に障害物がないなど）
- 車両の状態（積載量・乗員など）
- 路面の状態（勾配・滑りやすさ・形状・凹凸など）
- 運転者の操作状態（アクセル・ブレーキ・ハンドルなど）から運転者が回避操作をしたと判断したとき
- 車両の整備状態（ブレーキ関係・タイヤの摩耗・空気圧・標準タイヤサイズ以外のタイヤなど）
- 車両や二輪車などの急な割込み、歩行者の飛び出し
- エンジン始動直後
- 荷物を積載している、段差をまたいでいるなどにより、車両が極端に傾いているときや車高が著しく変化した場合
- 前方障害物との距離や向き、横方向のすれ具合（自車の正面に障害物がないなど）
- 勾配が急な坂道を走行しているとき
- ステレオカメラが認識しにくい状態（特に次のような場合）
 - ・ 悪天候時（豪雨、吹雪、濃霧など）
 - ・ 前方から強い光（太陽光などによる逆光や対向車のヘッドランプの光など）を受けたとき
 - ・ フロントウィンドウガラスに曇りや汚れ、雪、霜、雨粒、土ぼこりなどが付着して覆っているとき
 - ・ ステレオカメラの温度が極端に高いとき
 - ・ 夕方、朝方の薄暗いときや、夜間に障害物に接近するとき
 - ・ 屋内の駐車場など暗い場所で障害物に接近するとき
 - ・ ヘッドランプ照射範囲外に障害物が存在するとき
 - ・ 雨滴やウィンドウウォッシャーの水滴、またはワイパーブレードがステレオカメラの視野を遮ることにより、障害物の認識が不完全になったとき
 - ・ ルーフ上に全長の長い荷物（サーフボード、カヌー、スキー板など）を積んだりして、ステレオカメラの視界がさえぎられたとき
 - ・ 荷物の積載などにより、極端に車両が傾いているとき

 注意

- ・ 前方車両などの水しぶき、雪などの巻上げがあったとき
 - ・ 排気ガス、水蒸気、砂、煙、土ぼこりなど視界が十分でないとき
 - ・ 凹凸道やオフロードなどの悪路を走行しているとき
 - ・ 障害物が道路標識やポールなどの細い棒状のもの
 - ・ 車両に非常に近い位置で車両中央からずれた位置に障害物が存在するとき
 - ・ 自車が進路変更して障害物のすぐうしろに接近したとき
 - ・ 急なカーブ、急な上り坂、急な下り坂の場合
 - ・ ステレオカメラの認識エリア外に障害物が存在するとき
 - ・ 障害物の高さが低いとき（低い壁、低いガードレール、車高の低い車両、縁石など）
 - ・ しゃがんでいる人や横たわっている人などのとき
 - ・ 障害物が小さいとき（小動物、幼児など）
 - ・ 障害物や前方車両（トレーラーや対向車など）の自車からいちばん近い面および最後面が小さいときや、障害物に接近しすぎたとき（自車からいちばん近いところではない部分を認識して作動し、効果が十分でないこともあります）
 - ・ 障害物がフェンス、均一な模様（縞模様やレンガなど）や模様の全くない壁やシャッターなどのとき
 - ・ 障害物がガラスや鏡の壁や扉などのとき
 - ・ 自車の前方に車、二輪車、自転車、歩行者などが横から割り込んだり、飛び出してきたとき
- ソナーが認識できない障害物（特に次のようなもの）
- ・ 背の低い障害物
 - ・ 小さい障害物（小動物・幼児など）、幅の狭い障害物
 - ・ 針金・金網・ロープ・道路標識やポールなどの細い障害物
 - ・ 急に前方に現れたもの
 - ・ 車両前方を横切るもの
 - ・ 人や綿、雪など音波を反射しにくいもの
 - ・ 地面に対して垂直でない壁、車両前面に対して斜めの壁
 - ・ 凹凸な壁、波打っている壁など、平面でない壁
 - ・ ソナーの認識エリア外に存在する障害物

⚠ 注意

- ソナーが正しく障害物を認識できないとき（特に次のような場合）
 - ・ バンパーに非常に近い障害物や、地面から高い位置に存在する障害物
 - ・ 動いているもの
 - ・ スポンジ状のものや雪などの表面がやわらかく音波を吸収しやすい障害物
 - ・ 障害物の面が車両の前方に対して斜めのときや、障害物に対して斜めに接近しているとき
 - ・ 障害物が車両の中央から横にずれた位置にあるとき
 - ・ 壁から柱や配管などが突き出しているとき
 - ・ 認識できる障害物と車両とのあいだに、認識できない障害物がある場合
 - ・ 炎天下や寒冷時でソナー周辺部が著しく高温または低温の場合
 - ・ 雨・雪・氷・汚れなどがソナーに付着しているとき
 - ・ どしゃぶりの雨や水しぶきがかかったときや風が強いとき
 - ・ 周囲で大きな音が鳴っているときや、周囲に超音波を発するものがあるとき（他車のホーン・オートバイのエンジン音・大型車のエアブレーキ音・車両感知器・他車のソナーなど）
 - ・ ソナー付近に市販の電装部品（字光式ナンバープレート・無線アンテナなど）を取り付けたとき
 - ・ 衝突などでソナーの方向のずれが発生したとき

■ 衝突の可能性がなくても誤発進抑制制御機能（前方）が作動する場合

次のような場合は、衝突の可能性がなくても誤発進抑制制御機能（前方）が作動することがあります。

- 前方車両に接近して走行するときや、前方障害物の寸前まで接近して停止するとき
- 路面の勾配が急に変化する場所を走行するとき
- 水蒸気や霧、煙のかたまりを通過するとき
- ビニールカーテン、旗などをくぐって通過するとき
- 前方車両および対向車両の排気ガスや水、雪などの巻上げ、水蒸気、砂、煙、土ぼこりなどを通過するとき
- 停止車両などの横を至近距離で通過するときや対向車両が自車に向かって接近するとき
- 車両用エレベーターや機械式駐車場を利用するとき
- 路面上に大きなペイントや段差、縁石、突起物などがあるとき、地面にわだちや穴があるとき
- カーブの入口にガードレールや看板などの路側物があるとき
- カーブですれ違う対向車両があるとき
- カーブや交差点に障害物があるとき

 注意

- 縦列駐車から本線に合流するとき
- 駐車場ゲートや遮断機のバーが上がりきるまえのとき
- キャリアカーに積載するとき
- 河川敷や生い茂った草むらや木立の中を走行するとき
- 縦列駐車をするとき
- 前方に障害物がある状態で、段差などを乗り越えるとき
- 車両側面の近くに障害物があるとき
- 狭いスペースに進入するとき
- どしゃぶりの雨や水しびきがかかったとき
- 霧・雪・砂嵐など悪天候の状況
- 他車のホーン・オートバイのエンジン音・大型車のエアブレーキ音・車両感知器・他車のソナーなど超音波を発生するものが付近にいたとき
- ソナー付近に市販の電装部品（光式ナンバープレート・無線アンテナなど）を取り付けたとき
- 車両姿勢が大きく傾いたとき
- 積載状況などにより車高が著しく変化した場合
- 衝突などでソナーの方向のずれが発生したとき
- 雨・雪・氷・汚れなどがソナーに付着しているとき
- 排水溝などの金属のフタ（グレーチング）の上や砂利道を走行するとき

■ 誤発進抑制制御機能（後方）が作動しない場合

次のような障害物に対しては、誤発進抑制制御機能（後方）は作動しません。

- 背の低い障害物
- 小さい障害物（小動物・幼児など）、幅の狭い障害物
- 針金・金網・ロープ・道路標識やポールなどの細い障害物
- 急に後方に現れたもの
- 車両後方を横切るもの
- 人や綿、雪など音波を反射しにくいもの
- 地面に対して垂直でない壁、車両後面に対して斜めの壁
- 凹凸な壁、波打っている壁など、平面でない壁
- ソナーの認識エリア外に存在する障害物

 注意**■ 誤発進抑制制御機能（後方）が作動しないおそれのある状況**

次のような場合は、誤発進抑制制御機能（後方）が作動しないことがあります。

- 運転者の操作状態（アクセル・ブレーキ・ハンドルなど）
- 路面の状態（勾配・凹凸など）
- 車両の状態（積載・乗員など）
- 悪天候時（豪雨・吹雪・濃霧など）
- エンジン始動直後
- 荷物を積載している、段差をまたいでいるなどにより、車両が極端に傾いているときや車高が著しく変化した場合
- 後方障害物との距離や向き、横方向のずれ具合（自車の正面に障害物がないなど）
- 勾配が急な坂道を走行しているとき
- ソナーが正しく障害物を認識できないとき（特に次のような場合）
 - ・ バンパーに非常に近い障害物や、地面から高い位置に存在する障害物
 - ・ 動いているもの
 - ・ スポンジ状のものや雪などの表面がやわらかく音波を吸収しやすい障害物
 - ・ 障害物の面が車両の後面に対して斜めのときや、障害物に対して斜めに接近しているとき
 - ・ 障害物が車両の中央から横にずれた位置にあるとき
 - ・ 壁から柱や配管などが突き出しているとき
 - ・ 認識できる障害物と車両とのあいだに、認識できない障害物がある場合
 - ・ 炎天下や寒冷時でソナー周辺部が著しく高温または低温の場合
 - ・ 雨・雪・氷・汚れなどがソナーに付着しているとき
 - ・ どしゃぶりの雨や水しぶきがかかったときや風が強いとき
 - ・ 周囲で大きな音が鳴っているときや、周囲に超音波を発するものがあるとき（他車のホーン・オートバイのエンジン音・大型車のエアブレーキ音・車両感知器・他車のソナーなど）
 - ・ ソナー付近に市販の電装部品（字光式ナンバープレート・無線アンテナなど）を取り付けたとき
 - ・ 衝突などでソナーの方向のずれが発生したとき

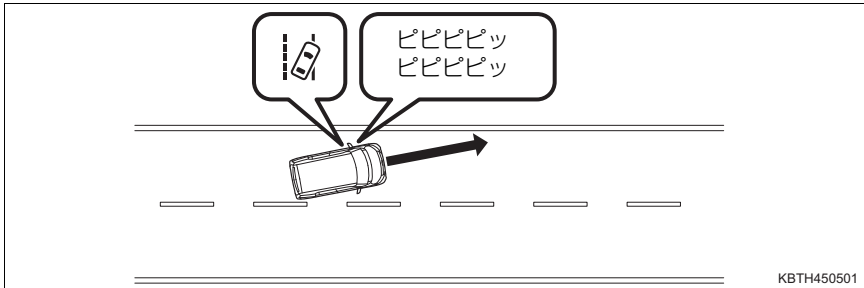
 注意**■衝突の可能性がなくても誤発進抑制制御機能（後方）が作動する場合**

次のような場合は、衝突の可能性がなくても誤発進抑制制御機能（後方）が作動することがあります。

- 障害物の寸前まで接近して停止するとき
- 路面の勾配が急に変化する場所を走行するとき
- ビニールカーテン・旗などをもぐって通過するとき
- 水しぶき・雪などの巻き上げがあったとき
- 障害物の横を至近距離で通過するとき
- 車両用エレベーターや機械式駐車場を利用するとき
- 縦列駐車をするとき
- 後方に障害物がある状態で、段差などを乗り越えるとき
- 車両側面の近くに障害物があるとき
- 路面上に段差や縁石、突起物などがあるとき、地面にわだちや穴があるとき
- 狭いスペースに進入するとき
- どしゃぶりの雨や水しぶきがかかったとき
- 霧・雪・砂嵐など悪天候の状況
- 他車のホーン・オートバイのエンジン音・大型車のエアブレイキ音・車両感知器・他車のソナーなど超音波を発生するものが付近にいたとき
- ソナー付近に市販の電装部品（字光式ナンバープレート・無線アンテナなど）を取り付けたとき
- 車両姿勢が大きく傾いたとき
- 積載状況などにより車高が著しく変化した場合
- 衝突などでソナーの方向のずれが発生したとき
- 雨・雪・氷・汚れなどがソナーに付着しているとき
- 排水溝などの金属のフタ（グレーチング）の上や砂利道を走行するとき

車線逸脱警報機能

車線逸脱警報機能は、フロントウィンドウガラス上部に設置されたステレオカメラによって左右の白線または黄線を認識し、車速が約 60km/h 以上で、運転者が意図せず走行車線から逸脱する可能性があるときシステムが判断したときに、ブザーとメーター内の表示灯★、またはディスプレイの表示★(→P.213)で運転者に注意をうながします。



⚠ 警告

■ 車線逸脱警報機能について

- 車線逸脱警報機能は、車線逸脱を防止するものではありません。また、わき見運転やぼんやり運転などの前方不注意、および雨、霧などの視界不良を補助するものではありません。車線の維持を車線逸脱警報機能に頼っていると、車線逸脱による事故につながるおそれがあり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 車線逸脱警報機能が作動した場合は、周囲の状況に応じてハンドル操作を行うなどの適切な操作をしてください。
- 車線逸脱警報機能は路肩や側溝などの道路の端を認識して警報する機能ではありません。

■ 車線逸脱警報を作動させない場合

次のような条件では、車線逸脱警報を作動させない場合があります。

- 車線内を走行していないとき
- カーブ内側にはみ出して走行しているとき
- 車線幅が狭いとき
- 方向指示器を使用しているとき
- 急な操舵などにより、運転者に回避の意思があるとシステムが判断したとき
- 車線逸脱警報が作動してから約 2 秒間

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

■ 車線逸脱警報機能の作動条件

自車が次の条件を全て満たしたときに作動可能となります。

- プッシュエンジンスイッチがイグニッション ON モード
- 車線逸脱警報 OFF 表示灯が消灯
- 「スマアシ停止」が表示されていない
- 「スマアシ故障」が表示されていない
- 車速が約 60 km /h 以上
- フロントワイパーが低速作動・高速作動の位置以外
- 方向指示器表示灯が消灯(方向指示器表示灯が消灯してから約4秒間は作動しません)
- 直線または緩やかなカーブの道路を走行している

■ 車線逸脱警報機能を停止するには

→ P. 212

■ カスタマイズ機能

ブザーの音量を変更することができます。

(ブザー音量設定：→ P. 101)

 注意

■ 車線逸脱警報機能が適切に作動しない、または不適切に作動するおそれのある状況

次の条件では白(黄)線を正確に認識できず、車線逸脱警報機能が適切に作動しない、または不適切に作動することがあります。

- 白(黄)線と道路表面の区別ができないときや、かすれたり汚れたりして見えにくいとき
- 悪天候(豪雨・吹雪・濃霧など)により白(黄)線が見えにくいとき
- 路面に雪が残っていたり湿っているとき
- 前方から強い光(太陽光などによる逆光や対向車両のヘッドランプの光など)を受けているときや、強い光が道路に反射しているとき
- トンネルの出入り口や、木、建物の影などで明るさが変化したとき
- 雨上がりなどで路面がぬれて光っているときや、水たまりがあるとき
- 木々や建物の影を走行するとき、ガードレールなどの影が道路上に映っているとき
- 夜間で街灯のついていない道路を走行しているとき

 注意

●道路の状態（特に次のような場合）

- ・ 車線規制や仮設車線がある区間を走行するとき
- ・ 道路の修復や古い白（黄）線のため、アスファルトの継ぎ目や線状の補修痕、白（黄）線のかすれや重複、タイヤ痕などがあるとき
- ・ 交差点や横断歩道など車線の数が増減している区間や車線が複雑に交差している区間を走行するとき
- ・ 車線の幅が極端に狭いときや広いとき、または変化しているとき
- ・ 車両などが白（黄）線の一部を隠しているとき、または幅が細いとき
- ・ 坂道や丘の頂上に近付いているとき
- ・ 段差などにより車両が大きく揺れたとき
- ・ 路上のもの（縁石・ガードレール・パイロンなど）を白（黄）線と認識したとき
- ・ 道路がうねって車線がゆがんで見えるときや先が見通せないとき
- ・ 舗装されていない道路や荒れた道路を走行するとき
- ・ 車線が二重に描かれている道路を走行するとき
- ・ 凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行するとき
- ・ 濡れた路面や積雪路でのタイヤの跡などがあるとき
- ・ 分岐・合流路などを走行するとき
- ・ 急なカーブのある道路を走行するとき
- ・ 道路の補修跡や雪とアスファルトの境目などがあるとき
- ・ ガードレールの影などがあるとき
- ・ 区画線が二重に描かれているとき
- ・ 道路工事区間で以前の区画線が完全に消えていないなど、路面に線状のペイントがあるとき

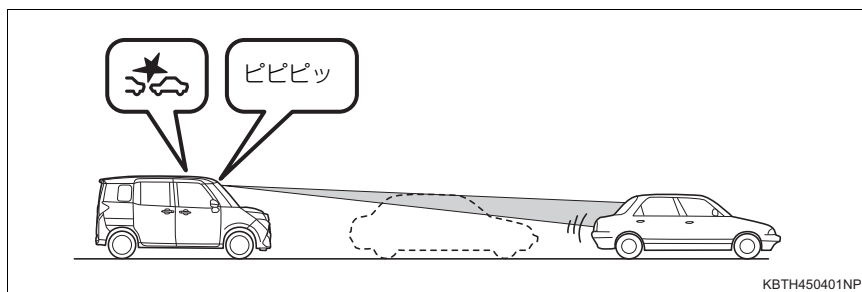
●ステレオカメラが認識しにくい状態（特に次のような場合）

- ・ フロントウインドウガラス外側が汚れ、泥、湿った雪に覆われているとき
- ・ ルーフ上に全長の長い荷物（サーフボード、カヌー、スキー板など）を積んだりして、ステレオカメラの視界がさえぎられたとき
- ・ フロントウインドウガラス内側が曇っているとき
- ・ フロントウインドウウォッシャーの使用、または使用後などで、フロントウインドウガラスが十分にふき取れていないとき
- ・ 重い荷物を積んで車両が傾いているとき
- ・ 先行車との車間距離が短いとき
- ・ 自車が白線（黄線）に対してまっすぐに走行していないとき
- ・ ステレオカメラが高温になったとき

先行車発進お知らせ機能

先行車発進お知らせ機能は、先行車の発進後に自車が停止し続けた場合に、ブザーとディスプレイの表示（→ P. 213）で運転者にお知らせします。

先行車に続いて停車中（車間距離が約 10m 以内、かつ自車がしばらく停車中）、先行車が発進して約 3m 以上進んでも自車が発進しないときに作動します。



⚠ 警告

■ 先行車発進お知らせ機能について

安全に発進できる状態を知らせたり、あらゆる状況での先行車の発進を知らせたりするものではありません。先行車発進お知らせ機能に頼らず、十分に安全を確認して運転してください。

📖 知識

■ 先行車発進お知らせ機能の作動条件

自車が次の条件を全て満たしたときに作動可能となります。

- プッシュエンジンスイッチがイグニッション ON モード
- スマートアシスト OFF 表示灯が消灯
- 「スマアシ停止」が表示されていない
- 「スマアシ故障」が表示されていない
- シフトポジションが D・S★・B でブレーキペダルを踏んでいる、またはシフトポジションが N
- 停止してから数秒経過

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ 先行車発進お知らせ機能を停止するには

→ P. 212

■ カスタマイズ機能

- ブザーの音量を変更することができます。
(ブザー音量設定：→ P. 101)
- ブザーが鳴るタイミングを変更することができます。
(カスタマイズ一覧：→ P. 455)

■ 先行車発進お知らせ機能が正常に作動しない場合

次のような場合は、先行車が発進していなくても機能が働いてしまう場合や、発進していても作動が遅れたり、機能が働かない場合があります。

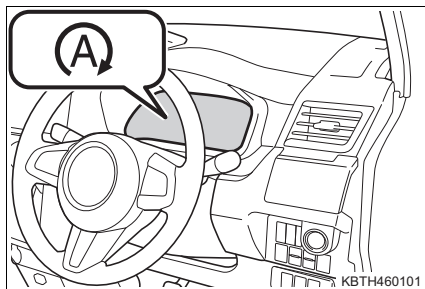
- 停止した先行車との間にオートバイなどが割り込んできたとき
- 停止した先行車との間を歩行者などが通過した場合
- 天候や道路形状などにより先行車を認識できないとき
- ステレオカメラが先行車を見失ったとき
- 横方向のすれ具合（自車の正面にいないなど）
- 自車が停止したときに先行車が動いている場合
- 先行車との距離が極端に短いとき
- 先行車が急発進や急旋回した場合
- 先行車が特殊な形状の車両（キャリアカー、サイドカーなどを含む）の場合
- 先行車の最後面が小さい（トレーラーなど）、低い、または凹凸があるとき
- 車両背面のガラスが大きく、前が見えてしまうような先行車のとき
- 荷台にあおりがなく荷物が載っていないトラックなどが先行車のとき
- 後端から積荷が飛び出している先行車のとき
- 車高の低い先行車のとき
- 車両が斜め、または横向きに停まっているとき
- ハンドルを大きく切った状態で停止しているとき
- 凹凸道やオフロードなどの悪路を走行しているとき

アイドリングストップシステム

赤信号や交差点などで減速した際、停車前（約 7km/h）もしくは停車後に燃費向上やアイドリング騒音低下のため、プッシュエンジンスイッチを操作することなく、ブレーキペダルの操作によってエンジンを停止・再始動させるシステムです。

■ エンジンが停止する

- 1 セレクトレバーをDで走行中、エンジン停止が可能な状態になると、アイドリングストップ表示灯が点灯する
(→ P. 246)



- 2 ブレーキペダルを踏み減速すると、停車前もしくは停車後にエンジンが自動的に停止する

アイドリングストップ表示灯は点灯したままです。

■ エンジンが再始動する

ブレーキペダルから足を離すと、エンジンが再始動する

アイドリングストップ表示灯が消灯します。

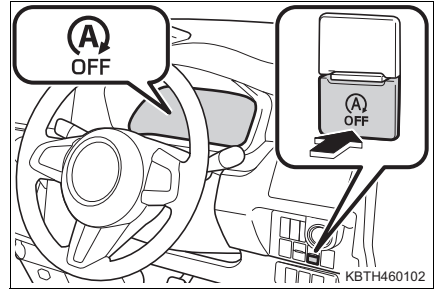
しばらく走行して、再びエンジン停止が可能な状態になると、アイドリングストップ表示灯が点灯します。

アイドリングストップを非作動にするには

アイドリングストップを非作動にするにはアイドリングストップキャンセルスイッチを押す

アイドリングストップキャンセル表示灯が点灯します。

もう一度スイッチを押すと、作動可能状態にもどり、アイドリングストップキャンセル表示灯が消灯します。



■ アイドリングストップキャンセルスイッチを押したとき

- アイドリングストップによるエンジン停止中、アイドリングストップキャンセルスイッチを押すとエンジンが再始動します。
- アイドリングストップが非作動のとき、もう一度アイドリングストップキャンセルスイッチを押すと、アイドリングストップが作動可能状態にもどりますが、エンジンは停止しません。
次に車両が停止したときに（アイドリングストップが作動可能状態にもどる）、アイドリングストップによって、エンジンが停止します。

ヒルスタートアシスト

アイドリングストップによって坂道でエンジン停止後の発進の際、ブレーキペダルを離してエンジンを再始動し駆動力が発生するまでのあいだ、ブレーキ油圧（ブレーキの効き）を最長約 2 秒間保持して車両が後退するのを抑制し坂道発進を容易にします。

駆動力が発生すると、保持していたブレーキ油圧（ブレーキの効き）を自動的に解除します。

知識

■ アイドリングストップの作動条件

● 次の条件がすべて満たされたとき、アイドリングストップ表示灯が点灯し、エンジン停止が可能な状態になります。

- ・ エンジンが十分温まっているとき
- ・ トランスミッションオイルが十分に温まっているとき
- ・ エンジン冷却水温が高すぎないとき
- ・ エンジン始動後に約 10km/h 以上でしばらく走行したあと
(走行せずにアイドリング状態を続けていても、エンジンは停止しません)
- ・ バッテリー状態（充電・温度など）が良好であるとき
- ・ 運転席ドアが閉まっているとき
- ・ 運転席シートベルトを着用しているとき
- ・ ボンネットが閉まっているとき
- ・ 外気温が約 0℃ 以上のとき（メーター内に表示されている外気温と異なる場合があります）
- ・ セレクトレバーが D のとき
- ・ 走行モードが SPORT モードではないとき（ターボ車）
- ・  が OFF のとき（オートエアコン装着車）

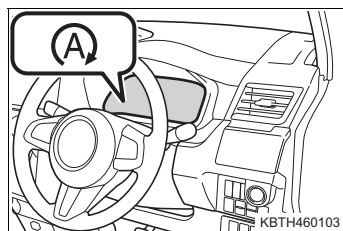
- ・ 室内補助ヒーター★が作動していないとき
- ・ 車内温度が快適なとき
- ・ システム（アイドリングストップ・エンジン電子制御・CVT 電子制御・ABS・VSC (VDC)・エアコン・電動パワーステアリング・車両通信）が正常なとき

● 次の状況では、エンジン停止が可能な状態になるまで時間がかかる場合があります。

- ・ バッテリーが放電しているとき
- ・ バッテリー交換などにより、バッテリー端子をはずしたあと
- ・ 冷房初期（オートエアコン装着車）

■ アイドリングストップ表示灯について

走行中にアイドリングストップの作動条件が満たされると、アイドリングストップ表示灯が点灯し、停止時にアイドリングストップが作動可能状態であることをお知らせします。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ 停車前のエンジン停止条件

- アイドリングストップ表示灯が点灯して、次の条件が満たされたとき、停車前にエンジン停止します。
 - ・ 車速が約 7km/h になったとき
 - ・ ブレーキペダルを踏んでいるとき
 - ・ アクセルペダルを踏んでいないとき
 - ・ ライティングスイッチが OFF のとき
 - ・ フロントワイパーが作動していないとき
 - ・ ハンドルの切れ角が小さいとき
 - ・ 急減速していないとき
 - ・ ABS、VSC（VDC）が作動していないとき
 - ・ 衝突回避支援ブレーキ機能が作動していないとき
- 次の状況では、停車前にエンジン停止しない場合がありますが、異常ではありません。
 - ・ ブレーキペダルを踏む力が弱いとき
 - ・ 勾配が急な坂道を走行しているとき
 - ・ ブレーキ倍力装置の負圧が低下したとき
 - ・ ゆるやかに減速しているとき

■ 停車後のエンジン停止条件

- アイドリングストップ表示灯が点灯して、次の条件が満たされたとき、停車後にエンジン停止します。
 - ・ 停車しているとき
 - ・ ブレーキペダルを踏んでいるとき
 - ・ アクセルペダルを踏んでいないとき
 - ・ ハンドル操作をしていないとき
 - ・ ABS、VSC（VDC）が作動していないとき
 - ・ 衝突回避支援ブレーキ機能が作動していないとき
- 次の状況では、停車後にエンジン停止しない場合がありますが、異常ではありません。
 - ・ ブレーキペダルを踏む力が弱いとき
 - ・ 勾配が急な坂道で停車したとき
 - ・ ブレーキ倍力装置の負圧が低下したとき

■エンジン停止中の操作について

- 右左折や合流時など、エンジン停止中に事前に発進準備をしたいときは、次の操作で事前にエンジンを再始動することができます。
 - ・ ブレーキペダルをさらに強く踏み込む
 - ・ ハンドル操作をする
 - ・ アイドリングストップキャンセルスイッチを押す（→ P. 245）
- エンジン停止中にセレクトレバーを D から N、または S★・B にしてもエンジン停止は続きます。
ただし、セレクトレバーを N にしたあと他のシフトポジションにすると、エンジンが再始動します。
- 給油時はセレクトレバーを P にし、プッシュエンジンスイッチを OFF にしてエンジンを停止します。

■エンジンの再始動について

- エンジン停止中に次のいずれかの操作を行うと、エンジンが自動的に再始動します。
 - ・ ブレーキペダルから足を離したとき
 - ・ ブレーキペダルをさらに強く踏みこんだとき
 - ・ アクセルペダルを踏んだとき
 - ・ ハンドル操作をしたとき
 - ・ セレクトレバーを R・P にしたとき
 - ・ セレクトレバーを N にしたあと、他のシフトポジションにしたとき
 - ・ アイドリングストップキャンセルスイッチを押したとき
 - ・  を押したとき（オートエアコン装着車）
 - ・ 運転席ドアを開けたとき
 - ・ 運転席シートベルトをはずしたとき
- エンジン停止中、次のときはエンジンが自動的に再始動する場合があります。（アイドリングストップ表示灯は点滅後、消灯します）
 - ・ ブレーキ倍力装置の負圧が低下したとき
 - ・ バッテリーの放電量が多いとき
 - ・ 傾斜などで車両が動き出したとき
 - ・ 停車前にエンジンを停止した後、下り坂で加速したとき
 - ・ 警告灯が点灯（→ P. 405）、警告メッセージ★（→ P. 411）が表示されるなど、各システム（エンジン電子制御・CVT 電子制御・ABS・VSC（VDC）・TRC・エアコン・電動パワーステアリング）に異常が発生したとき
 - ・ 冷房時、エアコン吹き出し口の風の温度が上昇したとき
（マニュアルエアコンの室内補助ヒーター装着車、オートエアコン装着車）
 - ・ 室内補助ヒーター★が作動したとき
 - ・ エンジン停止してから約 3 分経過したとき

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

- エンジン停止中にアイドリングストップに異常が発生したり、スターターやバッテリーが交換時期になったときは、アイドリングストップキャンセル表示灯が点滅、および「アイドリングストップ故障」の警告メッセージ★（→ P. 415）が表示されエンジンが自動的に再始動します。
- 次の状況では、エンジン停止の時間が短くなる場合があります。
 - ・ 外気温が高く、エアコンを使用している状態で頻繁にエンジン停止をしたとき
 - ・ 電装品などの消費電力が大きいとき
- オーディオの音量が大きいなど、エンジン停止中の消費電力が大きい場合、エンジン再始動時にオーディオの電源が一時的に OFF になることがあります。
- エンジンが再始動すると、アクセサリソケットの電源電圧が低下するので、使用している電化製品によっては電源が一時的に OFF になることがあります。

■アイドリングストップの自動再開

アイドリングストップをアイドリングストップキャンセルスイッチによって非作動にしても、一度プッシュエンジンスイッチを OFF にしてからイグニッション ON モードにすることによって、アイドリングストップは自動的に作動可能状態にもどります。

■ボンネットを開けたときは

エンジン停止中にボンネットを開けた場合、エンジンは自動で再始動しません。プッシュエンジンスイッチでエンジンを始動させてください。

■ヒルスタートアシストについて

- ゆるやかな上り坂で発進しようとした場合、お車が後退することがあります。お車が後退したときは、周囲の状況に応じてブレーキペダル・アクセルペダルを操作し、安全に発進してください。
- 坂道だけでなく、平坦な場所でも作動します。
- ヒルスタートアシストの作動により、次の状態になることがありますが、異常ではありません。
 - ・ ブレーキペダルの踏みごたえが変わる
 - ・ ブレーキペダルが振動する
 - ・ ブレーキから音が発生する

■アイドリングストップについて

アイドリングストップは赤信号や交差点などの一時的な停車のときに使用し、長時間停車する場合などには、エンジンを停止してください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■警告ブザーについて

アイドリングストップによるエンジン停止中、次のようになったときは警告ブザーが鳴ると同時にアイドリングストップ表示灯が高速で点滅、および警告メッセージ★※（→P. 423）が表示されます。

- 運転席ドアが開いたとき
- 運転席シートベルトをはずしたとき
- ボンネットが開いたとき

※ ボンネットが開いたときは、警告メッセージ★が表示されません。

■アイドリングストップキャンセル表示灯が点滅、および「アイドリングストップ故障」の警告メッセージ★（→P. 415）が表示されたままのときは

スターターの交換時期、またはシステムに異常がある場合があります。スバル販売店で点検を受けてください。

■エンジン始動中にアイドリングストップキャンセル表示灯が数秒間点滅、および「アイドリングストップ故障」の警告メッセージ★（→P. 415）が数秒間表示されたときは

バッテリーの交換時期です。スバル販売店で点検を受けてください。

■エンジン停止中のエアコンについて

- エンジン停止中はエアコン（冷房、除湿機能）がオフになり、送風になります。エアコンを作動させるときは、ブレーキペダルをさらに強く踏むか、アイドリングストップキャンセルスイッチを押してエンジンを再始動させてください。

- を押してエアコンをオート設定にしているときは、エンジン停止中に風量が少なくなったり送風を停止することがあります。エンジンが再始動すると、風量は自動調整にもどります。（オートエアコン装着車）

■エンジン停止中にフロントウィンドウガラスが曇ったとき

ブレーキペダルをさらに強く踏むか、アイドリングストップキャンセルスイッチを押してエンジンを再始動させてください。

マニュアルエアコン装着車は  を押してエアコンを作動させ、吹き出し口を

 に切りかえる、オートエアコン装着車は  を押して曇りを取ってください。

断続的にフロントウィンドウガラスが曇るときは、アイドリングストップキャンセルスイッチを押し、アイドリングストップを非作動にしてください。

■アイドリングストップ時間表示と総アイドリングストップ時間表示

→ P. 78, 86

■バッテリーを交換するとき

→ P. 443

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 警告**■アイドリングストップが作動しているとき**

- エンジン停止中はブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。(アイドリングストップ表示灯が点灯しているあいだ)
エンジンが自動的に始動するため、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- エンジン停止中はお車から離れないでください。(アイドリングストップ表示灯が点灯しているあいだ)
次の操作を行うと、エンジンが自動的に始動するため、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
 - ・ブレーキペダルから足を離す
 - ・運転席ドアを開ける
 - ・運転席シートベルトをはずす

■ヒルスタートアシストについて

- ヒルスタートアシストは坂道で停車させる装置ではありません。装置が正常に作動していても、坂道で停車中にブレーキペダルをゆるめるとお車が動き出すおそれがありますので、停車中はブレーキペダルをしっかりと踏み続けてください。
- ヒルスタートアシストを過信しないでください。発進するときにお車が不意に動き出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
常に周囲の状況を確認して、適切にセレクトレバー・ブレーキペダル・アクセルペダル・パーキングブレーキを操作して発進してください。
- ブレーキペダルから足を離したら、すみやかに発進操作を行ってください。坂道などで惰性で後退した場合、エンストを起こし、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなるなど、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあり危険です。
- ゆるやかな上り坂で停車前にエンジン停止した後、お車が停止する前にアクセルペダルを踏んで再加速しようとした場合、お車が後退することがあります。お車が惰性で後退したときは、周囲の状況に応じてブレーキペダル、アクセルペダルを操作し、安全に発進してください。
- 重い荷物を車内に積んでいるとき、または勾配が急な上り坂では、ヒルスタートアシストが作動していてもお車が後退することがあります。パーキングブレーキをかけたりするなどして発進してください。

 注意**■ アイドリングストップが作動しているとき**

- ブレーキペダルとアクセルペダルは右足で操作してください。
慣れない左足でのブレーキペダル操作は緊急時の反応が遅れることがあります。
- エンジン停止中は、ブレーキペダルを踏んだまま、アクセルペダルを踏むとエンジンが再始動しますので、車両の発進には十分ご注意ください。

■ アイドリングストップを正常に作動させるために

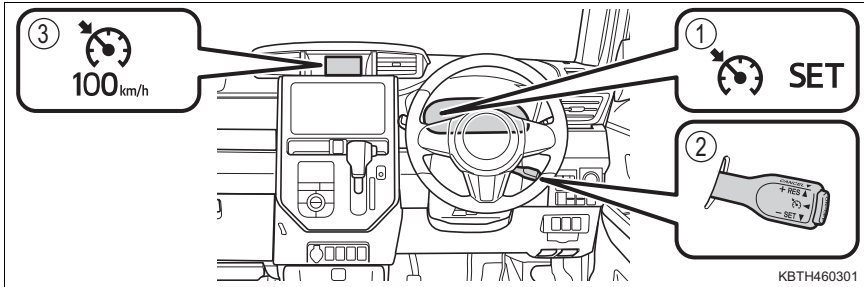
- 次のようなときはアイドリングストップが正常に作動しないおそれがあります。スバル販売店で点検を受けてください。
 - ・ 運転席シートベルトを着用しているときに、メーター内の運転席シートベルト警告灯が点滅する、および TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイに「シートベルトを装着してください」の警告メッセージ★（→ P. 416）が表示されたとき
 - ・ 運転席シートベルトをはずしているときに、メーター内の運転席シートベルト警告灯が点滅しない、および TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイに「シートベルトを装着してください」の警告メッセージ★（→ P. 416）が表示されないとき
- ▶ マルチインフォメーションディスプレイ装着車
 - ・ 運転席ドアを閉めているときに、メーター内の半ドア警告灯が点灯する、またはルームランプのスイッチがドアポジションのときにルームランプが点灯するとき
 - ・ 運転席ドアを開けているときに、メーター内の半ドア警告灯が点灯しない、またはルームランプのスイッチがドアポジションのときにルームランプが点灯しないとき
- ▶ TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイ装着車
 - ・ 運転席ドアを閉めているときに、TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイに「ドアが開いています」の警告メッセージ★（→ P. 416）が表示される、またはルームランプのスイッチがドアポジションのときにルームランプが点灯するとき
 - ・ 運転席ドアを開けているときに、TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイに「ドアが開いています」の警告メッセージ★（→ P. 416）が表示されない、またはルームランプのスイッチがドアポジションのときにルームランプが点灯しないとき
- バッテリーの端子から電化製品の電源をとらないでください。アイドリングストップが正常に作動しなくなります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

クルーズコントロールシステム★

機能概要

アクセルペダル操作をしなくても一定の車速で走行できます。

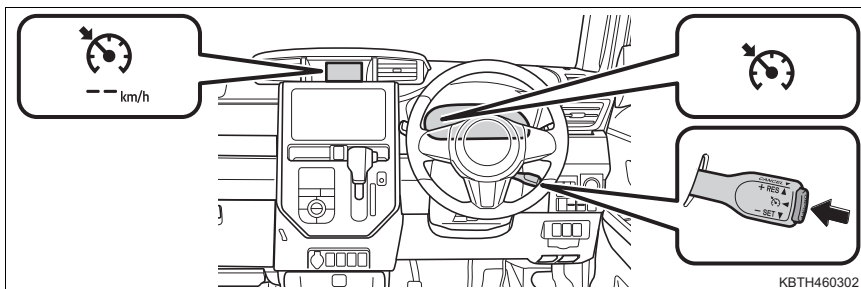


- ① 表示灯
- ② クルーズコントロールシステムスイッチ
- ③ 設定速度

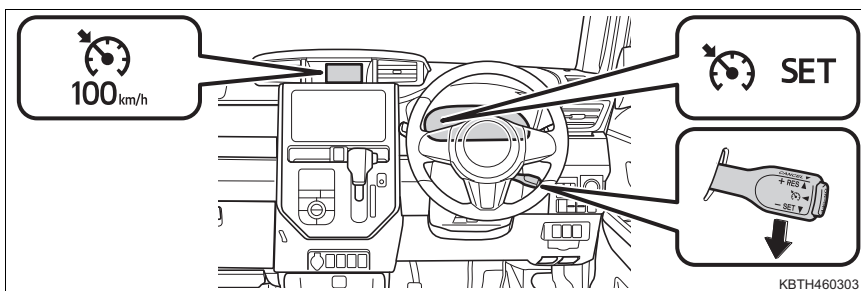
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

速度を設定する**1** ON-OFF スイッチを押して、システムを ON にする

- ・ クルーズコントロール表示灯が点灯します。
- ・ OFF にするには、再度スイッチを押します。

**2** 希望の车速（約 40 ～ 100km/h）までアクセルペダル操作で加速／減速し、レバーを下げて速度を設定する

- ・ クルーズコントロールセット表示灯が点灯します。
- ・ レバーを離したときの车速が設定速度で表示されます。
- ・ 表示された設定速度で定速走行できます。



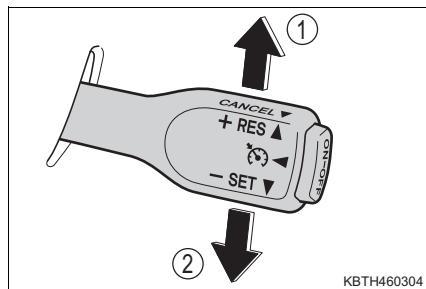
設定速度をかえる

設定速度をかえるには、希望の速度になるまでレバーを操作します。

- ① 速度を上げる
- ② 速度を下げる

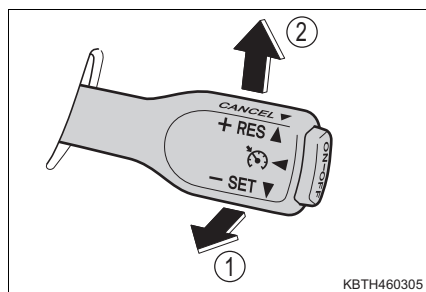
希望の速度になるまでレバーを保持する

レバーを離したときの車速に設定されます。



定速走行を解除する・復帰させる

- ① 定速走行を解除するには、レバーを手前に引く
ブレーキペダルを踏んだときも解除されます。
- ② 定速走行を復帰させるには、レバーを上げる



 知識

■ 作動条件

次のとき、車速を設定することができます。

- ON-OFF スイッチでシステムを ON にしている。
- セレクトレバーが D
- 走行モードが SPORT モードではないとき（ターボ車）（→ P. 189）
- 車速が約 40km/h 以上
- クルーズコントロールシステムが正常
- ブレーキペダルが踏まれていない
- パーキングブレーキがかかっていない
- 次のシステムが作動していない
 - ・ 衝突回避支援ブレーキ機能
 - ・ VSC (VDC)
 - ・ TRC
 - ・ ブレーキオーバーライドシステム
- TRC・VSC (VDC) を停止していない（→ P. 287, 288）

■ 設定可能な車速について

約 40 ～ 100km/h の範囲で設定できます。

■ 速度設定後の加速について

- 通常走行と同様にアクセルペダル操作で加速できます。加速後、車速が設定速度にもどります。
- クルーズコントロールシステムを解除しなくても、希望の車速まで加速して、レバーを下げるにより設定速度を変更することができます。
- レバーを上げている間、設定可能な範囲で加速します。

■ 定速走行中の減速について

- 通常走行と同様にブレーキペダルを踏むことで減速できます。
- ブレーキペダルを踏むと定速走行は解除されますが、レバーを上げると前回の設定速度へ復帰することができます。
- レバースイッチで下げている間、設定可能な範囲で減速し続けます。

■ 定速走行の解除方法について

レバーを手前に引く以外にも、次の操作を行うと定速走行が解除されます。

- ON-OFF スイッチを押して、システムを OFF にする
- ブレーキペダルを踏む
- セレクトレバーを D 以外にする
- 走行モードを SPORT モードにする（ターボ車）（→ P. 189）
- TRC・VSC (VDC) を停止する（→ P. 287, 288）

■ 定速走行の自動解除

次のとき、自動的に定速走行が解除されます。

- 設定速度より車速が約 16km/h 以上低下した
- 車速が約 40km/h 以下になった
- 次のシステムが作動した
 - ・ 衝突回避支援ブレーキ機能
 - ・ VSC (VDC)
 - ・ TRC
- クルーズコントロールシステムに異常が発生した

■ クルーズコントロールシステムの自動 OFF について

ON-OFF スイッチを押してシステムを ON にした状態でも、プッシュエンジンスイッチをイグニッション ON モードにするたびにシステムは OFF になります。

■ 定速走行中、クルーズコントロール表示灯が黄色に点灯、および「クルーズコントロール故障」の警告メッセージ (→ P. 414) が表示されたとき

プッシュエンジンスイッチを一度 OFF にし、再度設定してください。
設定できないとき、またはすぐに解除されるときは、システム異常のおそれがあります。スバル販売店で点検を受けてください。

⚠ 警告

■ 誤操作を防ぐために

クルーズコントロールシステムを使用しないときは、ON-OFF スイッチでシステムを OFF にしてください。

■ クルーズコントロールシステムを使用してはいけない状況

次の状況では、クルーズコントロールシステムを使用しないでください。
お車のコントロールを失い、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 交通量の多い道
- 急カーブのある道
- 曲がりくねった道
- 雨天時や、凍結路・積雪路などのすべりやすい路面
- 急な坂
 - ・ 急な登り坂ではレバーを上にあげても設定速度が上がらないことがあります。
 - ・ 急な下り坂では車速が設定速度以上になることがあります。
- 車両けん引時

コーナーセンサー

コーナーセンサーは車速が約 10km/h 以下のときに、車両と障害物とのおよその距離をソナーによって認識してブザーとディスプレイの表示で運転者にお知らせする装置です。

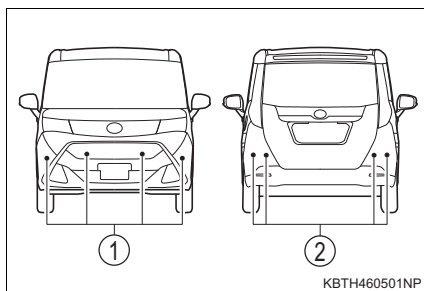
ソナーの位置・種類

① フロントソナー

フロントコーナーセンサーで必要な情報を認識します。

② リヤソナー

リヤコーナーセンサーで必要な情報を認識します。

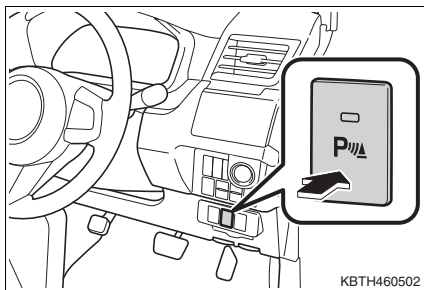


コーナーセンサーの切りかえ

スイッチを押す

スイッチを押すとコーナーセンサーは ON になり、作動灯が点灯します。

OFF にするには再びスイッチを押します。

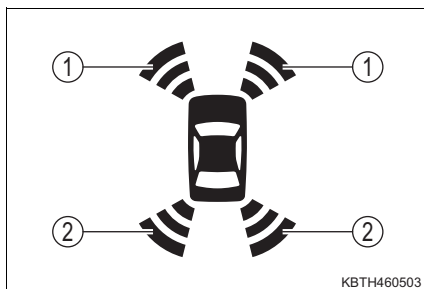


コーナーセンサーの表示のしかた

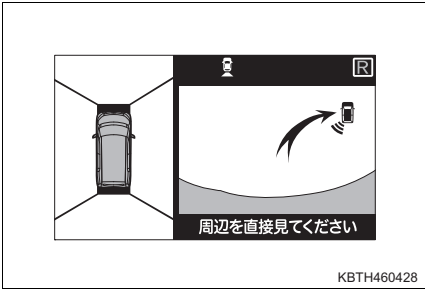
障害物を認識すると自動的に表示されます。

① フロントコーナーセンサー作動表示

② リヤコーナーセンサー作動表示



- ▶ パノラミックビューモニター装着車
- パノラミックビューモニター表示時は、画面上に簡略表示されます。



距離表示の見方

- 作動条件をすべて満たした状態で、障害物を認識すると、ブザーとディスプレイの表示で運転者にお知らせします。
- ブザーはパーキングブレーキがかかっていないときに鳴ります。
 - 障害物との距離が短くなると、ブザーおよびディスプレイの表示が次の表のとおり変化します。

ブザー	ディスプレイの表示		ソナーと障害物との距離		
			フロントソナー (中央2個)	リヤソナー (中央2個)	フロントソナー (左右2個)
	マルチインフォメーションディスプレイ	TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイ			リヤソナー (左右2個)
ピッピッピッ… (断続音)			約 100 ～ 45cm	約 150 ～ 45cm	約 60 ～ 45cm
ピピピッ… (断続音)			約 45 ～ 30cm		
ピー (連続音)			約 30cm 以内		

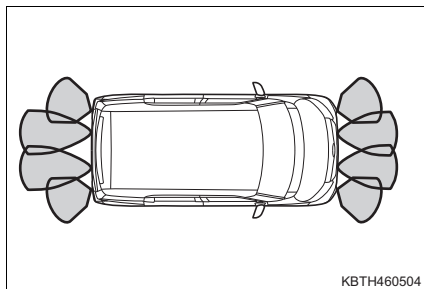
- ソナーが複数の障害物を同時に認識しているときは、もっとも近い障害物に対してブザーとディスプレイの表示で運転者にお知らせします。

ソナーが障害物を認識できる範囲

認識できる範囲は右図のとおりです。

ただし、障害物がソナーに近付きすぎると認識できません。

障害物の形状・条件によっては認識できる距離が短くなることや、認識できないことがあります。



知識

■作動条件

●フロントコーナーセンサー：

- ・ プッシュエンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき
- ・ コーナーセンサースイッチが ON のとき
- ・ 中央 2 個のソナーは、セレクトレバーが P、R 以外のとき
- ・ 左右 2 個のソナーは、セレクトレバーが P 以外のとき
- ・ 車両の速度が約 10km/h 以下のとき

●リヤコーナーセンサー：

- ・ プッシュエンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき
- ・ コーナーセンサースイッチが ON のとき
- ・ セレクトレバーが R のとき
- ・ 車両の速度が約 10km/h 以下のとき

- 作動条件を満たした状態で、パーキングブレーキがかかっていないときに障害物を認識すると、ブザーが鳴ります。

■ソナーの認識について

- ソナーの認識範囲は車両前部、および後部のバンパーのソナー周辺に限られます。
- 障害物を認識してから、コーナーセンサーが作動するまでに多少時間がかかります。低速走行時の場合でもブザーが鳴る前に、障害物に近付きすぎると、ブザーが鳴らない場合があります。
- オーディオ・エアコン使用時は、音楽やファンの音などにより、ブザーが聞き取りづらくなる場合があります。

■ブザーが「ピピピ、ピピピ、ピピピ」と鳴り、コーナーセンサーの作動表示が前方 2 箇所または後方 2 箇所（もしくは 4 箇所すべて）同時に表示されたときは

- コーナーセンサーの機能が低下しています。
コーナーセンサーの機能が一時停止しますので、雨、雪、氷、汚れなどがソナーに付着していないか確認し、取り除いて正常復帰させてください。
- マスターウォーニングが同時に点灯したときは、システムに異常があるおそれがあります。スバル販売店で点検を受けてください。

 警告**■コーナースエンサーをお使いになる前に**

必ず次のことをお守りください。

お守りいただかないと思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 車両の速度が約 10km/h をこえないようにしてください。
- ソナーの認識範囲、作動速度には限界があります。車を前進・後退するとき、必ず車両周辺（特に車両側面など）ソナーの認識範囲外の安全を確認し、ブレーキで車速を十分に制御し、ゆっくり運転してください。
- ソナーやその周辺部分にステッカーを貼ったり、アクセサリ用品などを取り付けないでください。

■コーナースエンサーについて

次のとき、コーナースエンサーが正常に作動しないことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。注意して運転してください。

- 路面の状態（勾配、凹凸など）
- 車両の整備状態（ブレーキ関係、タイヤの摩耗、空気圧、標準タイヤサイズ以外のタイヤなど）
- 悪天候時（豪雨、吹雪、濃霧など）
- 荷物を積載している、段差をまたいでいるなどにより、車両が極端に傾いているときや車高が著しく変化したとき
- 障害物との距離や向き、位置（車両中央付近に障害物がある）
- 勾配が急な坂道を走行しているとき

 警告

● ソナーが正しく障害物を認識できないとき（特に次のような場合）

- ・ ソナーに非常に近い障害物のとき（障害物に接近しすぎると、ブザーが連続音から断続音になる場合があります）
- ・ 地面から高い位置に存在する障害物のとき
- ・ 背の低い障害物のとき
- ・ 小さい障害物（小動物、幼児など）、幅の狭い障害物のとき
- ・ 動いているもの（急に現れたり、車両を横切るものなど）
- ・ スポンジ状のものや雪などの表面がやわらかく音波を吸収しやすい障害物のとき
- ・ 障害物の面が車両に対して斜めのとき
- ・ 地面に対して垂直でない壁のとき
- ・ 凹凸な壁、波打っている壁など、平面でない壁のとき
- ・ 針金、金網、ロープ、道路標識、電柱やポールなどの細い障害物のとき
- ・ 壁から柱や配管などが突き出しているとき
- ・ 認識できる障害物と車両とのあいだに、認識できない障害物があるとき
- ・ ソナーの認識エリア外に存在する障害物のとき
- ・ 炎天下や寒冷時でソナー周辺部が著しく高温または低温のとき
- ・ 雨、雪、氷、汚れなどがソナーに付着しているとき
- ・ どしゃぶりの雨や水しぶきがかかったときや風が強いとき
- ・ 周囲で大きな音が鳴っているときや、周囲に超音波を発するものがあるとき（他車のホーン、オートバイのエンジン音、大型車のエアブレーキ音、車両感知器、他車のソナーなど）
- ・ ソナー付近に市販の電装部品（字光式ナンバープレート・無線アンテナなど）を取り付けたとき
- ・ 衝突などでソナーの方向のずれが発生したとき

■ コーナーセンサーと誤発進抑制制御機能の作動について

- コーナーセンサーと誤発進抑制制御機能では作動の対象とする障害物が異なります。コーナーセンサーが作動していても誤発進抑制制御機能が作動しなかったり、コーナーセンサーが作動していなくても、誤発進抑制制御が作動する場合があります。

 注意**■ コーナーセンサーについて**

次のような場合は、障害物が作動範囲になくても作動することがあります。

- 路面の勾配が急に变化する場所を走行するとき
- ビニールカーテン、旗などをくぐって通過するとき
- 水しぶき、雪などの巻上げがあったとき
- 障害物の横を至近距離で通過するとき
- 車両用エレベーターや機械式駐車場を利用するとき
- 付近に障害物がある状態で、段差などを乗り越えるとき
- 車両側面の近くに障害物があるとき
- 路面上に段差や縁石、突起物などがあるとき、地面にわだちや穴があるとき
- 狭いスペースに進入するとき
- どしゃぶりの雨や水しぶきがかかったとき
- 悪天候時（豪雨、吹雪、濃霧など）
- 他車のホーン、オートバイのエンジン音、大型車のエアブレーキ音、車両感知器、他車のソナーなど超音波を発生するものが付近にいたとき
- ソナー付近に市販の電装部品（字光式ナンバープレート・無線アンテナなど）を取り付けたとき
- 車両姿勢が大きく傾いたとき
- 積載状況などにより車高が著しく変化したとき
- 衝突などでソナーの方向のずれが発生したとき
- 雨、雪、氷、汚れなどがソナーに付着しているとき

■ コーナーセンサーの異常について

次のとき、ソナーの異常などにより装置が正常に作動しなくなっているおそれがあります。スバル販売店で点検を受けてください。

- 障害物を認識していない状態で、コーナーセンサーが作動したとき
- ソナー、およびその周辺部分に強い衝撃や力を加えたとき
- 事故などでソナー周辺が変形したとき
- スマートアシストⅢに異常があるとき、または「スマアシ停止」、「スマアシ故障」が表示されているとき（→ P. 406、424）

■ 洗車時の注意

- 高圧洗車機を使用して洗車するときは、ソナー部に直接水をあてないでください。強い水圧により衝撃が加わり、正常に作動しなくなるおそれがあります。
- スチームを使用した洗車機などで洗車するときは、スチームをソナー部に近付けすぎないようにしてください。スチームにより、正常に作動しなくなるおそれがあります。

パノラミックビューモニター★

パノラミックビューモニターは、車両に取り付けたフロント、サイド、リアビューカメラの映像を合成して画面上に表示させることで、低速時の運転を補助する装置です。画面を左右2分割して表示し、左側にトップビュー、右側にはフロント、リアビューが表示されます。

また、レフト&ライトサイドビューやレフトサイド&リアビュー、フロントワイドビュー、リアワイドビューでも、車両周辺の障害物を確認できます。

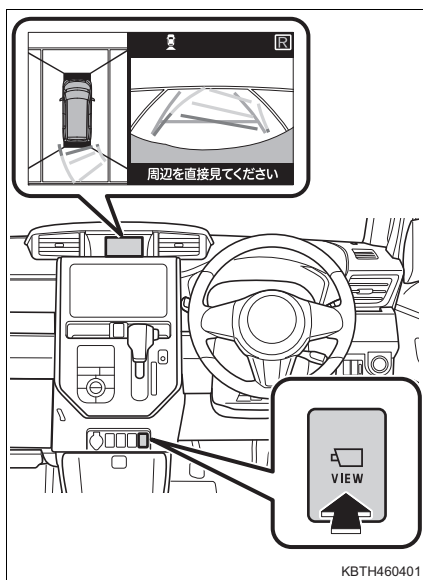
本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

⚠ 警告

- パノラミックビューモニターを過信しないでください。一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に運転してください。特に周辺に駐車している車や障害物、人などに接触しないようにしてください。
- 運転操作時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に運転してください。

メインスイッチについて

- メインスイッチを押すと、パノラミックビューモニターの表示が切りかわります。(→ P. 265)
- メインスイッチを長押しすると、ガイド線を表示/非表示に切りかえることができます。(→ P. 267, 268, 271)

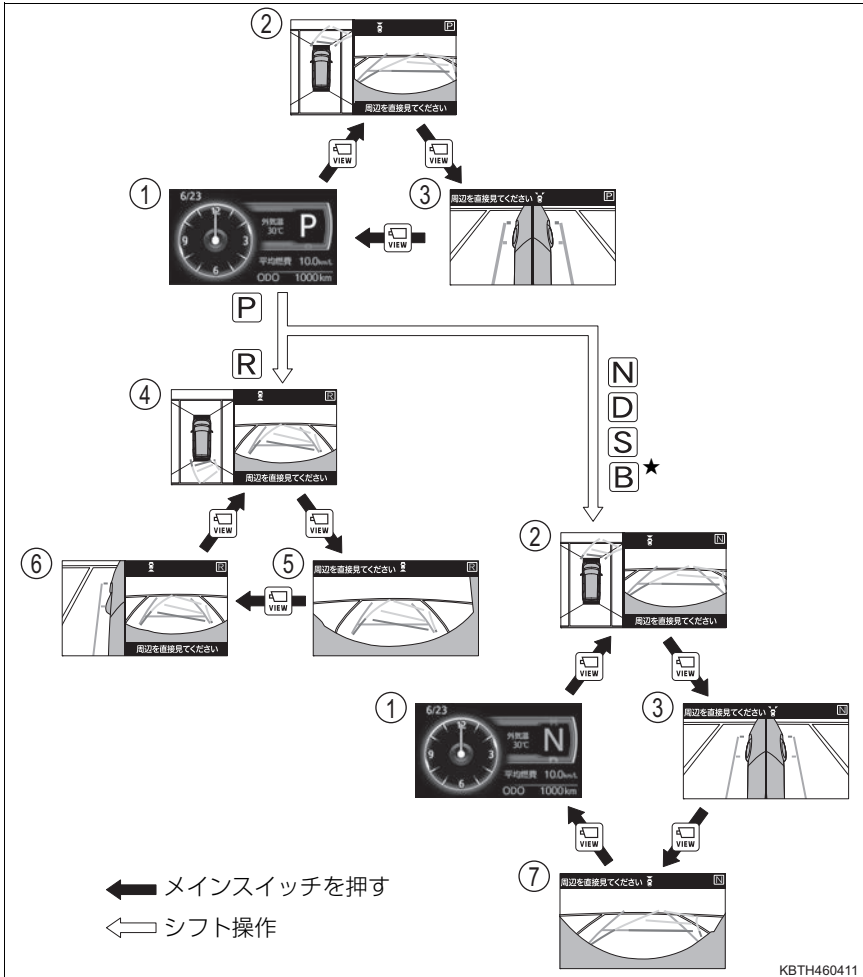


KBTH460401

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

パノラミックビューモニター画面表示条件について

ブッシュエンジンスイッチがイグニッション ON モードの状態、シフトポジション位置に応じたパノラミックビューモニター画面が表示されます。また、メインスイッチを押してパノラミックビューモニター画面を表示させることもできます。



- ① TFTカラーマルチインフォメーションディスプレイ
② トップ&フロントビュー
③ レフト&ライトサイドビュー
④ トップ&リヤビュー
⑤ リヤワイドビュー
⑥ レフトサイド&リヤビュー
⑦ フロントワイドビュー

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイの自動表示について

シフトポジションが R 以外でパノラミックビューモニター画面表示中に次の操作をした場合、自動で TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイの画面が表示されます。

- 約 3 分間メインスイッチの操作がなかった
- TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイの操作スイッチを押した
- 車速が約 10km/h を超えた(シフトポジションが P のときは除く)

■ 前方を確認したいとき

→ P. 267

■ 側方を確認したいとき

→ P. 268, 270

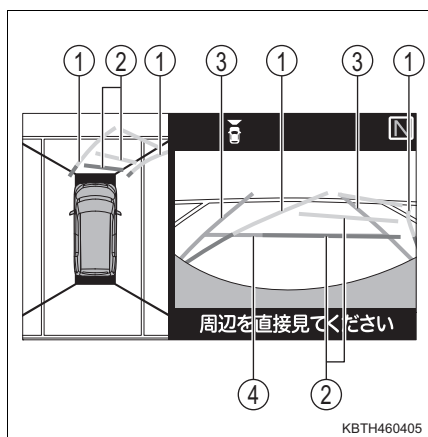
■ 後方を確認したいとき

→ P. 270

画面の見方について

■ トップ＆フロントビュー、フロントワイドビュー

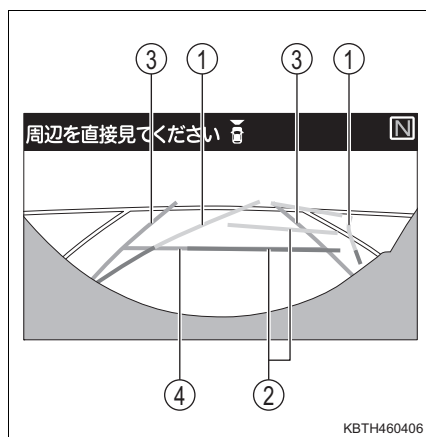
▶ トップ＆フロントビュー



KBTH460405

シフトポジションが R 以外のときに表示します。

▶ フロントワイドビュー



KBTH460406

シフトポジションが N、D、S★、B のときに表示します。

● ガイド線

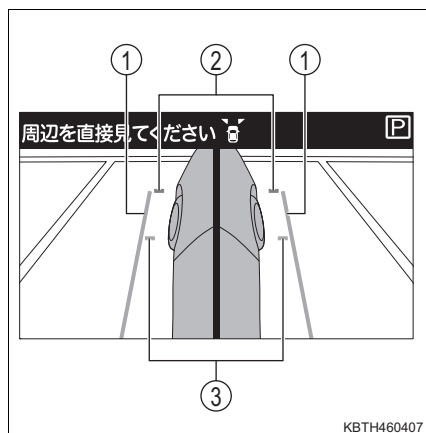
番号	表示	内容
①	前方予想進路	ハンドルと連動して、進路の目安（黄色）を示す
②	前方距離目安線 （ハンドル連動）	お車の前方の距離を示す ・ 予想進路と連動する ・ バンパー前端的中心位置から約0.5m先（赤色）・ 約 1m 先（黄色）を示す
③	前方車幅延長線	お車をまっすぐ前進させたときの進路の目安（緑色）を示す ・ 実際の車幅より広く表示 ・ 直進状態になっているときは、予想進路と重なる
④	前方距離目安線	お車の前方の距離を示す ・ バンパー前端から約 0.5m 先（緑色）を示す

メインスイッチを長押しすると、ガイド線を表示 / 非表示に切りかえることができます。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ レフト&ライトサイドビュー

シフトポジションが R 以外のときに表示します。



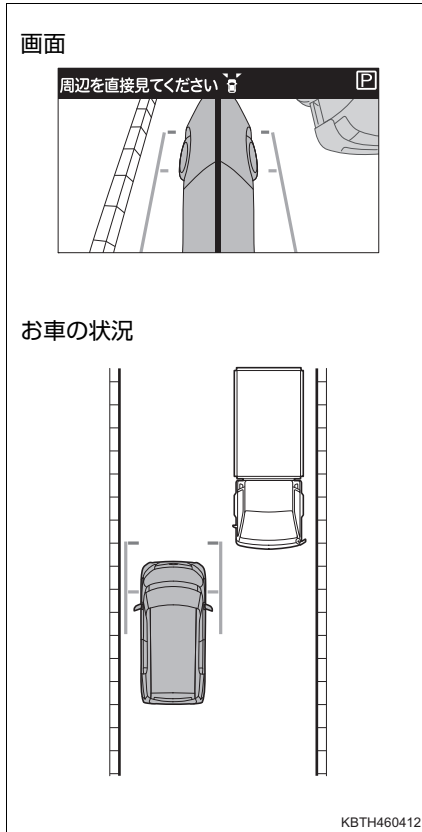
KBTH460407

● ガイド線

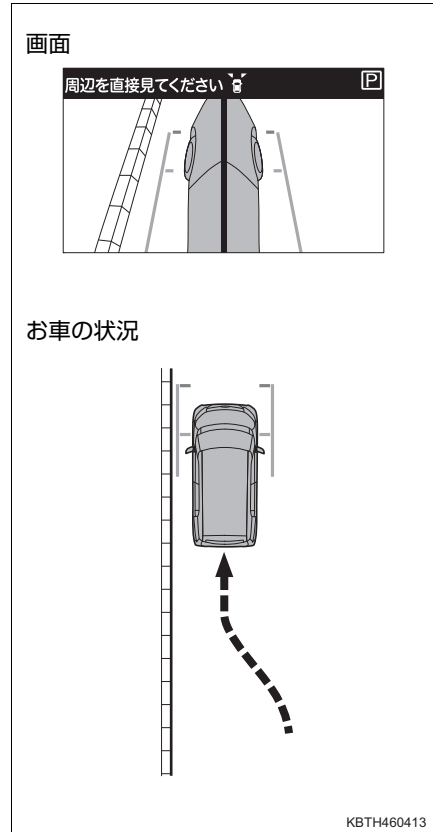
番号	表示	内容
①	車幅平行線	ドアミラー分を含んだ車幅の目安（緑色）を示す
②	前方距離目安線	車両前端から約 0.3m 先（赤色）を示す
③	前輪接地線	前タイヤの位置（緑色）を示す

メインスイッチを長押しすると、ガイド線を表示 / 非表示に切りかえることができます。

● 車幅平行線の使い方



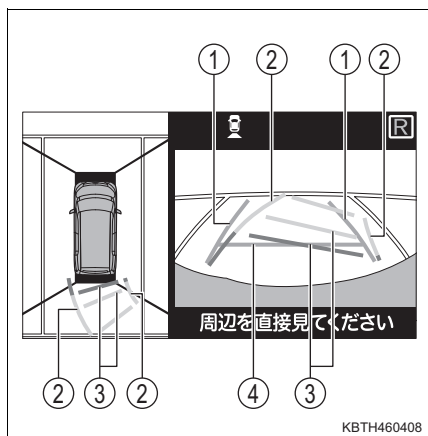
- ・ 車幅平行線と障害物との位置関係を見ます。
- ・ 車幅平行線が実際の障害物などに重ならないようにハンドルを操作して前進します。



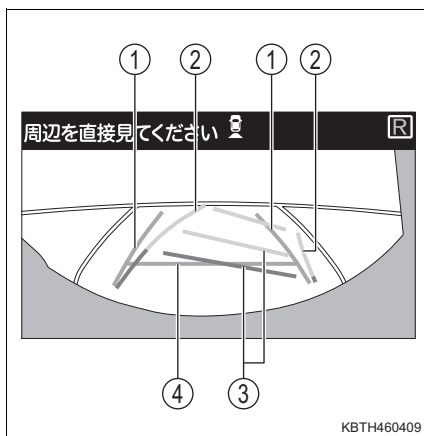
- ・ 車幅平行線と路肩の縁石などの目標物との位置関係を見ます。
- ・ 上記のように車幅平行線が重ならないように車両を幅寄せします。
- ・ 同時に車幅平行線と目標物が平行になるように運転操作することで、目標物に沿って駐車することができます。

- **トップ&リヤビュー、リヤワイドビュー、レフトサイド&リヤビュー**
シフトポジションがRのときに表示されます。

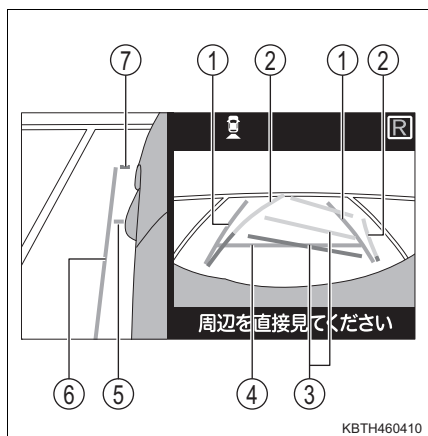
▶ **トップ&リヤビュー**



▶ **リヤワイドビュー**



▶ **レフトサイド&リヤビュー**



● ガイド線

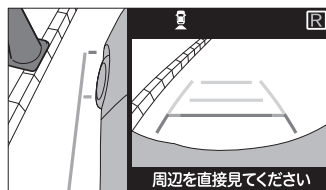
番号	表示	内容
①	後方車幅延長線	お車をまっすぐ後退させたときの進路の目安（緑色）を示す ・ 実際の車幅より広く表示 ・ 直進状態になっているときは、予想進路と重なる
②	後方予想進路	ハンドルと連動して、進路の目安（黄色）を示す
③	後方距離目安線 （ハンドル連動）	お車の後方の距離を示す ・ 予想進路と連動する ・ バンパー前端的中心位置から約0.5m先（赤色）・ 約1m先（黄色）を示す
④	後方距離目安線	お車の後方の距離を示す ・ バンパー後端から約0.5m先（緑色）を示す
⑤	前輪接地線	前タイヤの位置（緑色）を示す
⑥	車幅平行線	ドアミラー分を含んだ車幅の目安（緑色）を示す
⑦	前方距離目安線	車両前端から約0.3m先（赤色）を示す

メインスイッチを長押しすると、ガイド線を表示 / 非表示に切りかえることができます。

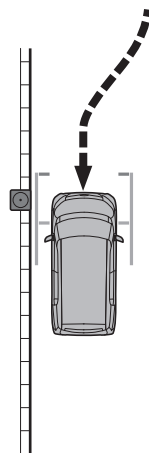
● 車幅平行線の使い方

- ・ 車幅平行線と路肩の縁石などの目標物との位置関係を見ます。
- ・ 上記のように車幅平行線が重ならないように車両を幅寄せします。
- ・ 同時に車幅平行線と目標物が平行になるように運転操作することで、目標物に沿って駐車することができます。

画面



お車の状況



KBTH460414

パノラミックビューモニターの注意点について

■ 画面の映る範囲について

▶ トップビュー

- 4つのカメラから得られた画像を平らな路面を基準に加工して表示しているため、次のように表示されることがあります。

- ・ 立体物が倒れて細長く、もしくは大きく見える
- ・ 路面より高い位置にある立体物が実際より遠くに見える、もしくは見えない
- ・ 高さのある物が合成のつぎ目から現れてくのように見える場合がある

- 照度条件により、カメラごとの映像の明るさにばらつきが出る場合があります。

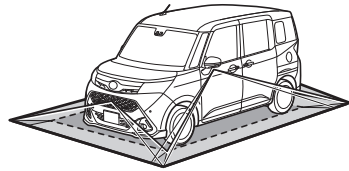
- 乗員人数、積載状況、ガソリン残量による車体の傾きや車高の変化などにより、表示映像がずれる場合があります。

- ドアが完全に閉まっていないと、表示映像・ガイド線が正しく表示されない場合があります。

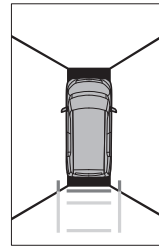
- トップビューに表示されている車両アイコンと、路面・障害物との位置関係は実際の位置と異なる場合があります。

- 図の  部分は画像を合成しているため、映像が見えにくい場合があります。

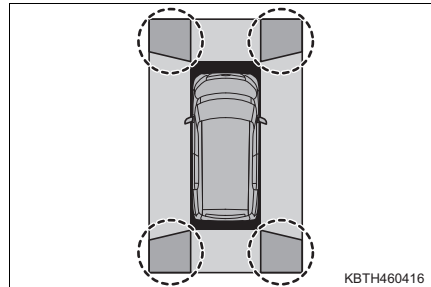
映る範囲



画面



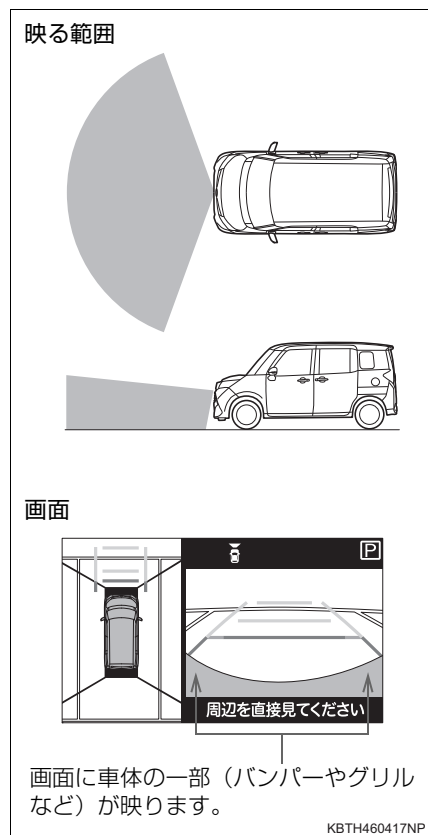
KBTH460415NP



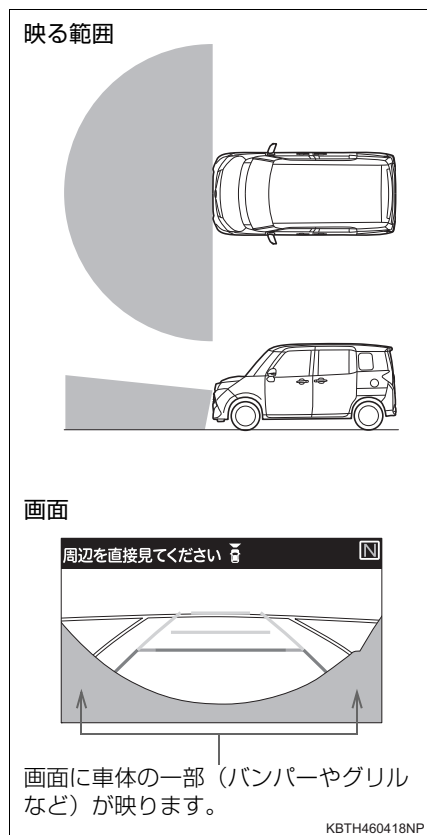
KBTH460416

- リヤビューカメラ装着車には、字光式ナンバープレートを取り付けることができません。

▶ フロントビュー



▶ フロントワイドビュー

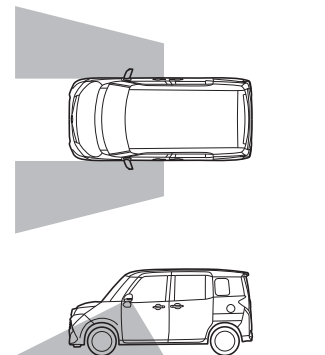


- カメラの映し出される範囲には限界があり、バンパーの両端付近やバンパーの真下付近にある物は映し出されません。
- 画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- フロントビュー、フロントワイドビューのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感は実際の距離とは異なります。

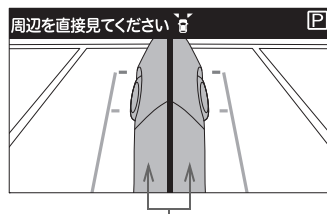
▶ レフト&ライトサイドビュー、レフトサイドビュー

- お車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラの映し出される範囲には限界があり、バンパーの両端付近やバンパーの真下付近にある物は映し出されません。
- 画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- レフト&ライトサイドビュー、レフトサイドビューのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感は実際の距離とは異なります。

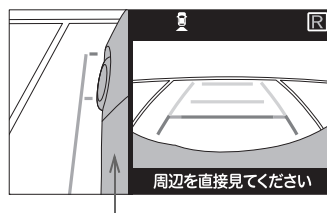
映る範囲



画面



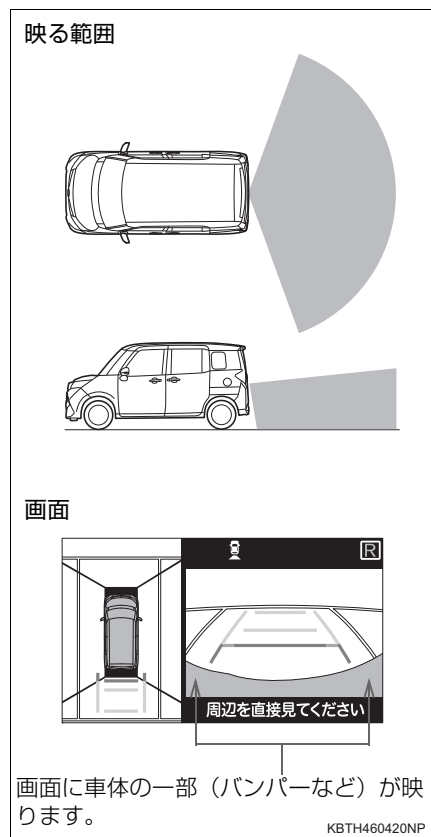
画面に車体が映ります。



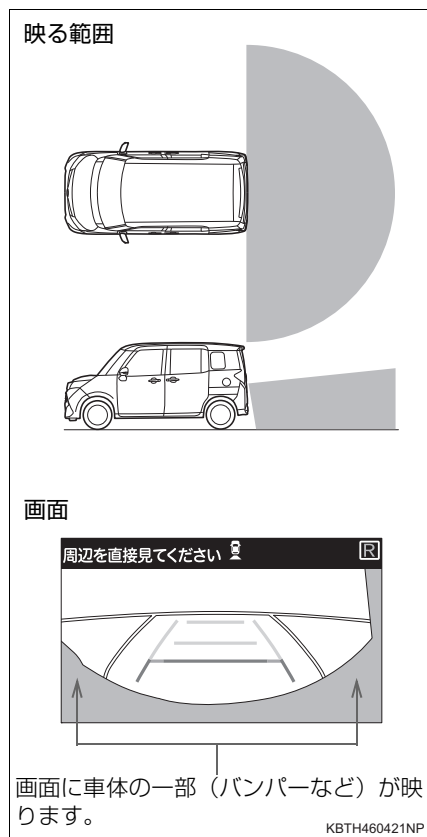
画面に車体が映ります。

KBTH460419NP

▶ リヤビュー



▶ リヤワイドビュー

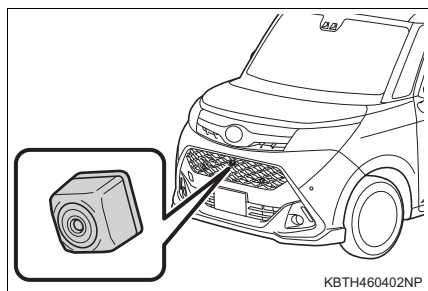


- お車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラの映し出される範囲には限界があり、バンパーの両端付近やバンパーの真下付近にある物は映し出されません。
- 画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- リヤビュー、リヤワイドビューのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感とは異なります。
- リヤビューカメラより高い位置にあるものについては、モニター映らないことがあります。
- リヤビューカメラ装着車には、字光式ナンバープレートを取り付けることができません。

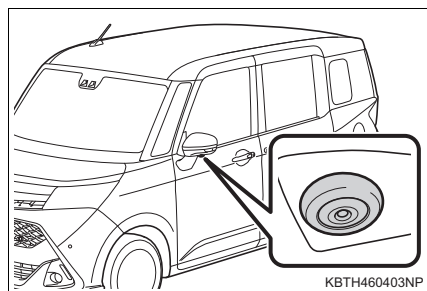
■ カメラについて

パノラミックビューモニターの各カメラは次の位置にあります。

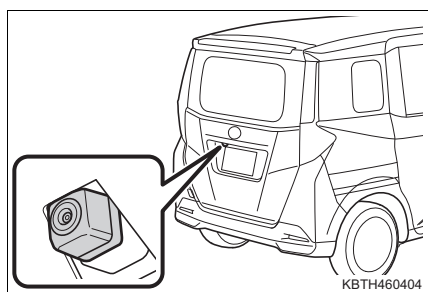
▶ フロントカメラ



▶ サイドカメラ（左右）



▶ リヤビューカメラ



● カメラの手入れについて

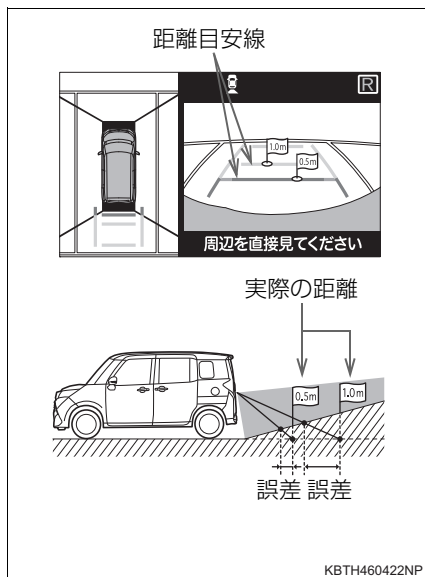
カメラに水滴、雪、泥などの異物や汚れが付着していると、鮮明な画像をみることができません。この場合、水でカメラの汚れを流し、水で湿らせた柔らかい布でふき取ってください。

■ 画面と実際の路面との誤差について（リヤビュー、リヤワイドビュー）

距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、次の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

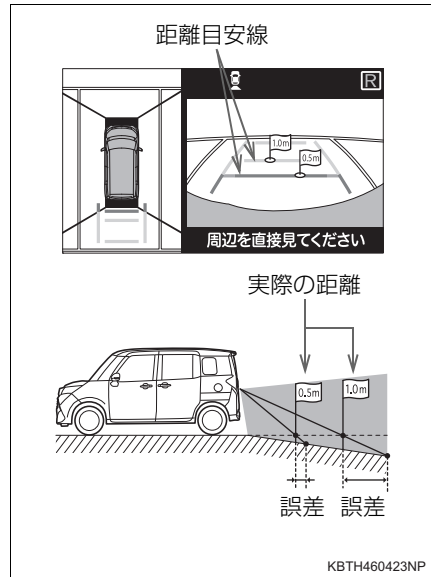
● 急な上り坂が後方にあるとき

実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂にある障害物は実際より遠くにあるように見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



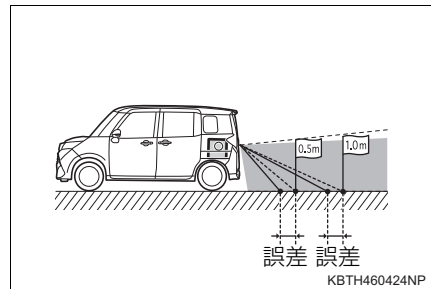
● 急な下り坂が後方にあるとき

実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂にある障害物は実際より近くにあるように見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



● お車が傾いているとき

乗車人数、積載量などによりお車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

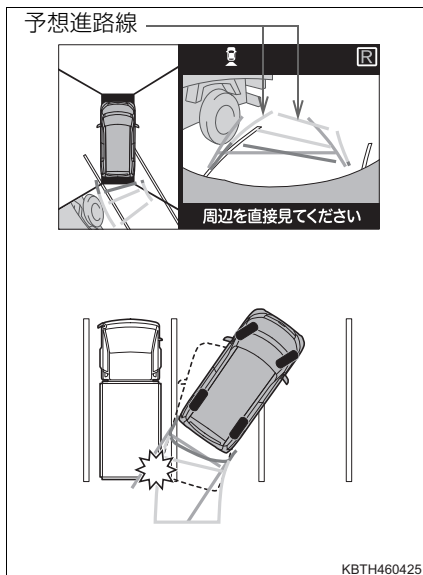


■ 立体物が近くにあるとき（フロントビュー、フロントワイドビュー、リヤビュー、リヤワイドビュー）

ガイド線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することができません。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、次のことに注意してください。

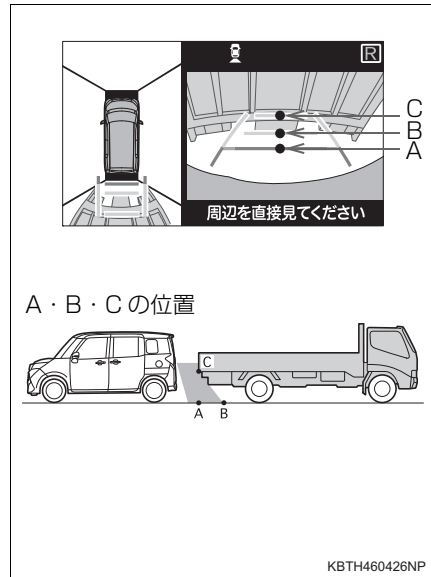
● 予想進路線について

周囲の安全を直接確認してください。画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際は荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。



● 距離目安線について

周囲の安全を直接確認してください。画面では、距離目安線より B の位置にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には A の位置まで前進、または後退すると、ぶつかります。画面では A、B、C の順に近く見えますが、実際の距離は A と C は同じ距離で、B は A と C より遠い距離にあります。



知っておいていただきたいこと

■ 故障とお考えになるまえに

次のような症状になったときは、考えられる原因と処置を参考に、もう一度確認してください。

処置をしても直らないときは、スバル販売店で点検を受けてください。

考えられる原因	処置
●画面が見にくい	
・ 夜間など暗いところで使用するとき ・ レンズ付近の温度が高い、または低いとき ・ 外気温が低いとき ・ カメラに水滴が付いたとき ・ 雨天時など湿度が高いとき ・ カメラ付近に異物（泥など）が付いたとき ・ カメラにすり傷が付いたとき ・ 白壁や明るいものが画面に映り込んだとき ・ 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズにあたったとき ・ 蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯などの照明下で使用したとき	車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。 （カメラおよびその周囲環境が改善されてから、パノラミックビューモニターをご使用ください）
●画面が不鮮明	
カメラのレンズに水滴・雪・泥など異物や汚れが付着しているとき	水でカメラの汚れを流した後、水で湿らせた柔らかい布でふき取ってください。
●画面がずれている	
カメラ部に強い衝撃が加わったとき	スバル販売店で点検を受けてください
●ガイド線が大きくずれる	
カメラの位置がずれているとき	スバル販売店で点検を受けてください
・ お車が傾いているとき（重い荷物の積載やパンクしてタイヤの空気圧が低いときなど） ・ 傾斜地で使用するとき	車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。
●ハンドルが直進状態であるにも関わらず予想進路線がまがっている（延長線と予想進路線がずれる）、または表示されない	
ステアリングセンサーの信号に異常が発生した	スバル販売店で点検を受けてください

 警告**■パノラミックビューモニターについて**

運転操作時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認してください。

次のことをお守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 画面だけを見ながら運転操作することは絶対にしないでください。
画面に映し出されている映像と実際の状況は異なることがあります。また、カメラの映し出す範囲は限られていますので、画面だけを見て右左折、後退することは絶対にしないでください。お車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。必ず目視やルームミラー、ドアミラーなどで周囲の安全を確認し、十分注意したうえで運転してください。
- 乗車人数・積載量・路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ハンドルがまっすぐ（直進状態）で車幅延長線と予想進路線がずれているときは、スバル販売店で点検を受けてください。
- 前方車幅延長線・後方車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 次のような状況では、使用しないでください。
 - ・凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
 - ・タイヤチェーン、標準タイヤサイズ以外のタイヤを使用しているとき
 - ・フロントドア・リヤゲートが完全に閉まっていないとき
 - ・坂道など平坦でない路面
 - ・タイヤをメーカー指定のものから交換しているとき
 - ・サスペンションを改造しているとき
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

■故障したときは

映像が表示されないなど、パノラミックビューモニターが故障したときは、道路運送車両の保安基準に適合しないおそれがありますので、ただちにスバル販売店で点検を受けてください。

 注意

■ パノラミックビューモニターの注意点について

- トップビューは、フロントカメラとリヤビューカメラ、左右サイドカメラが撮影した映像を合成処理した映像です。表示可能な範囲や表示内容には限界があるため、パノラミックビューモニターの特性を十分理解したうえで使用してください。
- トップビューの四隅には、それぞれのカメラ映像境界位置を中心に映像合成処理領域が存在し、映像の鮮明度が低下することがありますが、故障ではありません。
- それぞれのカメラ付近の照度条件により、トップビューに明暗ができる場合があります。
- トップビューでは、それぞれのカメラの取り付け位置や撮像範囲より上部は表示されません。
- 車両付近には死角があり、パノラミックビューモニターには表示されない領域があります。
- フロントビューまたはリヤビューに表示されている立体物が、トップビューでは表示されない場合があります。
- パノラミックビューモニターは、人物や障害物などの立体物が実際と異なって表示される場合があります。(倒れているように表示される場合や、映像合成処理領域付近で消えてしまう場合、映像合成処理領域付近から現れるように表示される場合、表示位置の距離感が実際と異なるなど)
- リヤビューカメラが取り付けられたリヤゲート、サイドカメラを内蔵したドアミラーが取り付けられたフロントドアが開いている場合、パノラミックビューモニターは正しく表示されません。
- トップビューに表示される車両アイコンは、コンピューターグラフィックによる画像を表示しているため、実際の車両とは色や形状、大きさなどが異なります。このため、車両付近の立体物が車両と接触しているように見える場合や、立体物との位置関係が実際の位置関係と異なる場合があります。

 注意**■カメラの取り扱いについて**

- パノラミックビューモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、次のことにご注意ください。
 - ・カメラ周辺にはカメラの視野に影響をおよぼすもの（視野をさえぎるもの、光を発するもの、光沢素材でできているものなど）は取り付けないでください。
 - ・カメラ部を強くたたいたり、ものをぶつけたりして、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
 - ・カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
 - ・カメラレンズを洗うときは、水でカメラの汚れを流した後、水で湿らせた柔らかい布でふき取ってください。
カメラレンズを強くこするとカメラレンズが傷ついて、鮮明な画像を見ることができなくなるおそれがあります。
 - ・カメラのカバーは樹脂でできていますので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
 - ・寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
 - ・洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水をあてないでください。強い水圧により衝撃が加わり、装置が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにスバル販売店で点検を受けてください。

運転を補助する装置

走行の安全性や運転性能を高めるため、走行状況に応じて次の装置が自動で作動します。ただし、これらの装置は補助的なものなので、過信せずに運転には十分に注意してください。

◆ ABS（アンチロックブレーキシステム）

急ブレーキ時やすべりやすい路面でのブレーキ時にタイヤのロック防止に貢献し、スリップを抑制します。

◆ ブレーキアシスト

急ブレーキ時などに、より大きなブレーキ力を発生させます。

◆ VSC（VDC）

（ビークルスタビリティコントロール／ビークルダイナミクスコントロール）

急なハンドル操作や、すべりやすい路面で旋回するときに横すべりを抑え、車両の姿勢維持に寄与します。

◆ TRC（トラクションコントロール）

すべりやすい路面での発進時や加速時にタイヤの空転を抑え、駆動力の確保に貢献します。

◆ ヒルホールドシステム

上り坂で発進するときにお車が後退するのを緩和します。

◆ EPS（エレクトリックパワーステアリング）

電気式モーターを利用して、ハンドル操作を補助します。

◆ フルタイム 4WD ★

ジャスティは、フルタイム 4WD を採用しています。オフロード走行やラリー走行などが目的ではなく、一般道での優れた走行安定性に寄与することを目的とした 4WD です。すべりやすい雪道や上り坂などでスムーズな発進、加速に貢献します。通常の直進走行では FF（前輪駆動）に近い状態で走行します。前・後輪に回転差が生じるとビスカスカップリングにより、その回転速度の差に応じた最適なトルクを後輪へ配分します。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

◆ ヒルスタートアシスト

坂道での発進性を補助するため、駆動力が発生するまでのあいだブレーキ油圧（ブレーキの効き）を最長約 2 秒間保持して、車両が後退するのを抑制し、坂道発進を容易にします。（→ P. 245）

◆ スマートアシストⅢ

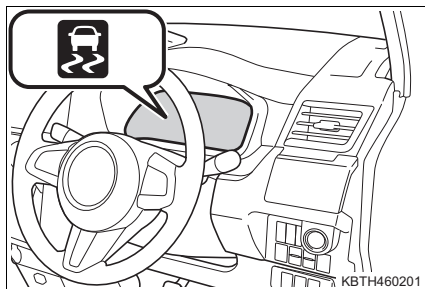
→ P. 208

◆ 緊急ブレーキシグナル

急ブレーキ時に非常点滅表示灯を自動的に点滅させることにより、後続車に注意をうながし、追突される可能性を低減させます。

TRC・VSC（VDC）が作動しているとき

TRC・VSC（VDC）が作動しているときは、VSC（VDC）作動表示灯が点滅します。



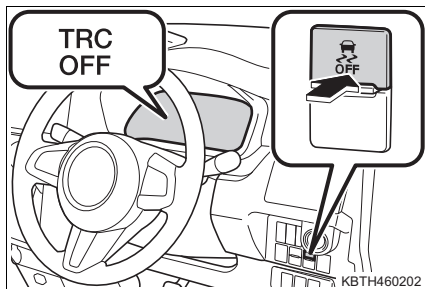
TRC を停止するには

ぬかるみや砂地、雪道などから脱出するときに、TRC が作動していると、アクセルペダルを踏み込んでもエンジンの出力が上がらず、脱出が困難な場合があります。このようなときに  を押すことにより、脱出しやすくなる場合があります。

TRC を停止するには  を押す

TRC OFF 表示灯が点灯します。

もう一度  を押すと、システム作動可能状態にもどります。



 知識

■ TRC と VSC (VDC) を停止するには

TRC と VSC (VDC) を停止するには停車時に  を押し 3 秒以上保持してください。

TRC OFF 表示灯と VSC (VDC) OFF 表示灯が点灯します。

もう一度  を押すと、システム作動可能状態にもどります。

■ ABS・ブレーキアシスト・TRC・VSC (VDC)・ヒルホールドシステムの作動音と振動

- エンジン始動時や発進直後、ブレーキペダルをくり返し踏んだときに、エンジンルームから作動音が聞こえることがあります。異常ではありません。
- 上記のシステムが作動すると、次のような現象が発生することがありますが、異常ではありません。
 - ・ 車体やハンドルに振動を感じる
 - ・ 車両停止後もモーター音が聞こえる
 - ・ ABS の作動時に、ブレーキペダルが小刻みに動く
 - ・ ABS の作動終了後、ブレーキペダルが少し奥に入る

■ EPS モーターの作動音

ハンドル操作を行ったとき、モーターの音（“ウィーン” という音）が聞こえることがあります。異常ではありません。

■ TRC や VSC (VDC) の自動復帰について

TRC や VSC (VDC) を作動停止にしたあと、次のときはシステム作動可能状態に戻ります。

- プッシュエンジンスイッチを OFF にしたとき
- (TRC のみを作動停止にしている場合) 車速が高くなったとき
但し、TRC と VSC (VDC) の作動を停止している場合は、車速による自動復帰はありません。

■ EPS の効果が下がるとき

停車中か極低速走行中に長時間ハンドルをまわし続けると、EPS システムのオーバーヒートを避けるため、EPS の効果が下がりハンドル操作が重く感じられるようになります。

その場合は、ハンドル操作を控えるか、停車し、エンジンを停止してください。10 分程度でもとの状態にもどります。

■ヒルホールドシステムの作動条件

次のときシステムが作動します。

- セレクトレバーの位置が P または、N 以外（前進または後退での上り坂発進時）
- 車両停止状態
- アクセルを踏んでいない
- パーキングブレーキがかかっていない

■ヒルホールドシステムの自動解除

次のいずれかのときシステムが解除されます。

- セレクトレバーを P または N にした
- アクセルを踏んだ
- パーキングブレーキをかけた
- ブレーキペダルから足を離して約 2 秒経過した

■VSC（VDC）作動表示灯が点灯、および警告メッセージ★（→ P. 414）が表示されたとき

システムに異常があるおそれがあります。スバル販売店に連絡してください。

■緊急ブレーキシグナルの作動条件

次のときシステムが作動します。

- 非常点滅表示灯が点滅していないこと
- 車速約 60km/h 以上
- ブレーキペダルが踏み込まれ、車両の減速度から急ブレーキだと判断された

■緊急ブレーキシグナルの自動解除

次のいずれかのときシステムが解除されます。

- 非常点滅表示灯を点滅させた
- ブレーキペダルを離した
- 車両の減速度から急ブレーキではないと判断された

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 警告**■ABS の効果を発揮できないとき**

- タイヤのグリップ性能の限界をこえたとき(雪に覆われた路面を過剰に摩耗したタイヤで走行するときなど)
- 雨でぬれた路面やすべりやすい路面での高速走行時に、ハイドロプレーニング現象が発生したとき

■ABS が作動することで、制動距離が通常よりも長くなる可能性があるとき

ABS は制動距離を短くする装置ではありません。特に次の状況では、常に速度を控えめにして前車と安全な車間距離をとってください。

- 泥・砂利の道路や積雪路を走行しているとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- 道路のつなぎ目など、段差をこえたとき
- 凹凸のある路面や石だたみなどの悪路を走行しているとき

■TRC の効果を発揮できないとき

すべりやすい路面では、TRC が作動していても、車両の方向安定性や駆動力が得られないことがあります。車両の方向安定性や駆動力を失うような状況では、特に慎重に運転してください。

■ヒルホールドシステムの効果を発揮できないとき

- ヒルホールドシステムを過信しないでください。急勾配の坂や、凍った路面ではヒルホールドシステムが効かないことがあります。
- ヒルホールドシステムはパーキングブレーキのようにお車を長時間駐停車するための機能ではありませんので、同機能を坂道での駐停車のために使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■VSC (VDC) 作動表示灯が点滅しているときは

VSC (VDC) が作動中であることを知らせています。常に安全運転を心がけてください。無謀な運転は思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。表示灯が点滅したら特に慎重に運転してください。

 警告**■TRC や VSC (VDC) を OFF にするときは**

TRC や VSC (VDC) は駆動力や車両の方向安定性を確保しようとするシステムです。

そのため、必要なとき以外は TRC・VSC (VDC) を作動停止状態にしないでください。TRC や VSC (VDC) を作動停止状態にしたときは、路面状況に応じた速度で、特に慎重な運転を心がけてください。

■フルタイム 4WD について★

●このお車の 4WD (フルタイム 4WD) は、オンロード専用です。オフロード走行やラリー走行などが目的ではなく、一般道での優れた走行安定性に寄与することを目的とした 4WD です。無理な運転はしないでください。

●脱輪などにより、いずれかのタイヤが宙に浮いているときは、むやみに空転させないでください。

前・後輪の回転差が激しい状態が続くと、駆動系部品に無理な力が加わり焼き付きなどの損傷を受けたり、焼き付きにより、車両が急に飛び出し思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■タイヤまたはホイールを交換するときは

4 輪とも指定されたサイズで、同じメーカー・ブランド・トレッドパターン (溝模様) のタイヤを使用し、推奨された空気圧にしてください。(→P. 453)

異なったタイヤを装着すると、ABS・TRC・VSC (VDC)・フルタイム 4WD ★が正常に作動しません。

タイヤ、またはホイールを交換するときは、スバル販売店に相談してください。

■タイヤとサスペンションの取り扱い

問題があるタイヤを使用したり、サスペンションを改造したりすると、運転を補助するシステムに悪影響をおよぼし、システムの故障につながるおそれがあります。

寒冷時の運転

寒冷時に備えて、準備や点検など正しく処置していただいた上で適切に運転してください。

冬を迎える前の準備

- 次のものはそれぞれ外気温に適したものをお使いください。
 - ・ エンジンオイル
 - ・ 冷却水
 - ・ ウォッシャー液
- バッテリーの点検を受けてください。
- 冬用タイヤ（スタッドレスタイヤ 4 輪）やタイヤチェーン（前部タイヤ用）を使用してください。

タイヤは 4 輪とも同一サイズ、同一銘柄で著しい摩耗差のないものを、タイヤチェーンはタイヤサイズに合ったものを使用してください。詳しくはスバル販売店にご相談ください。（タイヤについて：→ P. 348）

運転する前に

状況に応じて次のことを行ってください。

- ドアやワイパーが凍結したときは無理に開けたり動かししたりせず、ぬるま湯をかけるなどして氷を溶かし、すぐに水分を十分にふき取ってください。
- フロントウィンドウガラス前の外気取り入れ口に雪が積もっているときは、エアコンのファンを正常に作動させるために、雪を取り除いてください。
- 外装ランプ・車両の屋根・タイヤの周辺やブレーキ装置に雪や氷が付いているときは、取り除いてください。
- 乗車する前に靴底に付いた雪をよく落としてください。

運転するとき

ゆっくりスタートし、車間距離を十分にとって控えめな速度で走行してください。

駐車するとき

- パーキングブレーキをかけると、ブレーキ装置が凍結して解除できなくなるおそれがあります。パーキングブレーキはかけずに、セレクトレバーを P に入れて駐車し、必ず輪止めをしてください。
輪止めをしないと、お車が動き思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
 - パーキングブレーキをかけずに駐車するときは、セレクトレバーを P に入れた状態でセレクトレバーが動かないこと※を確認してください。
- ※ ブレーキペダルを踏まないで P からシフトするときにロックがかかります。シフトできる場合は、シフトロックシステムなどの故障が考えられます。ただちにスバル販売店で点検を受けてください。

知識

■ タイヤチェーンについて

取り付け・取りはずし・取り扱い方法については次の指示に従ってください。

- 安全に作業できる場所で行う
- タイヤサイズに合ったものを使用する
- 前 2 輪に取り付ける（4WD 車も前 2 輪に装着）
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書に従う
- 取り付け後約 0.5 ～ 1.0km 走行したら締め直しを行う

■ 寒冷地用ワイパーブレードについて

- 降雪期に使用する寒冷地用ワイパーブレードは、雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムで覆ってあります。お車のサイズに合ったスバル純正品をご使用ください。
- 高速走行時は、通常のワイパーブレードよりガラスがふき取りにくくなる場合があります。その場合には速度を落としてください。

 警告**■冬用タイヤ（スタッドレスタイヤ）装着時の警告**

- スバル純正以外の金属チェーンを使用すると車体に干渉して異音発生や傷付きによる錆が発生することがあります。

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、車両のコントロールが不能となり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡事故につながるおそれがあります。

- 指定サイズのタイヤを使用する
- 同一メーカー・同一銘柄・同一トレッドパターン（溝模様）のタイヤを使用する
- 摩耗差の著しいタイヤは使用しない
- 空気圧を推奨値に調整する
- 装着する冬用タイヤ（スタッドレスタイヤ）の最高許容速度や制限速度をこえる速度で走行しない
- 冬用タイヤ（スタッドレスタイヤ）を装着する際は、必ず4輪とも装着する

■タイヤチェーン装着時の警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、安全にお車を運転することができずに、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 装着したチェーンに定められた制限速度、もしくは約30km/hのどちらか低いほうをこえる速度で走行しない
- 路面の凹凸や穴を避ける
- 急加速・急ハンドル・急ブレーキやシフト操作による急激なエンジンブレーキの使用は避ける
- カーブの入り口手前で十分減速して、お車のコントロールを失うのを防ぐ

■駐車時の警告

パーキングブレーキをかけずに駐車するときは、必ず輪止めをしてください。輪止めをしないと、お車が動き思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 注意**■ タイヤチェーンの使用について**

スバル純正タイヤチェーンのご使用をおすすめします。
スバル純正品以外のタイヤチェーンの中には、使用すると、車体にあたり、走行のさまたげとなるおそれがあるものもあります。
詳しくはスバル販売店にご相談ください。

■ ガラスに付いた氷を除去するとき

氷をたたいて割らないでください。
ガラスがひび割れるおそれがあります。

オーディオ

5

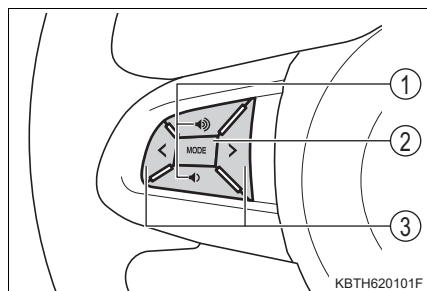
- 5. オーディオの使い方
 - ステアリングスイッチ298
 - アンテナ300

ステアリングスイッチ★

ハンドルにあるスイッチで、オーディオや、ナビゲーションシステムを操作することができます。

装着されているオーディオ・ナビゲーションシステムによっては、操作が異なる場合があります。詳しくは製品に付属の各取扱書をご覧ください。

- ① 音量を調節する
- ② モードを切りかえる
- ③ CD、ラジオなどの操作



モードを切りかえる

オーディオの電源が ON のとき  を押す

押すごとにモード（CD、ラジオなど）が切りかわります。

音量を調節するには

オーディオの電源が ON のとき  または  を押す

スイッチを押し続けると、音量を連続して調節できます。運転のさまたげにならない適度な音量でお聞きください。

選局または選曲するには

オーディオの電源が ON のとき  または  を押す

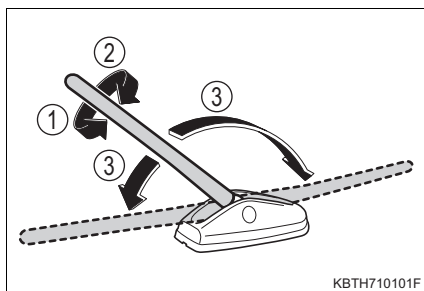
スイッチを押して、お聞きになりたい放送局や CD で再生したい曲を選択します。

⚠ 警告**■ 事故を防ぐために**

運転中にステアリングスイッチを操作するときは、十分注意してください。

アンテナ

- ① 取りはずす
- ② 取り付ける
- ③ 格納する



KBTH710101F

⚠ 注意

■ アンテナの取り扱いについて

アンテナを取り扱うときは無理な力をかけないでください。ボディの変形やアンテナの破損などにつながるおそれがあります。

■ アンテナの損傷を防ぐために

- 車庫の天井などにアンテナがあたるときは格納してください。
- 次のようなときはアンテナを取りはずしてください。
 - ・ カーカバーをかけるとき
 - ・ 自動洗車機を使用するとき
 - ・ 降雪時に長時間駐車するとき

■ アンテナの取りはずしについて

- 通常走行時には、必ずアンテナを取り付けてください。
- 自動洗車機などアンテナを取りはずしたときは、アンテナを紛失しないように注意してください。

室内装備・機能

6

6-1. エアコン・デフォグガーの
使い方

マニュアルエアコン.....	302
オートエアコン	307
シートヒーター	314

6-2. 室内灯のつけ方

室内灯一覧	316
・フロントマップランプ	317
・ルームランプ	317
・デッキサイドランプ右側 （スイッチ付）	318
・カーゴルームランプ	318
・トレイ イルミネーション	319

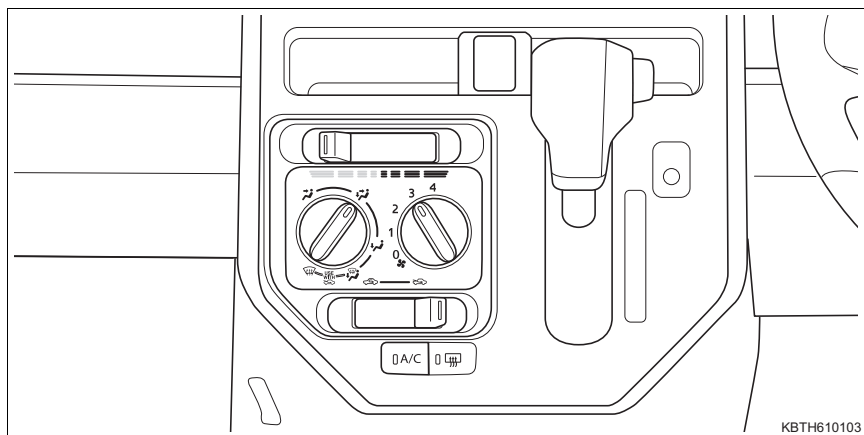
6-3. 収納装備

収納装備一覧.....	320
・グローブボックス.....	321
・センターダスト ボックス	321
・助手席アンダートレイ	322
・カップホルダー／ ボトルホルダー.....	322
・オープントレイ.....	325
カーゴルーム内装備.....	326
・カーゴボード	326
・停止表示板 収納スペース	328

6-4. その他の室内装備の使い方

その他の室内装備.....	329
・サンバイザー	329
・バニティミラー.....	329
・運転席アームレスト.....	329
・アシストグリップ.....	330
・シートバックテーブル.....	331
・格納式サンシェード.....	332
・アクセサリソケット	333
・ショッピングフック.....	334

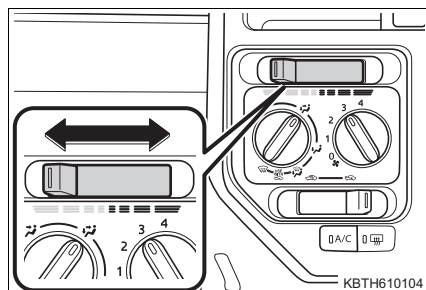
マニュアルエアコン★



■ 温度を調整する

設定温度を上げるときは温度調節レバーを右に、下げるときには左に操作する

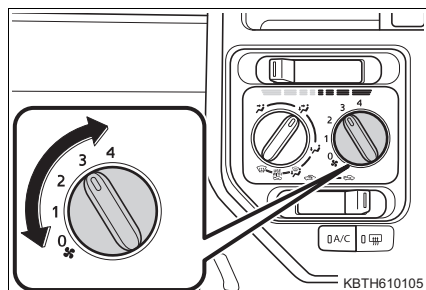
 が押されていない場合は、送風または暖房で使用できます。



■ 風量を切りかえる

風量を増やすときは風量調節ダイヤルを右に、減らすときは左にまわす

送風を止めるときはダイヤルを0の位置に合わせる

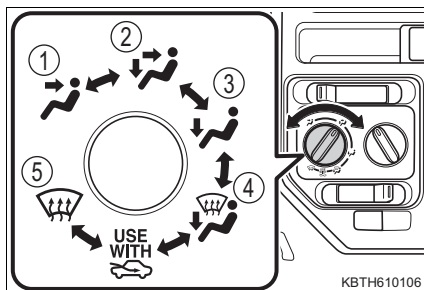


★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ 吹き出し口を切りかえる

吹き出し口切りかえダイヤルを
まわす

- ① 上半身に送風
- ② 上半身と足元に送風
- ③ 足元に送風
- ④ 足元に送風・フロントウインドゥガラスの曇りを取る
- ⑤ フロントウインドゥガラスの曇りを取る



その他の機能

■ 外気導入・内気循環を切りかえるには

内外気切りかえレバーを の位置に操作すると外気導入、 の位置に操作すると内気循環に切りかわります。

■ フロントウインドゥガラスの曇りを取るには

吹き出し口切りかえダイヤルを にまわし、内外気切りかえレバーを に操作する

を押してエアコンを ON にすると曇りが早く取れます。

■ リヤウインドゥデフォグガー&ヒートッドアミラー★

リヤウインドゥの曇りを取るときや、ドアミラーから雨滴や霜を取るときに使用ください。

を押す

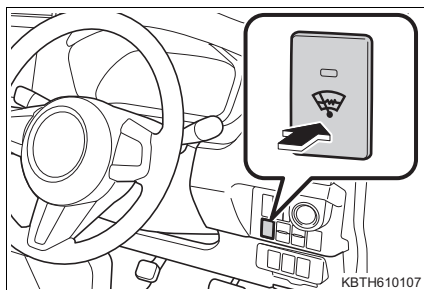
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ ワイパーデアイサー★

フロントウィンドウガラスとワイパーブレードの凍結を防ぐために使用ください。

ワイパーデアイサーが ON のとき、スイッチの作動表示灯が点灯します。

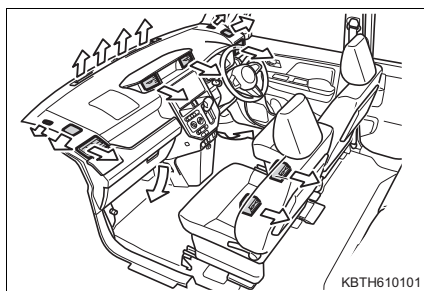
ワイパーデアイサーは、しばらくすると自動的に OFF になります。



吹き出し口について

■ 吹き出し口の位置

吹き出し口の切りかえ設定により、風が出る位置や風量が変わります。

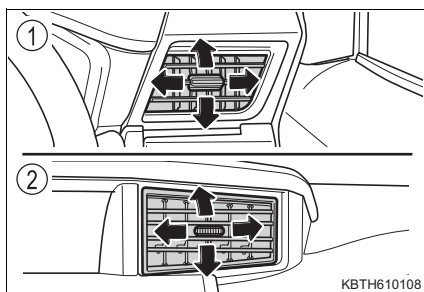


■ 風向きの調整と吹き出し口の開閉

風向きの調整

風向きを外側いっぱいまで調整すると、吹き出し口を閉じることができます。(左右吹き出し口のみ)

- ① 左右吹き出し口
- ② 中央吹き出し口



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

■ 内気循環について

内気循環を使うとガラスが曇る場合があります。

■ 吹き出し口を にしたとき

頭寒足熱を目的とした吹き出しのため、温度調節レバーの位置によっては、足元に送られる風が上半身に送られる風より暖められて送風されます。

■ 外気温度が0℃付近のとき



を押してもエアコンが作動しない場合があります。

 ■ **USE WITH** について

このマークは、吹き出し口切りかえダイヤルを  または  に合わせるときに内外気切りかえレバーを  にすることをおすすめするためのものです。

内外気切りかえレバーを  にすることでガラスが曇りにくくなります。

■ 換気とエアコンの臭いについて

- 車室外の空気を車室内に取り入れたいときは、外気導入にしてください。
- エアコン使用中に、車室内外のさまざまな臭いがエアコン装置内に取り込まれて混ざり合うことにより、吹き出し口からの風に臭いがすることがあります。
- エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、駐車時は外気導入にしておくことをおすすめします。

■ 室内補助ヒーター★

エンジン冷間時の暖房効果を高めます。次の条件をすべて満たすと、自動的に作動します。

- ファンが作動しているとき
- 最大暖房時
- エンジン冷間時
- 外気温が低いとき

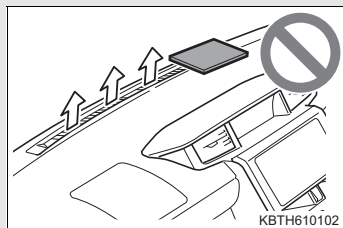
■ エアコンフィルターについて

→ P. 362

⚠ 警告

■フロントウィンドウガラスの曇りを防止するために

- 湿度が非常に高いときにエアコンを低い設定温度で作動させているときは、吹き出し口切りかえダイヤルを  の位置に合わせないでください。外気とガラスの温度差でガラスの外側が曇り、視界をさまたげる場合があります。
- フロントウィンドウガラスの曇り取りをさまたげないために、吹き出し口を遮るようなものを置かないでください。送風が遮られ、曇りが取れにくくなる場合があります。



■リヤウィンドウデフォグター★/ヒートッドアミラー★/ワイパーデアイサー★ 作動中の警告

- ドアミラーの鏡面が非常に熱くなります。やけどをするおそれがあるのでふれないでください。
- フロントウィンドウガラス下部およびフロントピラー横の表面が熱くなっており、やけどをするおそれがあるのでふれないでください。

⚠ 注意

■バッテリーあがりを防止するために

エンジン停止中は、必要以上にエアコンを使用しないでください。

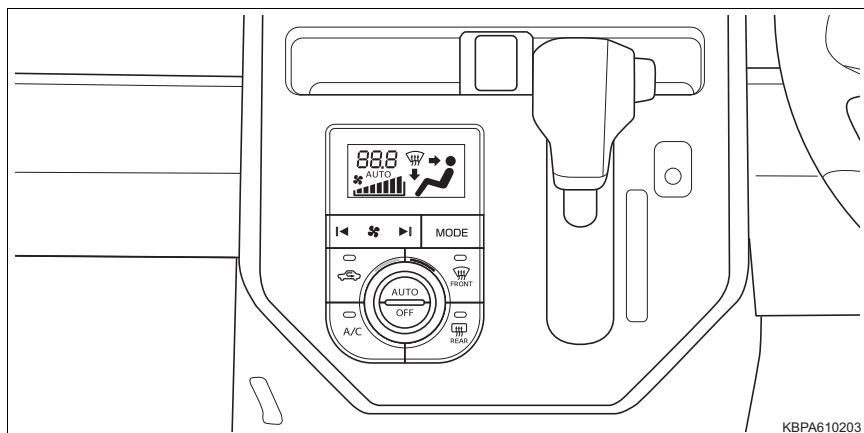
■吹き出し口について

暖房で使用するときは、吹き出し口が熱くなりますので、注意して調整してください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

オートエアコン★

設定温度に合わせて吹き出し口と風量を自動で調整します。

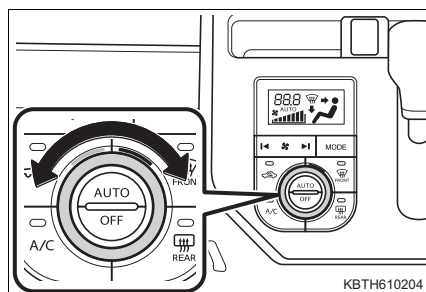


■ 温度を調整する

設定温度を上げるときは温度調節ダイヤルを右に、下げるときは左にまわす



 が押されていない場合は、送風または暖房で使用できます。

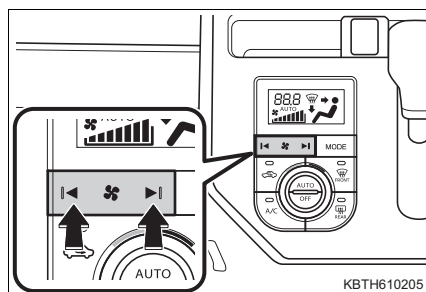


■ 風量を切りかえる

風量を調節するには の



 を押すと、送風がとまりま
す。



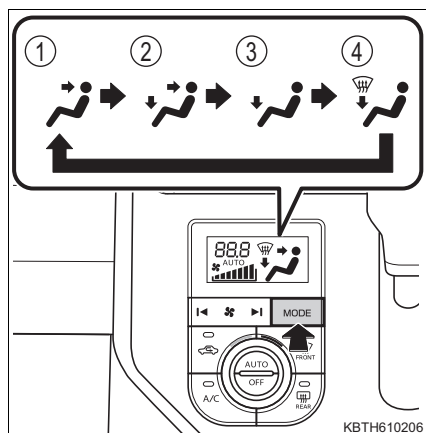
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ 吹き出し口を切りかえる

 を押す

押すたびに吹き出し口が切りかわります。

- ① 上半身に送風
- ② 上半身と足元に送風
- ③ 足元に送風
- ④ 足元に送風・フロントウィンドウガラスの曇りを取る



オート設定を使うとき

1  を押す

吹き出し口と風量が自動で調整されます。

2 温度を設定する

3  を押す

押すたびにエアコンの ON/OFF が切りかわります。

4 送風をとめたいときは  を押す

■ オート設定時の表示について

風量や吹き出し口を切りかえると、AUTO の表示が消灯しますが、操作した機能以外のオート設定は継続します。

その他の機能

■ 外気導入・内気循環を切りかえるには

 を押す

ボタンを押すたびに外気導入・内気循環が切りかわります。内気循環を選択し

ているときは、 の表示灯が点灯します。

■ フロントウィンドウガラスの曇りを取るには



を押す

エアコンが作動し、自動的に外気導入に切りかわります。

曇りが取れたら再度  を押すと、前のモードにもどります。

■ リヤウィンドウデフォグガー&ヒートッドアミラー★

リヤウィンドウの曇りを取るときや、ドアミラーから雨滴や霜を取るときに使用ください。



を押す

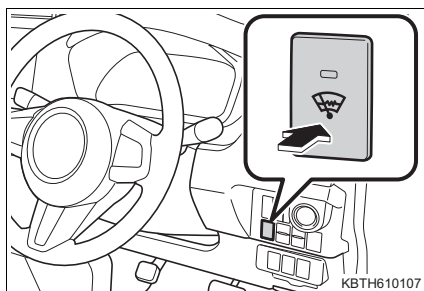
リヤウィンドウデフォグガーは、しばらくすると自動的に OFF になります。

■ ワイパーデアイサー★

フロントウィンドウガラスとワイパーブレードの凍結を防ぐために使用ください。

ワイパーデアイサーが ON のとき、スイッチの作動表示灯が点灯します。

ワイパーデアイサーは、しばらくすると自動的に OFF になります。

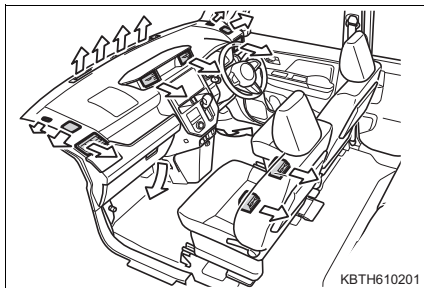


★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

吹き出し口について

■ 吹き出し口の位置

吹き出し口の切りかえ設定により、風が出る位置や風量が変わります。

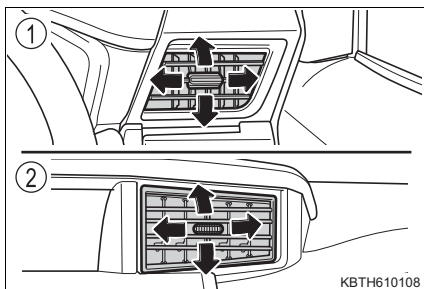


■ 風向きの調整と吹き出し口の開閉

風向きの調整

風向きを外側いっぱいまで調整すると、吹き出し口を閉じることができます。(左右吹き出し口のみ)

- ① 左右吹き出し口
- ② 中央吹き出し口



 知識

■ 駐車時について

プッシュエンジンスイッチが OFF のときはこもり臭防止のため、外気導入へ切りかわります。

■ オート設定の作動について

風量は温度設定と外気の状態により自動で調整されるため、 を押した直後、温風や冷風の準備ができるまでしばらく送風が停止する場合があります。

■ ガラスの曇りについて

● 車室内の湿度が高いときはガラスが曇りやすくなります。その場合は  を ON にすると、吹き出し口から除湿された風が出るため、効果的に曇りを取ることができます。

●  を ON から OFF にすると、ガラスが曇りやすくなります。

● 内気循環を使うとガラスが曇る場合があります。

■ 内外気切りかえについて

設定温度や室内温度などにより、自動的に内気循環または外気導入へ切りかわる場合があります。

■ 吹き出し口を にしたとき

頭寒足熱を目的とした吹き出しのため、設定温度によっては、足元に送られる風が上半身に送られる風より温められて送風されます。

■ 外気温度が 0℃ 付近のとき

 を押してもエアコンが作動しない場合があります。

■換気とエアコンの臭いについて

- 車室外の空気を車室内に取り入れたいときは、外気導入にしてください。
- エアコン使用中に、車室内外のさまざまな臭いがエアコン装置内に取り込まれて混ざり合うことにより、吹き出し口からの風に臭いがすることがあります。
- エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、オート設定での使用時にはエアコン始動直後、しばらく送風が停止する場合があります。

■室内補助ヒーター★

エンジン冷間時の暖房効果を高めます。次の条件をすべて満たすと、自動的に作動します。

- ファンが作動しているとき
- 最大暖房時
- エンジン冷間時
- 外気温が低いとき

■エアコンフィルターについて

→ P. 362

■カスタマイズ機能

 を ON にしたとき、連動して外気導入と内気循環を自動的に切りかえるかどうかなどを設定できます。(カスタマイズ一覧→P. 455)

⚠ 警告

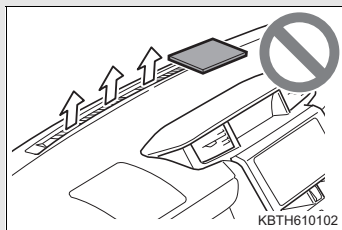
■フロントウィンドウガラスの曇りを防止するために

- 湿度が非常に高いときにエアコンを低い設定温度で作動させているときは、



を押さないでください。外気とガラスの温度差でガラスの外側が曇り、視界をさまたげる場合があります。

- フロントウィンドウガラスの曇り取りをさまたげないために、吹き出し口を遮るようなものを置かないでください。送風が遮られ、曇りが取れにくくなることがあります。



■リアウィンドウデフォグター&ヒートッドアミラー★／ワイパーデアイサー★ 作動中の警告

- ドアミラーの鏡面が非常に熱くなります。やけどをするおそれがあるのでふれないでください。
- フロントウィンドウガラス下部およびフロントピラー横の表面が熱くなっており、やけどをするおそれがあるのでふれないでください。

⚠ 注意

■バッテリーあがりを防止するために

エンジン停止中は、エアコンを必要以上に使用しないでください。

■吹き出し口について

暖房で使用するときは、吹き出し口が熱くなりますので、注意して調整してください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

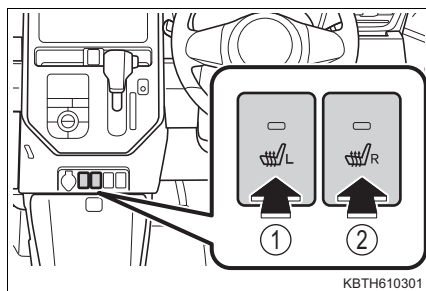
シートヒーター★

① 助手席をあたためる

② 運転席をあたためる

シートヒーター作動中は、作動表示灯が点灯します。

再度押すと OFF になり、作動表示灯が消灯します。



知識

■ 作動条件

プッシュエンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

■ 使用しないときは

スイッチをもう一度押してください。作動表示灯が消灯します。

⚠ 警告

- 低温やけどを負うおそれがあるため、次のかたがシートヒーターに触れないようにご注意ください。
 - ・ 乳幼児、お子さま、お年寄り、病人、体の不自由なかた
 - ・ 皮膚の弱いかた
 - ・ 疲労の激しいかた
 - ・ 深酒や眠気をさそう薬（睡眠薬、風邪薬など）を服用されたかた
- 異常過熱や低温やけどの原因になるおそれがあるため、シートヒーターを使用するときは次のことをお守りください。
 - ・ 長時間連続で使用しないでください。
 - ・ 毛布・クッションなどを使用しないでください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

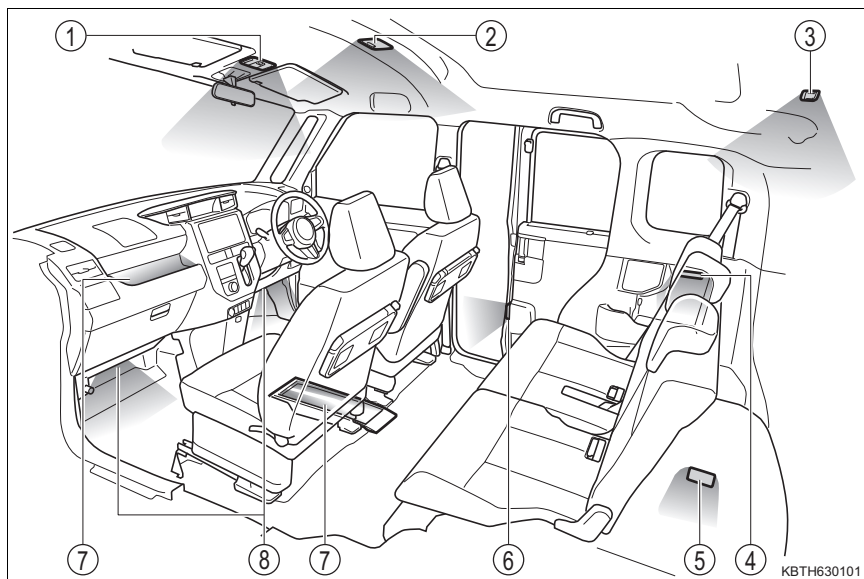
 注意**■ シートヒーターの故障を防ぐために**

凹凸のある重量物をシートの上に置いたり、針金や針などの鋭利なものを突き刺したりしないでください。

■ バッテリーあがりを防止するために

エンジンを停止した状態で使用しないでください。

室内灯一覧



- ① フロントマップランプ (→ P. 317)
- ② ルームランプ (→ P. 317)
- ③ カーゴルームランプ (→ P. 318)
- ④ デッキサイドランプ右側 (スイッチ付) ★ (→ P. 318)
- ⑤ デッキサイドランプ左側 (→ P. 141)
- ⑥ 後席ステップランプ★※ (→ P. 128)
- ⑦ トレイイルミネーション★ (→ P. 319)
- ⑧ フットライト★

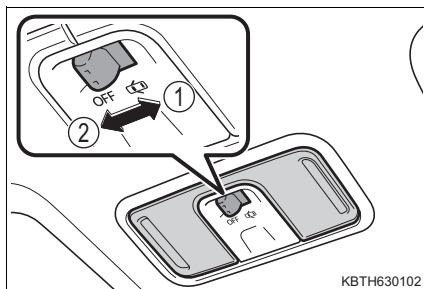
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

※：右側は運転席側パワースライドドア装着車に装着されています。

フロントマップランプ

■ ドア連動スイッチでの操作

- ① ドアポジション（ドア連動）
ドアの開閉作動に連動してランプの点灯・消灯が切りかわります。
- ② ランプを消灯する

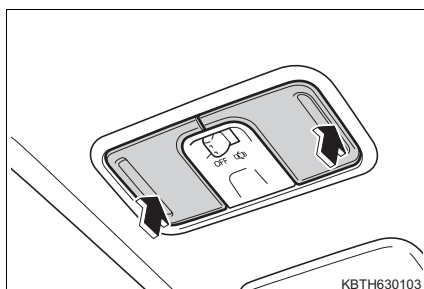


KBTH630102

■ 独立スイッチでの操作

ランプを点灯・消灯する

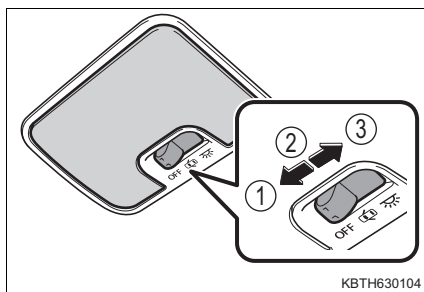
ドア連動スイッチがドアポジションでドアが開いているときは、レンズを押しても消灯しません。



KBTH630103

ルームランプ

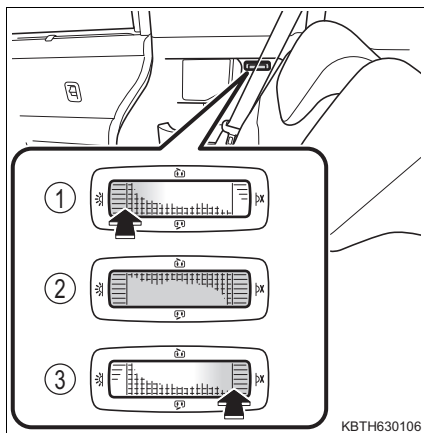
- ① ランプを消灯する
- ② ドアポジション（ドア連動）
- ③ ランプを点灯する



KBTH630104

デッキサイドランプ右側（スイッチ付）★

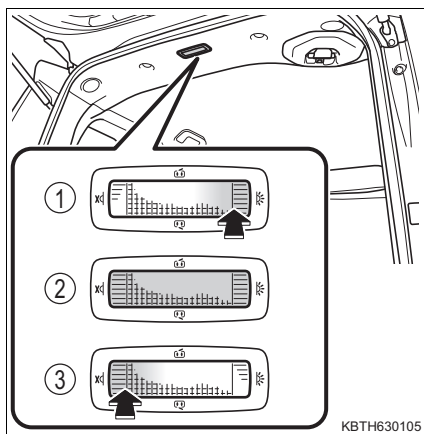
- ① 点灯
- ② 右側スライドドア連動
右側スライドドアの開閉作動に連動してランプの点灯・消灯が切りかわります。
- ③ 消灯



KBTH630106

カーゴルームランプ

- ① 点灯
- ② ドアポジション（ドア連動）
- ③ 消灯



KBTH630105

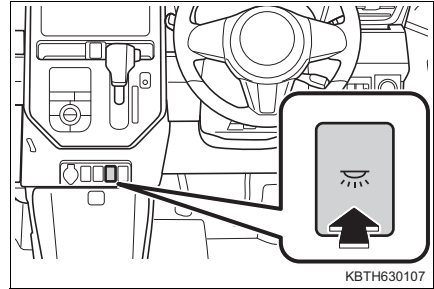
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

トレイルミネーション★

ランプを点灯・消灯する

ヘッドランプまたは車幅灯が点灯しているときに使用できます。

スイッチを押して、押し込まれた状態になると点灯になります。



知識

■ ドア連動機能

- ランプのスイッチがドアポジションのとき、ドアの施錠・解錠／開閉、プッシュエンジンスイッチの状態により、各部の照明が自動的に点灯、消灯します。
- デッキサイドランプ右側（スイッチ付）★のスイッチがドアポジションのとき、右側スライドドアの開閉に連動して点灯、消灯します。

■ バッテリーあがりを防止するために

- 半ドア状態でランプのスイッチがドアポジションのときは約 10 分後に自動消灯します。※
 - 各部の照明が点灯したままの場合、約 12 分後に自動消灯します。※
- ※ 後席ステップランプを除く

■ カスタマイズ機能

ドア連動機能の消灯までの時間などの設定を変更できます。（カスタマイズ一覧：P. 455）

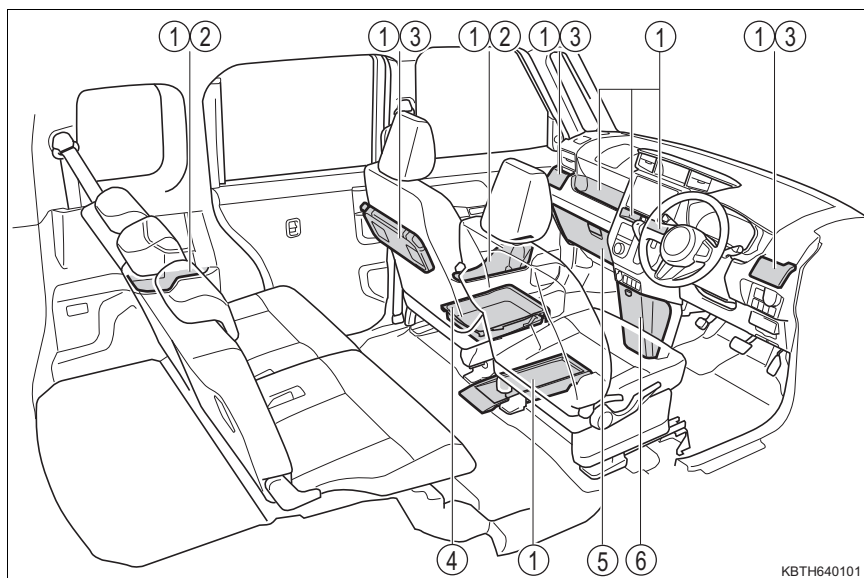
⚠ 注意

■ バッテリーあがりを防止するために

エンジンが停止した状態で、長時間ランプを点灯しないでください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

収納装備一覧



KBTH640101

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| ① オープントレイ (→ P. 325) | ④ 助手席アンダートレイ★ (→ P. 322) |
| ② ボトルホルダー (→ P. 322) | |
| ③ カップホルダー (→ P. 322) | ⑤ グローブボックス(→ P. 321) |
| | ⑥ センターダストボックス (→ P. 321) |

⚠ 警告

- メガネ・ライターやスプレー缶を収納装備内に放置したままにしないでください。

放置したままですと、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。

- ・ 室温が高くなったときの熱や、他の収納物との接触などにより、メガネが変形やひび割れを起こす
- ・ 室温が高くなったときにライターやスプレー缶が爆発したり、他の収納物との接触でライターが着火したりスプレー缶のガスがもれるなどして火災につながる

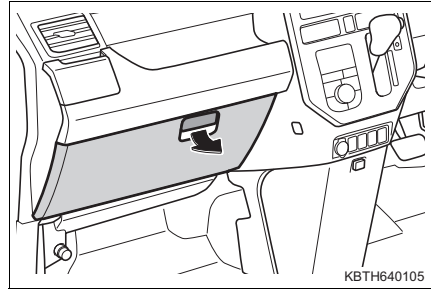
- 収納装備を使わないときは、フタを必ず閉じてください。

急ブレーキや急旋回時などに、開いたフタに体があたったり、収納していたものが飛び出したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

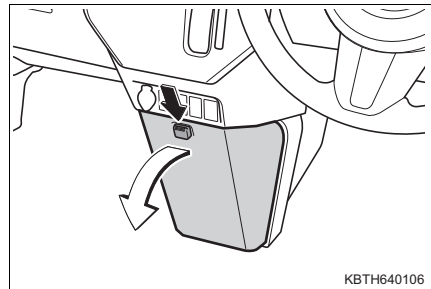
グローブボックス

レバーを引いて開ける



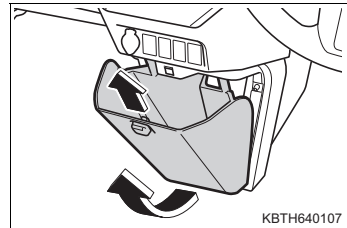
センターダストボックス

ボタンを押して開ける



知識

センターダストボックスは取りはずすことができます。真上に持ち上げてから下部を回転させて取りはずしてください。取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付けます。

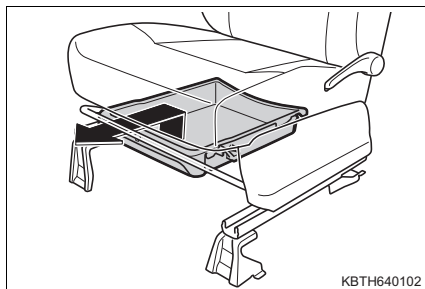


警告

センターダストボックスを取りはずしたときは、走行前に取り付け、必ず閉じてください。急ブレーキをかけたときなどにセンターダストボックスや中のものが飛び出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

助手席アンダートレイ★

トレイを上を持ち上げ、前に引き出す



KBTH640102

カップホルダー／ボトルホルダー

■ カップホルダー

▶ 運転席／助手席

カップホルダーを引き出す

① カップホルダー

② 小物入れ

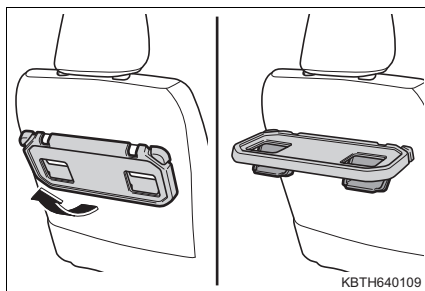
ドリンクサポートを格納することで紙パックを置いたり、小物入れとして使用することができます。



KBTH640108

▶ 後席★

シートバックテーブルを引き起こす (→ P. 331)

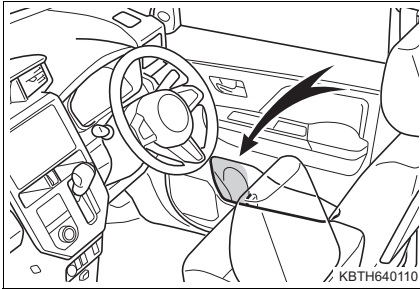


KBTH640109

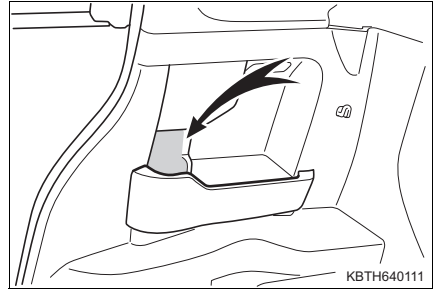
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ ボトルホルダー

▶ フロントドア



▶ リヤサイド



□ 知識

■ ボトルホルダーについて

- ペットボトルのフタを必ず閉めてから収納してください。
- ペットボトルの大きさ・形によっては収納できないことがあります。

⚠ 警告

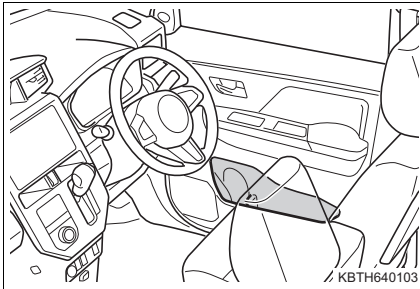
- カップホルダーとして使用する時 (→ P. 322)、カップ・缶・ペットボトル以外のものを置かないでください。
急ブレーキや事故により落ちてけがをするおそれがあります。
- やけどを防ぐために、カップホルダーに温かい飲み物を置くときはフタを閉めておいてください。
- 運転席側のカップホルダーを使用するとき、背の高いカップを置くと、運転者の視界をさまたげ、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- カップホルダーを使わないときは、必ずもとにもどしておいてください。
急ブレーキ時などに、開いたカップホルダーに体があたるなどして、思わぬけがをするおそれがあり危険です。
- シートバックテーブルを使用しているときは、2.0kg以上のものを置かないでください。テーブルが急に格納されたり破損してけがをするおそれがあります。

 注意

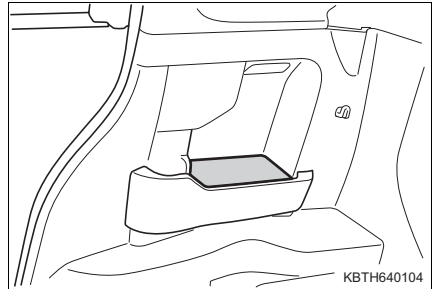
- ペットボトルのフタを必ず閉めてから収納してください。
- 小物入れの状態にしたカップホルダー（→ P. 322）・ボトルホルダーには、ジュースなどが入っている紙コップ・ガラス製のコップなどを収納しないでください。ジュースなどがこぼれたり、ガラス製品が割れたりするおそれがあります。
- 故障を防ぐため、飲み物がこぼれたときはただちにふき取ってください。スイッチ類や電気部品にかかると、故障や車両火災の原因となるおそれがあります。
- 破損を防ぐため、カップホルダーに手をついたり、足で踏んだりしないでください。
- 次のような異物が入ると、カップホルダー（運転席 / 助手席）の開閉機構が損傷するおそれがあります。
 - ・ 爪楊枝・ヘアピン等の小さいもの、細かいもの
 - ・ タバコの灰
 - ・ 芳香剤の液体
- カップホルダーを小物入れとして使うとき（→ P. 322, 325）、エアコンの使用状況や車室内外の温度・湿度によっては、スマートフォンなどの携帯機器内部が結露するおそれがあります。
それぞれの携帯機器に付属の取り扱い説明書もお読みください。

オープントレイ

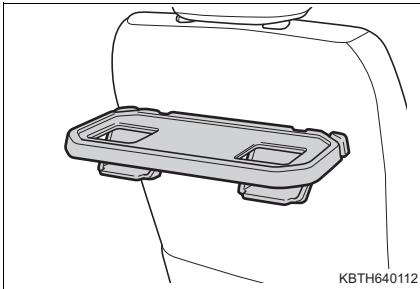
▶ フロントドア



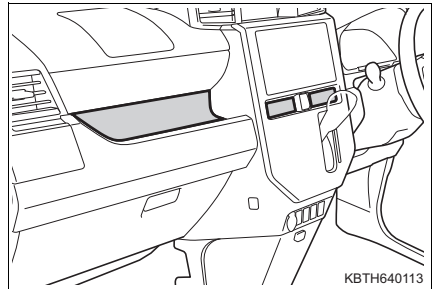
▶ リヤサイド



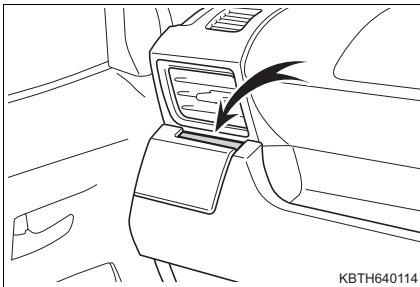
▶ シートバックテーブル★



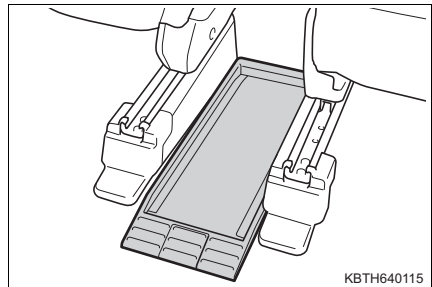
▶ インストルメントパネル



▶ カップホルダー格納時 (運転席 / 助手席)



▶ フロアトレイ



⚠ 警告

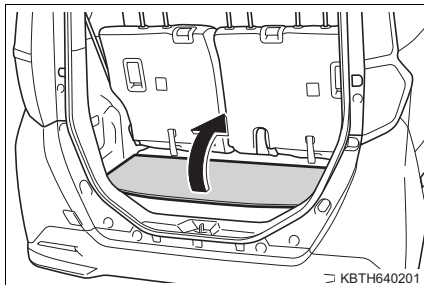
トレイ内に転がりやすいものや凹面より高さがあるものを置かないでください。収納していたものが飛び出したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

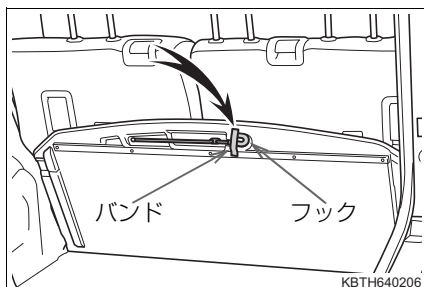
カーゴルーム内装備

カーゴボード

1 カーゴボードを上げる



2 フックをバンドから取り出す

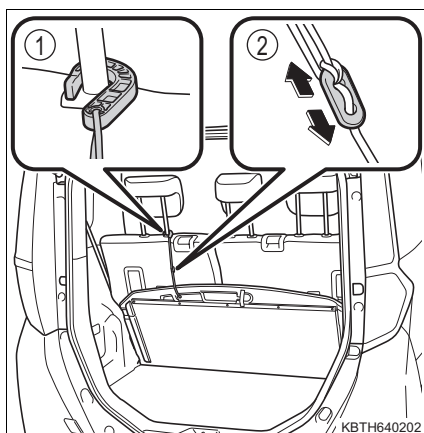


3 カーゴボードを固定する

- ① ヘッドレストを上げて、ステーにかける

フックを①の位置にかけて固定してください。

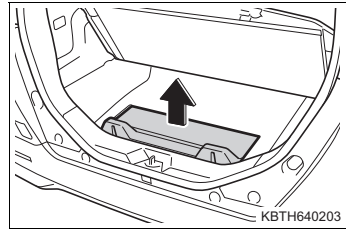
- ② アジャスターを移動させてひもの長さを調整する



 知識

■ サブトランクについて

- 停止表示板などを収納することができます。
- サブトランクを使用するときは、カバーを真上に持ち上げて取りはずしてください。

 警告

■ カーゴボードを操作するときは

荷物を載せた状態で操作しないでください。
指をはさんだり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 注意

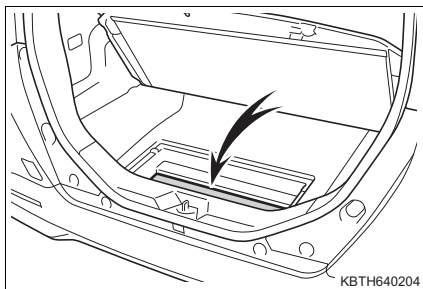
■ カーゴボードの破損を防ぐために

- カーゴボードの上に立ったり、無理な力をかけたりしないでください。
- フックを使用しないときは必ずもとの位置にもどし、バンドで固定してください。リヤゲートや荷物に挟むなどして破損するおそれがあります。

停止表示板※収納スペース

※ 停止表示板はスバル販売店で購入することができます。

サブトランクに収納することができます。



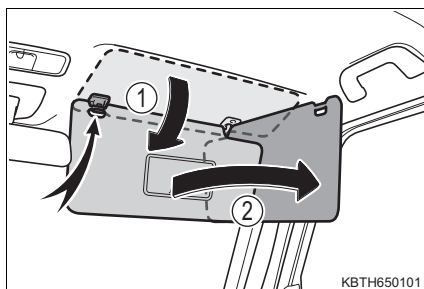
知識

停止表示板のケースの大きさ、形によっては、収納できないことがあります。

その他の室内装備

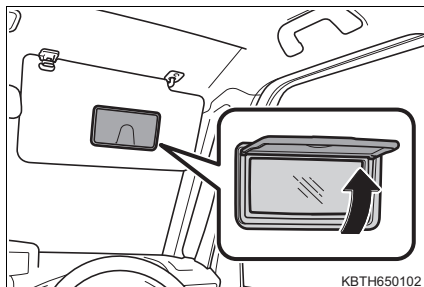
サンバイザー

- ① 前方をさえぎるには、バイザーを下ろす
- ② 側方をさえぎるには、バイザーを下ろした状態でフックからはずし、横へまわす



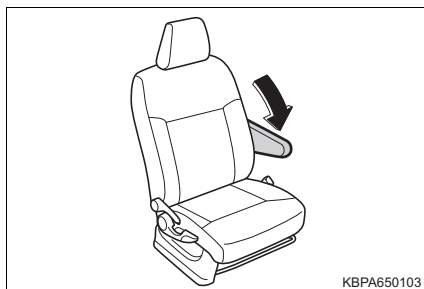
バニティミラー

カバーを上を開ける



運転席アームレスト★

手前に倒して使用する



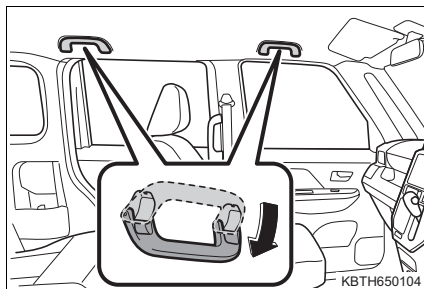
⚠ 注意

アームレストの破損を防ぐために、過度の負荷をかけないでください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

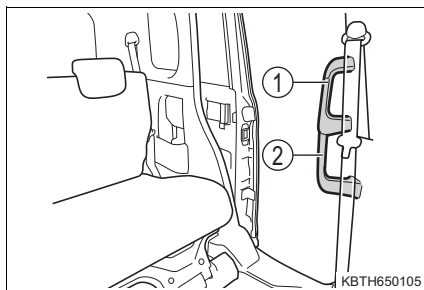
アシストグリップ

天井に取り付けられているアシストグリップ（回転式）は、走行中にシートに座っている状態で体を支えるときにお使いください。



乗降時などでは、ピラーに取り付けられているアシストグリップ（固定式）をお使いください。

- ① アシストグリップ（大人用）
- ② アシストグリップ（子供用）



⚠ 警告

アシストグリップ（回転式）は、乗降時やシートから立ち上がる時などに使用しないでください。

アシストグリップ（回転式）が破損し、転倒などしてけがをするおそれがあります。

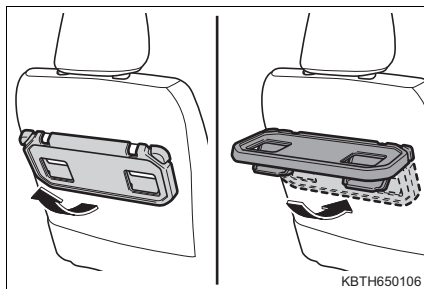
⚠ 注意

破損を防ぐために、アシストグリップに重いものをかけたり、過度の負荷をかけたりしないでください。

シートバックテーブル★

シートバックテーブルを引き起こす

シートバックテーブルを操作するときはテーブル先端の中央を持ってください。



⚠ 警告

シートバックテーブルを使用するときは次の警告をお守りください。お守りいただかないと事故や急ブレーキの際に傷害につながるおそれがあり危険です。

- シートバックテーブルの上に乗ったり、重いものをのせないでください。
- 使用しないときは、けがをしないように、必ずもとの位置にもどしておいてください。
- 走行中はシートバックテーブルを格納し、使用しないでください。

⚠ 注意

■ テーブルの破損を防ぐために

- 重いものをのせないでください。
- テーブルとショッピングフックを同時に使用するときは、合わせて2kgをこえないようにしてください。

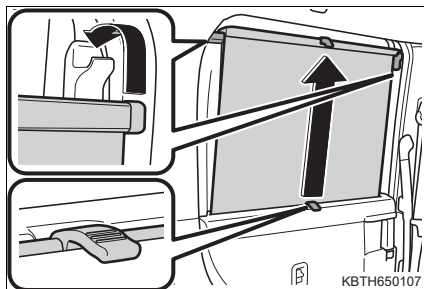
■ テーブルを使用しているときは

シートを操作しないでください。テーブル上のものが破損したり、飲みものがこぼれたりするおそれがあります。

格納式サンシェード

ツマミをしっかりと持って引き出し、フックにかける

もどすときはフックからはずし、しっかりと持ったままゆっくり収納します。



⚠ 注意

■ 正常に機能させるために

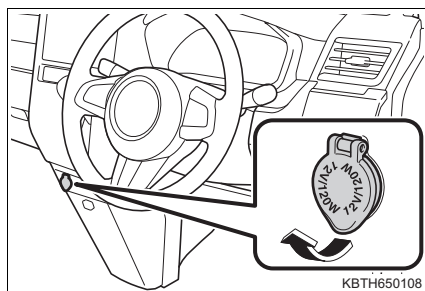
次のことをお守りください。

- 開閉のさまたげになる部分にもものを置かない
- 格納式サンシェードにもものを貼らない
- 格納式サンシェードをフックにかけているときに過度の負荷をかけない
- スライドドアが開閉しているときは、格納式サンシェードを操作しない

アクセサリースOCKET

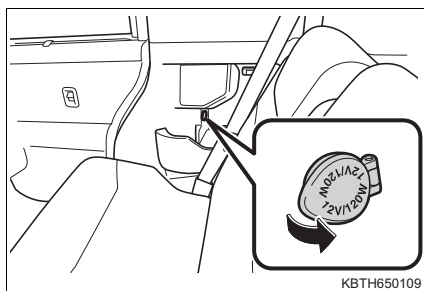
DC12V/10A(消費電力 120W) 未満の電気製品を使用するときの電源としてお使いください。

▶ フロント



フタを開けて使用する

▶ 後席右側★



知識

■ 作動条件

プッシュエンジンスイッチがアクセサリモードまたはイグニッションONモードのとき

⚠ 注意

■ ショートや故障を防ぐために

アクセサリースOCKETに異物が入ったり、飲料水などがかかったりしないように、使用しないときは、フタを閉めておいてください。

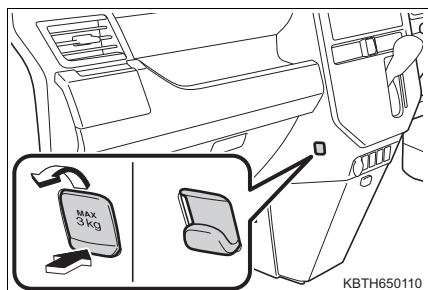
■ バッテリーあがりを防止するために

エンジンが停止した状態で、アクセサリースOCKETを長時間使用しないでください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

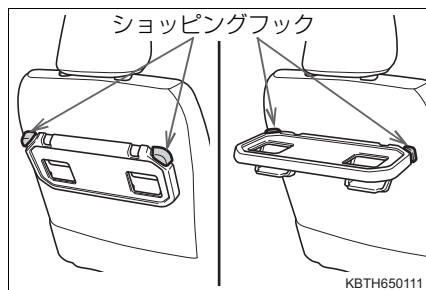
ショッピングフック

▶ フロント

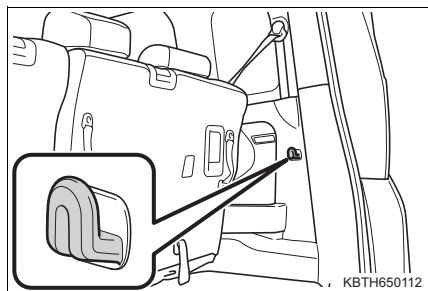


フックを引き起こす

▶ シートバックテーブル★



▶ カーゴルーム



⚠ 警告

使用しないときは、けがをしないように、必ずもとの状態にもどしておいてください。

⚠ 注意

ショッピングフックの破損を防ぐために、3.0kg以上のもの（フロント）、1.0kg以上のもの（シートバックテーブル、カーゴルーム）をフックに吊り下げないでください。

フックが折れたり、走行中にはずれたりするおそれがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

手入れのしかた

7

7-1. 手入れのしかた

外装の手入れ.....	336
内装の手入れ.....	339

7-2. 簡単な点検・部品交換

ボンネット	342
ガレージジャッキ	345
エンジンオイルについて	346
ウォッシャー液の補充	347
タイヤについて	348
タイヤの交換.....	352
タイヤ空気圧について	360
エアコンフィルターの 交換	362
ワイパーゴムの交換	364
キーの電池交換.....	368
ヒューズの点検・交換	371
電球（バルブ）の交換	374

外装の手入れ

手入れは、次の項目を実施してください。

- 水を十分かけながら、車体・足まわり・下まわりの順番に上から下へ汚れを洗い落とす
- 車体はスポンジやセーム皮のようなやわらかいもので洗う
- 汚れがひどいときはカーシャンプーを使用し、水で十分洗い流す
- 水をふき取る
- 水のはじきが悪くなったときは、ワックスがけを行う

ボディの表面の汚れを落としても水が玉状にならないときは、車体の温度が冷えているときにワックスをかける（およそ体温以下を目安としてください）

なお、ボディコート・ホイールコート・ガラスコートなど、ケミカル商品を施工された場合は、手入れ方法が異なります。

詳しくはスバル販売店にお問い合わせください。

知識

■ 自動洗車機を使うとき

- お車を洗う前に：
 - ・ ドアミラーを格納して、洗車機の「ドアミラーを洗車しない」モードを選択する
 - ・ パワースライドドアを OFF にする（→ P. 127）
 - ・ アンテナを取りはずす
- 車両前側から洗車してください。また、走行前は必ずアンテナをもとどおりに取り付けて、ドアミラーを復帰状態にもどしてください。
- ブラシで車体に傷が付き、塗装を損なうことがあります。
 - 洗車機によっては、リヤスポイラーが引っかかり洗車できない場合や、傷付いたり、破損するおそれがあります。

■ 高圧洗浄機を使うとき

室内に水が入るおそれがあるため、ノズルの先端をドアやガラスの開閉部に近付けすぎたり、同じ場所に連続してあてたりしないでください。

■ 洗車などでお車に水をかけたとき

アクセスキーが作動範囲内にある場合、洗車などで水圧にてドアハンドル表面にあるドアハンドルのスイッチが押され、ドアが解錠・施錠することがあります。（解錠された場合でも、ドアの開閉操作がなければ約 30 秒後に自動的に施錠されます）

■アルミホイール★

- 中性洗剤を使用し、早めに汚れを落としてください。
- 洗剤を使用したあとは放置せずに水で十分洗い流してください。
- 塗装の損傷を防ぐため、次のことを必ずお守りください。
 - ・酸性・アルカリ性および研磨剤の入った洗剤を使用しない
 - ・硬いブラシを使用しない
 - ・夏場の走行後や駐車後でホイールが熱いときは、洗剤を使用しない
- 光沢を失うおそれがあるため、スチーム洗浄などで熱湯がホイールに直接かからないようにしてください。

■バンパーについて

研磨剤入りの洗剤でこすらないようにしてください。

⚠ 警告

■洗車をするとき

エンジンルーム内に水をかけないでください。
電気部品などに水がかかると、車両火災につながるおそれがあり危険です。

■排気管について

排気管は排気ガスにより高温になります。洗車などでふれる場合は、十分に排気管が冷めてからにしてください。やけどをするおそれがあります。

⚠ 注意

■塗装の劣化や車体・部品（ホイールなど）の腐食を防ぐために

- 次のような場合は、ただちに洗車してください。
 - ・海岸地帯を走行したあと
 - ・凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
 - ・コールトール・花粉・樹液・鳥のふん・虫の死がいなどが付着したとき
 - ・ばい煙・油煙・粉じん・鉄粉・化学物質などの降下が多い場所を走行したあと
 - ・ほこり・泥などで激しく汚れたとき
 - ・塗装にベンジンやガソリンなどの有機溶剤が付着したとき
- 塗装に傷が付いた場合は、早めに補修してください。
- ホイール保管時は、腐食を防ぐために汚れを落とし、湿気の少ない場所へ保管してください。

 注意**■ ランプの清掃**

- 注意して洗ってください。有機溶剤や硬いブラシは使用しないでください。ランプを損傷させるおそれがあります。
- ランプにワックスがけを行わないでください。レンズを損傷するおそれがあります。

■ ドアミラーの損傷を防ぐために

自動洗車機を使用するときは、ドアミラーを格納して、洗車機の「ドアミラーを洗車しない」モードを選択してください。

■ アンテナの取り扱いについて

アンテナを取り扱うときは無理な力をかけないでください。ボディの変形やアンテナの破損などにつながるおそれがあります。

■ アンテナの損傷を防ぐために

- 車庫の天井などにアンテナがあたるときは格納してください。
- 次のようなときはアンテナを取りはずしてしてください。
 - ・ カーカバーをかけるとき
 - ・ 自動洗車機を使用するとき
 - ・ 降雪時に長時間駐車するとき

■ アンテナの取りはずしについて

- 通常走行時には、必ずアンテナを取り付けてください。
- 自動洗車機を使用するときなどアンテナを取りはずしたときは、アンテナを紛失しないように注意してください。

■ 高圧洗浄機を使用するときは

- 洗車時に高圧洗浄機でカメラ★やカメラ周辺に直接水をあてないでください。高い水圧により衝撃が加わり、装備が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ノズルの先端を、次の部品の結合部やブーツ類（ゴム又は樹脂製のカバー）、コネクタ類に近付けすぎないでください。高い水圧がかかることにより、部品が損傷するおそれがあります。
 - ・ 駆動系部品
 - ・ ステアリング部品
 - ・ サスペンション部品
 - ・ ブレーキ部品
- モール、バンパーなど樹脂部分は変形、損傷するおそれがあるため、洗浄ノズルと車体との距離を 30cm 以上離してください。また、同じ場所へ連続して水をあてないでください。
- フロントウィンドウガラス下部へ連続して水をあてないでください。エアコンの空気取り入れ口があり、エアコンが正常に作動しなくなるおそれがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

内装の手入れ

手入れは、次の要領で実施してください。

室内の手入れ

- 掃除機などでほこりを取り除き、水またはぬるま湯を含ませた布でふき取る
- 汚れが落ちない場合は、中性洗剤を水で約 1% に薄めてやわらかい布に含ませふき取る
水を浸した布を固くしぼり、表面に残った洗剤・水分をふき取る

本革部分の手入れ

- 掃除機などでほこりや砂を取り除く
- 薄めた洗剤を柔らかい布に含ませ、汚れをふき取る
ウール用の中性洗剤を水で約 5% に薄めて使用してください。
- 水を浸した布を固くしぼり、表面に残った洗剤をふき取る
- 乾いたやわらかい布で表面の水分をふき取り、風通しのよい日陰で乾燥させる

知識

■ 本革部分の手入れの目安

品質を長く保つため、年に 2 回程度の定期的な手入れをおすすめします。

■ カーペットの洗浄

カーペットは常に乾いた状態を保つことをおすすめします。洗浄には、市販の泡タイプクリーナーがご利用になれます。

スポンジまたはブラシを使用して泡をカーペットに広げ、円を描くように塗り込んでください。直接水をかけたりせず、ふき取ってから乾燥させてください。

■ シートベルト

刺激の少ない洗剤とぬるま湯で、布やスポンジを使って洗ってください。
シートベルトのすり切れ・ほつれ・傷などを定期的に点検してください。

■ スーパーUV・IR カット機能付きフロントクォーター/ フロントドアガラス★について

- フロントクォーター/ フロントドアガラスが汚れているときは、早めに水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいて清掃してください。
- フロントドアガラスの汚れがひどいときは、フロントドアガラスの開閉をくり返さないでください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 警告**■車両への水の浸入**

- 車内に水をかけたり液体をこぼしたりしないでください。
電気部品などに水がかかると、故障や車両火災につながるおそれがあります。
- SRS エアバッグの構成部品や電気配線をぬらさないでください。(→ P. 35)
電気の不具合により、SRSエアバッグが作動したり、正常に機能しなくなり、
重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■内装の手入れをするときは（特にインストルメントパネル）

艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルがフロントウインドウガラスへ映り込み、運転者の視界をさまたげ思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■シート周辺の注意

車内を清掃するときや、シートの下に落としたものを拾うときなど、シートの下に手を入れるときは十分注意してください。シートレール、シートの土台部分などにあたり、けがをするおそれがあります。

 注意**■清掃するとき使用する溶剤について**

- 変色・しみ・塗装はがれの原因になるため、次の溶剤は使用しないでください。
 - ・シート以外の部分：ベンジン・ガソリンなどの有機溶剤や酸性またはアルカリ性の溶剤・染色剤・漂白剤
 - ・シート部分：シンナー・ベンジン・アルコール、その他の酸性やアルカリ性の溶剤
- 艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。
インストルメントパネルやその他内装の塗装のはがれ・溶解・変形の原因になるおそれがあります。
- メーターのレンズカバーにガラスクリーナーやアルコールなどを使用しないでください。
変色・ひび割れの原因になるおそれがあります。

 注意**■ 革の傷みを避けるために**

皮革の表面の劣化や損傷を避けるために、次のことをお守りください。

- 革に付着したほこりや砂はすぐに取り除く
- 直射日光に長時間さらさないようにする
特に夏場は日陰でお車を保管する
- ビニール製・プラスチック製・ワックス含有のものは、車内が高温になると革に張り付くおそれがあるため、革張りの上に置かない

■ 床に水がかかると

水で洗わないでください。

オーディオやフロアカーペット下にある電気部品に水がかかると、お車の故障の原因となったり、ボディが錆びるおそれがあります。

■ フロントウィンドウガラスの内側を清掃するとき

ステレオカメラ（→ P. 211）にさわらないように注意してください。

誤って傷を付けたり衝撃を与えたりすると、スマートアシストⅢの誤作動や故障につながるおそれがあります。

■ リヤウィンドウガラスの内側を掃除するときは

- 熱線を損傷するおそれがあるため、ガラスクリーナーなどを使わず、熱線にそって水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいてください。
- 熱線を引っかいたり、損傷させないように気を付けてください。

■ スーパーUV・IR カット機能付きフロントクォーター / フロントドアガラス★を清掃するときは

フロントクォーター / フロントドアガラスを清掃するときは、コンパウンドまたは研磨剤入り用品（ガラスクリーナー・洗剤・ワックスなど）や鋭利なもの、硬いものを使用しないでください。コーティングを損傷させるおそれがあります。

■ 液体芳香剤を使用するときは

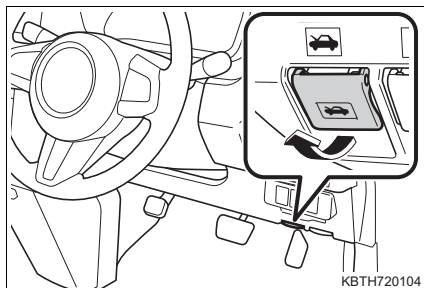
こぼれないように容器を確実に固定してください。また、インストルメントパネルの上やメーターの近くに置かないでください。

液体がこぼれて樹脂部品や布材、メーターのレンズカバーに付着すると、変色・ひび割れの原因になるおそれがあります。

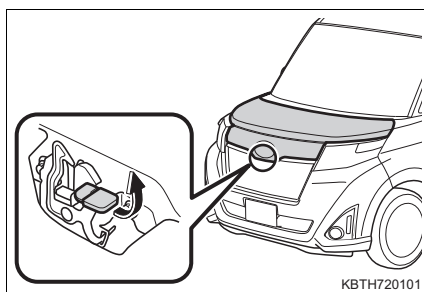
ボンネット

室内からロックを解除して、ボンネットを開けます。

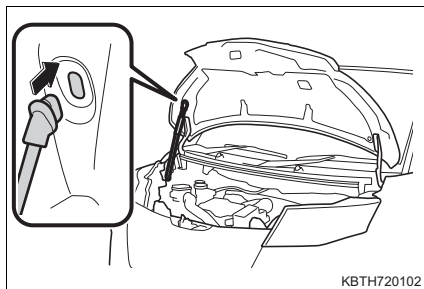
- 1 ボンネット解除レバーを引く
ボンネットが少し浮き上がります。



- 2 レバーを引き上げて、ボンネットを開ける



- 3 ボンネットステーをステー穴に挿し込む



知識

■ バッテリー端子をはずすときは

バッテリー端子をはずすと、コンピューターに記憶されている情報が消去されます。バッテリー端子をはずすときは、スバル販売店にご相談ください。

警告**■ 走行前の確認**

ボンネットがしっかりロックされていることを確認してください。
ロックせずに走行すると、走行中にボンネットが突然開いて、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ けがを防ぐために

走行後のエンジンルーム内は高温になっています。熱くなった部品にさわるとやけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

■ エンジンルーム点検後の確認

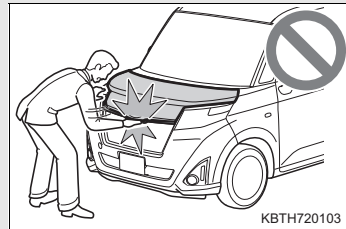
エンジンルーム内に工具や布を置き忘れていないことを確認してください。
点検や清掃に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れてしまうと、故障の原因になったり、また、エンジンルーム内は高温になるため車両火災につながるおそれがあり危険です。

■ オイルを点検・交換するとき

オイルがオルタネーターなどに付着しないように行ってください。オイルが付着したときは、ただちにふき取ってください。オイルが付着していると、車両火災につながるおそれがあり危険です。

■ ボンネットを閉めるとき

手などを挟まないように注意してください。
重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



 注意**■ ボンネットを開けるとき**

フロントワイパーアームを起こしたままボンネットを開けないでください。ワイパーがボンネットに当たり、傷付くことがあります。

■ ボンネットへの損傷を防ぐために

ボンネットを閉めるときは、体重をかけるなどして強く押さないでください。ボンネットがへこむおそれがあります。

■ ボンネットを閉めるときは

ボンネットステーをステー穴から取りはずし、クリップに正しくもどしてください。

ステーを正しくもどさない状態でボンネットを閉めると、ボンネットやステーが損傷するおそれがあります。

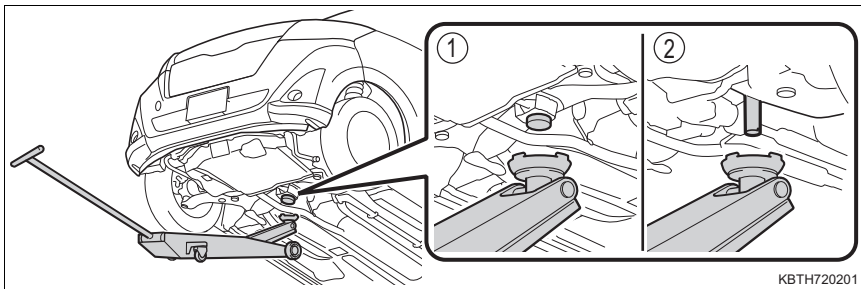
ガレージジャッキ

ガレージジャッキを使用するときは、ガレージジャッキに付属の取扱説明書に従って、安全に作業してください。

ガレージジャッキを使用して車両を持ち上げるときは、正しい位置にガレージジャッキをセットしてください。

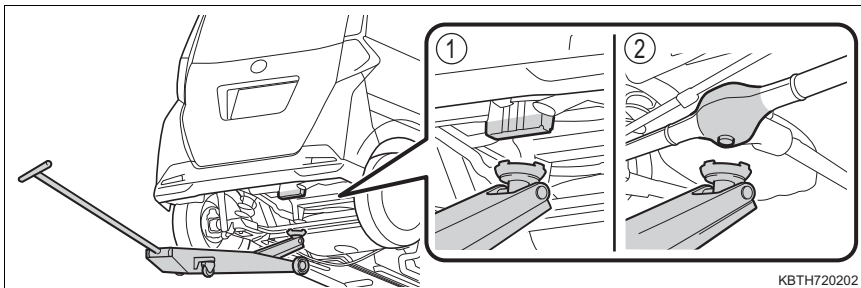
正しい位置にセットしないと、車両が損傷したり、けがをするおそれがあります。

◆ フロント側



- ① FF 車（前輪駆動）
- ② 4WD 車（4 輪駆動）

◆ リヤ側



- ① FF 車（前輪駆動）
- ② 4WD 車（4 輪駆動）

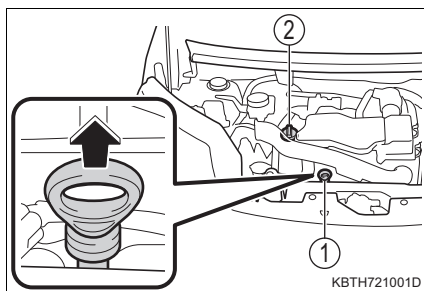
エンジンオイルについて

点検

エンジンオイルの量は、定期的に点検してください。また、高速走行を行う前は、必ず点検してください。

点検はオイルレベルゲージを抜きとって行います。

- ① オイルレベルゲージ
- ② オイル注入口



エンジンルームのイラストは代表例です。

知識

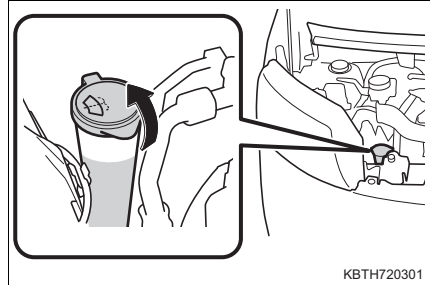
■エンジンオイルについて

- エンジンオイルはエンジン内部の潤滑、冷却などをする働きがあります。通常の運転をしていてもピストンおよび吸気、排気バルブを潤滑しているオイルの一部が燃焼室などで燃えるためオイル量は走行と共に減少します。また、減少する量は走行条件などにより異なります。
- 外気温が低いときに、オイル注入口の裏側や、オイル注入口にエンジンオイルが白いクリーム状になって付着していることがあります。
これは、エンジン内部の水蒸気が冷却されて水滴になり、エンジンオイルと混ざることにより発生するもので、外気温の上昇、エンジンの暖機などで水分が蒸発すると解消します。
この現象によるエンジンオイルの変質はなく、そのまま使用しても、問題はありません。

ウォッシャー液の補充

補充のしかた

ウォッシャー液が不足しているときは、ウォッシャー液を補充してください。



⚠ 警告

■ ウォッシャー液を補充するとき

エンジンが熱いときやエンジンがかかっているときは、ウォッシャー液を補充しないでください。

ウォッシャー液にはアルコール成分が含まれているため、エンジンなどにかかると出火するおそれがあり危険です。

⚠ 注意

■ ウォッシャー液について

ウォッシャー液のかわりに、せっけん水やエンジン不凍液などを入れないでください。塗装にしみが付くことや、ポンプが故障してウォッシャー液が出なくなるおそれがあります。

■ ウォッシャー液のうすめ方

必要に応じて水でうすめてください。水とウォッシャー液の割合は、ウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にしてください。

タイヤについて

タイヤの点検は、法律で義務付けられています。日常点検として必ずタイヤを点検してください。

タイヤの摩耗を均等にし寿命をのばすために、タイヤローテーション（タイヤ位置交換）を 5,000km ごとに行ってください。

タイヤの点検項目

タイヤは次の項目を点検してください。

点検方法は別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

- タイヤ空気圧

空気圧の点検は、タイヤが冷えているときに行ってください。

- タイヤの亀裂・損傷の有無

- タイヤの溝の深さ

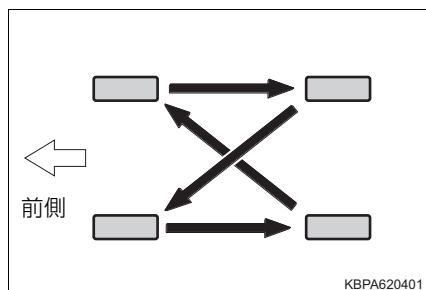
- タイヤの異常摩耗（極端にタイヤの片側のみが摩耗していたり、摩耗程度が他のタイヤと著しく異なるなど）の有無

タイヤローテーションのしかた

図で示すようにタイヤのローテーションを行います。

タイヤの摩耗状態を均一にし、寿命をのばすために、スバルは定期点検ごとのタイヤローテーションをおすすめします。

タイヤローテーションを行ったあとは、指定された空気圧に調整してください。

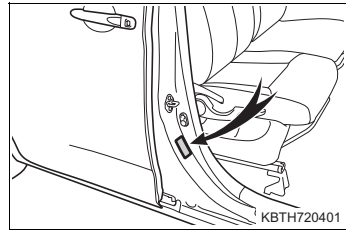


 知識

■ タイヤ空気圧の数値

タイヤサイズ	タイヤが冷えているときの空気圧 kPa (kg/cm ²)	
	前輪	後輪
165/65R14 79S	260 (2.6)	260 (2.6)
175/55R15 77V	250 (2.5)	250 (2.5)

タイヤの指定空気圧は、運転席側のタイヤ空気圧ラベルで確認することができます。



■ タイヤ空気圧の点検

- 1ヶ月に1回程度は、空気圧ゲージによる点検をおすすめします。
- 空気圧が適正でない場合は、必ず指定空気圧に調整してください。

■ タイヤ関連の部品を交換するとき

タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットを交換するときは、スバル販売店にご相談ください。

■ タイヤローテーションについて

タイヤパンク応急修理キット装着車は、スペアタイヤが搭載されていないため、スペアタイヤを利用するタイヤローテーションができません。スバル販売店にご相談ください。

 警告**■点検・交換時の警告**

必ず次のことをお守りください。

お守りいただかないと、駆動系部品の損傷や不安定な操縦特性により、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- タイヤはすべて同一メーカー・同一銘柄・同一トレッドパターンで、摩耗差のないタイヤを使用する
- 摩耗差の著しいタイヤは使用しない
- メーカー指定サイズ以外のタイヤやホイールを使用しない
- サマータイヤ・オールシーズンタイヤ（マッド&スノータイヤ）・冬用タイヤ（スタッドレスタイヤ）を混在使用しない
- ラジアルタイヤ・バイアスベルテッドタイヤ・バイアスプライタイヤを混在使用しない
- 他の車両で使用していたタイヤを使用しない
以前どのように使用されていたか不明なタイヤは使用しない

■異常があるタイヤの使用禁止

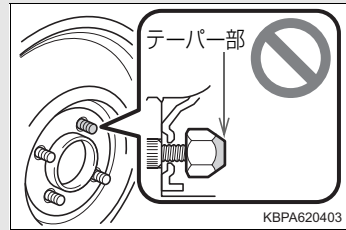
異常があるタイヤをそのまま装着していると、走行時にハンドルを取られたり、異常な振動を感じることがあります。また、次のような事態になり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 破裂などの修理できない損傷を与える
- 車両が横すべりする
- 車両の本来の性能（燃費・車両の安定性・制動距離など）が発揮されない

⚠ 警告

■ タイヤ交換時の注意

- 必ずナットのテーパ部を内側にして取り付けてください。テーパ部を外側にして取り付けると、ホイールが破損しはすれてしまい、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- ねじ部にオイルやグリースをぬらないでください。
ナットを締めるときに必要以上に締め付けられ、ボルトが破損したりディスクホイールが損傷するおそれがあります。
またナットがゆるみホイールが落下して、重大な事故につながるおそれがあります。オイルやグリースがねじ部についている場合はふき取ってください。

■ 異常があるホイールの使用禁止

亀裂や変形などがあるホイールは使用しないでください。
走行中にタイヤの空気が抜けて、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

■ 走行中に空気もれが起こったら

走行を続けしないでください。
タイヤまたはホイールが損傷することがあります。

■ 悪路走行に対する注意

段差や凹凸のある路上を走行するときは注意してください。
タイヤの空気が抜けて、タイヤのクッション作用が低下します。また、タイヤ・ホイール・車体などの部品も損傷するおそれがあります。

タイヤの交換

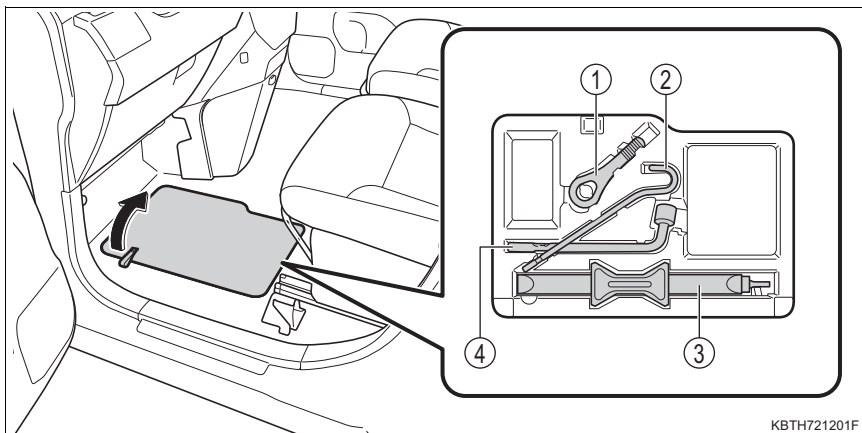
ジャッキを使用してお車を持ち上げるときは、正しい位置にジャッキを取り付けてください。

正しい位置に取り付けないと、車両が損傷したり、けがをするおそれがあります。

ジャッキで車体を持ち上げる前に

- 地面が固く平らで安全な場所に移動する
- パーキングブレーキをかける
- セレクトレバーをPに入れる
- エンジンを停止する

工具とジャッキの位置



KBTH721201F

- | | |
|------------|--------------|
| ① けん引フック | ③ ジャッキ |
| ② ジャッキハンドル | ④ ホイールナットレンチ |

 警告**■ ジャッキの使用について**

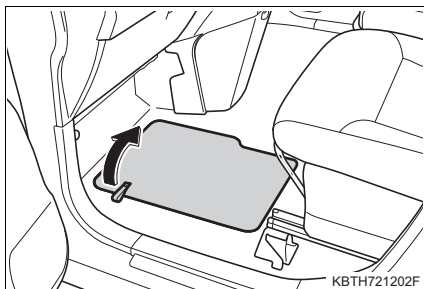
次のことをお守りください。

ジャッキの取り扱いを誤ると、お車が落下して重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

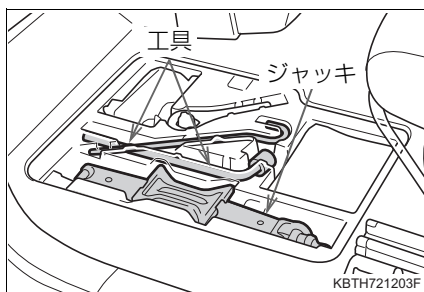
- ジャッキはタイヤ交換・タイヤチェーン取り付け・取りはずし以外の目的で使
用しない
- 備え付けのジャッキは、お客様のお車にしか使うことができないため、他の車
に使ったり他の車のジャッキをお客様のお車に使用したりしない
- ジャッキはジャッキセット位置（切り欠きと切り欠きの間）に正しくかける
- ジャッキで支えられているお車の下に体を入れない
- 車がジャッキで支えられている状態で、エンジンをかけたりお車を走らせない
- 車内に人を乗せたままお車を持ち上げない
- お車を持ち上げるときは、ジャッキの上または下にものを置かない
- お車を持ち上げるときは、タイヤ交換できる高さ以上に上げない
- お車の下にもぐり込んで作業する場合は、ジャッキスタンドを使用する
- お車を下げるときは、周囲に人がいないことを確認し、人がいるときは声をか
けてから下げる

ジャッキと工具の取り出し方

- 1** フロアボードを取りはずす

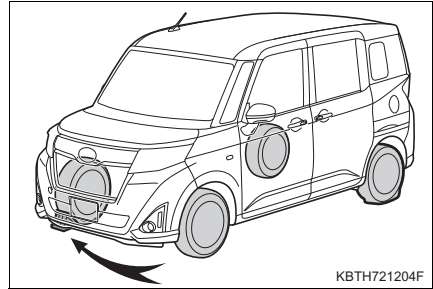


- 2** ジャッキと工具を取り出す



タイヤの交換

1 輪止めをする

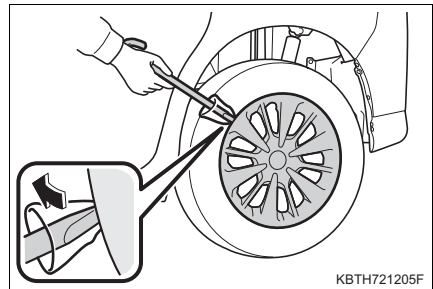


KBTH721204F

交換するタイヤ		輪止めの位置
前輪	左側	右側後輪うしろ
	右側	左側後輪うしろ
後輪	左側	右側前輪前
	右側	左側前輪前

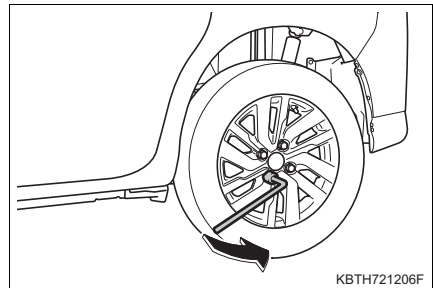
2 ホイールキャップをはずす※

※ スチールホイールのみ
傷が付くのを防ぐため、ジャッキハンドルの先端に布などを巻いて保護してください。



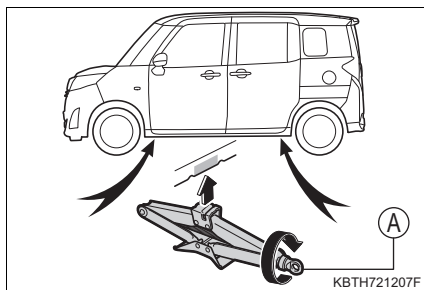
KBTH721205F

3 ナットを少し（約 1 回転）ゆるめる



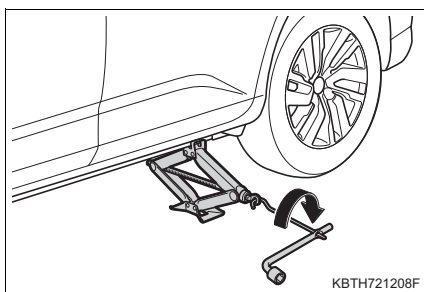
KBTH721206F

- 4 ジャッキの A 部を手でまわして、ジャッキ溝をジャッキセット位置（切り欠きと切り欠きの間）にしっかりかける



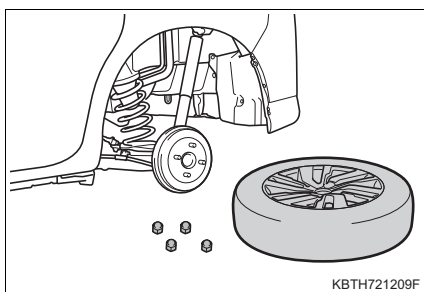
- 5 タイヤが地面から少し離れるまで、車体をあげる

ジャッキハンドルとホイールナットレンチを図のように組み合わせて使用してください。



- 6 ナットすべてを取りはずし、タイヤを取りはずす

タイヤを直接地面に置くときは、ホイールの意匠面に傷が付かないよう意匠面を上にします。



⚠ 警告

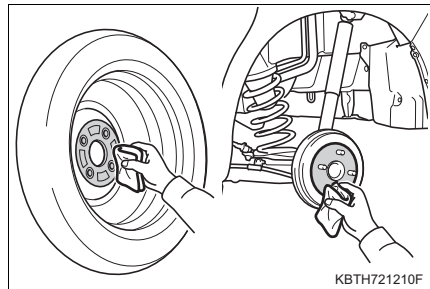
■ タイヤ交換について

- 走行直後、ディスクホイールやブレーキまわりなどにはふれないでください。走行直後のディスクホイールやブレーキまわりは高温になっているためタイヤ交換などで手や足などがふれると、やけどをするおそれがあります。
- 次のことをお守りいただかないとナットがゆるみ、ホイールがはずれ落ち、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
 - ・ ねじ部やナットのテーパ部オイルやグリースを塗らない
ナットを締めるときに必要以上に締め付けられ、ボルトが破損したり、ディスクホイールが損傷するおそれがあります。またナットがゆるみホイールが落下するおそれがあります。オイルやグリースがねじ部に付いている場合はふき取ってください。
 - ・ ホイールの交換後は、すぐに $103\text{N} \cdot \text{m}$ ($1050\text{kgf} \cdot \text{cm}$) の力でナットを締める
 - ・ タイヤの取り付けには、使用しているホイール専用のナットを使用する
 - ・ ボルトやナットのねじ部や、ホイールのボルト穴につぶれや亀裂などの異常がある場合は、スバル販売店で点検を受ける
 - ・ ナットを取り付けるときは、必ずテーパ部を内側にして取り付ける (→ P. 351)

タイヤの取り付け

1 ホイール接触面の汚れや異物をふき取る

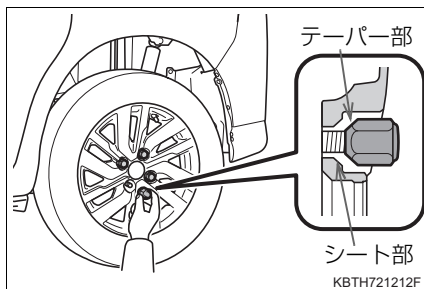
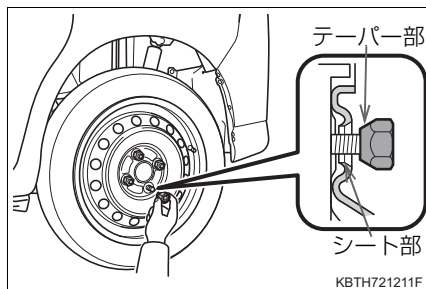
ホイール接触面が汚れていると、走行中にナットがゆるみ、タイヤがはずれるおそれがあります。



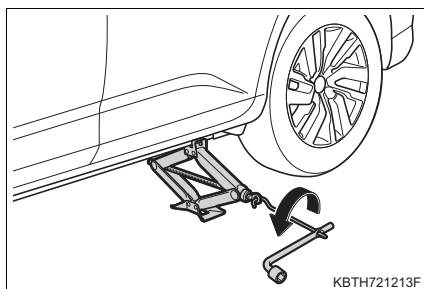
- 2 2 タイヤを取り付け、がたつかない程度まで手でナットを仮締めする
 ナットのテーパ部がホイールのシート部に軽くあたるまでまわす

▶ スチールホイール装着車

▶ アルミホイール装着車

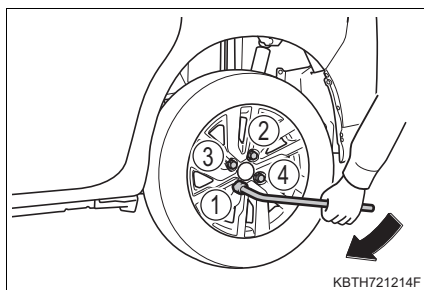


- 3 3 車体を下げる



- 4 4 図の番号順でナットを 2、3 度
 しっかり締め付ける

締め付けトルク：
 $103\text{N} \cdot \text{m}$ ($1050\text{kgf} \cdot \text{cm}$)

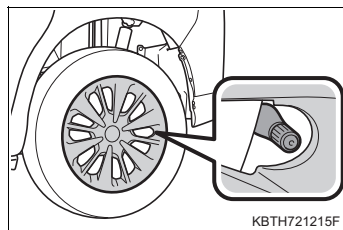


- 5 5 すべての工具・ジャッキを収納する

 知識

■ ホイールキャップを取り付けるときは（スチールホイール装着車）

タイヤのバルブ（空気口）に切り欠きを合わせてホイールキャップを確実に取り付けてください。



タイヤ空気圧について

タイヤの空気圧を適正に維持するために、タイヤの空気圧点検を月に 1 回以上実施してください。(→ P. 453)

知識

■ タイヤ空気圧が適正でない場合

適切に調整されていないタイヤ空気圧で走行すると、次のようなことが起こる場合があります。

- 燃費の悪化
- 乗り心地や操縦安定性の低下
- 摩耗によるタイヤ寿命の低下
- 安全性の低下

ひんぱんにタイヤ空気圧が低下する場合は、スバル販売店でタイヤの点検を受けてください。

■ タイヤ空気圧の点検のしかた

タイヤ空気圧の点検の際は、次のことをお守りください。

- タイヤが冷えているときに点検する
- タイヤ空気圧ゲージを必ず使用する
タイヤの外観だけでは空気圧が適正かどうか判断できません。
- 走行後はタイヤの発熱により空気圧が高くなります。異常ではありませんので減圧しないでください。
- 荷物を積んだり、多人数で乗車するときは荷重を不均等につけないようにする

 警告**■ タイヤの性能を発揮するために**

適正なタイヤ空気圧を維持してください。

タイヤ空気圧が適正に保たれていないと、次のようなことが起こるおそれがあり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 過度の摩耗
- 偏摩耗
- 操縦安定性の低下
- タイヤの過熱による破裂
- タイヤとホイールのあいだからの空気もれ
- ホイールの変形、タイヤの損傷
- 走行時にタイヤが損傷する可能性の増大
(路上障害物、道路のつなぎ目や段差など)

 注意**■ タイヤ空気圧の点検・調整をしたあとは**

タイヤのバルブキャップを確実に取り付けてください。

バルブキャップをはずしていると、ほこりや水分がバルブに入り空気がもれ、タイヤの空気圧が低下するおそれがあります。

エアコンフィルターの交換

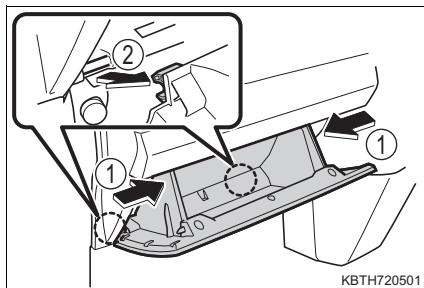
エアコンを快適にお使いいただくために、エアコンフィルターを定期的に交換してください。

交換のしかた

1 プッシュエンジンスイッチを OFF にする

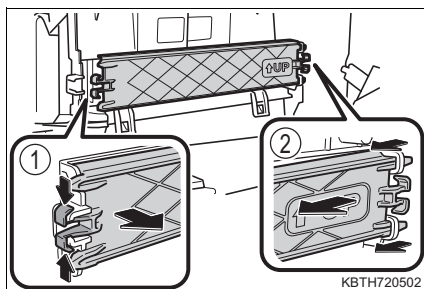
2 グローブボックスを取りはずす

- ① 側面を内側に押し、上部のツメを片側ずつはずす
- ② 下部のツメをはずす



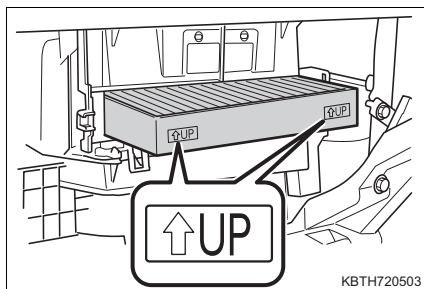
3 フィルターカバーを取りはずす

- ① フィルターカバーの固定を解除する
- ② フィルターカバーを矢印の方向にずらし、フィルターカバーを抜く



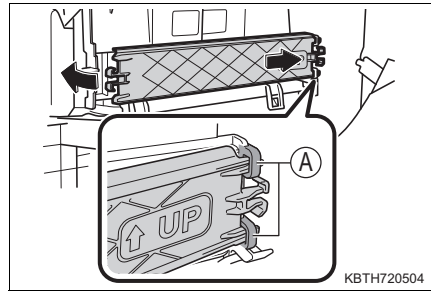
4 フィルターを取りはずし、新しいフィルターと交換する

「↑ UP」マークの矢印が上を向くように取り付けます。



5 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付け

- ・ フィルターカバーは A 部に入れてから、取り付けてください。
- ・ 「↑ UP」マークの矢印が上を向くように取り付けます。



KBTH720504

 知識

■ **エアコンフィルターの交換について**

エアコンフィルターは次の時期を目安に交換してください。

20,000km[10,000km※]ごと

※ 大都市や寒冷地など、交通量や粉じんの多い地区

■ **エアコンの風量が減少したときは**

フィルターの目詰まりが考えられますので、フィルターを交換してください。

 注意

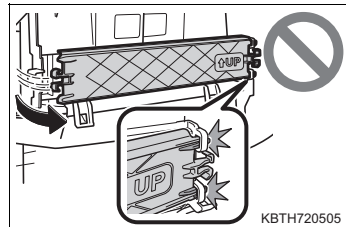
■ **エアコンを使用するときの注意**

- フィルターを装着せずにエアコンを使用すると、故障の原因になることがあります。必ずフィルターを装着してください。
- フィルターは交換するタイプです。
水洗いやエアブローによる清掃はしないでください。

■ **フィルターカバーの破損を防ぐために**

フィルターカバーの固定を解除するとき、フィルターカバーを矢印の方向に動かす際は、ツメに無理な力が加わらないよう注意してください。

ツメが破損するおそれがあります。



KBTH720505

ワイパーゴムの交換

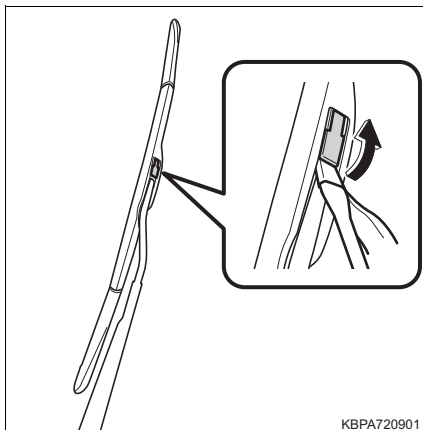
ワイパーゴムを交換する際は、次の要領でワイパーの各部品を操作してください。

フロントワイパー

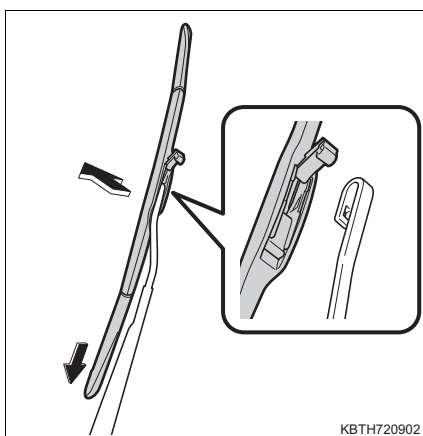
■ フロントワイパーブレードの脱着

- 1 ワイパーアームを起こし、マイナスドライバーなどを挿し込んで、カバーを起こす

傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーなどの先端に布などを巻いて保護してください。



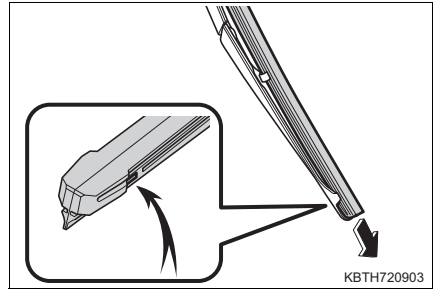
- 2 ワイパーブレードをスライドさせ、ワイパーアームから取りはずす



- 3 取り付けるときは、逆の手順で取り付ける

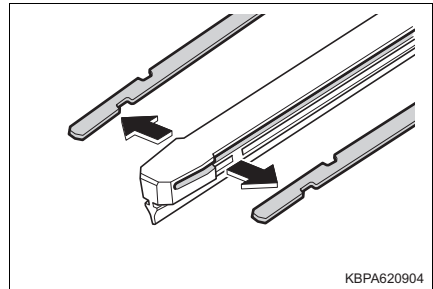
■ フロントワイパーゴムの交換

- 1 ワイパーゴムを引っ張り、ストッパーをワイパーブレードのツメからはずし、そのまま引き抜く



- 2 古いワイパーゴムから金属プレート 2 枚を取りはずし、新しいワイパーゴムに付けかえる

ブレードの切り欠きと反りの向きに注意して取り付けてください。

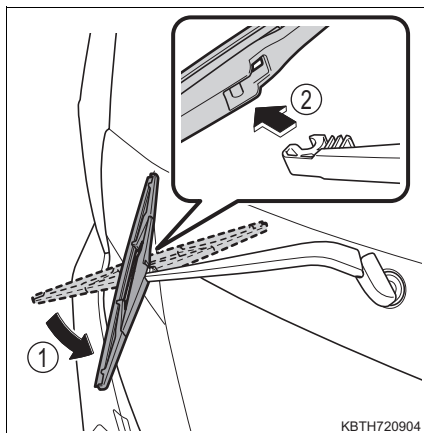


- 3 取り付けるときは、ワイパーゴムのストッパーがないほうからワイパーブレードに挿入する
- 4 ワイパーゴムのストッパーをワイパーブレードのツメで確実に固定する

リヤワイパー

■ リヤワイパーブレードの脱着

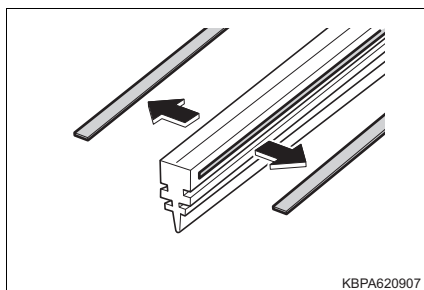
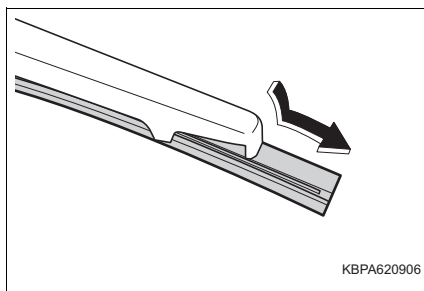
- 1 ワイパーアームを起こし、ワイパーブレードを取りはずす
 - ① ツメのかん合がはすれる位置までワイパーブレードを回す
 - ② ワイパーアームからワイパーブレードを取りはずす



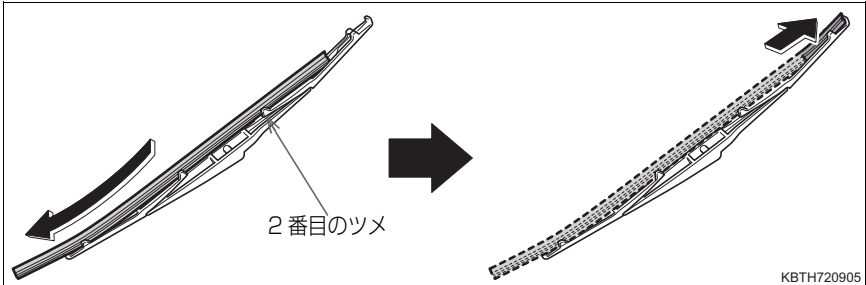
- 2 ワイパーブレードを取り付けるときは 1 と逆の手順で取り付ける
ワイパーブレードを取り付けたあとは、接続部が確実にロックされていることを確認してください。

■ リヤワイパーゴムの交換

- 1 ワイパーブレードのストッパからワイパーゴムを引き出し、そのまま引き抜く
- 2 古いワイパーゴムから金属プレート 2 枚を取りはずし、新しいワイパーゴムに付けかえる

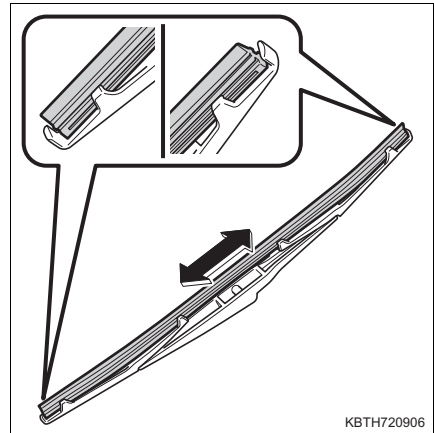


- 3 ワイパーブレードの 2 番目のツメを通してワイパーゴムを挿入し、3 つのツメに通したらストッパーからはみ出させ、残った 1 つのツメに通すワイパーゴムにウォッシャー液を少量塗布すると、溝に入れやすくなります。



- 4 ワイパーブレードのツメがワイパーゴムの溝に入っているか確認する

- ・ワイパーゴムの溝にワイパーブレードのツメが入っていない場合は、ワイパーゴムをつまみ、数回スライドすると溝に入れることができます。
- ・ワイパーゴムの中央部を軽く持ち上げると、スライドさせやすくなります。



知識

■ワイパーブレード・ワイパーゴムの取り扱いについて

誤った取り扱いをすると、ワイパーブレード、またはワイパーゴムが損傷するおそれがあります。ご自身でのワイパーブレード・ワイパーゴムの交換に不安がある場合は、スバル販売店にご相談ください。

⚠ 注意

- ワイパーを交換するときはツメの破損に注意してください。
- ワイパーブレードからワイパーアームを取りはずした後はリヤウインドウガラスが傷付かないように、リヤウインドウガラスとワイパーアームのあいだに布などを挟んでください。
- 無理にワイパーゴムを引き出したり、ワイパーゴムの金属プレートが変形しないようにしてください。

キーの電池交換

電池が消耗しているときは、新しい電池に交換してください。

用意するもの

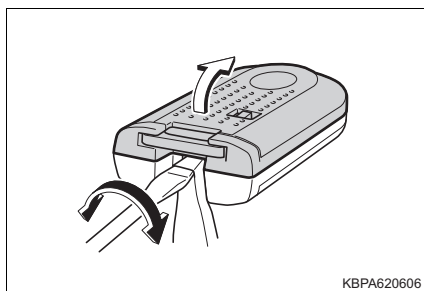
- 薄刃のマイナスドライバーなど（くぼみに入る程度の幅のもの）
- リチウム電池 CR2032

電池交換のしかた

1 カバーをはずす

スバルマーク側を上にはずしてください。

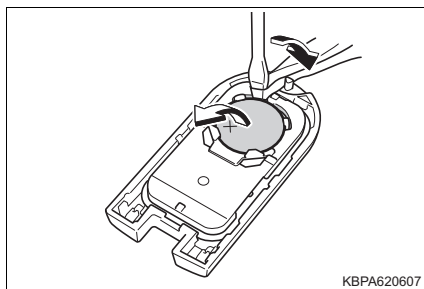
傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーなどの先端に布などを巻いて保護してください。



2 消耗した電池を取り出す

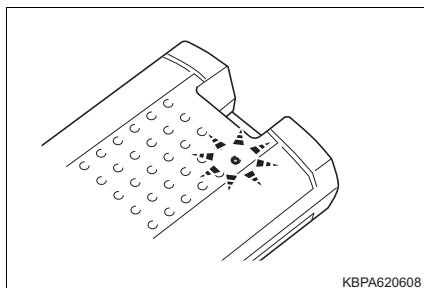
カバーをはずしたときに、上側のカバーにアクセスキーのモジュール（基板）が貼り付き、電池面が隠れている場合があります。この場合、アクセスキーのモジュール（基板）をひっくり返し、図のように電池が見える状態で作業してください。

新しい電池は＋極を上にして取り付けます。



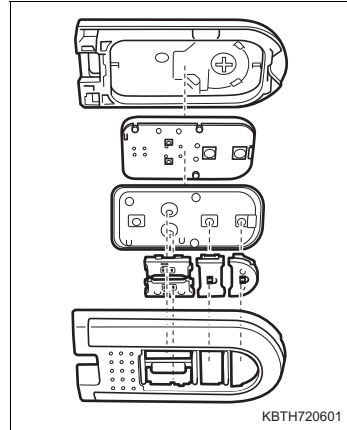
3 カバーを取り付ける

スイッチを押したとき、インジケータが点滅することを確認する



知識

- **アクセスキーの部品がばらけたときは**
図を参考に組み付けてください。



■ リチウム電池 CR2032 の入手

電池はスバル販売店・時計店およびカメラ店などで購入できます。

■ アクセスキーの電池が消耗していると

次のような状態になります。

- キーレスアクセス・電波式リモコン機能が作動しない
- 作動距離が短くなる

知識

- 液漏れなどを防ぐため、電池の+極と-極は正しく取り付けてください。
- 故障の原因となりますので、次のことをお守りください。
 - ・ 端子部分などを曲げない
 - ・ 水、油などでぬらさない
 - ・ ゴミなどの異物を入れない
- 電池はスバル販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。
- 電池交換はスバル販売店に依頼することをおすすめします。
- 電池は新品を使用してください。
- 電池交換後はリモコンの機能が正常であることを確認してください。
- ボタン電池を廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁してください。電池が重なり合ったり、他の金属製品を混ぜたりすると電池がショートして、漏液、発熱、破裂するおそれがあります。また、自治体が条例などを定めている場合は、その条例にしたがってください。

 警告**■取りはずした電池と部品について**

お子さまにさわらせないでください。

部品が小さいため、誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 注意**■交換後、正常に機能させるために**

次のことを必ずお守りください。

- ぬれた手で電池を交換しない
錆の原因になります。
- 電池以外の部品に、ふれたり動かしたりしない
- 電極を曲げない
- 電池交換をする場合は、必ず体や衣類に帯電している静電気を放電してください。静電気により、アクセスキーが損傷するおそれがあります。静電気を放電する場合は、静電気が除去できる物をあらかじめ用意しておくか、金属部分などに手を触れてください。

ヒューズの点検・交換

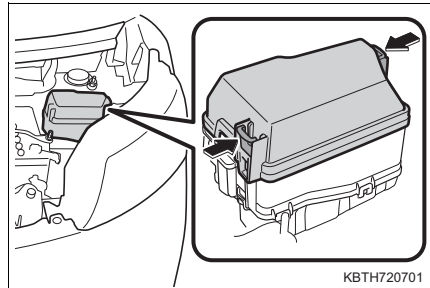
ランプがつかないときや電気系統の装置が働かないときは、ヒューズ切れが考えられます。ヒューズの点検を行ってください。

1 ブッシュエンジンスイッチを OFF にする

2 ヒューズボックスを開ける

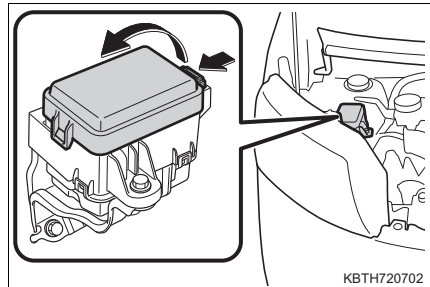
▶ エンジンルーム（ヒューズボックス A）

ツメを押しながら、カバーを持ち上げる



▶ エンジンルーム（ヒューズボックス B）

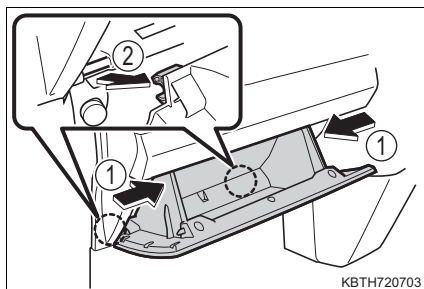
ツメを押しながら、カバーを持ち上げる



▶ 助手席足元

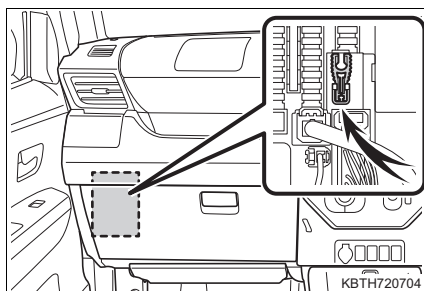
グローブボックスをはずす

- ① 側面を内側に押しして上部のツメを片側ずつはずす
- ② 下部のツメをはずす



3 ヒューズを引き抜く

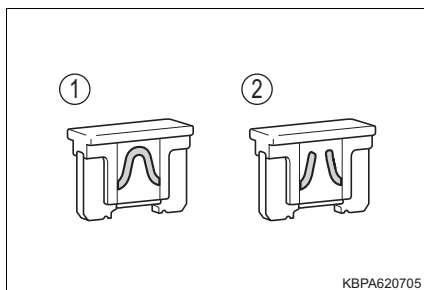
ヒューズはずしでヒューズを引き抜くことができます。



4 ヒューズが切れていないか点検する

- ① 正常
- ② ヒューズ切れ

ヒューズボックスの表示に従い、規定容量のヒューズに交換します。



5 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付け

 知識

■ ヒューズを交換したあとは

- 交換してもランプ類が点灯しないときは、電球を交換してください。
(→ P. 374)
- 交換しても再度ヒューズが切れる場合は、スバル販売店で点検を受けてください。

■ バッテリーからの回路に過剰な負荷がかかると

配線が損傷を受ける前にヒューズが切れるように設計されています。

■ 電球（バルブ）を交換するとき

この車両に指定されているスバル純正品のご使用をおすすめします。一部の電球は過電流を防止する専用回路に接続されているため、この車両指定のスバル純正品以外は使用できない場合があります。

 警告

■ お車の故障や、車両火災を防ぐために

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、お車の故障や火災、けがをするおそれがあります。

- 規定容量以外のヒューズ、またはヒューズ以外のものを使用しないでください。
- 必ずスバル純正ヒューズか同等品を使用してください。
- ヒューズやヒューズボックスを改造しないでください。

 注意

■ ヒューズを交換する前に

ヒューズが切れた原因が電気の過剰負荷だと判明したときは、スバル販売店で点検を受けてください。

電球（バルブ）の交換

次に記載する電球は、ご自身で交換できます。電球交換の難易度は電球によって異なります。部品が破損するおそれがあるので、スバル販売店で交換することをおすすめします。

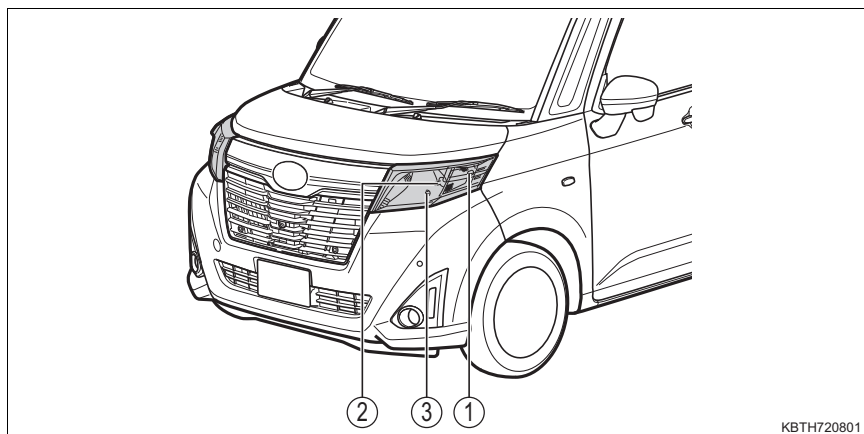
電球の用意

切れた電球の W（ワット）数を確認してください。（→ P. 454）

バルブ位置

■ フロント

▶ ハロゲンヘッドランプ装着車



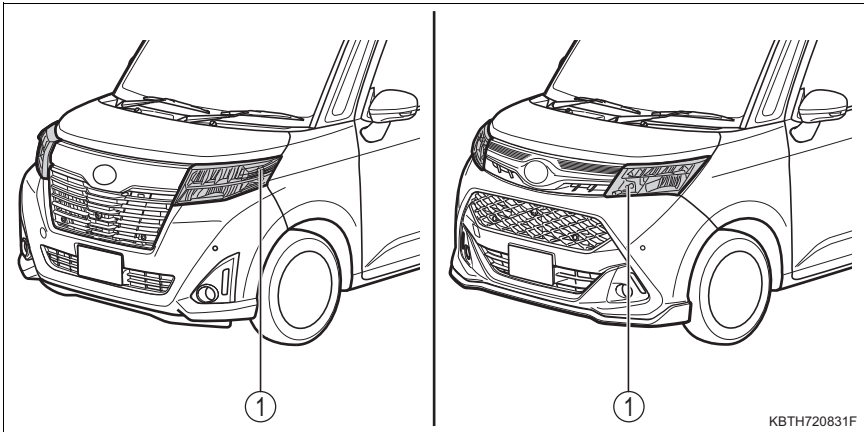
KBTH720801

- ① フロント方向指示灯／非常点滅表示灯
- ② ヘッドランプハイビーム／ロービーム
- ③ 車幅灯

▶ LED ヘッドランプ装着車

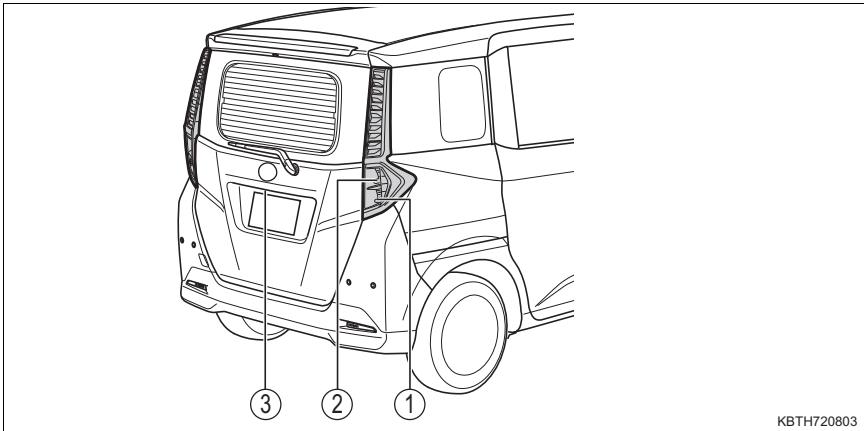
(標準車)

(カスタム仕様車)



- ① フロント方向指示灯／非常点滅表示灯

■ リヤ



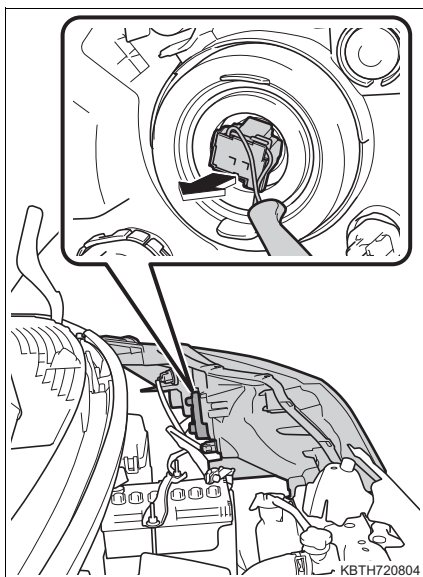
- ① 後退灯
② リヤ方向指示灯／非常点滅表示灯
③ 番号灯

電球交換のしかた

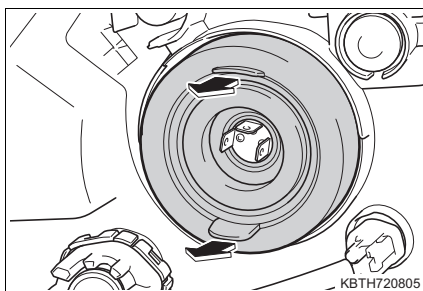
ヘッドランプ、車幅灯、フロント方向指示灯兼非常点滅表示灯はボンネットを開けてから作業してください。

■ ヘッドランプハイビーム／ロービーム（ハロゲンヘッドランプ装着車）

- 1 ボンネットを開けて、コネクターを取りはずす

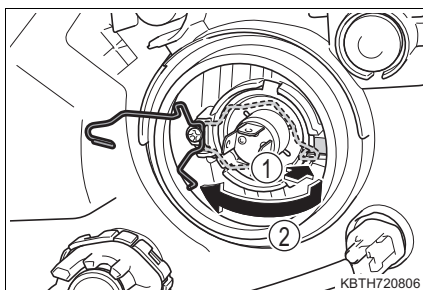


- 2 ゴムカバーを取りはずす

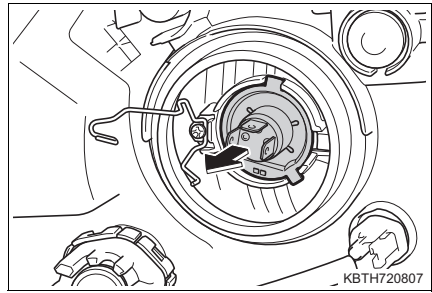


- 3 留め金をはずす

- ① 留め金を押してフックからはずす
- ② 留め金を起こす

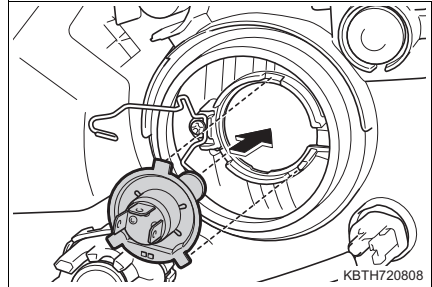


4 電球を取りはずす



5 電球を交換し取り付ける

取り付け部と電球のツメ (3ヶ所) を合わせて挿し込み、固定します。

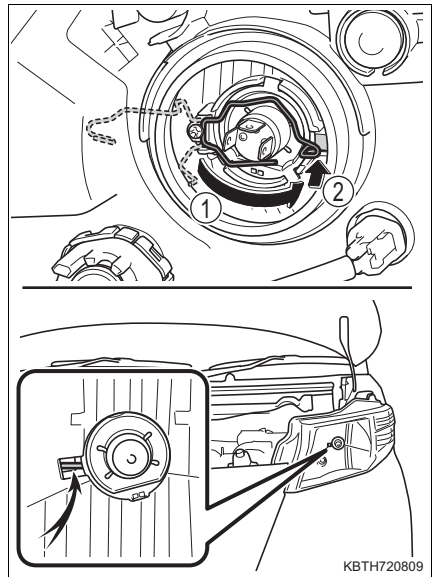


6 留め金を取り付ける

- ① 留め金を倒す
- ② 留め金を押しフックにひっかけて固定する

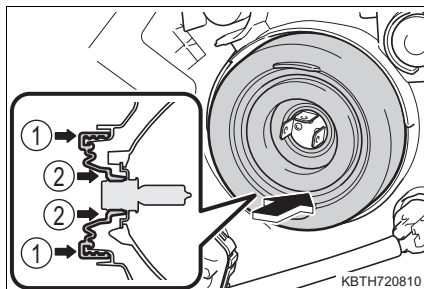
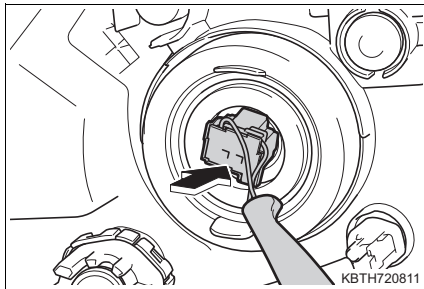
バルブの固定状態は、車両前側のレンズ面からも確認できます。

確実に固定されている場合は、留め金が見えます。



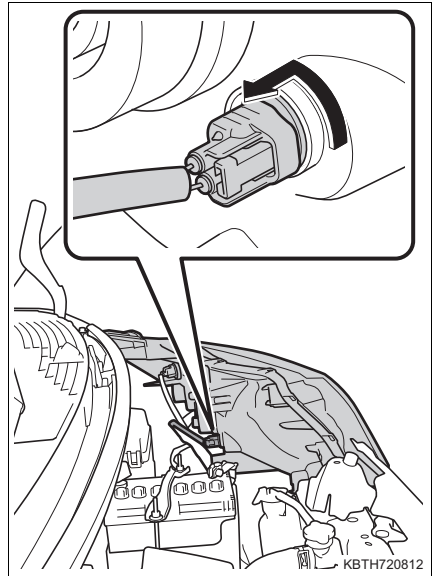
7 ゴムカバーを取り付ける

- ① ゴムカバーの外周をしっかりとめ込む
- ② ゴムカバーの内周(電球まわり)を全周にわたり電球の金属部分が確認できるまで押しこむ

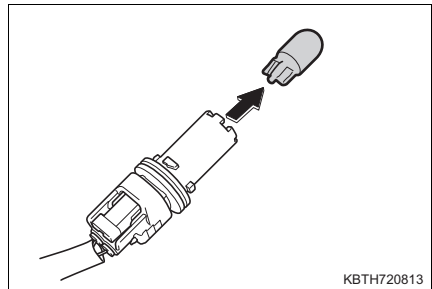
**8** コネクターを取り付ける

■ 車幅灯（ハロゲンヘッドランプ装着車）

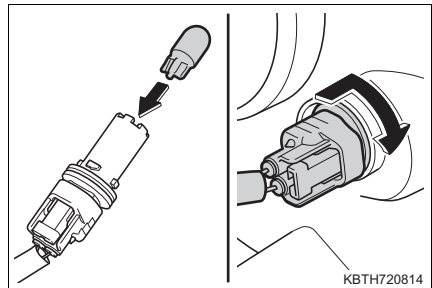
- 1 ボンネットを開けて、ソケットをまわして取りはずす



- 2 電球を取りはずす



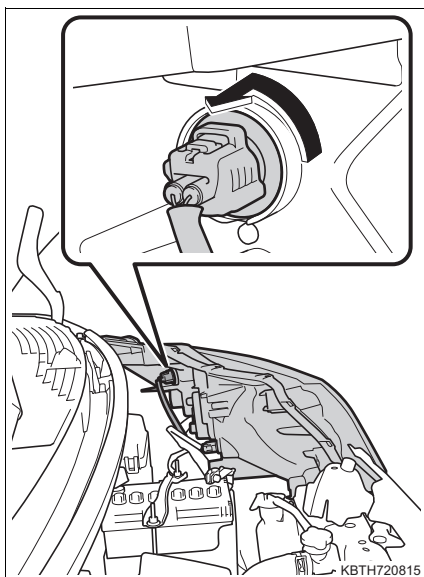
- 3 新しい電球を取り付け、ソケットをまわして取り付ける



■ フロント方向指示灯兼非常点滅表示灯

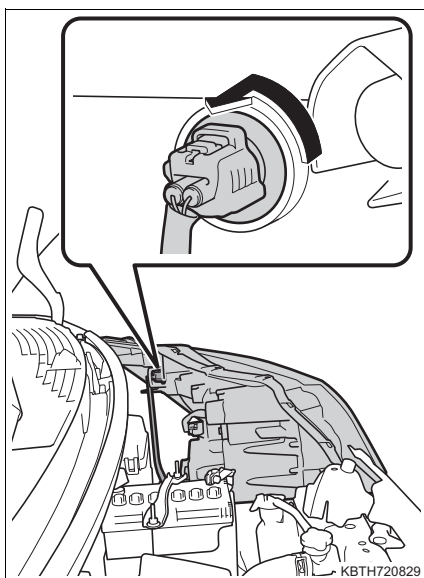
1 ボンネットを開けて、ソケットをまわして取りはずす

▶ ハロゲンヘッドランプ装着車

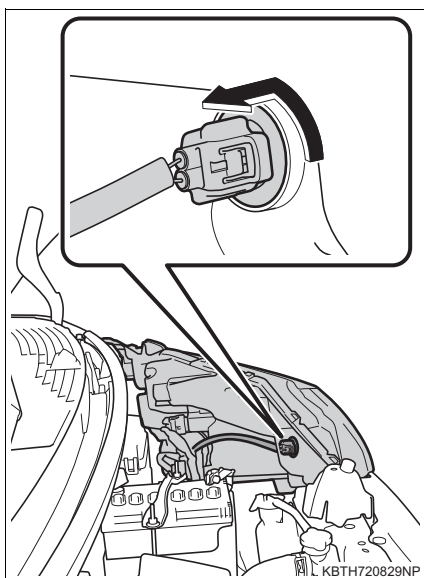


▶ LED ヘッドランプ装着車

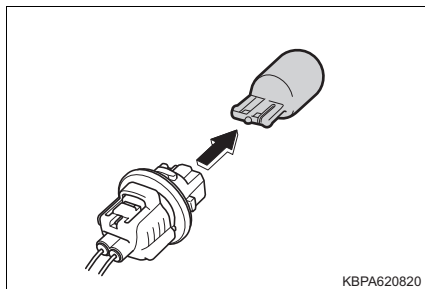
(標準車)



(カスタム仕様車)

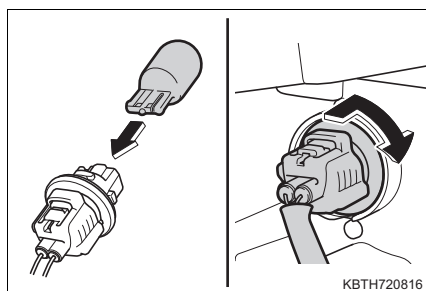


2 電球を取りはずす



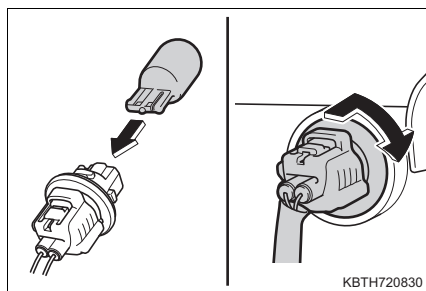
3 新しい電球を取り付け、ソケットをまわして取り付ける

▶ ハロゲンヘッドランプ装着車

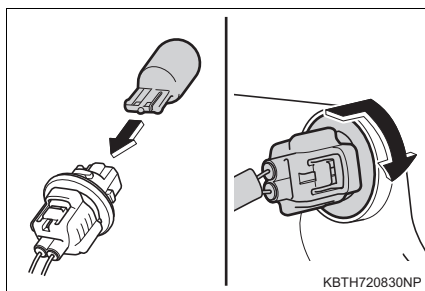


▶ LED ヘッドランプ装着車

(標準車)

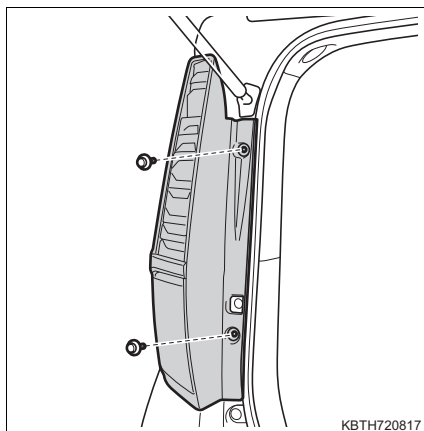


(カスタム仕様車)



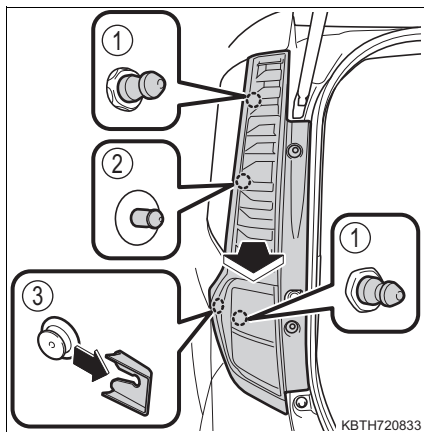
■ 後退灯・リヤ方向指示灯兼非常点滅表示灯

- 1 リヤゲートを開けて、ボルト
(2本) をはずす



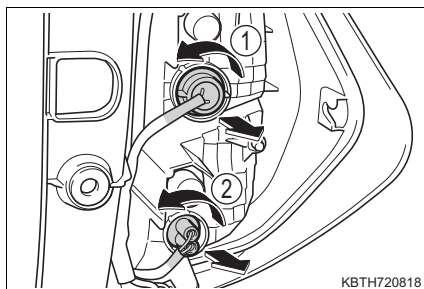
- 2 ランプ本体をまっすぐ後方に
引き、内部にあるかん合をはずす

- ① ピン
② クリップ
③ ガイド



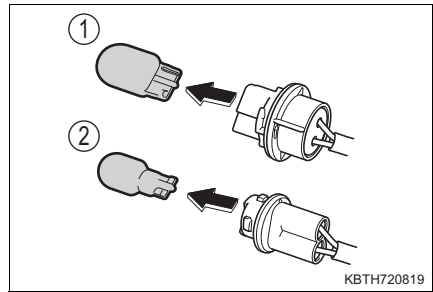
- 3 ソケットを取りはずす

- ① リヤ方向指示灯兼非常点滅
表示灯
② 後退灯

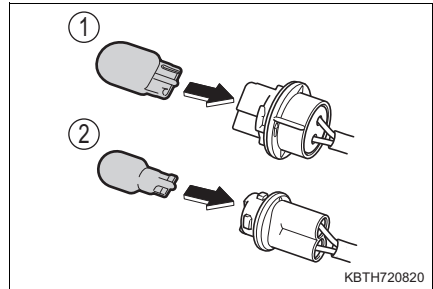


4 電球を取りはずす

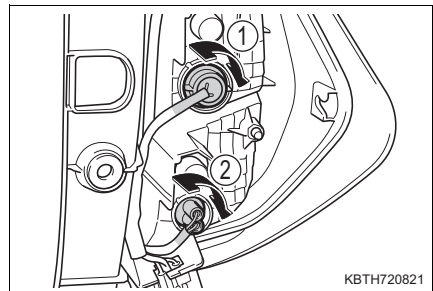
- ① リヤ方向指示灯兼非常点滅表示灯
- ② 後退灯

**5** 電球を交換し取り付ける

- ① リヤ方向指示灯兼非常点滅表示灯
- ② 後退灯

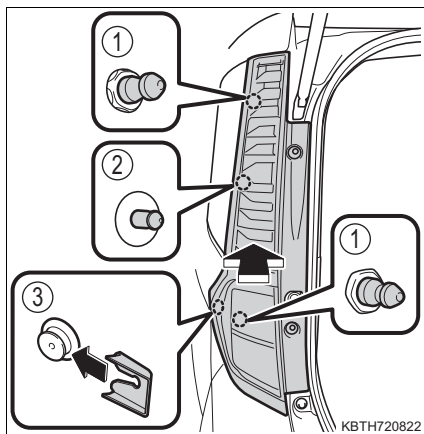
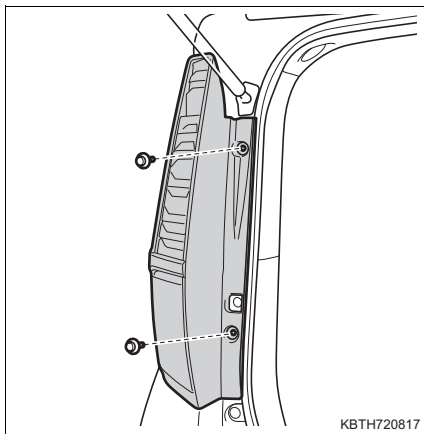
**6** ソケットを取り付ける

- ① リヤ方向指示灯兼非常点滅表示灯
- ② 後退灯



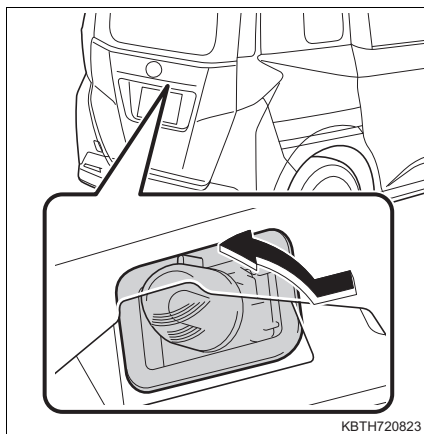
7 ランプ本体をを取り付ける

ランプ本体側のピン (①)・クリップ (②) と車両側の穴の位置を合わせ、ガイド (③) がはまるようにランプ本体をまっすぐ押し込んでください。

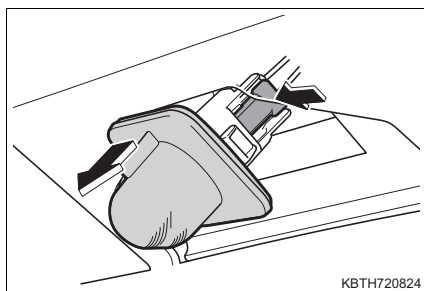
**8** ボルト (2 本) を取り付ける

■ 番号灯

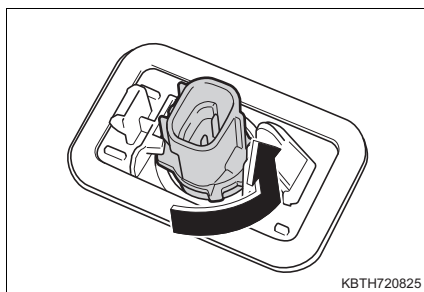
- 1 ランプ本体をスライドして取りはずす

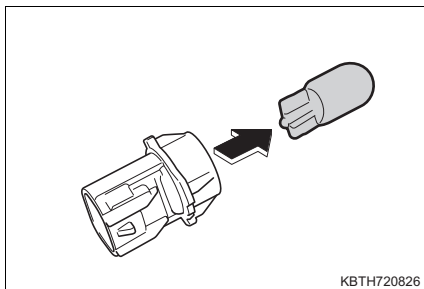
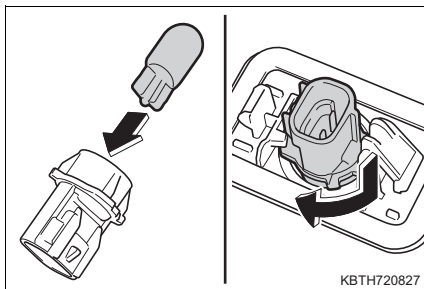


- 2 ツメを押し、コネクターを取りはずす

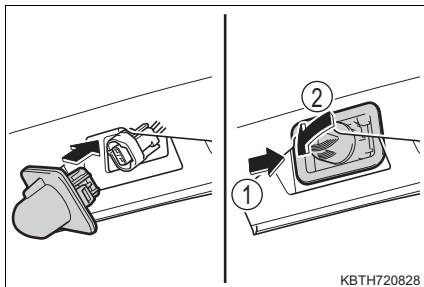


- 3 ソケットをまわして取りはずす



4 電球を取りはずす**5** 新しい電球を取り付け、ソケットをまわしてレンズに取り付ける**6** コネクターを挿し込み、ランプ本体を取り付ける

- ① 車両右側に押し込む
- ② ランプ本体を押す



■ 次の電球を交換するには

次の電球が切れたときは、スバル販売店で交換してください。

- ヘッドランプハイビーム／ロービーム
(LED ヘッドランプ装着車)
- LED ライナー★
- 車幅灯 (LED ヘッドランプ装着車)
- サイド方向指示灯兼非常点滅表示灯
(サイド方向指示灯付ドアミラー装着車以外)
- サイド方向指示灯兼非常点滅表示灯
(サイド方向指示灯付ドアミラー装着車)
- 制動灯／尾灯
- ハイマウントストップランプ
- フロントフォグランプ★



知識

■ LED ランプについて

LED ヘッドランプ★、LED ライナー★、制動灯／尾灯・ハイマウントストップランプは数個の LED で構成されています。もし LED がひとつでも点灯しないときは、スバル販売店で交換してください。

■ レンズ内の水滴と曇り

レンズ内の一時的な曇りは、機能上問題ありません。ただし、次のようなときは、スバル販売店にご相談ください。

- レンズ内側に大粒の水滴が付いている
- ランプ内に水がたまっている

■ 電球（バルブ）を交換するとき

→ P. 374

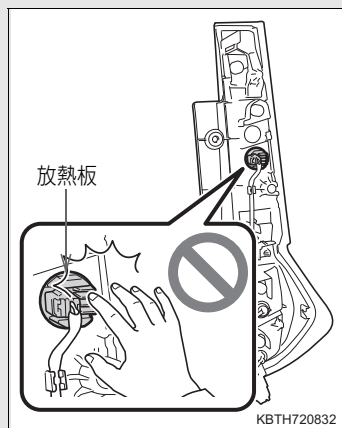
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告**■電球を交換するときは**

- ランプは消灯してください。消灯直後は電球が高温になっているため、交換しないでください。
やけど・感電をするおそれがあり危険です。
- 電球のガラス部を素手でふれないでください。
やむを得ずガラス部を持つ場合は、電球に油脂や水分を付着させないために、乾いた清潔な布などを介して持ってください。
また、電球を傷付けたり、落下させたりすると球切れや破裂することがあります。
- 電球や電球を固定するための部品はしっかり取り付けてください。取り付けが不十分な場合、発熱や発火、またはヘッドランプ内部への浸水による故障や、レンズ内に曇りが発生することがあります。
- 電球・ソケット・電気回路および構成部品を、修理または分解しないでください。
感電により、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■後退灯・リヤ方向指示灯兼非常点滅表示灯の電球を交換するときは（標準車）

- 制動灯/尾灯の消灯直後は、制動灯/尾灯裏側の放熱板が高温になるため、さわらないでください。
やけどをすることがあります。

**■お車の故障や火災を防ぐために**

- 電球が正しい位置にしっかりと取り付けられていることを確認ください。
- 発熱による損傷を防ぐため、バルブを取り付ける前にバルブのワット数を確認してください。

万一の場合には

8

8-1. まず初めに

故障したときは	390
非常点滅表示灯 （ハザードランプ）	391
発炎筒	392
車両を緊急停止するには	394
水没したときは	395

8-2. 緊急時の対処法

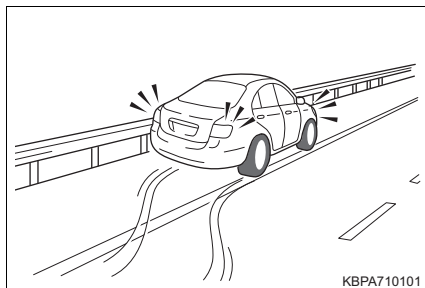
けん引について	396
フューエルポンプシャット オフシステム	404
警告灯がついたときは	405
警告メッセージが 表示されたときは	411
“スマアシ停止” が表示された ときは	424
パンクしたときは	427
エンジンが かからないときは	439
アクセスキーが 正常に働かないときは	440
バッテリーが あがったときは	442
オーバーヒート したときは	445
スタックしたときは	448

故障したときは

故障のときはすみやかに次の指示に従ってください。

非常点滅表示灯（→ P. 391）を点滅させながら、お車を路肩に寄せ停車する

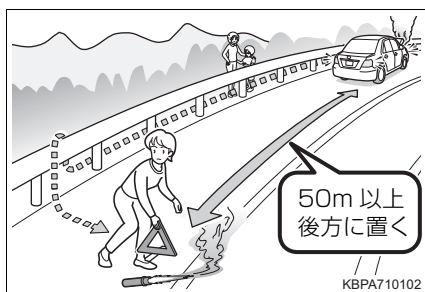
非常点滅表示灯は、故障などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるため使用します。



KBPA710101

高速道路や自動車専用道路では、次のことに従う

- 同乗者を避難させる
- 車両の 50m 以上後方に発炎筒（→ P. 392）と停止表示板を置くか、停止表示灯を使用する
 - ・ 見通しが悪い場合はさらに後方に置いてください。
 - ・ 発炎筒は、燃料もれの際やトンネル内では使用しないでください。
- その後、ガードレールの外側などに避難する



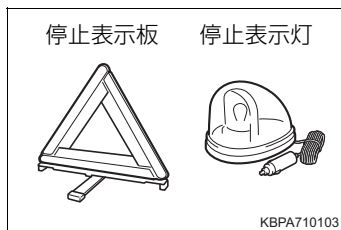
KBPA710102



知識

■ 停止表示板・停止表示灯について

- 高速道路や自動車専用道路でやむを得ず駐停車する場合は、停止表示板または停止表示灯の表示が、法律で義務付けられています。
- 停止表示板・停止表示灯は、スバル販売店で購入することができます。



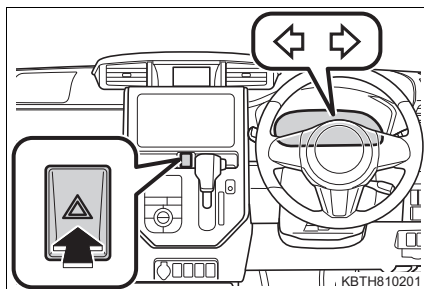
KBPA710103

非常点滅表示灯（ハザードランプ）

故障などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるために使用してください。

スイッチを押す

すべての方向指示灯が点滅します。もう一度押すと消灯します。



知識

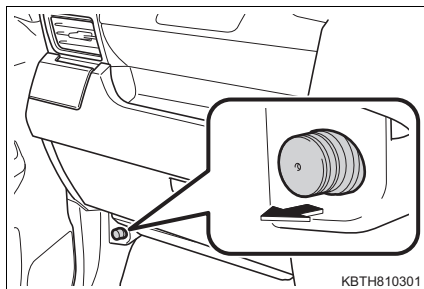
■非常点滅表示灯について

エンジン停止中に、非常点滅表示灯を長時間使用すると、バッテリーがあがるおそれがあります。

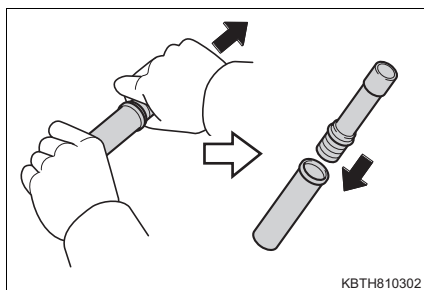
発炎筒

高速道路や踏切などでの故障・事故時に非常信号用として使用します。
(トンネル内や可燃物の近くでは使用しないでください)
発炎時間は約 5 分です。非常点滅表示灯と併用してください。

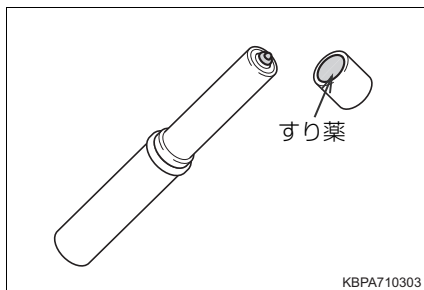
- 1 助手席足元の発炎筒を取り出す



- 2 本体をまわしながら抜き、本体を逆さにして挿し込む



- 3 先端のフタを取り、すり薬で発炎筒の先端をこすり、着火させる
必ず車外で使用してください。
着火させる際は、筒先を顔や体に向け
ないでください。



 知識

■ 発炎筒の有効期限

本体に表示してある有効期限が切れる前に、スバル販売店で求めください。有効期限が切れると、着火しなかったり、炎が小さくなる場合があります。

 警告

■ 発炎筒を使用してはいけない場所

次の場所では、発炎筒を使用しないでください。
煙で視界が悪くなったり、引火するおそれがあるため危険です。

- トンネル内
- ガソリンなど可燃物の近く

■ 発炎筒の取り扱いについて

次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- 使用中は、発炎筒を顔や体に向けたり、近付けたりしない
- 発炎筒は、お子さまにさせない

車両を緊急停止するには

万一、お車が止まらなくなったときの非常時のみ、次の手順で車両を停止させてください。

- 1 ブレーキペダルを両足でしっかりと踏み続ける
ブレーキペダルをくり返し踏まないでください。通常より強い力が必要となり、制動距離も長くなります。
 - 2 セレクトレバーを N に入れる
 - ▶ セレクトレバーが N に入った場合
 - 3 減速後、お車を安全な道路脇に停める
 - 4 エンジンを停止する
 - ▶ セレクトレバーが N に入らない場合
 - 3 ブレーキペダルを両足で踏み続け、可能な限り減速させる
 - 4 プッシュエンジンスイッチを 3 秒以上押し続けるか、素早く 3 回以上連続で押してエンジンを停止する
- 

3 秒以上押すまたは
3 回以上連続で押す

KBPA710402
- 5 お車を安全な道路脇に停める

⚠ 警告

■ 走行中にやむを得ずエンジンを停止するとき

ブレーキの効きが悪くなると共にハンドル操作が重くなるため、お車のコントロールがしにくくなり危険です。エンジンを停止する前に、十分に減速するようになしてください。

水没したときは

万一、車両が水没したときは、落ち着いて次のように対処してください。

- まずシートベルトをはずしてください。
- ドアを開けることができる場合、ドアを開けて車外に出てください。
- ドアを開けることができない場合、パワーウィンドゥスイッチでドアガラスを開けて窓から車外に出てください。
- パワーウィンドゥスイッチでドアガラスが開けられない場合、落ち着いて車内外の水圧差がなくなるまで浸水するのを待ってからドアを開けて車外に出てください。

警告

■緊急脱出用ハンマー※の使用について

この車両のフロントドアガラス・リヤドアガラス・リヤウィンドゥガラスは緊急脱出用ハンマー※で割ることはできますが、フロントウィンドゥガラスは合わせガラスのため、緊急脱出用ハンマー※で割ることができません。

※：詳しくはスバル販売店にお問い合わせください。

■窓から車外に出るときは

着座位置、乗員の体格等によっては、窓から車外に脱出できない場合があります。

けん引について

けん引は、できるだけスバル販売店または専門業者にご依頼ください。
その場合は、レッカー車または、車両運搬車を使用することをおすすめします。

やむを得ず他車にロープでけん引してもらう場合は、車両積載車までの移動など、できるだけ短距離にとどめてください。

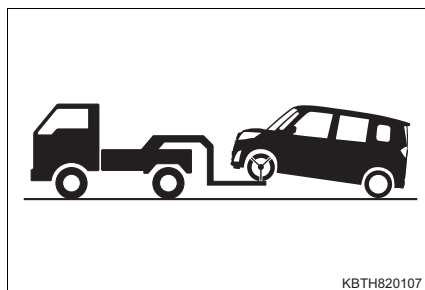
けん引の前に販売店への連絡が必要な状況

次の場合は、駆動系の故障が考えられるため、スバル販売店または専門業者へご連絡ください。

- エンジンがかかるがお車が動かない
- 異常な音がする

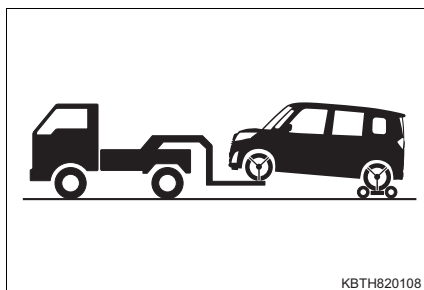
レッカー車でけん引するとき

- ▶ 前向きにけん引するときは
(FF 車)



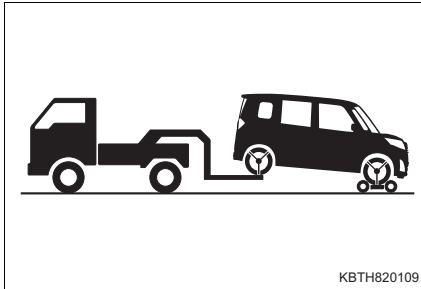
パーキングブレーキを解除する

- ▶ 前向きにけん引するときは
(4WD 車)



台車を使用して後輪を持ち上げる

▶ うしろ向きにけん引するときは

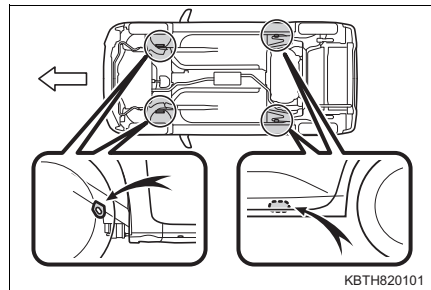


台車を使用して前輪を持ち上げる

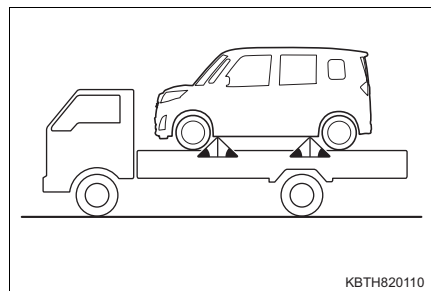
車両運搬車を使用するとき

車両運搬車で輸送するときは、図の場所で固縛する

輸送後は、リヤ側に取り付いているフタをもとにもどしてください。



鎖やケーブルなどを使用して車両を固縛する場合は図に黒く示す角度が45°になるように固縛する



他車にけん引してもらうとき

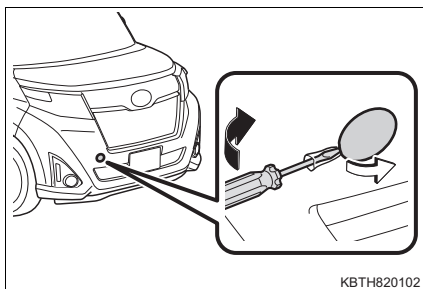
1 けん引フックを取り出す (→ P. 352, 429)

2 けん引フックを取り付ける

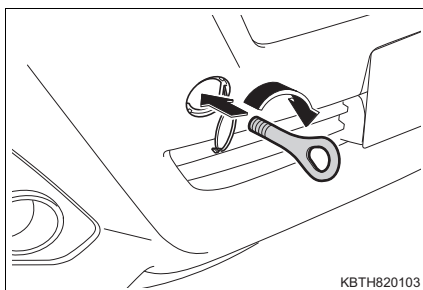
▶ 標準車

マイナスドライバーなどを使ってフタをはずす

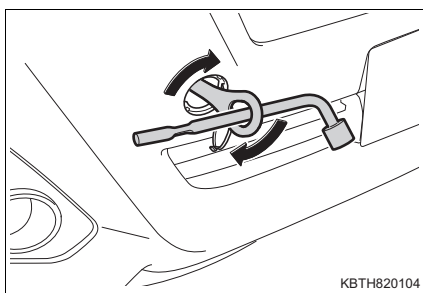
傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーなどの先端に布などを巻いて保護してください。



けん引フックを穴に挿し込んでまわし、軽く締める



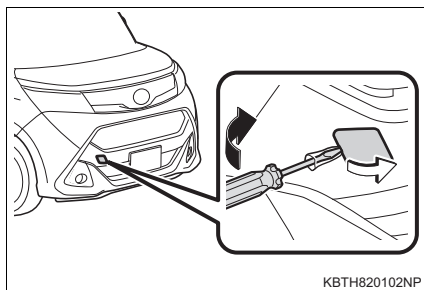
ホイールナットレンチや金属の固い棒などを使い確実に取り付ける



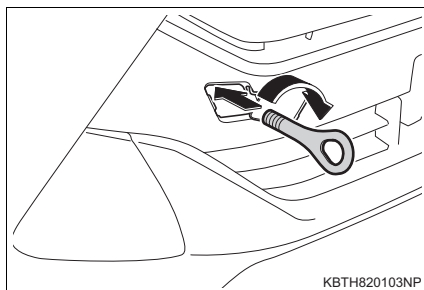
▶ カスタム仕様車

マイナスドライバーなどを使ってフタをはずす

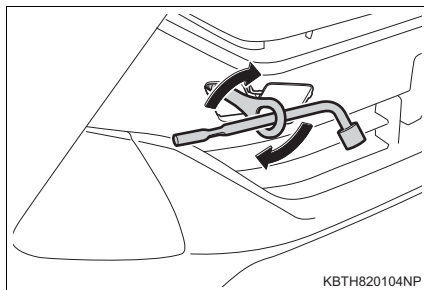
傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーなどの先端に布などを巻いて保護してください。



けん引フックを穴に挿し込んでまわし、軽く締める



ホイールナットレンチや金属の固い棒などを使い確実に取り付ける



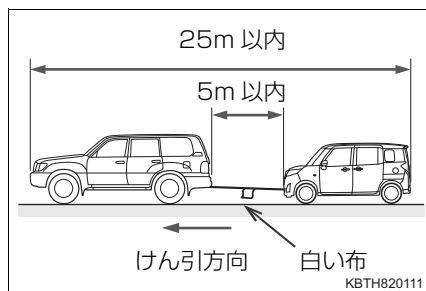
3 車体に傷が付かないようにロープをけん引フックにかける

車体に傷が付かないように注意してください。また、前進方向でけん引してください。

4 ロープの中央に白い布を付ける

布の大きさ：

0.3m 平方 (30cm × 30cm) 以上

**5** 運転者はけん引される車両に乗り、エンジンをかける

エンジンがかからないときは、プッシュエンジンスイッチをイグニッション ON モードにしてください。

6 けん引される車両のシフトポジションを N にしてから、パーキングブレーキを解除する

けん引中は、ロープがたるまないよう、減速時なども前の車の速度に合わせてください。

セレクトレバーがシフトできないときは：→ P. 190

 知識

■けん引フックの使用目的

けん引フックはけん引してもらうときに使うものであり、他車をけん引するためのものではありません。

■他車にけん引してもらうときに

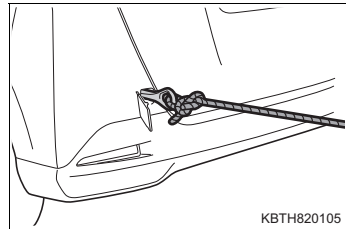
エンジンが停止しているとブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が通常より重くなったりします。

■ホイールナットレンチについて

助手席フロア下に搭載されています。(→ P. 352, 429)

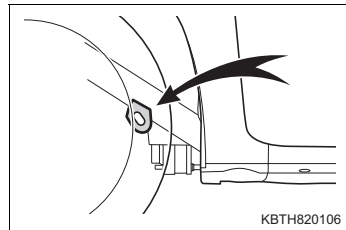
■リヤ側フックについて

このフックは、自車より軽い車をやむを得ず一般路上でロープによりけん引するときに使用することができます。



■輸送用フックについて

このフックは船舶固縛で車両を輸送するときに固定するためのものです。他車に引っ張り出してもらったり、他車をけん引したりすることはできません。



警告

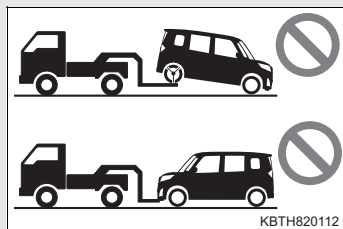
次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■レッカー車でけん引するとき

▶ FF 車

必ず前輪を持ち上げるか、4 輪とも持ち上げた状態で運搬してください。前輪が地面に着いた状態でけん引すると、駆動系部品が破損するおそれがあります。



▶ 4WD 車

4 輪とも持ち上げた状態で運搬してください。タイヤが地面に着いた状態でけん引すると、駆動系部品が破損したりお車が台車から飛び出したりするおそれがあります。



■他車にけん引してもらうときの運転について

- けん引フックやロープに過剰な負荷をかける急発進などを避けてください。
けん引フックやロープが破損し、その破片が周囲の人などにあたり、重大な傷害を与えるおそれがあります。
- プッシュエンジンスイッチを OFF にしないでください。
ハンドルがロックされ、ハンドル操作ができなくなるおそれがあります。

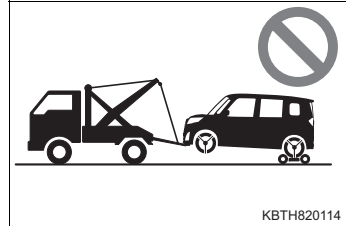
■けん引フックを車両に取り付けるとき

指定の位置にしっかりと取り付けてください。

指定の位置にしっかりと取り付けていないと、けん引時にフックがはずれるおそれがあります。

⚠ 注意**■ レッカー車でけん引するとき**

車両の損傷を防ぐために図のようなレッカー車ではけん引しないでください。

**■ 車両運搬車にお車を固縛するとき**

ケーブル等を過度に締め付けすぎないでください。車両の損傷につながるおそれがあります。

■ 車両の損傷を防ぐために

- 他車にけん引してもらうときは次のことを必ずお守りください。
 - ・ ワイヤロープは使用しない
 - ・ 速度は 30km/h 以下、距離 80km 以内でけん引する
 - ・ 前進方向でけん引する
 - ・ サスペンション部などにロープをかけない
- この車両で他車やボート（トレーラー）などをけん引しないでください。

■ 長い下り坂でけん引するときは

レッカー車で前輪を持ち上げるか（FF 車）、4 輪とも持ち上げた状態でけん引してください。レッカー車でけん引しないと、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

■ リヤ側フックについて

やむを得ない場合以外は使用しないでください。装置の変形や車両の損傷などにつながるおそれがあります。

■ 輸送用フックについて

輸送用フックで他車に引っ張り出してもらったり、他車をけん引したりしないでください。装置の変形や車両の損傷などにつながるおそれがあります。

フューエルポンプシャットオフシステム

エンジン停止時および SRS エアバッグ作動時は、フューエルポンプシャットオフシステムが作動し、燃料供給を停止し、燃料もれを最小限に抑えます。

システム作動後にエンジンを再始動するには

- 1 プッシュエンジンスイッチをアクセサリーモードまたは OFF にする
- 2 エンジンを再始動する

注意

■ エンジンを始動する前に

車両下をよく確認してください。

地面に燃料もれを見つけた場合は、燃料システムに損傷があり、修理する必要があります。その場合はエンジンを再始動しないでください。

警告灯がついたときは

警告灯が点灯または点滅したままの場合は、落ち着いて次のように対処してください。なお、点灯・点滅しても、その後消灯すれば異常ではありません。ただし、同じ現象が再度発生した場合は、スバル販売店で点検を受けてください。

警告灯・警告ブザー一覧

警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
	ブレーキ警告灯（警告ブザー※¹） ・ ブレーキ液の不足 ・ ブレーキシステムの異常 → ただちに安全な場所に停車し、スバル販売店へ連絡してください。走行を続けると危険です。
	チャージ警告灯 充電システムの異常 → ただちに安全な場所に停車し、スバル販売店へ連絡してください。
	オイルプレッシャー警告灯（警告ブザー） エンジンオイルの圧力異常 → ただちに安全な場所に停車し、スバル販売店へ連絡してください。
 （赤色点滅 または点灯）	高水温警告灯 エンジン冷却水温の異常 （水温の上昇にともない、点滅から点灯にかわります。→ P. 445） → ただちに安全な場所に停車し、スバル販売店へ連絡してください。
	エンジン警告灯 ・ エンジン電子制御システムの異常 ・ 電子制御スロットルの異常 → ただちにスバル販売店で点検を受けてください。
CVT （点滅）	CVT 警告灯 CVT 電子制御システムの異常 → ただちにスバル販売店で点検を受けてください。
	SRS エアバッグ／プリテンショナー警告灯 ・ SRS エアバッグシステムの異常 ・ プリテンショナー付きシートベルトシステムの異常 → ただちにスバル販売店で点検を受けてください。

警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
	ABS 警告灯 ABS の異常 → ただちにスバル販売店で点検を受けてください。
 (赤色)	ステアリング制御警告灯（警告ブザー） EPS（エレクトリックパワーステアリング）の異常 → ただちにスバル販売店で点検を受けてください。
※ 2  (黄色)	ステアリング制御警告灯（警告ブザー） 電圧不足・エレクトリックパワーステアリングのオーバーヒート → ハンドル操作が重くなりますので、しばらくハンドル操作をひかえてください。約 10 分経過すると通常の重さにもどります。
 (黄色)	ハイビームアシスト警告灯 ハイビームアシストの異常 → スバル販売店で点検を受けてください。
 OFF  OFF  ※ 3 スマアシ故障	スマートアシスト OFF 表示灯 車線逸脱警報 OFF 表示灯 マスターウォーニング マルチインフォメーションディスプレイに“スマアシ故障”が表示★ スマートアシストⅢの異常※ 4 → ただちにスバル販売店で点検を受けてください。
 	コーナーセンサー表示灯（警告ブザー） マスターウォーニング コーナーセンサーの異常 → スバル販売店で点検を受けてください。
 (点灯)	VSC (VDC) 作動表示灯 ・ ブレーキアシストの異常 ・ VSC (VDC) システムの異常 ・ TRC システムの異常 (VSC (VDC)・TRC 作動時は点滅します。→ P. 287) ・ ヒルホールドシステムの異常 → ただちにスバル販売店で点検を受けてください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
 (黄色)	クルーズコントロール表示灯★ クルーズコントロールシステムの異常 → ただちにスバル販売店で点検を受けてください。
 (点滅)	アイドリングストップキャンセル表示灯 ・ アイドリングストップの異常 ・ スターターの交換時期 (アイドリングストップ非作動時は点灯します→ P. 245) → ただちにスバル販売店で点検を受けてください。
※ 5  (点滅→消灯)	アイドリングストップキャンセル表示灯 バッテリーの交換時期 (アイドリングストップ非作動時は点灯します → P. 245) → スバル販売店で点検を受けてください。
	LED ヘッドランプオートレベライザー警告灯★ 自動光軸調整システムの異常 → ただちにスバル販売店で点検を受けてください。
 (点灯)	キーレスアクセス警告灯 キーレスアクセスの異常 (キーレスアクセス警告灯が点滅したときは→ P. 409, 420) → ただちにスバル販売店で点検を受けてください。
	ブレーキオーバーライドシステム警告灯 ブレーキオーバーライドシステムの作動時 → アクセルペダルから足を離す
	半ドア警告灯★ (警告ブザー※ 6) いずれかのドアが確実に閉まっていない → 全ドアを閉める
	燃料残量警告灯 燃料の残量が 2WD 車は 5.4L 以下、4WD は 6.6L 以下になった → 燃料を給油する
 (点滅)	運転席シートベルト警告灯 (警告ブザー※ 7) 運転席シートベルトの締め忘れ → シートベルトを着用する
 (点滅)	助手席シートベルト警告灯※ 8 (警告ブザー※ 7) 助手席シートベルトの締め忘れ → シートベルトを着用する

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
	後席シートベルト警告灯※ ⁹ (警告ブザー※ ¹⁰) 後席シートベルトの締め忘れ → シートベルトを着用する
	パーキングブレーキ未解除警告灯 (警告ブザー※ ¹¹) パーキングブレーキがかかっているとき → パーキングブレーキを解除する

※¹ ブレーキ液警告ブザー：

警告灯が点灯している状態で、車速が約 5km/h 以上になると警告ブザーが鳴ります。ブザーが鳴ったときは、ブレーキ液の不足が考えられます。

※² ステアリング制御警告灯 (黄色)：

消灯しない場合、繰り返し点灯する場合はスバル販売店で点検を受けてください。

※³ “スマアシ故障” の表示：

ステレオカメラ、ソナーに異常があると、マルチインフォメーションディスプレイ★に表示されます。

※⁴ スマートアシストⅢの異常：

TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイ★は、警告メッセージが表示されます (→ P. 414)

※⁵ アイドリングストップキャンセル表示灯：

エンジン始動時に、数秒間点滅します。

※⁶ 半ドア走行時警告ブザー：

各ドアが確実に閉まっていない状態のまま、車速が約 5 km/h (スライドドアは約 3km/h) をこえたときにブザーが鳴ります。

※⁷ 運転席・助手席シートベルト警告ブザー：

運転席・助手席シートベルトが締め忘れたまま車速が約 20km/h 以上になると警告ブザーが 30 秒間断続的に鳴ります。その後も運転席・助手席シートベルトが締め忘れたままだと、ブザーの音が変わり 90 秒間鳴ります。

※⁸ 助手席シートベルト警告灯の乗員検知センサー：

助手席に乗員がいなくても、シートに荷物などを置くと、センサーが重量を検知して警告灯が点滅することがあります。

助手席に座布団などを敷くと、センサーが乗員を検知せず警告灯が作動しないことがあります。

※⁹ 後席シートベルト警告灯：

後席シートベルトが非装着の状態、プッシュエンジンスイッチをイグニッション ON モードにしたとき、もしくは後席シートベルトをはずすと点灯します。後席シートベルトを着用する、または走行後約 30 秒経過すると消灯します。また、走行後に後席シートベルトをはずした状態でスライドドアを開閉すると点灯します。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

※¹⁰ 後席シートベルト警告ブザー：

車速が約 5km/h 以上で乗員が後席シートベルトをはずすと約 30 秒間鳴り続けます。一度警告ブザーが鳴ると、約 5km/h 以下で走行しても約 30 秒間鳴り続けます。

後席シートベルトを着用する、もしくはスライドドアを開閉すると、ブザーが停止します。

※¹¹ パーキングブレーキ未解除走行時警告ブザー：

パーキングブレーキをかけたまま、車速が約 5 km/h 以上になると警告ブザーが鳴ります。

ただちに処置してください

それぞれの対処方法に従って処置し、キーレスアクセス警告灯が消灯するのを確認してください。

警告ブザー (車内)	警告灯	警告内容・対処方法
—	 (高速点滅)	キーレスアクセス警告灯 アクセスキーを携帯していない状態でエンジンをかけようとした → アクセスキーを携帯する ※ ¹
5 回	 (高速点滅)	キーレスアクセス警告灯 プッシュエンジンスイッチがアクセサリモードまたは ON モードのときにいずれかのドアを開けて、アクセスキーを車外に持ち出し、ドアを閉めた → アクセスキーを携帯して乗車する
3 回	 (点滅)	キーレスアクセス警告灯 アクセスキーの電池切れが近いときにプッシュエンジンスイッチを OFF にした → 新しい電池に交換する ※ ² (→ P. 368)

※¹ アクセスキーが車内にあってもエンジンが始動しない場合は、電池が切れている可能性があります。(→ P. 368)

※² 電池切れが近い状態を継続すると、プッシュエンジンスイッチをアクセサリモードまたは ON モードにしたときも点滅します。

ただちに処置してください

それぞれの対処方法に従って処置し、アイドリングストップ表示灯が消灯するのを確認してください。

警告ブザー (車内)	警告灯	警告内容・対処方法
連続音 (約 5 秒間)	 (高速点滅)	アイドリングストップ表示灯 アイドリングストップによるエンジン停止中に運転席ドアを開けた → 運転席ドアを閉める
連続音 (約 5 秒間)	 (高速点滅)	アイドリングストップ表示灯 アイドリングストップによるエンジン停止中に運転席シートベルトをはずした → 運転席シートベルトを着用する
連続音 (約 5 秒間)	 (高速点滅)	アイドリングストップ表示灯 アイドリングストップによるエンジン停止中にボンネットを開けた → ボンネットを閉めた後、セレクトレバーをPにして、プッシュエンジンスイッチでエンジンを始動する

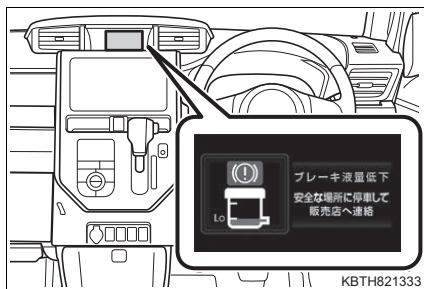
⚠ 警告

■ ステアリング制御警告灯が点灯したとき

黄色に点灯したときは操舵力補助が制限され、赤色に点灯したときは操舵力補助がなくなるため、ハンドル操作が非常に重くなることがあります。
ハンドル操作が通常より重いときは、ハンドルをしっかりと持ち、通常より強く操作してください。

警告メッセージが表示されたときは★

TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイ★に警告メッセージが表示された場合は、落ち着いて次のように対処してください。



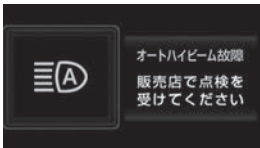
処置後に再度メッセージが表示されたときは、スバル販売店へご連絡ください。

警告灯・警告ブザー一覧

警告メッセージ	警告内容・対処方法
 	ブレーキ液の不足 車速が約 5km/h をこえたときには警告ブザーが鳴ります。 → ただちに安全な場所に停車し、スバル販売店へ連絡してください。走行を続けると危険です。
 	ブレーキシステムの異常 → ただちに安全な場所に停車し、スバル販売店へ連絡してください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

警告メッセージ	警告内容・対処方法
 充電システム故障 安全な場所に停車して 販売店へ連絡 	充電システムの異常 → ただちに安全な場所に停車し、スバル販売店へ連絡してください。
 エンジン油圧低下 安全な場所に停車して 販売店へ連絡 	エンジンオイル圧力の異常 → ただちに安全な場所に停車し、スバル販売店へ連絡してください。
 エンジン冷却水高温 安全な場所に停車して 販売店へ連絡  (赤色)	エンジン冷却水高温異常 → ただちに安全な場所に停車し、スバル販売店へ連絡してください。
 エンジンシステム異常 販売店で点検を 受けてください 	エンジン電子制御システムの異常 電子制御スロットルの異常 → ただちにスバル販売店で点検を受けてください。
 CVTシステム異常 販売店で点検を 受けてください  (点滅)	CVT 電子制御システムの異常 → ただちにスバル販売店で点検を受けてください。

警告メッセージ	警告内容・対処方法
 SRSエアバッグ故障 販売店で点検を受けてください 	SRS エアバッグシステムの異常 プリテンショナー付きシートベルトシステムの異常 → ただちにスバル販売店で点検を受けてください。
 ABS故障 販売店で点検を受けてください 	ABS の異常 → ただちにスバル販売店で点検を受けてください。
 パワーステアリング故障 販売店で点検を受けてください  (赤色)	EPS (エレクトリックパワーステアリング) の異常 警告ブザーが鳴ります。 → ただちにスバル販売店で点検を受けてください。
 パワーステアリング機能低下 ハンドルが重くなります  (黄色)	電圧不足・エレクトリックパワーステアリングのオーバーヒート 警告ブザーが鳴ります。 → ハンドル操作が重くなりますので、しばらくハンドル操作をひかえてください。約 10 分経過すると通常の重さにもどります。
 オートハイビーム故障 販売店で点検を受けてください  (黄色)	ハイビームアシストの異常 → スバル販売店で点検を受けてください。

警告メッセージ	警告内容・対処方法
   	スマートアシストⅢの異常 → ただちにスバル販売店で点検を受けてください。
 	コーナーセンサーの異常 → スバル販売店で点検を受けてください。
	コーナーセンサー機能低下 → バンパーのソナーに氷・雪・泥などが付着していないか確認し、取り除いてください。
 	ブレーキアシストの異常 VSC (VDC) システムの異常 TRC システムの異常 ヒルホールドシステムの異常 → ただちにスバル販売店で点検を受けてください。
  (黄色)	クルーズコントロールシステムの異常 → ただちにスバル販売店で点検を受けてください。

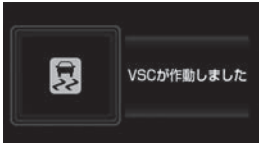
警告メッセージ	警告内容・対処方法
  (点滅)	アイドリングストップシステムの異常 スターターの交換時期 バッテリーの交換時期 バッテリーの交換時期の場合は、数秒間表示されます。 → ただちにスバル販売店で点検を受けてください。
 	自動光軸調整システムの異常 → ただちにスバル販売店で点検を受けてください。
 	キーレスアクセスの異常 → ただちにスバル販売店で点検を受けてください。
 	ブレーキオーバーライドシステムが作動 → アクセルペダルから足を離してください。
 	車両通信システムの異常 → ただちにスバル販売店で点検を受けてください。

警告メッセージ	警告内容・対処方法
	いずれかのドアが確実に閉まっていない 開いているドアが表示されます。 各ドアが確実に閉まっていない状態のまま、車速が約 5 km/h（スライドドアは約 3km/h）をこえたときにはブザーが鳴ります。 → 全ドアを閉める
 	燃料の残量が 2WD 車は 5.4L 以下、4WD は 6.6L 以下になった → 燃料を給油する
   	シートベルト締め忘れ 警告ブザーが鳴ります。 運転席、助手席は車速が約 20 km /h をこえたときに表示されます。 後席は車速が約 5 km /h をこえてシートベルトをはずしたときに表示されます。 → シートベルトを着用する
 	パーキングブレーキが解除されていない パーキングブレーキをかけたまま、車速が約 5 km/h をこえたときには警告ブザーが鳴ります。 → パーキングブレーキを解除する

警告メッセージ	警告内容・対処方法
 ※ 1 	衝突警報機能（対車両・対歩行者）が作動 衝突回避支援ブレーキ機能（対車両・対歩行者）が作動 誤発進抑制制御機能（前方）が作動 警告ブザーが鳴ります。 → 周囲の状況を確認し、ブレーキペダルを踏むなど適切な運転をする
 ※ 2 	誤発進抑制制御機能（後方）が作動 警告ブザーが鳴ります。 → 周囲の状況を確認し、ブレーキペダルを踏むなど適切な運転をする
	先行車発進お知らせ機能が作動 警告ブザーが鳴ります。 → 周囲の安全を確認し、車両を発進させる
	車線逸脱警報機能が作動 警告ブザーが鳴ります。 → 周囲の安全を確認し、ハンドルを操作して車両を車線内に戻す
	コーナーセンサー作動 作動しているソナーの箇所が表示されます。 → 周囲の安全を確認し、ブレーキペダルを踏むなど適切な運転をする

※ 1 衝突回避支援ブレーキ機能の 1 次ブレーキ・2 次ブレーキ、誤発進抑制制御機能のエンジン出力抑制制御が作動したとき点灯します。

※ 2 後方誤発進抑制制御機能のエンジン出力制御が作動したとき点灯します。

警告メッセージ	警告内容・対処方法
 	VSC (VDC) が作動 → 特に慎重な運転をする
 	車幅灯点灯時に、運転席ドアを開けた 警告ブザーが鳴ります。 → 車幅灯を消灯する
 	停車時、ハンドルが左、または右に操作されている★ → タイヤの向きを確認し、安全に車両を発進させる
	外気温が約 3℃以下になった → 路面凍結の可能性があるため、路面状況を確認し 慎重な運転をする
	走行してから約 1 時間 30 分経過した → 駐車し、休憩することをおすすめします。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

■警告メッセージについて

文中の警告メッセージの表示は、使用状況や車両の仕様により実際の表示とは異なる場合があります。

■警告メッセージの表示について

- プッシュエンジンスイッチがイグニッションONモードのときにENTERスイッチを押すと、警告メッセージが非表示になります。
- ENTERスイッチを押して警告メッセージを非表示にしても、次の警告メッセージは数秒後に表示されます。
 - ・ ブレーキシステム故障
 - ・ ブレーキ液量低下
 - ・ 充電システム故障
 - ・ エンジン油圧低下
 - ・ エンジン冷却水高温

■車線逸脱警報機能について

次のような場合は、車線を逸脱しても、警告メッセージが表示されないおそれがあります。

- 作動条件以外の車速で走行しているとき
- 走行中の白（黄）線が認識できなくなったとき

また、その他にも、システムが正常に作動しない場合があります（→ P. 240）

■「凍結注意」の警告メッセージについて

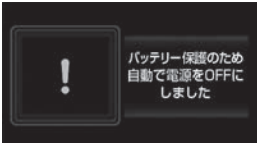
- 凍結注意の警告メッセージは目安です。必ず路面状況を確認してください。
- プッシュエンジンスイッチをイグニッションONモードにしたとき、外気温がすでに3℃以下の場合、表示されません。
- 警告メッセージがいったん表示されると、外気温が4℃以上にあがってから、3℃以下に下がらないと再び表示されません。

ただちに処置してください。

それぞれの対処方法に従って処置し、キーレスアクセスの警告メッセージが消灯するのを確認してください。

警告ブザー (車内)	警告メッセージ	警告内容・対処方法
—	  (高速点滅)	アクセスキーを携帯していない状態でエンジンを始動しようとした → アクセスキーを携帯する※
5 回	  (高速点滅)	プッシュエンジンスイッチがアクセサリーモードまたは ON モードのときにいずれかのドアを開けて、アクセスキーを車外に持ち出し、ドアを閉めた ・ 警告ブザーが鳴ります。 → アクセスキーを携帯して乗車する
—		車内にアクセスキーを置いたまま、キーレスアクセスのロック／アンロックスイッチでドアを施錠しようとした → 車内からアクセスキーを取り出したあと、再度施錠する

※ アクセスキーが車内にあってもエンジンが始動しない場合は、電池が切れている可能性があります。(→ P. 368)

警告ブザー (車内)	警告メッセージ	警告内容・対処方法
—		車内にアクセスキーを置いたまま、運転席ドアを開き、ロックレバーを施錠側にしてドアハンドルを引いたままドアを閉めて施錠しようとした → 車内からアクセスキーを取り出したあと、再度施錠する
—		アクセスキーを携帯していない状態で 2 回エンジンをかけようとした → アクセスキーを携帯する
—		自動でプッシュエンジンスイッチが OFF になった ・ プッシュエンジンスイッチがアクセサリモードのときは1時間以上、ON モードのときは 20 分以上経過すると表示されます。 → 次回エンジン始動時にエンジン回転数を少し高めにし、約 5 分間その回転を保持しバッテリーを充電する
3 回	  (点滅)	アクセスキーの電池切れが近いときにプッシュエンジンスイッチを OFF にした ・ 警告ブザーが鳴ります。 → 新しい電池に交換する※ (→ P. 368)
—		プッシュエンジンスイッチを押してステアリングロックが解除できなかった → ブレーキペダルを踏んでハンドルを左右にまわしながらプッシュエンジンスイッチを押す

※ 電池切れが近い状態を継続すると、プッシュエンジンスイッチをアクセサリモードまたは ON モードにしたときも点滅します。

警告ブザー (車内)	警告メッセージ	警告内容・対処方法
—		セレクトレバーが P 以外の状態で プッシュエンジンスイッチを OFF にしようとした → セレクトレバーを P にする
—		プッシュエンジンスイッチがアク セサリーモードまたは ON モード のときに、キーレスアクセスのロッ ク／アンロックスイッチでドアを 施錠しようとした → プッシュエンジンスイッチを OFF にして施錠する

知識

■ 警告メッセージについて

→ P. 419

■ 警告メッセージの表示について

→ P. 419

■ 警告ブザーについて

状況によっては、外部の騒音やオーディオの音などにより、ブザー音が聞こえない場合があります。

ただちに処置してください。

それぞれの対処方法に従って処置し、アイドリングストップの警告メッセージが消灯するのを確認してください。

警告ブザー (車内)	警告メッセージ	警告内容・対処方法
連続音 (約 5 秒間)	  (高速点滅)	アイドリングストップによるエンジン停止中に運転席シートベルトをはずした ・ 警告ブザーが鳴ります。 → 運転席シートベルトを着用する
連続音 (約 5 秒間)	  (高速点滅)	アイドリングストップによるエンジン停止中に運転席ドアを開けた ・ 警告ブザーが鳴ります。 → 運転席ドアを閉める

知識

■ 警告メッセージについて

→ P. 419

■ 警告メッセージの表示について

→ P. 419

■ 警告ブザーについて

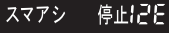
→ P. 422

“スマアシ停止”が表示されたときは

スマートアシストⅢの機能が停止すると、“スマアシ停止”と機能停止コードがディスプレイに表示されます。表示された場合は、次のように対処してください。

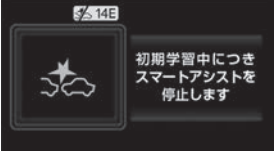
また、TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイ装着車は、機能停止のメッセージを表示することができます。(→ P. 86)

機能停止コード一覧

機能停止コード	メッセージ※2	警告内容・対処方法
※1  ※2 		ステレオカメラが視界不良により前方を認識できない → 原因状態が解消されると復帰
※1  ※2 		ステレオカメラ（車両前側）内が高温になった → 原因状態が解消されると復帰 エンジン始動後、2次ブレーキが3回作動した → 安全な場所に停車し、プッシュエンジンスイッチを OFF にした後、再度プッシュエンジンスイッチをイグニッション ON モードにする

※1 マルチインフォメーションディスプレイ装着車

※2 TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイ装着車

機能停止コード	メッセージ※ ²	警告内容・対処方法
※ ¹ スマアシ 停止14E ※ ² 		スマートアシスト初期学習中 → しばらく走行すると復帰
※ ¹ スマアシ 停止15E ※ ² 		雨、雪、氷、汚れなどがフロントソナー部※ ³ またはリヤソナー部※ ⁴ に付着している → ソナー部を清掃し、原因状態が解消されると復帰
※ ¹ スマアシ 停止16E ※ ² 		フロントワイパーを“高速”で作動している → 原因状態が解消されると復帰

※¹ マルチインフォメーションディスプレイ装着車

※² TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイ装着車

※³ セレクトレバーがD・S★・Bのとき

※⁴ セレクトレバーがRのとき

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

■機能停止コードについて

- 処置をしても、機能停止コードが表示されたままのときは、システムに異常があるおそれがあります。
通常の走行に支障はありませんが、スバル販売店で点検を受けてください。
- 機能停止コード「15E」「16E」は、車速が上がると消灯します。
- 「11E」はセレクトレバーが R 以外、「15E」「16E」はセレクトレバーが P または N 以外のときに表示します。
- 「15E」が表示されていても、「スマアシ停止」が表示されないことがあります。
- セレクトレバーが D・S★・B のときは、フロントワイパーを“高速”で作動させていても、「16E」、「スマアシ停止」が表示されないことがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

パンクしたときは

この車両には、スペアタイヤが搭載されていません。

タイヤがパンクしたときは、タイヤパンク応急修理キットで応急修理することができます。釘やネジなどが刺さった程度の軽度なパンクを応急修理できます。(パンク修理剤ボトル 1 本につき、応急修理できるタイヤは 1 本です) パンクしたタイヤの損傷状況により、応急修理キットでは修理できない場合があります。(→ P. 428)

タイヤパンク応急修理キットで応急修理したタイヤの修理・交換については、スバル販売店にご相談ください。タイヤパンク応急修理キットによる修理は、一時的な処置です。できるだけ早くタイヤを修理・交換してください。

警告

■ タイヤがパンクしたときは

パンクしたまま走行しないでください。

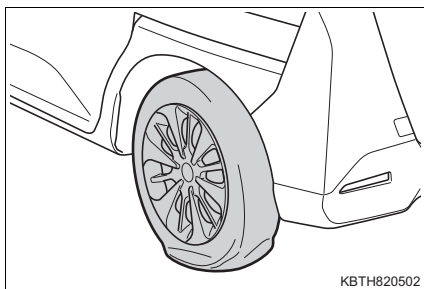
短い距離でも、タイヤとホイールが修理できないほど損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

応急修理する前に

- 地面が固く平らで安全な場所に移動する
- パーキングブレーキをかける
- セレクトレバーをPに入れる
- エンジンを停止する
- 非常点滅表示灯を点滅させる
- タイヤの損傷程度を確認する

釘やネジなどが刺さっている場合のみ、タイヤを応急修理してください。

- ・ タイヤに刺さっている釘やネジなどは抜かないでください。抜いてしまうと穴が大きくなりすぎ、応急修理ができなくなることがあります。



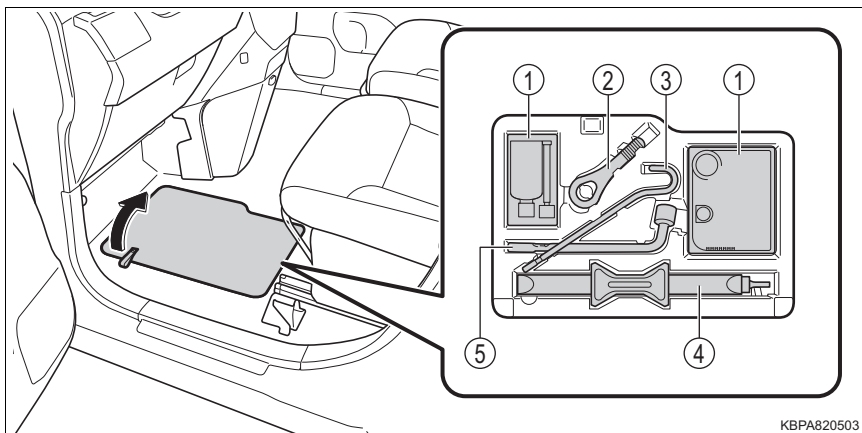
- ・ パンク修理剤がもれないようにするため、パンク箇所が分かっている場合は、パンク箇所が上になるように車両を移動してください。

知識

■ 応急修理キットで修理できないパンク

次の場合は、応急修理キットでは応急修理できません。スバル販売店にご連絡ください。

- タイヤ空気圧が不十分な状態で走行してタイヤが損傷しているとき
- タイヤ側面など、接地面以外に穴や損傷があるとき
- タイヤがホイールから明らかにはずれているとき
- タイヤに 4mm 以上の切り傷や刺し傷があるとき
- ホイールが破損しているとき
- 2 本以上のタイヤがパンクしているとき
- 1 本のタイヤに 2 箇所以上の切り傷や刺し傷があるとき

タイヤパンク応急修理キット・工具の搭載位置

① タイヤパンク応急修理キット

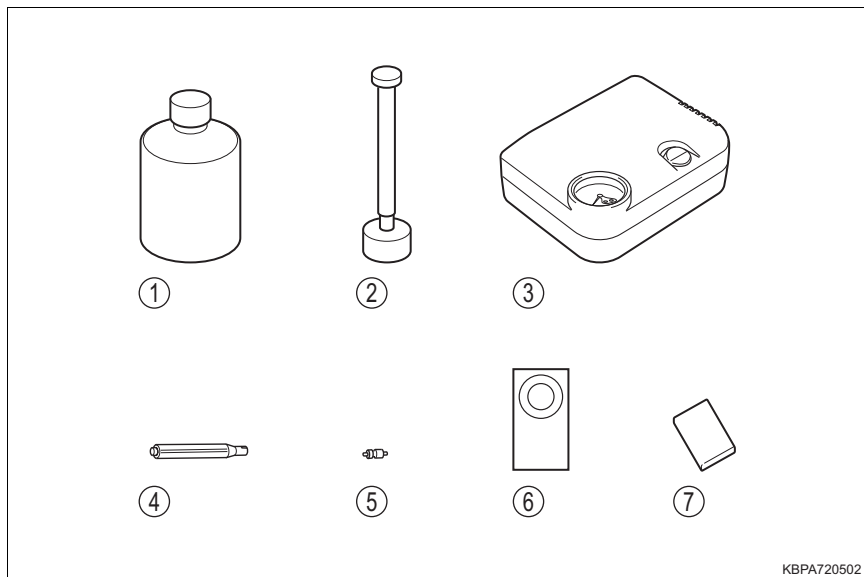
④ ジャッキ

② けん引フック

⑤ ホイールナットレンチ

③ ジャッキハンドル※

※ ジャッキの使い方 (→ P. 356)

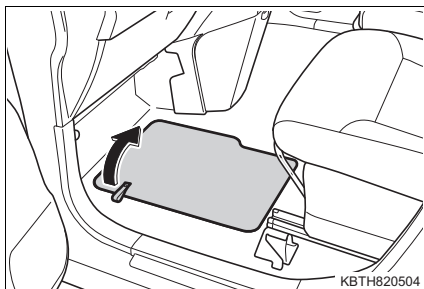
タイヤパンク応急修理キットの内容／各部の名称

KBPA720502

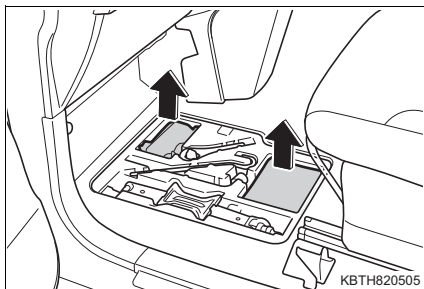
- | | |
|-----------------------|-----------|
| ① タイヤパンク応急修理剤 | ④ バルブコア回し |
| ② 注入ホース | ⑤ 予備バルブコア |
| ③ タイヤ空気充填用
コンプレッサー | ⑥ 速度制限シール |
| | ⑦ 取扱説明書 |

応急修理キットの取り出し方

- 1 フロアボードを取りはずす



- 2 タイヤパンク応急修理キットを取り出す



応急修理するとき

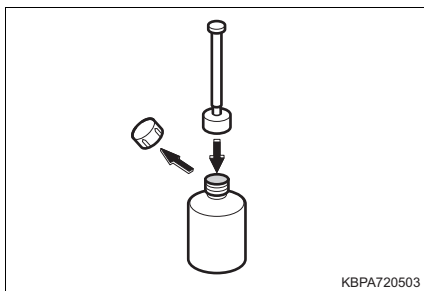
- 1 パンク修理剤ボトルとコンプレッサーを取り出す

- 2 パンク修理剤ボトルをよく振る

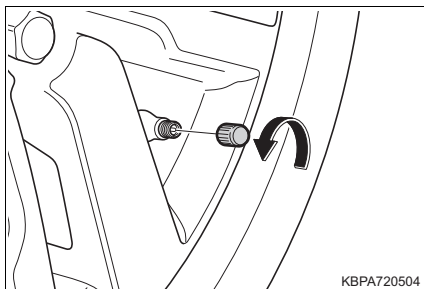
パンク修理剤ボトルは注入ホースをねじ込む前に振ってください。

- 3 パンク修理剤ボトルのキャップをはずし、中ぶたをつけたまま注入ホースをねじ込む

注入ホースをねじ込むと中ぶたが破れます。

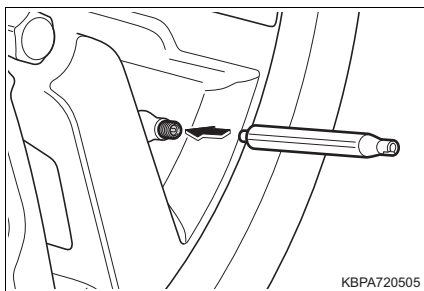


- 4 パンクしたタイヤのバルブキャップを取りはずす



- 5 タイヤに残った空気を完全に抜く

バルブにバルブコア回しを図の向きで押し付けると空気が抜けます。

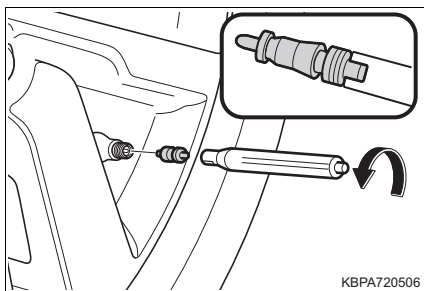


- 6 バルブコアを取りはずす

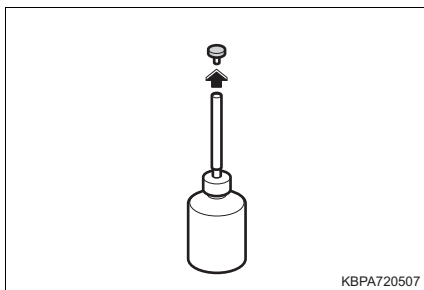
バルブコア回しの溝がある部分を使ってバルブコアを回します。

タイヤに空気が残っているとバルブコアが飛び出すことがあります。慎重にはずしてください。

バルブコアは再度使用しますので汚れないようにきれいなところに保管してください。

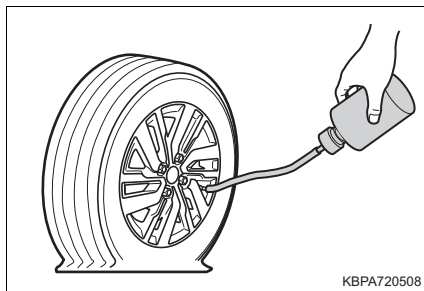


- 7 注入ホースの栓を取りはずし、タイヤのバルブに差し込む



- 8 パンク修理剤をタイヤ内に全て注入する

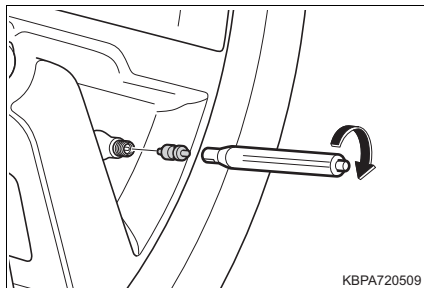
パンク修理剤ボトルを逆さまに持ち、手で何回も圧迫します。



- 9 注入し終わったら、注入ホースをタイヤバルブから引き抜く

- 10 バルブコアをタイヤバルブにしっかりとねじ込む

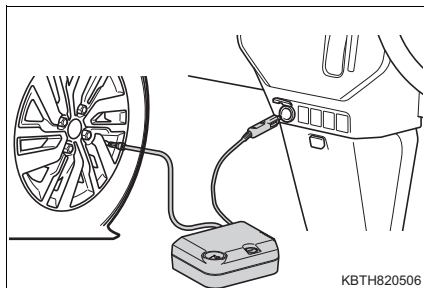
空になったパンク修理剤ボトルは、タイヤ交換または恒久修理のときに修理剤の抜き取りに使用しますので、捨てずにスバル販売店までお持ちください。



- 11 コンプレッサーからホースと電源プラグを取り出し、車両に接続する

ホースはタイヤバルブにしっかりとねじ込みます。

電源プラグは車両のアクセサリーソケットに挿し込みます。



- 12 ブッシュエンジンスイッチをアクセサリーモードにする

- 13 タイヤの指定空気圧を確認する

タイヤの指定空気圧は、運転席側のタイヤ空気圧ラベルで確認することができます。(→ P. 349)

14 コンプレッサーの電源を ON にし、タイヤに空気を入れる

空気圧ゲージで確認しながら、指定空気圧まで昇圧してください。

タイヤを指定の空気圧まで昇圧するには、約 5 分程度必要です。

5 分以内に十分昇圧しない場合、タイヤをジャッキで浮かせて手で 2 ～ 3 回以上回し、修理剤をタイヤ全体にいきわたらせてから、再度昇圧操作を行ってください。

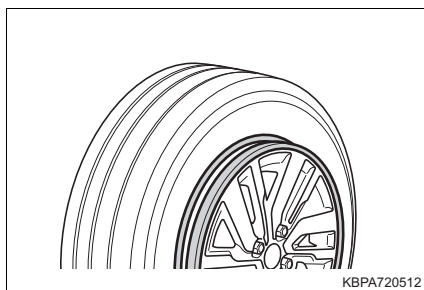
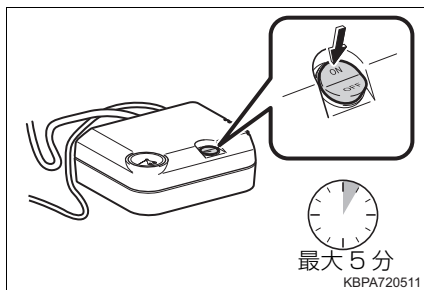
(ジャッキの使い方→ P. 356)

▶ タイヤのビードがリムからはずれている場合は

空気もれないようにリムとタイヤの隙間をなくすようにしてコンプレッサーを作動させてください。

(隙間がなくなれば昇圧します)

タイヤが膨らむとビードがリムにはまり込むので、指などを挟まないようにしてください。



▶ 5 分以内に指定の空気圧まで昇圧できない場合は

タイヤがひどい損傷を受けている可能性があります。この場合は、タイヤパンク応急修理キットで修理することができません。スバル販売店にご連絡ください。

15 指定の空気圧まで昇圧できれば、コンプレッサーの電源を OFF にして、車両から取りはずす

16 すみやかに走行を開始する

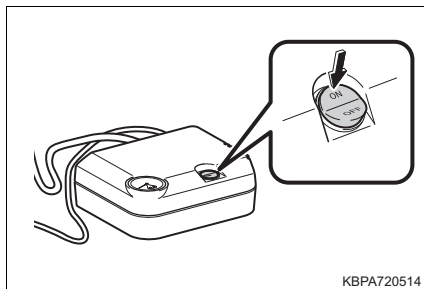
急加速・急ブレーキ・急ハンドルをさけ、80km/h 以下で慎重に運転してください。

17 10 分間または 5km 程度走行後、交通のさまたげにならない安全な場所に停車し、プッシュエンジンスイッチをイグニッション ON モードにする

- 18** コンプレッサーを車両に接続し、タイヤの空気圧を空気圧ゲージで確認する

プッシュエンジンスイッチをアクセサリーモードにする

コンプレッサーの電源を ON にして作動させたあと電源を OFF にしてから、空気圧ゲージで確認する



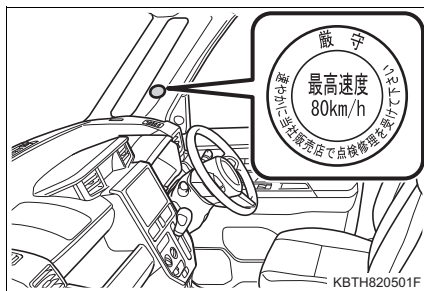
- 19** 空気圧が 130kPa 以上であれば、パンク応急修理を完了する

130kPa 以上で指定空気圧に満たない場合は、コンプレッサーの電源を“ON”にし、昇圧する

- ▶ 空気圧が 130kPa 以下に低下していたら

タイヤパンク応急修理キットによる修理はできません。走行を中止し、スバル販売店にご連絡ください。

- 20** 付属の速度制限シールを運転者のよく見えるところに貼る



- 21** 急ブレーキ、急加速、急ハンドルを避け、慎重に 80km/h 以下で運転してスバル販売店へ行きます

タイヤの修理・交換についてはスバル販売店にご相談ください。

 知識**■ 応急修理後のタイヤのバルブについて**

応急修理キットを使用したときは、タイヤのバルブコアを新品に交換してください。

■ 応急修理キットの点検について

パンク修理剤の有効期限の確認は定期的に行ってください。

有効期限はボトルに表示されています。

有効期限が切れたパンク修理剤は使用しないでください。応急修理キットによる修理が正常にできない場合があります。

有効期限が切れる前に交換してください。交換については、スバル販売店にご相談ください。

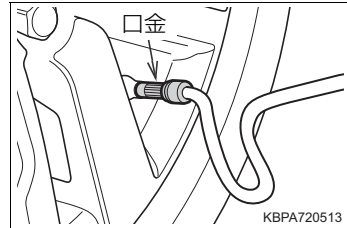
タイヤ空気圧充填用コンプレッサーの電源プラグをアクセサリースOCKETに挿し込み、プッシュエンジンスイッチをアクセサリモードにして、作動の確認をしてください。

■ 応急修理キットについて

- 応急修理キットは自動車タイヤの空気充填用です。
- 応急修理キットのパンク修理剤ボトルは、1本のタイヤを一度だけ応急修理できます。使用したパンク修理剤ボトルの交換は、スバル販売店にご相談ください。
- 外気温度が -30℃～60℃のときに使用できます。
- 応急修理キット搭載車両の装着タイヤ専用です。指定タイヤサイズ以外のタイヤや、他の用途には使用しないでください。
- パンク修理剤が衣服に付着すると、シミになる場合があります。
- パンク修理剤がホイールやボディに付着した場合、放置すると取れなくなるおそれがあります。ぬれた布などですみやかにふき取ってください。
- タイヤ空気圧充填用コンプレッサー作動中は、大きな音がしますが故障ではありません。
- タイヤ空気圧充填用コンプレッサーをタイヤ空気圧の点検や調整には使用しないでください。
- パンク修理剤ボトルの空容器は、修理剤の抜き取りに使用しますので、スバル販売店までお持ちください。
- 新しい修理剤は、スバル販売店でご購入ください。

■空気を入れすぎてしまったとき

ホースの口金をゆるめて空気を抜いてください。



⚠ 警告

■応急修理キットについて

- 応急修理キットは指定の位置に収納してください。
急ブレーキ時などに応急修理キットが飛び出したりして破損したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 応急修理キットはお客様の車専用です。他の車には使わないでください。他の車に使うと思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 指定タイヤサイズ以外のタイヤや他の用途には使用しないでください。パンク修理が完全に行われず、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■パンク修理剤について

- 誤って飲み込むと健康に害があります。その場合はできるだけたくさん水を飲み、ただちに医師の診察を受けてください。
- もし目に入ったり、皮膚に付着したりした場合には、水でよく洗い流してください。それでも異常を感じたときは、医師の診察を受けてください。

■パンクしたタイヤを応急修理するとき

- 車両を安全で平坦な場所に停止させてください。
- 走行直後、ホイールやブレーキまわりなどにはふれないでください。
走行直後のホイールやブレーキまわりは高温になっている可能性があるため手や足などがふれると、やけどをするおそれがあります。
- タイヤ空気圧充填用コンプレッサーは、長時間作動させると過熱する可能性があります。10分以上連続で作動させないでください。
- タイヤ空気圧充填用コンプレッサーの作動中に、動作が鈍くなったり、本体が熱くなったりしたときは、ただちに電源を“OFF”にし、30分以上放置してください。
- 速度制限シールは指定位置以外に貼らないでください。ハンドルのパッド部分などのSRSエアバッグ展開部に速度制限シールを貼ると、SRSエアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。

 警告**■パンク修理剤を均等に広げるための運転について**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、車両のコントロールが不能となり、重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡事故につながるおそれがあります。

- 低速で慎重に運転してください。特にカーブや旋回時には注意してください。
- お車がまっすぐ走行しなかったり、ハンドルをとられたりする場合は、停車し、次のことを確認してください。
 - ・タイヤを確認してください。タイヤがホイールからはずれている可能性があります。
 - ・空気圧を確認してください。130 kPa (1.3 kg/cm²) 未満の場合は、タイヤが大きなダメージを受けている可能性があります。

 注意**■応急修理をするとき**

- タイヤに刺さった釘やネジを取り除かずに応急修理を行ってください。取り除いてしまうと、応急修理キットでは応急修理ができなくなる場合があります。
- 応急修理キットに防水機能はありません。降雨時などは、水がかからないようにして使用してください。
- 砂地などの砂ぼこりの多い場所に直接置いて使用しないでください。砂ぼこりなどを吸い込むと、故障の原因になります。

■応急修理キットについて

- 応急修理キットは DC12V 専用です。他の電源での使用はできません。
- 応急修理キットにガソリンがかかると、劣化するおそれがあります。ガソリンがかからないようにしてください。
- 応急修理キットは砂埃や水を避けて収納してください。
- 応急修理キットは指定の位置に収納し、お子さまが誤って手をふれないようご注意ください。
- 分解・改造などは絶対にしないでください。また、圧力計などに衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

エンジンがかからないときは

正しいエンジンのかけ方（→ P. 183）に従っても、エンジンがかからないときは、次のことを確認してください。

スターターは正常にまわっているのにエンジンがかからない場合

次の原因が考えられます。

- 燃料が入っていない可能性があります。
給油してください。
- 燃料を吸い込みすぎている可能性があります。
再度、正しい手順（→ P. 183）に従って、エンジンをかけてください。
- イモビライザー（盗難防止用エンジン始動ロックシステム）に異常がある可能性があります。（→ P. 63）

スターターがゆっくりまわる／室内灯・ヘッドランプが暗い／ホーンの音が小さい、または鳴らない場合

次の原因が考えられます。

- バッテリーあがりの可能性があります。（→ P. 442）
- バッテリーのターミナルがゆるんでいる可能性があります。

スターターがまわらない

- 電装品の断線やヒューズ切れなど、電気系統異常の可能性があります。
異常の種類によっては、エンジンを一時的な処置でかけることができます。（→ P. 440）
- ステアリングロックシステムに異常がある可能性があります。

スターターがまわらない／室内灯・ヘッドランプが点灯しない／ホーンが鳴らない場合

次の原因が考えられます。

- バッテリーのターミナルがはずれている可能性があります。
- バッテリーあがりの可能性があります。（→ P. 442）
処置のしかたがわからないとき、あるいは処置をしてもエンジンがかからないときは、スバル販売店にご連絡ください。

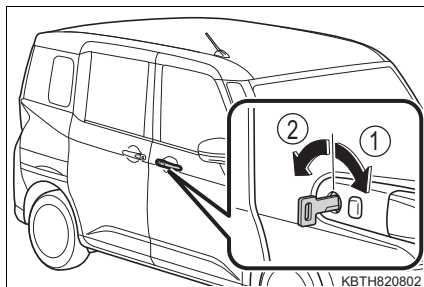
アクセスキーが正常に働かないときは

アクセスキーと車両間の通信がさまたげられたり(→ P. 116)、アクセスキーの電池が切れたときは、キーレスアクセスと電波式リモコンが使用できなくなります。このような場合、次の手順でドアを開けたり、エンジンを始動したりすることができます。

ドアの施錠・解錠

メカニカルキー(→ P. 109)を使って次の操作ができます。

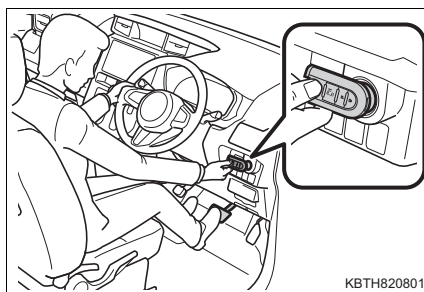
- ① 全ドア施錠
- ② 全ドア解錠



エンジン始動の方法

- ① セレクトレバーがPの状態ブレーキペダルを踏む
- ② アクセスキーのスバルエンブレム面で、プッシュエンジンスイッチにふれる

プッシュエンジンスイッチの表示灯が緑色に点灯します。



- ③ プッシュエンジンスイッチを押す

処置をしても作動しないときは、スバル販売店にご連絡ください。

 知識**■ エンジンの停止方法**

通常のエンジン停止のしかたと同様、セレクトレバーをPにしてプッシュエンジンスイッチを押します。

■ 電池交換について

ここで説明しているエンジンの始動方法は一時的な処置です。電池が切れたときは、ただちに電池の交換をおすすめします。(→ P. 368)

■ プッシュエンジンスイッチのモードの切りかえ

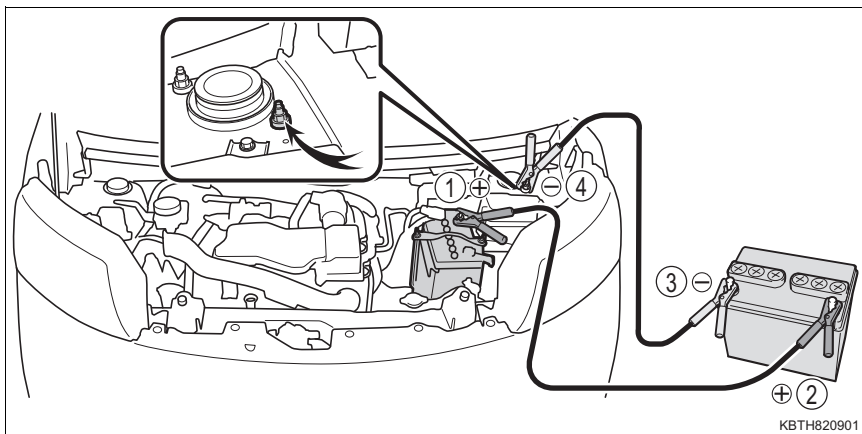
エンジン始動方法の手順[3]で、ブレーキペダルから足を離してプッシュエンジンスイッチを押すと、エンジンが始動せず、スイッチを押すごとにモードが切りかわります。(→ P. 184)

バッテリーがあがったときは

バッテリーがあがった場合、次の手順でエンジンを始動することができます。

ブースターケーブルと 12V のバッテリー付き救援車があれば、次の手順に従って、エンジンを始動させることができます。

- 1 バッテリーの + 端子のカバーをはずし、ブースターケーブルを次の順につなぐ
 - ① 赤色のブースターケーブルを自車のバッテリーの + 端子につなぐ
 - ② 赤色のブースターケーブルのもう一方の端を救援車（電源側の車）のバッテリーの + 端子につなぐ
 - ③ 黒色のブースターケーブルを救援車のバッテリーの - 端子につなぐ
 - ④ 黒色のブースターケーブルのもう一方の端をバッテリーから離れた、未塗装の金属部（図に示すような固定された部分）につなぐ



- 2 救援車のエンジンをかけ、回転を少し高めにして、約 5 分間自車のバッテリーを充電する
- 3 救援車のエンジン回転を維持したまま、プッシュエンジンスイッチをいったんイグニッション ON モードにしてから、自車のエンジンをかける
- 4 自車のエンジンが始動したら、ブースターケーブルをつないだときと逆の順ではずす

エンジンがかかっても、早めにスバル販売店で点検を受けてください。

 知識**■ バッテリーあがりのときの始動について**

この車両は、押しがけによる始動はできません。

■ バッテリーあがりを防止するために

- エンジンがかかっていないときは、ランプやエアコンの電源を切ってください。
- 渋滞などで長時間止まっているときは、不必要な電装品の電源を切ってください。

■ バッテリーがあがったときは

コンピューターに記憶されている情報が消去されます。バッテリーがあがったときはスバル販売店で点検を受けてください。

■ バッテリーの充電について

バッテリーの電力は、車両を使用していないあいだも、一部の電装品による消費や自然放電のために、少しずつ消費されています。そのため、車両を長期間放置すると、バッテリーがあがってエンジンを始動できなくなるおそれがあります。（バッテリーは走行中に自動で充電されます）

■ バッテリーあがりのときや取りはずし時など

- バッテリーがあがった直後はキーレスアクセスによるドアの解錠ができない場合があります。解錠できなかった場合は電波式リモコン、またはメカニカルキーで解錠・施錠を実施してください。
- バッテリーがあがったあとの、最初のエンジン始動は失敗することがあります。2回目以降のエンジン始動は正常に動作しますので、問題ではありません。
- 車両は常にプッシュエンジンスイッチの状態を記憶しています。バッテリーあがりのとき、バッテリー脱着後は、バッテリーをはずす前の状態に復帰します。バッテリーを脱着する際は、プッシュエンジンスイッチを OFF にしてから行ってください。
バッテリーがあがる前の状態が不明の場合、バッテリー接続時は特に注意してください。

■ バッテリーを交換するとき

装着されているバッテリーは、アイドリングストップ専用品です。

同等の性能のものと交換してください。

適切なバッテリーをご使用いただかない場合、バッテリーの早期劣化や、最悪の場合にはエンジンが再始動しなくなるおそれがあります。

詳しくはスバル販売店にご相談ください。

 警告**■ バッテリーの引火または爆発を防ぐために**

救済車のバッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険ですので、火や火花が発生しないよう、次のことをお守りください。

- ブースターケーブルは正しい端子または接続箇所以外に誤って接触させない
- +端子に接続したブースターケーブルの先を付近のブラケットや未塗装の金属部に接触させない
- ブースターケーブルは+側と-側の端子を絶対に接触させない
- バッテリー付近では、喫煙したりマッチやライターなどで火を起こさない

■ バッテリーの取り扱いについて

バッテリー内には有毒で腐食性のある酸性の電解液が入っており、また関連部品には鉛または鉛の混合物を含んでいるので、取り扱いに関し、次のことを必ずお守りください。

- バッテリーを取り扱うときは保護メガネを着用し、液（酸）が皮膚・衣服・車体に付着しないようにする
- 必要以上、顔や頭などをバッテリーに近付けない
- 誤ってバッテリー液が体に付着したり目に入ったりした場合、ただちに大量の水で洗い、すぐに医師の診察を受ける
また、医師の診察を受けるまで、水を含ませたスポンジや布を患部にあてておく
- 誤ってバッテリー液を飲み込んだ場合、多量の水を飲んで、すぐに医師の診察を受ける
- バッテリーの支柱・ターミナル・その他の関連部品の取り扱い後は手を洗う
- お子さまをバッテリーに近付けない

■ お車の損傷を防ぐために

車両を押したり、引いたりして始動させないでください。
触媒コンバーターが過熱し、火災の原因になるおそれがあります。

 注意**■ ブースターケーブルの取り扱いについて**

ブースターケーブルを接続したり、取りはずすときは、冷却ファンやベルトに巻き込まれないように十分注意してください。

オーバーヒートしたときは

次のような場合は、オーバーヒートの可能性があります。

- 高水温警告灯（→ P. 405）が赤色に点滅または点灯した
- TFT カラーマルチインフォメーションディスプレイ装着車：「エンジン冷却水高温」の警告メッセージ★（→ P. 412）が表示された
- エンジンの出力が低下した（スピードが出ないなど）
- エンジンルームから蒸気が出る

対処方法

■ 高水温警告灯が点滅または点灯したとき

- 1 安全な場所に停車し、エアコンを OFF にしてから、エンジンを停止する

- 2 蒸気が出ている場合：

蒸気が出なくなったことを確認してから、注意してボンネットを開ける

蒸気が出ていない場合：

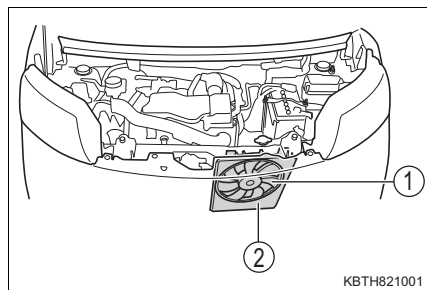
注意してボンネットを開ける

- 3 エンジンが十分に冷えてから、ラジエーターコア部（放熱部）やホースなどからの冷却水もれを点検する

- ① ファン

- ② ラジエーター

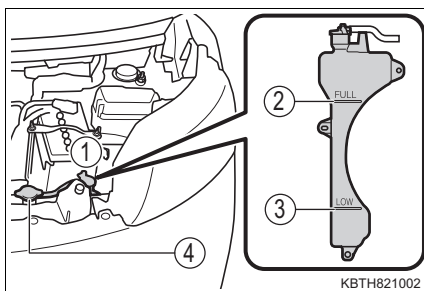
多量の冷却水もれがある場合は、ただちにスバル販売店に連絡してください。



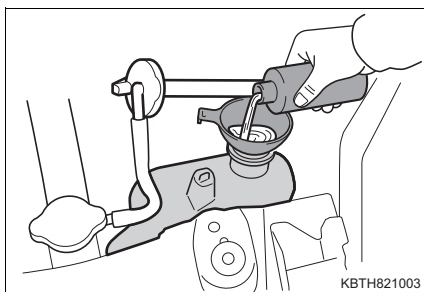
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

- 4 冷却水の量がリザーバータンクの“FULL”（上限）と“LOW”（下限）のあいだにあるかを点検する

- | | |
|--------------|-------------|
| ① リザーバータンク | ③ “LOW”（下限） |
| ② “FULL”（上限） | ④ 冷却水注入口 |



- 5 冷却水が不足している場合は、冷却水を補給する
冷却水がない場合は、応急措置として水を補給してください。



- 6 エンジンを始動し、エアコンを作動させてラジエーター冷却用のファンが作動しているか、およびラジエーターコアやホースなどから冷却水もれがないことを再度確認する

エンジンが冷えた状態での始動直後は、エアコンを ON にすることでファンが作動します。ファンの音や風で確認してください。わかりにくいときは、エアコンの ON・OFF をくり返してください。

（ただし、氷点下となる寒冷時はファンが作動しないことがあります）

- 7 ファンが作動していない場合：
すぐにエンジンを停止し、スバル販売店に連絡する

ファンが作動している場合：
最寄りのスバル販売店で点検を受ける

 警告**■ エンジンルーム点検中の事故やけがを防ぐために**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

- エンジンルームから蒸気が出ている場合は、蒸気が出なくなるまでボンネットを開けないでください。エンジンルーム内が高温になっています。
- 手や着衣（特にネクタイ・スカーフ・マフラーなど）をファンやベルトから離してください。手や着衣が巻き込まれ、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- エンジンおよびラジエーターが熱い場合はラジエーターキャップおよび冷却水リザーバータンクのキャップを開けないでください。
高温の蒸気や冷却水が圧力によって噴き出すおそれがあります。

 注意**■ 冷却水を入れるとき**

エンジンが十分に冷えてから入れてください。

冷却水はゆっくり入れてください。

エンジンが熱いときに急に冷たい冷却水を入れると、エンジンが損傷するおそれがあります。

■ 冷却システムの故障を防ぐために

次のことをお守りください。

- 異物（砂やほこりなど）を冷却水に混入させない
- 冷却水用添加剤を使用しない

スタックしたときは

ぬかるみや砂地・雪道などでタイヤが空転したり埋まり込んで動けなくなったときは次の方法を試みてください。

- 1 パーキングブレーキをかけ、セレクトレバーを P にして、エンジンを停止する
- 2 タイヤ前後の土や雪を取り除く
- 3 タイヤの下に木や石などをあてがう
- 4 エンジンを再始動する
- 5 セレクトレバーを D または R に確実に入れ、注意しながらアクセルを踏む

TRC・VSC (VDC) の作動で脱出しにくいときは、TRC または VSC (VDC) を停止してください。(→ P. 287, 288)

警告

■ 脱出するとき

前進と後退をくり返してスタックから脱出する場合、他の車・ものまたは人との衝突を避けるため周囲に何も無いことを確認してください。
スタックから脱出するとき、お車が前方または後方に飛び出すおそれがありますので、特に注意してください。

■ セレクトレバーを操作するとき

アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。
お車が急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

注意

■ トランスミッションやその他の部品への損傷を避けるために

- タイヤが空転するのを避け、必要以上にアクセルペダルを踏まないでください。
- 上記の方法で脱出できなかった場合、けん引による救援が必要です。

車両情報**9****9-1. 仕様一覧**

メンテナンスデータ
(指定燃料・
オイル量など)450

9-2. カスタマイズ機能

カスタマイズ機能一覧455

9-3. 初期設定

初期設定が必要な項目458

メンテナンスデータ（指定燃料・オイル量など）

使用するオイルや液類の品質により、お車の寿命は著しく左右されます。お車には、最も適した弊社指定オイル・液類（以下、「指定銘柄」といいます）のご使用をおすすめします。

指定銘柄以外を使用される場合は、指定銘柄に相当する品質のものををご使用ください。

燃料

指定燃料	容量 [L]（参考値）	
無鉛レギュラーガソリン	FF（前輪駆動）	4WD（4 輪駆動）
	36	38

エンジンオイル

指定銘柄	容量 [L]（参考値※ ¹ ）	
	オイルのみ 交換	オイルと オイル フィルター 交換
SUBARU MOTOR OIL SN 0W-20 ※ ² SUBARU MOTOR OIL SN 5W-30 アミックス SN 5W-30	2.9	3.1

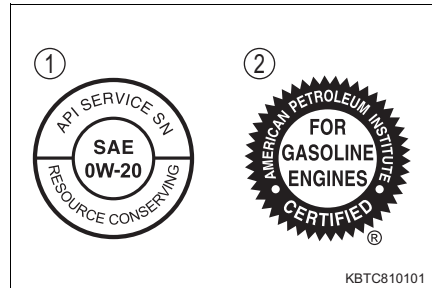
※¹ エンジンオイルの容量は交換する際の目安です。オイル量の確認は、エンジンを暖機後に停止し、5 分以上経過してからレベルゲージで行ってください。

※² 省燃費性に優れるオイルです。

■ 指定エンジンオイル

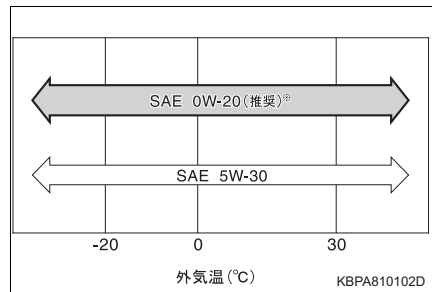
API 規格 SN/RC、SM/EC か、ILSAC 規格合格油をおすすめします。
 なお、ILSAC 規格合格油の缶には ILSAC CERTIFICATION（イルサックサーティフィケーション）マークがついています。

- ① API マーク
- ② ILSAC CERTIFICATION マーク



■ エンジンオイル推奨粘度

次の図に基づき、外気温に適した粘度のものをご使用ください。



※ 省燃費性に優れるオイルです。

オイル粘度について（例として 0W-20 で説明します）：

- ・ 0W-20 の 0W は、低温時のエンジン始動特性を示しています。W の前の数値が小さいほど冬場や寒冷時のエンジン始動が容易になります。
- ・ 0W-20 の 20 は、高温時の粘度特性を示しています。粘度の高い（数値が大きい）オイルは高速または重負荷走行に適しています。

ラジエーター

指定銘柄	エンジン	容量 [L] (参考値)
アミックスロングライフクーラント (高防錆タイプ)	1KR-FE	4.4
凍結保証温度 濃度 30% - 12°C 濃度 50% - 35°C	1KR-VET	5.0

トランスミッション

指定銘柄	エンジン	容量 [L] (参考値※)
アミックス CVT フルード-DC	1KR-FE	5.8
	1KR-VET	6.4

※ 容量は参考値です。交換が必要な際はスバル販売店にご相談ください。

トランスファー (4WD 車)

指定銘柄 (推奨粘度)	容量 [L] (参考値)
アミックスディファレンシャル ハイポイドギヤオイル (API GL-5 SAE 80W-90)	0.57

リヤディファレンシャル (4WD 車)

指定銘柄 (推奨粘度)	容量 [L] (参考値)
アミックスディファレンシャル ハイポイドギヤオイル (API GL-5 SAE 80W-90)	0.83

ファンベルト

自動調整式のため点検不要です。

ブレーキ

■ ブレーキフルード

指定銘柄
アミックスブレーキフルード (DOT3 相当)

■ ブレーキペダル

項目	基準値 [mm]
遊び	0.5 ～ 3
踏み込んだときの床板とのすき間※	80 以上

※ エンジン回転時に 294 N (30 kgf) の踏力をかけたときの床板とのすき間の最小値

■ パーキングブレーキ

項目	基準値 (回数)
踏みしろ 操作力 245 N (25 kgf) のときのノッチ※数	5 ～ 7

※ ノッチとは、パーキングブレーキをかけるときの節度（“カチッ” という音）のことです。

ウォッシャー

容量 [L] (参考値)
2.0

タイヤ・ホイール※

タイヤサイズ		ホイール サイズ	タイヤが冷えている ときの空気圧 kPa (kg/cm ²)	
			前輪	後輪
標準タイヤ	165/65R14 79S	14 × 5J	260 (2.6)	260 (2.6)
	175/55R15 77V	15 × 5J	250 (2.5)	250 (2.5)

※ 標準装着タイヤ、装着可能なタイヤのサイズと空気圧は、車種・グレードにより異なりますので、運転席ドアを開けたボディに貼ってある「タイヤ空気圧」のラベルをご覧ください。

電球（バルブ）

電球		W（ワット）数
車外	ヘッドランプ ハロゲンヘッドランプ装着車 （バルブタイプ：H4）	60/55
	車幅灯★	5
	フロント方向指示灯兼非常点滅表示灯	21
	サイド方向指示灯兼非常点滅表示灯	5
	リヤ方向指示灯兼非常点滅表示灯	21
	後退灯	16
	番号灯	5
車内	フロントマップランプ	5
	ルームランプ	8
	デッキサイドランプ右側（スイッチ付）★	5
	デッキサイドランプ左側	5
	カーゴルームランプ	5
	後席ステップランプ（右側★）	5

※ 表に記載のないランプはLEDを採用しています。

車両仕様

型式	エンジン	駆動方式
M900F	1KR-FE (1.0L ガソリン)	FF（前輪駆動）
	1KR-VET (1.0L ガソリン)	
M910F	1KR-FE (1.0L ガソリン)	4WD（4 輪駆動）

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

カスタマイズ機能一覧

お車に装備されている各種の機能は、ご希望に合わせてスバル販売店で作動内容を変更することができます。

機能によっては、他の機能と連動して設定が変わるものもあります。詳しくはスバル販売店へお問い合わせください。

カスタマイズ設定一覧

■ キーレスアクセス、電波式リモコンドアロック共通 (→ P. 112, P. 121)

機能の内容	初期設定	変更後
作動の合図（非常点滅表示灯）	あり	なし
アクセスキーの  ・  ボタン操作でパワースライドドアを開閉する	スライドドア 開閉時：長押し	スライドドア 開閉時：短押し

■ キーレスアクセス (→ P. 112)

機能の内容	初期設定	変更後
キーレスアクセスの作動	あり	なし

■ パワースライドドア (→ P. 127)

機能の内容	初期設定	変更後
作動の合図（ブザー）	標準	大きい
		小さい
インストルメントパネル内のパワースライドドアスイッチでスライドドアを開閉する	長押し	短押し
閉作動中のブザー	あり	なし
スライドドアハンドルスイッチの反応時間	0.1 秒	OFF
		0.2 秒
		0.5 秒

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ リヤゲート (→ P. 140)

機能の内容	初期設定	変更後
リヤゲートの右側スイッチ操作による作動	施錠のみ	施錠・解錠

■ スマートアシストⅢ (先行車発進お知らせ機能) (→ P. 242)

機能の内容	初期設定	変更後
先行車発進お知らせ機能の発進告知タイミング	標準	やや早い
		早い

■ オートエアコン★ (→ P. 307)

機能の内容	初期設定	変更後
AUTO スイッチが ON のとき、連動して外気導入と内気循環を自動的に切りかえる	する	しない

■ ランプの自動点灯・消灯システム (→ P. 193)

機能の内容	初期設定	変更後
ランプを点灯するまでの時間	標準	早い
		遅い

■ イルミネーション (→ P. 316)

機能の内容	初期設定	変更後
ドア開閉後に点灯している室内灯が自動で消灯するまでの時間	15 秒	7.5 秒
プッシュエンジンスイッチ OFF 後の室内灯自動点灯機能	あり	なし

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

■ ドアミラー (→ P. 162)

機能の内容	初期設定	変更後
ドアミラースイッチの操作による格納・復帰	プッシュエンジンスイッチがアクセサリーモードまたは ON モードで格納・復帰	プッシュエンジンスイッチが ON モードで格納・復帰
プッシュエンジンスイッチの操作と連動して復帰	プッシュエンジンスイッチがアクセサリーモードまたは ON モードで復帰	プッシュエンジンスイッチが ON モードで復帰

■ フロントワイパー (車速感应式間欠ワイパー装着車) (→ P. 200)

機能の内容	初期設定	変更後
車速感应間欠作動機能	する	しない

■ リヤワイパー&ウォッシャー (→ P. 202)

機能の内容	初期設定	変更後
リバース連動機能	する	しない
間欠作動時間の調整	標準	早い
		遅い
間欠作動開始時に 4 秒間の低速作動	する	しない
リヤウォッシャー連動機能	しない	する

■ 方向指示レバー (→ P. 191)

機能の内容	初期設定	変更後
レバーを途中まで動かしたときの 3 回点滅する機能	する	しない
3回点滅するときのレバー操作する時間 (設定時間を越えると 3 回点滅)	レベル 2	レベル 1 ~ 4
右左折後に消灯させるハンドルの角度調整	レベル 3	レベル 1 ~ 9

初期設定が必要な項目

次の項目はバッテリーを再接続したり、メンテナンスを行ったあとなどに、システムを正しく働かせるために初期設定が必要です。

項目	機能の内容	参照
パワースライドドア	・ バッテリーの充電・交換後の再接続 ・ ヒューズ交換時	P. 130
パワーウィンドウ		P. 168

さくいん

こんなときは
（症状別さくいん）..... 460

お車から音が鳴ったときは
（音さくいん）464

アルファベット順さくいん.....465

五十音順さくいん.....466

こんなときは（症状別さくいん）

お困りの際は、スバル販売店にご連絡いただく前にまず次のことを確認してください。

施錠／解錠／ドアの開閉ができない



キーをなくした

- キーまたはメカニカルキーをなくした場合、スバル販売店でスバル指定の新しいキーまたはメカニカルキーを作ることができます。
(→ P. 110)
- キーまたはアクセスキーをなくすと盗難の危険性が極めて高くなるため、ただちにスバル販売店にご相談ください。(→ P. 111)



施錠・解錠できない

- キーの電池が消耗、または電池が切れていませんか？ (→ P. 368)
- プッシュエンジンスイッチがイグニッション ON モードになっていませんか？
施錠するときはプッシュエンジンスイッチを OFF にしてください。
(→ P. 184)
- アクセスキーを車内に置き忘れていませんか？
施錠するときはアクセスキーを携帯していることを確認してください。
- 電波状況により、機能が正常に働いていない可能性があります。
(→ P. 116)



スライドドアが開かない

- チャイルドブルーフがかかっていませんか？
チャイルドブルーフがかかっていると車内からは開きません。いったん車外から開けて、ブルーフを解除してください。(→ P. 127)



スライドドアが全開にならない

- 中間ストッパーがかかっていますか？
フューエルリッドが開いていると、スライドドアは途中までしか開きません（中間ストッパー位置で停止します）。フューエルリッドを閉じ、いったんスライドドアを全閉にしてから、再度スライドドアを開けてください。（→ P. 128）

故障かな？と思ったら



エンジンがかからない

- ブレーキペダルをしっかりと踏みながらプッシュエンジンスイッチを押していますか？（→ P. 183）
- セレクトレバーは P になっていますか？（→ P. 183）
- キーが車内の検知される場所にありますか？（→ P. 114）
- ステアリングロックされていませんか？（→ P. 186）
- キーの電池が消耗、または電池が切れていませんか？
このときは、一時的な方法でエンジンをかけることができます。
（→ P. 440）
- バッテリーがあがっていませんか？（→ P. 442）



ブレーキペダルを踏んでいてもセレクトレバーがPから動かない

- プッシュエンジンスイッチはイグニッション ON モードになっていませんか？
プッシュエンジンスイッチがイグニッション ON モードでブレーキを踏んでも解除できないときは（→ P. 190）を参照してください。



エンジンを停止したあとにハンドルがまわせなくなった

- 盗難防止のため、自動的にロックされます（→ P. 185）



パワーウィンドウスイッチを操作してもドアガラスが開閉しない

- ウィンドウロックスイッチが押されていませんか？
ウィンドウロックスイッチが押されていると、運転席以外のパワーウィンドウは操作できなくなります。（→ P. 166）



プッシュエンジンスイッチが自動的に OFF になった

- 一定時間アクセサリモードまたはイグニッション ON モード（エンジンがかかっていない状態）にしておくと、自動電源 OFF 機能が作動します。（→ P. 185）

**警告音が鳴りだした**

- 警告音が鳴りだしたときは、「お車から音が鳴ったときは（音さくいん）」（→ P. 464）をご確認ください。

**警告灯や警告メッセージ★が表示されたとき**

- 警告灯や警告メッセージ★が表示されたときは、P. 405, 411 をご確認ください。

トラブルが発生した**タイヤがパンクした**

- お車を安全な場所に停め、タイヤパンク応急修理キットでパンクしたタイヤを応急修理してください。（→ P. 427）

**立ち往生した**

- むかるみ・砂地・雪道などで動けなくなったときの脱出方法を試してください。（→ P. 448）

お車から音が鳴ったときは（音さくいん）

次の状況のとき、お車の状態や誤操作などをお知らせするために警告音が鳴ります。

お車に乗るとき／降りるとき

状況	原因	詳細
ドアを開閉したとき	プッシュエンジンスイッチがアクセサリモードまたはイグニッションONモードのときにアクセスキーを車内から持ち出している	P. 409 P. 420
	車幅灯・ヘッドランプが点灯している	P. 195
エンジンを停止したとき	アクセスキーの電池残量が少なくなっている	P. 409 P. 421

走行しているとき

状況	原因	詳細
停車しているとき	先行車が発進しても、停車し続けた	P. 242
走り出したとき	いずれかのドアが確実に閉まっていない	P. 407 P. 416
	パーキングブレーキが解除されていない	P. 408 P. 416
	運転席・助手席・後席のシートベルトを着用していない※	P. 407 P. 416
	ペダルの踏み間違いなどにより必要以上にアクセルペダルが踏み込まれた	P. 230
走行しているとき	前方障害物に対して衝突の危険性がある	P. 220
	走行車線から逸脱する可能性がある	P. 239
ブレーキペダルを踏んだとき（きしみやひっかき音）	ブレーキパッドが摩耗しているおそれがある	P. 176

※ 助手席に荷物を置いている場合にもブザーが鳴ることがあります。

アルファベット順さくいん

4WD

(4 ホイールドライブ)P. 286

A/C

(エアコン)P. 302, 307

ABS

(アンチロックブレーキシステム)P. 286

CRS

(チャイルドレストRAINTシステム)P. 54

ECO

(エコノミー／エコロジー)P. 172

EDR

(イベントデータレコーダー)P. 8

EPS

(エレクトリックパワーステアリング)P. 286

F-FLAT

(フルフラット)P. 154

ILSAC CERTIFICATION

(イルサックサーティフィケーション)P. 451

ISOFIX

(アイソフィックス／イソフィックス)P. 43, 53

SRS

(サブリメンタルレストRAINTシステム)P. 35

TRC

(トラクションコントロール)P. 286

VSC (VDC)

(ビークルスタビリティコントロール／
ビークルダイナミクスコントロール)P. 286

五十音順さくいん

あ

アームレスト	329
アイドリングストップ	244
アイドリング	
ストップ時間	78, 86
アイドリングストップ	
キャンセル表示灯	245
アイドリングストップ	244
アイドリングストップ	
表示灯	244
アウターミラー（ドアミラー） ...	162
オート作動	163
調整	162
アクセサリソケット	333
アクセスキー	108
作動範囲	114
正常に働かないとき	440
電池が切れた	440
電池交換	368
アシストグリップ	330
アンチロックブレーキシステム	
（ABS）	286
アンテナ	300

い

イグニッション（エンジン）	
スイッチ	183
位置交換	
（タイヤローテーション）	348
イベントデータレコーダー	
（EDR）	8
イモビライザー	
（盗難防止用エンジン始動	
ロックシステム）	63
インジケータランプ	
（表示灯）	70
インナー（ルーム）ミラー	161

う

ウインカー（方向指示灯）	191
電球（バルブ）の交換	374
方向指示レバー	191
ワット数	454
ウインドウ	166
ウォッシャー	200, 202
パワーウインドウ	166
リヤウインドウ	
デフォッガー	303, 309
ウインドウロックスイッチ	166
ウインドシールド	
デアイサー	304, 309
ウォーニングランプ（警告灯） ...	405
ウォッシャー	200, 202
液の補給	347
スイッチ	200, 202
タンク容量	453
冬の前の準備・点検	292
動けなくなったときは	
（スタック）	448
運転	170
環境に配慮した運転	172
寒冷時の運転	292
正しい運転姿勢	26
手順	170
運転席・助手席シートベルト	
締め忘れ警告灯	407

え

エアコン	
オートエアコン	307
フィルターの交換	362
マニュアルエアコン	302
エアバッグ	35
SRS エアバッグ警告灯	405
作動条件	39
配置	35
エコドライブ	
インジケーター	172
エンジン	
イグニッション	
スイッチ	183
エンジン回転計	
(タコメーター)	74
エンジンがかからない	439
エンジン警告灯	405
エンジンスイッチ	183
オーバーヒート	445
かけ方	183
ボンネット	342
エンジンイモビライザー	63
エンジンオイル	450
オイルプレッシャー	
(油圧) 警告表示	405
冬の前の準備・点検	292
メンテナンスデータ	450
エンジンスイッチ	
操作方法	183
エンディング画面	90

お

オイル	
油脂類の容量と銘柄	450
応急修理キット	427
オートエアコン	307
オートヘッドランプ	
レベライザー	
警告灯	407
作動について	195
オーバーヒート	445
オープナー	
給油口	206
ボンネット	342
リヤゲート	140
オープニング画面	88
オープントレイ	325
お子さまを乗せるとき	42
ウインドウロックスイッチ	166
エアバッグに関する警告	36
お子さまのシートベルト着用 ...	32
お子さまを乗せるときの警告 ...	33
キーの電池に関する警告	370
シートベルトに関する警告	32
チャイルドシート	43
チャイルドシートの取り付け ...	53
チャイルドブルーフ	127
発炎筒の取り扱いに	
関する警告	393
バッテリーに関する警告	444
パワーウインドウに	
関する警告	168
リヤゲートに関する警告	143
オドメーター	78, 85
機能	78, 85
表示の切りかえボタン	76, 84

か

カーゴルーム	
カーゴボード	326
カーテンエアバッグ	35
カーペット	339
洗浄	339
フロアマットの取り付け方	24
外気温度表示	77, 87
外装の電球 (バルブ)	374
交換要領	374
ワット数	454
格納式サンシェード	332
カスタマイズ機能	455
ガソリンスタンドでの情報	486
型式	454
カップホルダー	322
ガラスの曇り取り (リヤウインドウ デフォッガー)	303, 309
ガレージジャッキ	345
冠水路走行	180
寒冷時の運転	292

き

キー	108
アクセスキー	108
アクセスキーの作動範囲	114
イグニッション スイッチ	183
エンジンが始動できない	440
キーナンバースプレート	108
キーの構成	108
キーの電池が切れた	368, 440
キーをなくした	110, 111
正常に働かない	440
施錠・解錠ができない	440
電池交換	368
電波式リモコン	109
プッシュエンジンスイッチ	183
メカニカルキー	109, 440
キーレスアクセス	112
アンテナの位置	113
エンジンスイッチ	183
エンジンの始動	183
カスタマイズ設定	455
警告ブザー	115, 409, 420
作動範囲	114
正常に働かないとき	440
電波がおよぼす 影響について	120
ドアの施錠・解錠	121
リヤゲートの解錠	140

給油	204
給油のしかた	204
メンテナンスデータ	450
給油口（燃料）	204
緊急時シートベルト固定機構	31
緊急時の対処	
アクセスキーが	
正常に働かない	440
アクセスキーの	
電池が切れた	368, 440
イベントデータレコーダー	8
エンジンがかからない	439
オーバーヒートした	445
キーの電池が切れた	368, 440
キーをなくした	110, 111
警告灯がついた	405
警告メッセージが	
表示された	411
けん引	396
故障したときは	390
車両を緊急停止する	394
水没したときは	395
スタックした	448
発炎筒	392
バッテリーがあがった	442
パンクした	427
非常点滅表示灯	391
緊急ブレーキシグナル	287

く

空気圧（タイヤ）	453
空調（エアコン）	
オートエアコン	307
フィルターの交換	362
マニュアルエアコン	302
区間距離計	
（トリップメーター）	78, 85
機能	78, 85
切りかえボタン	76, 84
曇り取り	
フロントウインドゥ	
ガラス	303, 309
リヤウインドゥ	
デフォッガー	303, 309
クラクション（ホーン）	160
クリアランスランプ（車幅灯）	193
スイッチ	193
電球（バルブ）の交換	374
ワット数	454
クリップ	
フロアマット	24
クルーズコントロール	
システム	253
グローブボックス	321

け

警音器（ホーン）.....	160
計器類（メーター）.....	72
TFT カラーマルチインフォ	
メーションディスプレイ	83
マルチインフォメーション	
ディスプレイ	76
メーター	72
警告灯	67, 405
アイドリングストップ	
キャンセル表示灯	407
アンチロックブレーキ	
システム（ABS）	406
運転席シートベルト	
締め忘れ	407
SRS エアバッグ	405
LED ヘッドランプ	
オートレベライザー	407
エンジン	405
オイルプレッシャー	
（油圧）	405
キーレスアクセス	407
クルーズコントロール	
表示灯	407
高水温	405
後席シートベルト	
締め忘れ	408
コーナーセンサー表示灯	406
CVT	405
車線逸脱警報 OFF 表示灯	406
助手席シートベルト	
締め忘れ	407
ステアリング制御	406
スマートアシスト OFF	
表示灯	406
チャージ（充電）	405
燃料残量	407
ハイビームアシスト	406

パーキングブレーキ未解除	408
半ドア	407
VSC（VDC）作動表示灯	406
プリテンショナー	405
ブレーキ	405
ブレーキオーバーライド	
システム	407
マスターウォーニング	406
警告ブザー	
アイドリング	
ストップ	250, 410, 423
運転席・助手席シートベルト	
締め忘れ	407, 416
キーレス	
アクセス	115, 409, 420
後席シートベルト	
締め忘れ	408, 416
誤発進抑制制御機能	
（前方・後方）	214, 417
コーナーセンサー	406, 417
車線逸脱警報機能	215, 417
衝突回避支援	
ブレーキ機能	213, 417
衝突警報機能	213, 417
ステアリング制御	406, 413
先行車発進	
お知らせ機能	215, 417
パーキングブレーキ	
未解除走行時	408, 416
半ドア走行時	407, 416
ブレーキ	405, 411
ランプ消し忘れ	195, 418
リバース	190
警告メッセージ	411
化粧ミラー（パニティミラー）	329
けん引	396
けん引されるとき	396
フック	398

こ

交換	
エアコンフィルター	362
キーの電池	368
タイヤ	352
電球（バルブ）	374
ヒューズ	371
ワイパーゴム	364
工具（ツール）	352, 429
光軸調整ダイヤル	194
後席シートベルト締め忘れ	
警告灯	408
航続可能距離	79, 86
後退灯（バックアップランプ）	
電球（バルブ）の交換	374
ワット数	454
コーナースエンサー	258
誤発進抑制制御機能	
（前方・後方）	230
小物入れ	325
コンライト	
（自動点灯・消灯装置）	193

さ

サイドアンダーミラー	165
サイドエアバッグ	35
サイド方向指示灯	191
方向指示レバー	191
ワット数	454
サイドミラー（ドアミラー）	162
操作	162
サブトランク	327
サンバイザー	329

し

シート	146, 147
シートアレンジ	152
シートの調整に	
関する警告	146, 148
シートヒーター	314
正しい運転姿勢	26
チャイルドシート	43
チャイルドシートの固定	53
調整	146, 147
手入れ	339
ヘッドレスト	150
シートアンダートレイ	322
シートバックテーブル	331
シートヒーター	314
シートベルト	28
お子さまの着用	32
緊急時シートベルト固定機構	31
シートベルト締め忘れ	
警告灯	407, 408
正しく着用するには	28
チャイルドシートの固定	53
着け方・はずし方	28, 29, 30
手入れ	339
妊娠中の方の着用	33
シートベルト締め忘れ	
警告灯	407, 408
シートベルトプリテンショナー	31
機能	31
プリテンショナー警告灯	405
CVT	
CVT	188
セレクトレバーが	
シフトできない	190

室内灯（インテリアランプ）.....	316
カーゴルームランプ	318
後席ステップランプ	128
デッキサイドランプ左側	141
デッキサイドランプ右側 （スイッチ付）	318
トレイイルミネーション	319
フロントマップランプ	317
ルームランプ	317
ワット数	454
始動のしかた	183
シフトポジション	188
シフトロックシステム	190
車線逸脱警報 OFF 表示灯	212
車線逸脱警報機能	239
車線逸脱警報作動灯	215
車速	
スピードメーター	72, 74
ジャッキ	
ガレージジャッキ	345
車載ジャッキ	352, 429
タイヤ交換	352
ジャッキハンドル	352, 429
車幅灯	193
電球（バルブ）の交換	374
ライティングスイッチ	193
ワット数	454
車両カスタマイズ機能一覧	455
車両型式	454
車両仕様（スペック）	454
車両データの記録	7
車両を緊急停止するには	394
収納装備	320, 326
手動光軸調整ダイヤル	194
ジュニアシート	44
瞬間燃費	78, 86
仕様（車両仕様）	454

衝突回避支援ブレーキ機能 （対車両・対歩行者）	220
衝突警報機能 （対車両・対歩行者）	220
初期設定	458
TFT カラーマルチ インフォメーション ディスプレイ	102
パワーウィンドウ	168
パワースライドドア	130
助手席シートアンダートレイ	322
助手席シートベルト 締め忘れ警告灯	407
ショッピングフック	334

す

スイッチ

アイドリングストップ	
キャンセル	245
イグニッション	183
ウインドウロック	166
ウインドシールド	
デアイサー	304, 309
ウォッシャー	200, 202
オーディオ操作スイッチ	298
クルーズコントロール	
システム	253
シートヒーター	314
SPORT モードスイッチ	189
ドアミラー	162
パワーウインドウ	166
非常点滅表示灯	
(ハザードランプ)	391
VSC (VDC) OFF	287
フォグランプ	199
プッシュエンジンスイッチ	183
フロントマップランプ	317
メーター操作スイッチ	76, 84
ランプ	193
リヤウインドウ	
デフォッガー	303, 309
ワイパー	200, 202

スターター

エンジンの始動	183
スターターがまわらない	439

スタック

ステアリングスイッチ

オーディオ操作スイッチ	298
SPORT モードスイッチ	189
メーター操作スイッチ	84

ステアリングホイール

(ハンドル)	159
位置調整	159

ステアリング制御警告灯	406
ステアリングロック	185, 186
ステレオカメラ	211
ストップランプ (制動灯)	
電球 (バルブ) の交換	387
スノータイヤ (冬用タイヤ)	292
スピードメーター	72, 74
スペック (車両仕様)	454
SPORT モードスイッチ	189
スマートアシスト OFF	
スイッチ	212
スマートアシスト OFF	
表示灯	212
スマートアシスト	
機能停止コード	424
スマートアシスト	
“故障” 表示	406, 414
スマートアシスト作動灯	213
スマートアシストⅢ	208
スマートアシスト	
“停止” 表示	424
スモールランプ (車幅灯)	193
電球 (バルブ) の交換	374
ライティングスイッチ	193
ワット数	454
スライドドア	125
イーजीークローザー	128
キーレスアクセス	126
電波式リモコン	125
ドアガラス	166
パワースライドドア	127
半ドア警告灯	407
ロックレバー	125

せ

清掃	336, 339
アルミホイール	337
外装	336
シートベルト	339
内装	339
制動灯	
電球（バルブ）の交換	374
ワット数	454
積算距離計	
（オドメーター）	78, 85
機能	78, 85
表示の切りかえボタン	76, 84
セキュリティ表示灯	63
セレクトレバー	188
CVT	188
セレクトレバーが	
シフトできない	190
リバース警告ブザー	190
先行車発進お知らせ機能	242
洗車	336
前照灯（ヘッドランプ）	193
LED ヘッドランプ	
オートレベライザー	
警告灯	407
手動光軸調整ダイヤル	194
電球（バルブ）の交換	374
ライティングスイッチ	193
ライトセンサー	195
ランプ消し忘れ警告ブザー	195
ランプ消し忘れ防止機能	195
ワット数	454
センターダストボックス	321

そ

速度計	
（スピードメーター）	72, 74
ソナー	211

た

ターンシグナルランプ	
（方向指示灯）	191
電球（バルブ）の交換	374
方向指示レバー	191
ワット数	454
タイヤ	348
空気圧	360, 453
交換	352
締め付けトルク	358
点検	348
パンク応急修理キット	427
パンクしたときは	427
冬用タイヤ	292
ホイールサイズ	453
ローテーション	
（位置交換）	348
タイヤが空まわりする	
（スタックした）	448
タイヤチェーン	292
タコメーター	74

ち

チェーン (タイヤチェーン)	292
チェンジレバー (セレクトレバー)	
CVT	188
セレクトレバーが	
シフトできない	190
リバース警告ブザー	190
チャイルドシート	43
シートベルトでの固定	57
選択方法	43
ロアアンカレッジでの	
取り付け	53
チャイルドブルーフ	127
駐車ブレーキ	
(パーキングブレーキ)	192
操作	192
未解除走行時	
警告ブザー	408, 416
メンテナンスデータ	453

つ

ツール (工具)	352, 429
----------------	----------

て

TFT カラーマルチ	
インフォメーション	
ディスプレイ	83
停止表示板収納スペース	328
ディスプレイ	76, 83
トリップ	
インフォメーション	78, 85
手入れ	336, 339
アルミホイール	337
外装	336
シートベルト	339
内装	339

テールランプ (尾灯)	193
電球 (バルブ) の交換	374
ライティングスイッチ	193
デッキサイドランプ左側	141
ワット数	454
デッキサイドランプ右側	
(スイッチ付)	318
スイッチ	318
ワット数	454
デフォグガー	
フロントガラス	303, 309
リヤウインドウ	
デフォグガー	303, 309
電球 (バルブ)	
交換要領 (外装バルブ)	374
ワット数	454
点検基準値	
(メンテナンスデータ)	450
電池交換 (キー)	368

と

ドア	121
キーレスアクセス	112
チャイルドブルーフ	127
電波式リモコン	121
ドアガラス	166
ドアポケット	325
半ドア警告灯	407
半ドア走行時	
警告ブザー	407, 416
ロックレバー	122
ドアガラス	166
ドアポケット	325
ドアミラー	162
オート作動	163
操作	162

ドア連動機能	319
カスタマイズ機能	455
作動について	319
点灯する部位	316
盗難防止装置	
イモビライザー	
(盗難防止用エンジン始動	
ロックシステム)	63
時計	77, 92
トッテザーアンカレッジ	53
ドライブインフォメーション	86
トラクションコントロール	
(TRC)	286
トランスミッション	188
操作	188
メンテナンスデータ	452
トリップ	
インフォメーション	78, 85
トリップメーター	78, 85
機能	78, 85
切りかえボタン	76, 84
トレイルミネーション	319

な

内装	
収納装備	320, 326
手入れ	339

に

荷物	
積むときの注意	181
カーゴルーム	326

ぬ

ぬかるみにはまった	
(スタック)	448

ね

燃費	78, 86
瞬間燃費	78, 86
平均燃費	79, 86
燃料	450
ガソリンスタンドでの情報 ...	486
給油	204
種類	450
燃料残量警告灯	407
容量	450
燃料計	72, 74

は

パーキングブレーキ	192
操作	192
パーキングブレーキ	
未解除警告灯	408
未解除走行時	
警告ブザー	408, 416
メンテナンスデータ	453
排気ガス	62
ハイビーム (ヘッドランプ)	193
電球 (バルブ) の交換	374
ライティングスイッチ	193
ワット数	454
ハイビームアシスト	196
ハザードランプ	
(非常点滅表示灯)	391
スイッチ	391
電球 (バルブ) の交換	374
ワット数	454
挟み込み防止機能	
パワーウインドウ	167
パワースライドドア	130
発炎筒	392
バックアップランプ (後退灯)	
電球 (バルブ) の交換	374
ワット数	454

バッテリー

バッテリーあがりを 防ぐために	443
バッテリーがあがった	442
冬の前の準備点検	292
パニティ（化粧用）ミラー	329
パノラミックビューモニター	264
バルブ（電球）	
交換要領（外装のバルブ）.....	374
ワット数	454
パワーウィンドウ	166
ウィンドウロックスイッチ	166
閉めることが できないときは	167
操作	166
挟み込み防止機能	167
パワーステアリング	286
ステアリング制御警告灯	406
パワースライドドア	127
操作	127
挟み込み防止機能	130
パンクした	427
番号灯	
（ライセンスプレートランプ）...	193
電球（バルブ）の交換	374
ライティングスイッチ	193
ワット数	454
ハンドル	
（ステアリングホイール）	159
位置調整	159
ステアリング制御警告灯	406

ひ

ビークルスタビリティコントロール （ビークルダイナミクスコントロール）	286
ヒーター	
オートエアコン	307
シートヒーター	314
マニュアルエアコン	302
非常点滅表示灯 （ハザードランプ）.....	391
スイッチ	391
電球（バルブ）の交換	374
ワット数	454
尾灯（テールランプ）	193
電球（バルブ）の交換	387
ライティングスイッチ	193
ヒューズ	371
表示灯	70
日よけ（サンバイザー）	329
ヒルスタートアシスト	245
ヒルホールドシステム	286

ふ

ブースターケーブルの つなぎ方	442
フォグランプ	199
スイッチ	199
電球（バルブ）の交換	387
ブザー	
アイドリング ストップ	250, 410, 423
運転席・助手席シートベルト 締め忘れ警告	407, 416
キーレス アクセス	115, 409, 420
後席シートベルト 締め忘れ警告	408, 416

誤発進抑制制御機能	
（前方・後方）.....	214, 417
コーナーセンサー	406, 417
車線逸脱警報機能	215, 417
衝突回避支援	
ブレーキ機能	213, 417
衝突警報機能	213, 417
ステアリング制御	
警告	406, 413
先行車発進	
お知らせ機能	215, 417
パーキングブレーキ未解除	
走行時警告	408, 416
半ドア走行時警告	407, 416
ブレーキ液警告	405, 411
ランプ消し忘れ警告	195, 418
リバース警告	190
フック	
けん引フック	398
ショッピングフック	334
フロアマット固定フック	24
フューエルメーター	
（燃料計）	72, 74
フューエルリッド（給油口）	204
給油のしかた	204
冬の前の準備（寒冷時の運転） ...	292
冬用タイヤ	292
ブレーキ	
パーキングブレーキ	192
ブレーキ警告灯	405
メンテナンスデータ	453
ブレーキアシスト	286
機能	286
VSC（VDC）作動表示灯	406
ブレーキ付近からキーキー音が	
聞こえる	176
ブレーキフルード	453
フロアマット	24

フロントシート	146
シートヒーター	314
正しい運転姿勢	26
調整	146
手入れ	339
フロントシートの調整に	
関する警告	146
ヘッドレスト	150
フロントターンシグナルランプ	
電球の交換	374
レバー	191
ワット数	454
フロントフォグランプ	199
スイッチ	199
電球（バルブ）の交換	387
フロントマップランプ	317
スイッチ	317
ワット数	454
フロント方向指示灯	191
電球（バルブ）の交換	374
方向指示レバー	191
ワット数	454



平均燃費	79, 86
ヘッドランプ	193
LED ヘッドランプ	
オートレベライザー	
警告灯	407
手動光軸調整ダイヤル	194
電球（バルブ）の交換	374
ライティングスイッチ	193
ライトセンサー	195
ランプ消し忘れ警告ブザー	195
ランプ消し忘れ防止機能	195
ワット数	454
ヘッドレスト	150

ほ

ホイール	
交換（タイヤ）.....	348, 352
メンテナンスデータ	453
ホイールナットレンチ	352, 429
方向指示灯	191
電球（バルブ）の交換.....	374
方向指示レバー	191
ワット数	454
ホーン（警音器）.....	160
保証	9
ボトルホルダー.....	322
ボンネット	342
開け方	342

ま

マスターウォーニング	406
マニュアルエアコン	302
マルチインフォメーション ディスプレイ	76

み

ミラー	
ドアミラー	162
バニティミラー	329
ルームミラー	161

め

メーター（計器類）.....	72, 74
警告灯	405
TFT カラーマルチ インフォメーション ディスプレイ	83
表示切りかえボタン	76, 84
表示灯	70
マルチインフォメーション ディスプレイ	76

メカニカルキー	109
メンテナンスデータ	450

ゆ

ユーザーカスタマイズ機能	455
雪道ですべて動けない （スタックした）	448
油脂類	450

ら

ライセンスプレートランプ （番号灯）	193
電球（バルブ）の交換	374
ライティングスイッチ	193
ワット数	454
ライトセンサー	195
ラジエーター	
オーバーヒート	445
メンテナンスデータ	452
ランプ	
カーゴルームランプ	318
後席ステップランプ	128
室内灯	316
デッキサイドランプ左側	141
デッキサイドランプ右側 （スイッチ付）	318
電球（バルブ）の交換	374
トレイイルミネーション	319
非常点滅表示灯 （ハザードランプ）	391
フロントフォグランプ	199
フロントマップランプ	317

ヘッドランプ（前照灯）.....	193
方向指示灯（ターンシグナル ランプ/ウインカー）.....	191
ライトセンサー	195
ランプ消し忘れ防止機能.....	195
ルームランプ	317
ワット数	454
ランプ消し忘れ防止機能	195

り

リヤウインドゥ デフォグガースイッチ ...	303, 309
リヤゲート	140
リヤシート	147
前倒し	147
リヤ方向指示灯	191
電球（バルブ）の交換	374
方向指示レバー	191
ワット数	454
リヤワイパー	202

る

ルームミラー	161
ルームランプ（室内灯）	317
スイッチ	317
ワット数	454

れ

冷却水	452
冬の前の準備	292
メンテナンスデータ	452
冷却装置（ラジエーター） オーバーヒート	445
メンテナンスデータ	452
レバー シフト	188
方向指示	191
ボンネット解除	342
ロック（ドア）	122, 125

ろ

ロック ウインドゥロック	166
キーレスアクセス	112
シフトロックシステム	190
チャイルドブルーフ	127
電波式リモコン	121
ドア	121

わ

ワイパー & ウォッシャー	200, 202
ワイパーデアイサー	304, 309
ワイパーブレード（寒冷地用） ...	293
ワイヤレスリモコン	121
作動の合図	122
操作	121
電池の交換	368
半ドア警告ブザー	407, 416
ワックス	336
ワット数	454

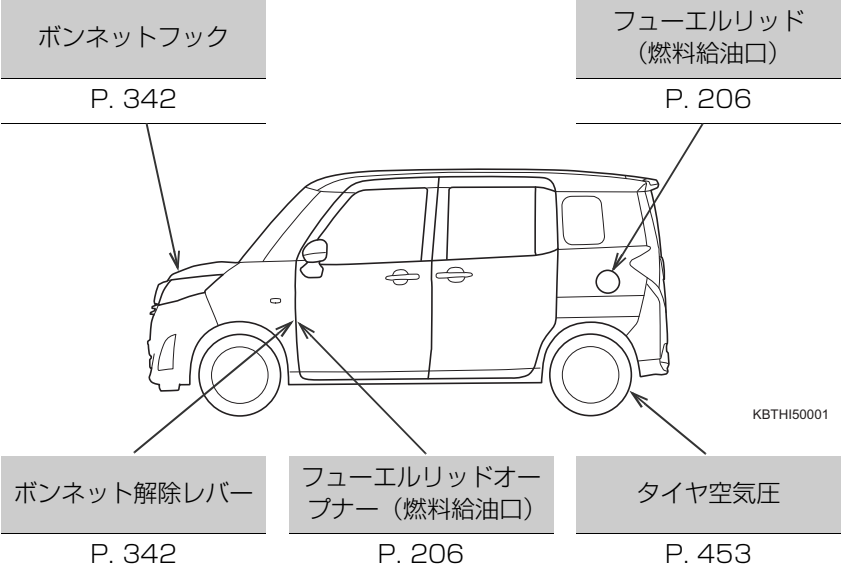
- 次の名称はトヨタ自動車株式会社の登録商標です。
当社は使用許諾に基づき使用しております。
 - ・ TRC
 - ・ VSC
- 次の名称はダイハツ工業株式会社の登録商標です。
当社は使用許諾に基づき使用しております。
 - ・ アミックス
 - ・ AMMIX
 - ・ スマートアシスト
 - ・ スマアシ
 - ・ キーフリーシステム





ガソリンスタンドでの情報

給油や交換などの際に必要な項目をまとめてあります。



燃料の容量 (参考値)	FF (前輪駆動) : 36L 4WD (4 輪駆動) : 38L	
燃料の種類	無鉛レギュラーガソリン	P. 204, 450
タイヤが冷えているときの空気圧		P. 453
エンジンオイル容量 (参考値)	オイルのみ交換時 : 2.9 L オイルとフィルター交換時 : 3.1 L	
エンジンオイルの種類		P. 450

ご意見、ご感想、お問い合わせはお近くのスバル販売店
または弊社「SUBARUお客様センター」へお願いいたします。

※お乗りのお車に関してお電話等でお問い合わせをいただく際は、お客さま
へ正確・迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車
の車検証等をご準備いただきますようご協力をお願いしております。

①車検証記載事項

型式・車台番号・登録番号・登録年月日

②走行距離

③販売店・担当者名

SUBARUお客様センター

SUBARUコール  0120-052215

受付時間【平 日】9:00~17:00

【土日祝】9:00~12:00、13:00~17:00

※平日の12:00~13:00および土日祝は

(1) のインフォメーションサービスのみとなります。

SUBARUお客様センターでは下記の内容を承っております。

(1) ご意見／ご感想／ご案内(カタログ、販売店、転居手続き 他)

(2) お問合せ／ご相談

株式会社SUBARU

〒150-8554 東京都渋谷区恵比寿1-20-8 (エビススバルビル)

JAF ロードサービス
救援コール



ナビダイヤル®

0570-00-8139

通話料は有料(固定電話は1分/10円、携帯電話は20秒/10円)。
ただし、一部のIP電話等からはご利用になれません。

※携帯電話からおかけの場合

基本使用料金に含まれる無料通信分の対象とはなりません。

または **短縮ダイヤル #8139**

通話料は有料。

ただし、固定電話[ダイヤル回線]からはご利用になれません。

全国共通・24時間年中無休

禁複製・転載

編集・発行 **株式会社SUBARU**



SUBARU

株式会社 SUBARU

発行 2019年12月 Printed in Japan KB

Publication No. **A4510JJ-C**

01999-B1188